



年報

令和6年



独立行政法人 地域医療機能推進機構
星ヶ丘医療センター



年報

令和6年

JCHO
星ヶ丘医療センター

巻頭言

院長 細野 昇



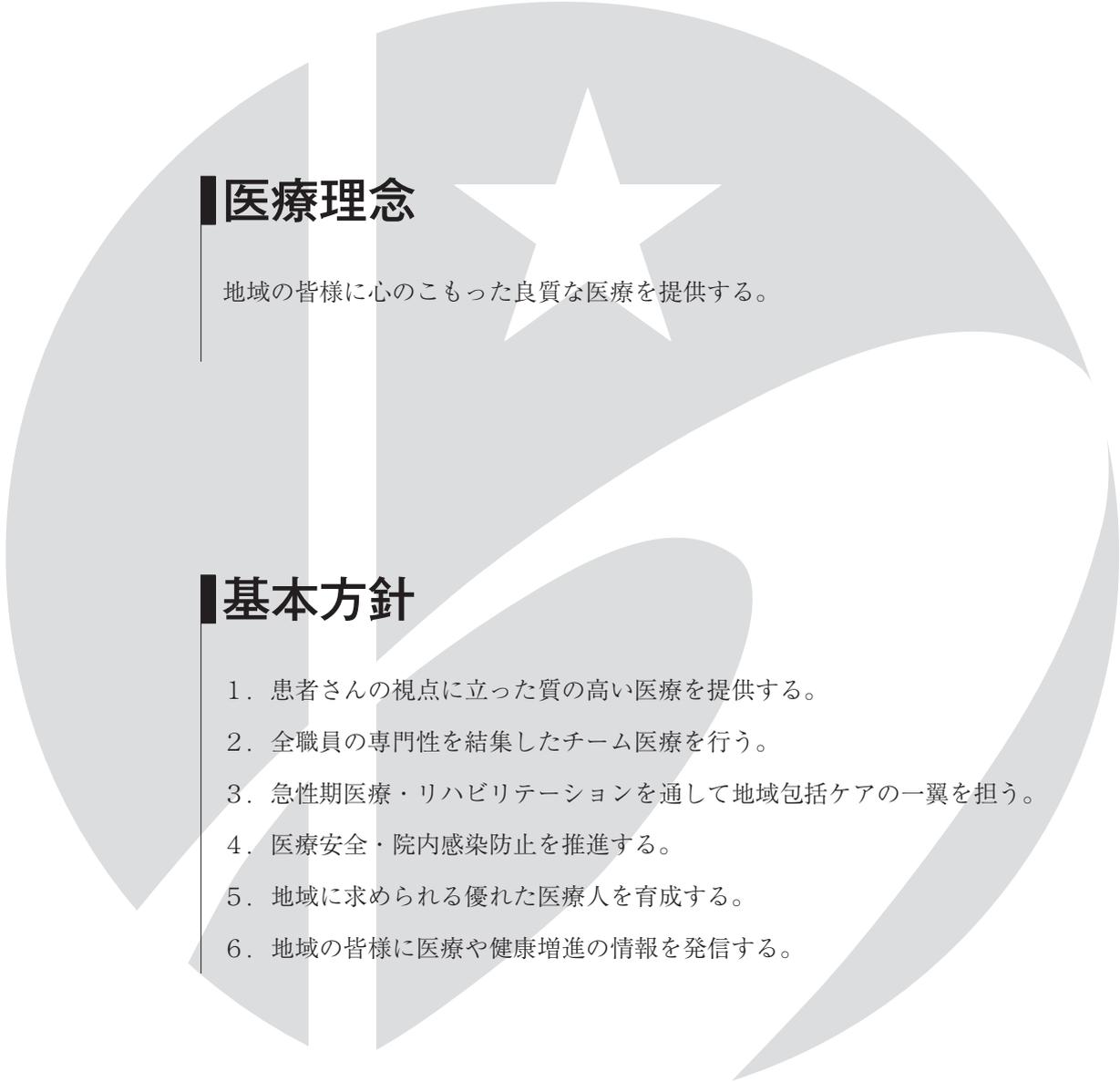
令和6年度のJCHO星ヶ丘医療センター年報が完成いたしました。皆様にお届けするにあたり一言ご挨拶申し上げます。

日本社会の高齢化は大きな社会問題になっています。65歳以上の高齢者数は2040年には全人口の35%に達する予想で、医療や介護のニーズが拡大している一方で医療従事者は減少の一途です。医師不足は地域における偏り、施設・診療科における偏りに加えて働き方改革の実践による実働時間の減少などが原因になっています。星ヶ丘医療センターは優秀な常勤医師を確保するべく努力を続けてまいりました。その結果この年報にご紹介するような優秀なスタッフを揃えることができました。その活動については各項をご覧ください。

また最近はや間や休日の救急医療のひっ迫が懸念されています。枚方寝屋川消防の年間救急出動件数も毎年増加して45,000件を超えています。当院でも年間2,400件以上の救急車を受け入れています。それでも需要に対して十分とはいえません。特に連休中の医療需要は大きく、これに応えるべく星ヶ丘医療センターは令和6年度から休日開院を取り入れました。具体的には10月から主にHappy Mondayを含んだ3連休の最終日に病院を通常開院しました。初診、再診、検査、手術など平日に準じた開院です。この結果地域住民の方からだけでなく、診療所の先生方からも高い評価をいただきました。今後はゴールデンウィークや年末年始休暇においても休日開院を取り入れ地域医療に貢献していきたいと考えています。

星ヶ丘医療センターはこれからも(1)救急医療を含む急性期医療・高度専門医療の充実、(2)地域医療・地域包括ケアの要となる人材育成と地域住民への情報発信強化、(3)透明性が高く財政的に自立した運営、を通じて北河内地区の地域医療に貢献できるよう尽力してまいります。地域にとってなくてはならない施設となるべく休日開院などにも積極的に取り組んでまいります。今後ともみなさまのご理解・ご支援を頂きますよう、心からお願い申し上げます。

令和7年7月31日



医療理念

地域の皆様に心のこもった良質な医療を提供する。

基本方針

1. 患者さんの視点に立った質の高い医療を提供する。
2. 全職員の専門性を結集したチーム医療を行う。
3. 急性期医療・リハビリテーションを通して地域包括ケアの一翼を担う。
4. 医療安全・院内感染防止を推進する。
5. 地域に求められる優れた医療人を育成する。
6. 地域の皆様に医療や健康増進の情報を発信する。

目 次

巻頭言
医療理念と基本方針

概要

現況	3
病院組織図	5
主な役員一覧	7
職員数	8
指定・認定施設一覧	10

医事統計	11
------	----

退院患者統計	17
--------	----

業務報告

総合診療部 総合内科	31
脳神経・脳卒中内科	32
糖尿病内科	34
腎臓内科	35
緩和ケア科	36
化学療法科	37
呼吸器内科	38
消化器内科	39
感染制御内科	41
循環器科	42
精神・神経科	43
免疫内科	44
小児科	45
外科	47
整形外科	49
スポーツ整形外科	51
心臓血管外科	52
血管外科	52
形成外科	53
脳神経外科	54
脳血管内治療科	55
呼吸器外科	56
皮膚科	57
泌尿器科	58
産婦人科	60
眼科	61
耳鼻咽喉科	62
リハビリテーション科・リハビリテーション部	63
放射線科・診療放射線部	68
麻酔科	73
歯科・歯科口腔外科	75
臨床検査科・病理診断科・臨床検査部	76
健診科	81

手術部	82
集中治療部	83
人工透析室	85
内視鏡センター	86
地域医療連携室	87
入退院支援室	88
福祉相談室	90
医療相談室	92
がん相談支援センター	94
医療安全管理室	97
感染管理室	99
チーム医療部・摂食嚥下支援チーム	102
チーム医療部・認知症ケアチーム	103
チーム医療部・呼吸療法サポートチーム (RST)	104
チーム医療部・栄養サポートチーム	105
チーム医療部・褥瘡対策チーム	107
チーム医療部・がんサポートチーム	108
チーム医療部・糖尿病チーム	109
チーム医療部・排尿自立支援チーム	110
チーム医療部・感染対策チーム／抗菌薬適正使用支援チーム	111
臨床心理室	113
臨床研究・治験管理室	114
薬剤部	119
栄養管理室	127
臨床工学部	129
看護部	131
事務部	146
医事課算定病歴係・診療情報管理室	150
図書室・患者図書室	151
健康管理センター	152
訪問看護ステーション	154
委員会活動	157
星ヶ丘クリニカルカンファレンス	173
学術研究業績	175

概要

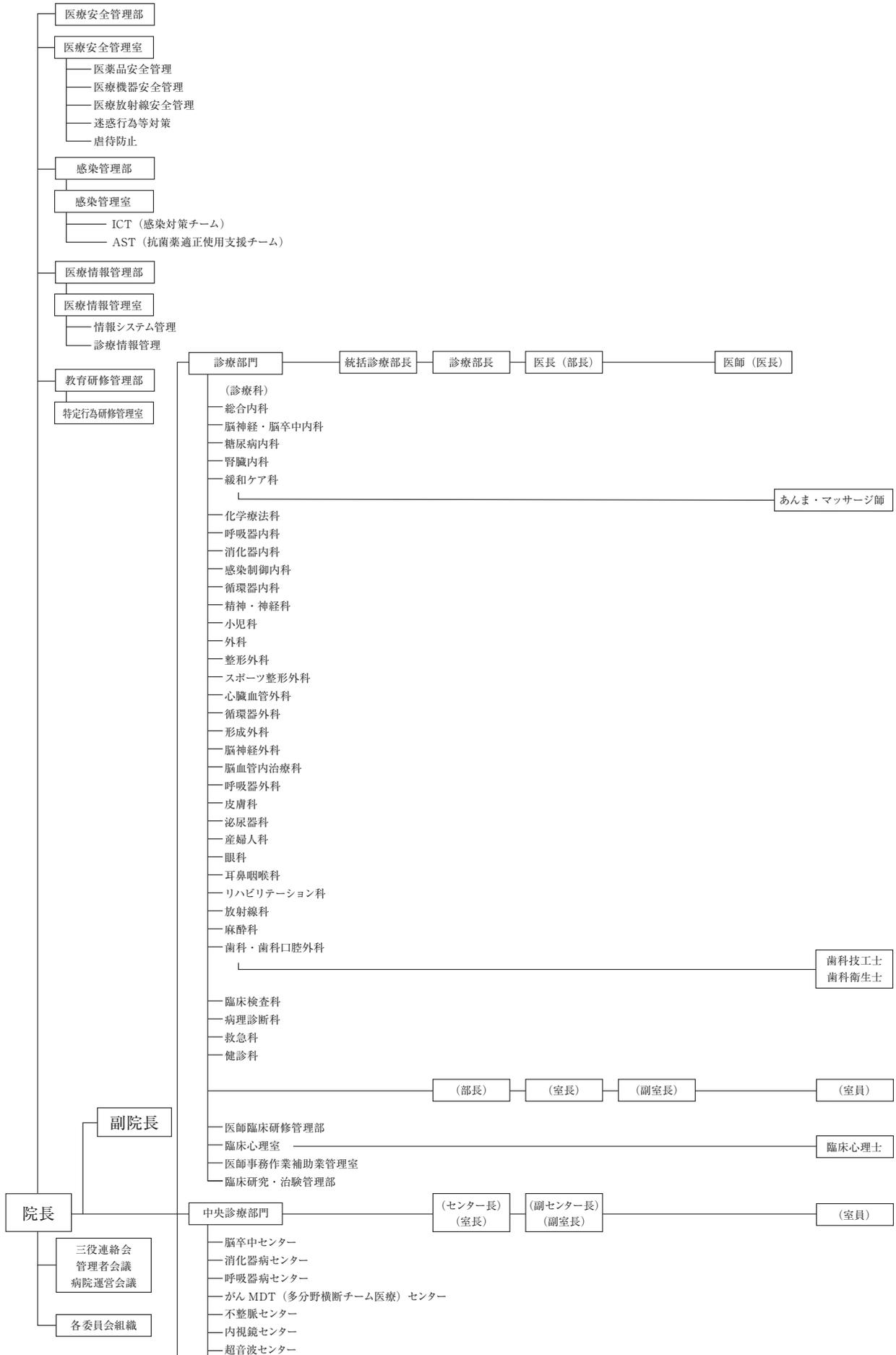
■星ヶ丘医療センター 現況

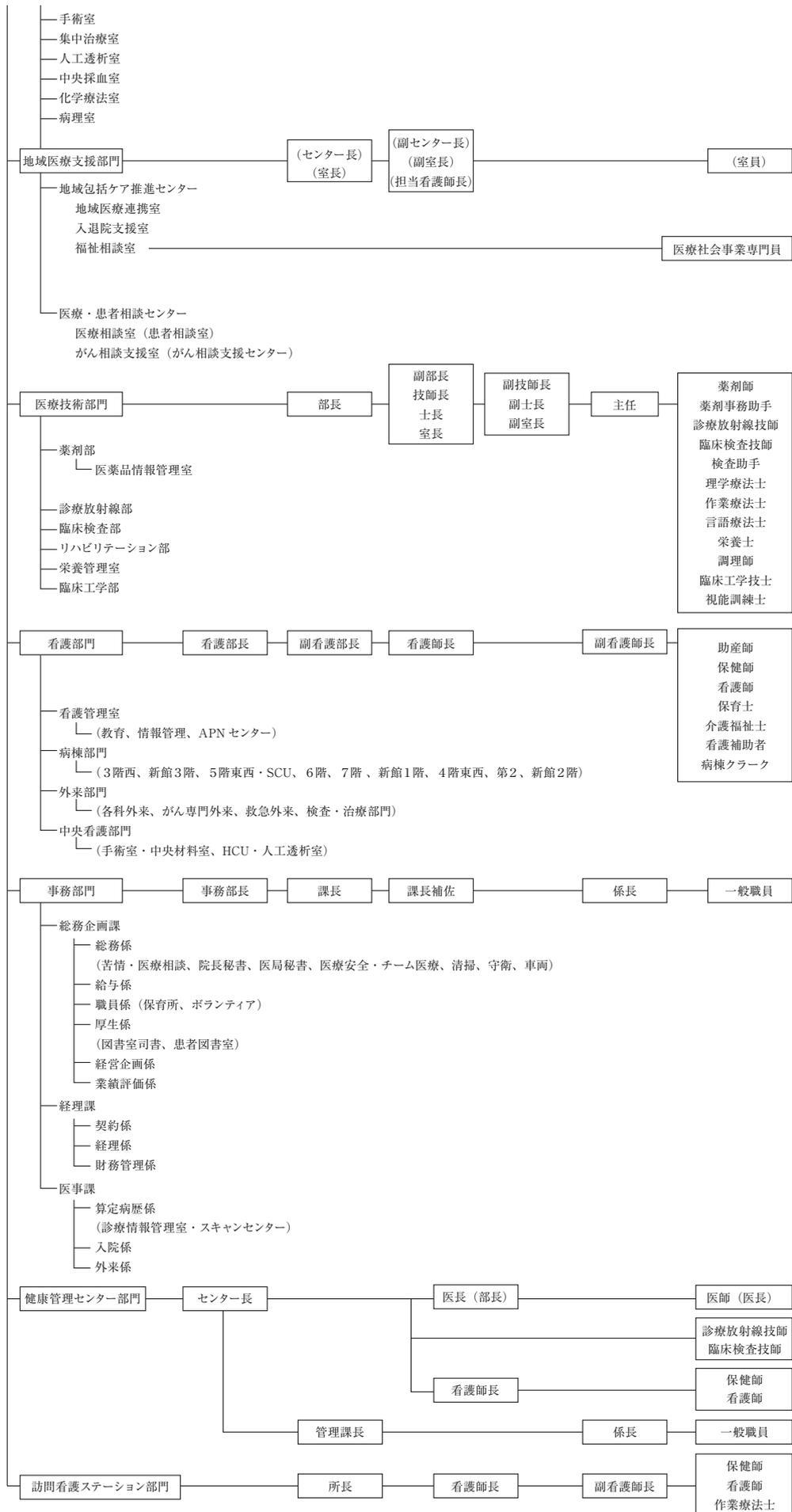
令和6年12月31日現在

施設	敷地面積	96,844.89㎡	標榜科目	内 科	血 管 外 科
	建物面積			呼 吸 器 内 科	皮 膚 科
	病院本館・新館	21,209.83㎡		消 化 器 内 科	泌 尿 器 科
	第1外来棟	4,309.23㎡		循 環 器 内 科	産 婦 人 科
	検査棟	1,255.31㎡		糖 尿 病 内 科	眼 科
	新外来棟	1,035.94㎡		精 神 科	耳 鼻 咽 喉 科
	第2外来棟	3,913.81㎡		神 経 科	リハビリテーション科
	渡り廊下	550.19㎡		脳 神 経 内 科	放 射 線 科
	体育館	1,215.89㎡		小 児 科	麻 酔 科
	第2診療棟	7,773.52㎡		外 科	歯 科
	寄宿舎（A・E棟）	3,452.00㎡		整 形 外 科	歯 科 口 腔 外 科
	寄宿舎（D棟）	343.00㎡		形 成 外 科	臨 床 検 査 科
	機械室	534.63㎡		脳 神 経 外 科	病 理 診 断 科
	ポンプ室	49.50㎡		呼 吸 器 外 科	救 急 科
	ポンプ室	40.40㎡		心 臓 血 管 外 科	
	物置	8.20㎡			
	物置	4.83㎡			
	守衛所	9.93㎡			
	計	45,706.21㎡			
特別施設	緩和ケア医療		各種指定等	一般 580床	
	脳卒中ケアユニット（SCU）			(内 94床 回復期リハビリテーション)	
	結石破碎装置（ESWL）			(内 40床 地域包括ケア)	
	人工透析室			(内 28床 小児入院医療管理料3)	
	CT室			(内 16床 緩和ケア病棟入院料)	
	MR I室			(内 6床 SCU)	
	血管撮影室			(内 6床 HCU)	
	核医学検査室			臨床研修指定病院	
	放射線治療室			エイズ診療拠点病院	
	多機能リハビリテーション施設			救急告示病院	
	内視鏡診断室			DPC対象病院	
	超音波診断室			災害医療協力病院	
	院内学級（桜丘北小学校）			プレアボイド報告施設	
	院内学級（桜丘中学校）			NST(栄養サポートチーム)稼働施設	
施設基準	初診療（歯科）の注1に掲げる基準		褥瘡ハイリスク患者ケア加算		
	医療DX推進体制整備加算		呼吸ケアチーム加算		
	一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1）		術後疼痛管理チーム加算		
	地域医療支援病院入院診療加算		後発医薬品使用体制加算2		
	臨床研修病院入院診療加算（基幹型）		病棟薬剤業務実施加算1		
	救急医療管理加算		データ提出加算		
	超急性期脳卒中加算		入退院支援加算		
	診療録管理体制加算1		認知症ケア加算		
	医師事務作業補助体制加算1（15対1）		せん妄ハイリスク患者ケア加算		
	急性期看護補助体制加算（25対1）		排尿自立支援加算		
	看護職員夜間配置加算（12対1）		地域医療体制確保加算		
	療養環境加算		協力対象施設入所者入院加算		
	重症者等療養環境特別加算		ハイケアユニット入院医療管理料1		
	緩和ケア診療加算		脳卒中ケアユニット入院医療管理料		
	リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算		小児入院医療管理料3		
	栄養サポートチーム加算		回復期リハビリテーション病棟入院料1		
	医療安全対策加算1		地域包括ケア病棟入院料2		
	感染対策向上加算1		緩和ケア病棟入院料1		
	患者サポート体制充実加算		看護職員処遇改善評価料44		
	重症患者初期支援充実加算				
施設基準	歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料		静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの）		
	心臓ペースメーカー指導管理料		人工腎臓		
	糖尿病合併症管理料		導入期加算1		
	がん性疼痛緩和指導管理料		透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算		
	がん患者指導管理料イ		下肢末梢動脈疾患指導管理加算		
	がん患者指導管理料ロ		ストーマ合併症加算		
	がん患者指導管理料ハ		CAD/CAM冠		
	外来緩和ケア管理料		歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算		
	糖尿病透析予防指導管理料		有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2		
	小児運動器疾患指導管理料		センチネルリンパ節加算		
	乳腺炎重症化予防ケア・指導料		緊急整復固定加算及び緊急挿入加算		
	二次性骨折予防継続管理料1		骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）		
	二次性骨折予防継続管理料2		椎間板内酵素注入療法		
	二次性骨折予防継続管理料3		仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（過活動膀胱）		
下肢創傷処置管理料		羊膜移植術			
院内トリアージ実施料		内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型（拡大副鼻腔手術）			

施設基準 【特掲診療料】	夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算	乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
	外来放射線照射診療料	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルのもの)
	外来腫瘍化学療法診療料	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
	ニコチン依存症管理料	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
	開放型病院共同指導料	内視鏡下下肢静脈瘤不全穿通枝切離術
	がん治療連携計画策定料	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
	外来排尿自立指導料	腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
	薬剤管理指導料	腹腔鏡下肝切除術
	地域連携診療計画加算	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
	医療機器安全管理料1	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
	在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料	膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)
	救急患者連携搬送料	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
	在宅経肛門的自己洗腸指導管理料	腹腔鏡下仙骨腫固定術
	持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術の休日加算1
	遺伝学的検査	医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術の時間外加算1
	BRCA1/2遺伝子検査	医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術の深夜加算1
	HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	輸血管理料I
	検体検査管理加算(IV)	輸血適正使用加算
	時間内歩行試験及びシヤトルウォーキングテスト	貯血式自己血輸血管理体制加算
	神経学的検査	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
	補聴器適合検査	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
	小児食物アレルギー負荷検査	菌周組織再生誘導手術
	内服・点滴誘発試験	麻酔管理料(I)
	画像診断管理加算1	麻酔管理料(II)
	冠動脈CT撮影加算	病理診断管理加算1
	CT撮影及びMRI撮影	悪性腫瘍病理組織標本加算
	抗悪性腫瘍剤処方管理加算	口腔病理診断管理加算1
	外来化学療法加算1	クラウン・ブリッジ維持管理料
	無菌製剤処理料	入院時食事療養費1
	心大血管疾患等リハビリテーション料(I)	食堂加算
	脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	外来・在宅ベースアップ評価料I
	運動器リハビリテーション料(I)	入院ベースアップ評価料(64)
呼吸器リハビリテーション料(I)		
がん患者リハビリテーション料		
歯科口腔リハビリテーション料2		
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1		
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1		
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1		
食事料	入院時生活療養(I)	

■星ヶ丘医療センター 病院組織図





(令和6年12月31日現在)

■主な役員一覧

管理者	氏名	診療科
院長	細野 昇	
副院長	高橋 務	脳卒中内科
副院長	奥田 眞也	整形外科
副院長	福地 成晃	外科・健診科
統括診療部長	立石 耕介	整形外科
看護部長	北田美奈子	
事務部長	魚澤 正克	

所属部署	役職	氏名	
脳卒中・脳神経内科	部長	巽 千賀夫	杉浦 史郎
糖尿病内科	部長	五郎川 伸一	
緩和ケア科	部長	佐竹 主道	
化学療法科	部長	永井 健一	
呼吸器内科	部長	内田 隆一	
消化器内科	部長	徳原 満雄	住友 康真
循環器内科・外科	部長	保田 知生	大西 衛
精神・神経科	病院長相談役	井上 洋一	
小児科	部長	中河 いよう	松尾 康史
外科	部長	永井 健一	
整形外科	部長	梶座 康夫	吹上 謙一 阿部 裕仁
形成外科	部長	光野 乃祐	
脳神経外科	部長	祖母井 龍	
脳血管内治療科	部長	杉浦 史郎	
泌尿器科	部長	松本 吉弘	
眼科	部長	高橋 元	
産婦人科	部長	河流 陽子	
リハビリテーション科	部長	伊藤 泰司	吹上 謙一 高橋 大介
放射線科	部長	田中 健寛	
麻酔科	部長	辻村 茂久	
歯科・歯科口腔外科	部長	福辻 美貴	
臨床検査科	部長	鳥井 郁子	河流 陽子
病理診断科	部長	鳥井 郁子	
健診科	部長	河流 陽子	中本 泰生
薬剤部	部長	佐原 敏之	
診療放射線部	技師長	石原 正仁	
臨床検査部	技師長	稲田 孝	
リハビリテーション部	士長	権藤 要	
栄養管理室	副室長	東 由里	
看護部	副看護部長	村上 博美	植野 里美
総務企画課	課長	松本 祥敬	
経理課	課長	植山 邦彦	
医事課	課長	長谷川 秀樹	
管理課	課長(兼任)	松本 祥敬	
訪問看護ステーション	所長(兼任)	植野 里美	

(令和6年12月31日現在)

						非常勤職員																									
介護福祉士	介護支援専門員	介護員	看護助手	その他助手等	医師 医師事務作業補助員	計	(再掲) 任期付職員	医師数		医療技術職		看護職		事務職		技能職		福祉職		介護職		療養介助職		医師事務作業補助員		計		総計			
								実数	換算数	実数	換算数	実数	換算数	実数	換算数	実数	換算数	実数	換算数	実数	換算数	実数	換算数	実数	換算数	実数	換算数	実数	換算数	実数	換算数
					6	22	7																	21	164	21	164	43	384		
						1	1																				0	0.0	1	1.0	
						0																					0	0.0	0	0.0	
						2	1																				0	0.0	2	2.0	
						6	2	1	0.5																		1	0.5	7	6.5	
						2																					0	0.0	2	2.0	
						5																					0	0.0	5	5.0	
						5																					0	0.0	5	5.0	
						17	6																				0	0.0	17	17.0	
						2																					0	0.0	2	2.0	
						1	1																				0	0.0	1	1.0	
						0																					0	0.0	0	0.0	
						1																					0	0.0	1	1.0	
						0																					0	0.0	0	0.0	
						4	2																				0	0.0	4	4.0	
						0																					0	0.0	0	0.0	
						1																					0	0.0	1	1.0	
						2	1																				0	0.0	2	2.0	
						1																					0	0.0	1	1.0	
						5	5																				0	0.0	5	5.0	
						3																					0	0.0	3	3.0	
						0						2	0.8														2	0.8	2	0.8	
						5																					0	0.0	5	5.0	
						5	5																				0	0.0	5	5.0	
0	0	0	0	0	6	85	26	1	0.5	0	0.0	2	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	21	164	24	17.7	109	102.7
						26																									
						1																					0	0.0	1	1.0	
				1		21	1	1	0.8													2	1.6				3	2.4	24	23.4	
						35	1							1	0.5												1	0.5	36	35.5	
						23																					0	0.0	23	23.0	
						7																					0	0.0	7	7.0	
						77				5	1.8																5	1.8	82	78.8	
						23	2					1	0.3														1	0.3	24	23.3	
						0																					0	0.0	0	0.0	
						12						1	0.8														1	0.8	13	12.8	
						8																					0	0.0	8	8.0	
						2																					0	0.0	2	2.0	
						4							1	0.8													1	0.8	5	4.8	
						10																					0	0.0	10	10.0	
5			8	9		269	3					3	2.0						3	1.5	22	14.7				28	18.2	297	287.2		
						0																					0	0.0	0	0.0	
						0																					0	0.0	0	0.0	
						25	4					10	6.1														10	6.1	35	31.1	
						38						1	0.8														1	0.8	39	38.8	
						12								4	3.2	5	4.0										9	7.2	21	19.2	
						6								3	2.4												3	2.4	9	8.4	
						9																					0	0.0	9	9.0	
						0																					0	0.0	0	0.0	
						0																					0	0.0	0	0.0	
						0																					0	0.0	0	0.0	
						0																					0	0.0	0	0.0	
						10	1					1	0.5														1	0.5	11	10.5	
						4																					0	0.0	4	4.0	
5	0	0	8	10	0	596	12	1	0.8	5	1.8	17	10.5	8	6.4	6	4.5	0	0.0	3	1.5	24	16.3	0	0.0	64	41.8	660	637.8		
			1	1		12																									
5	0	0	8	10	6	681		2	1.3	5	1.8	19	11.3	8	6.4	6	4.5	0	0.0	3	1.5	24	16.3	21	16.4	88	59.5	769	740.5		
0	0	0	1	1	0	38																									
						42																									

(令和6年12月1日現在)

■指定・認定施設一覧

指定・認定施設の名称	学会名
日本麻酔科学会麻酔科認定病院	日本麻酔科学会
日本整形外科学会専門医研修施設	日本整形外科学会
日本消化器外科学会専門医修練施設	日本消化器外科学会
日本泌尿器科学会専門医教育施設（拠点教育施設）	日本泌尿器科学会
日本皮膚科学会認定専門医研修施設	日本皮膚科学会
日本リハビリテーション医学会研修施設	日本リハビリテーション医学会
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	日本循環器学会
日本神経学会専門医制度准教育施設	日本神経学会
日本透析医学会教育関連施設	日本透析医学会
日本臨床細胞学会認定施設	日本臨床細胞学会
日本脳卒中学会認定研修教育施設	日本脳卒中学会
日本手外科学会基幹研修施設	日本手外科学会
日本がん治療認定医機構認定研修施設	日本がん治療認定医機構
日本臨床腫瘍学会認定研修特別連携施設	日本臨床腫瘍学会
日本消化器病学会認定施設	日本消化器病学会
日本臨床細胞学会認定教育研修施設	日本臨床細胞学会
日本消化器内視鏡学会認定指導施設	日本消化器内視鏡学会
日本超音波医学会認定超音波専門医研修基幹施設	日本超音波学会
日本病理学会登録施設	日本病理学会
日本小児科学会小児科専門医研修施設	日本小児科学会
日本糖尿病学会認定教育施設	日本糖尿病学会
日本リウマチ学会教育施設	日本リウマチ学会
日本眼科学会専門医制度研修施設	日本眼科学会
日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設	日本脊椎脊髄病学会
日本外科学会外科専門医制度関連施設	日本外科学会
内科領域専門研修プログラム基幹施設	日本内科学会
日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設	日本アレルギー学会
日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター	日本脳卒中学会
呼吸器外科専門医合同委員会認定専門研修連携施設	呼吸器外科専門医合同委員会
日本脊椎脊髄病学会椎間板酵素注入法実施可能施設	日本脊椎脊髄病学会
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設	日本不整脈心電学会
日本脈管学会認定研修関連施設	日本脈管学会
日本胆道学会指導施設	日本胆道学会
日本血栓止血学会認定施設	日本血栓止血学会
日本消化管学会指導連携施設	日本消化管学会
日本肝臓学会肝臓専門医関連施設	日本肝臓学会
総合診療領域専門研修プログラム基幹施設	日本専門医機構

（令和6年12月31日現在）

医事統計

科別入院患者数

病棟別病床利用状況

科別外来患者数（新患）

科別外来患者数（再診）

紹介率・逆紹介率

手術件数

救急搬送件数

科別入院患者数 2024年

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~12月
実日数	31	29	31	30	31	30	31	31	30	31	30	31	366
卒中	2,561	2,824	3,033	2,551	2,484	1,920	2,095	1,869	1,582	1,755	1,685	1,660	26,019
脳内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎臓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和	234	246	298	250	417	333	404	387	315	327	258	380	3,849
糖尿	194	189	217	271	217	169	179	186	194	170	154	102	2,242
血・免	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循環	293	328	226	207	227	194	239	300	216	224	235	227	2,916
消化	540	494	775	631	722	848	919	601	493	507	627	500	7,657
呼吸	0	0	0	56	130	200	295	284	216	220	232	153	1,786
免疫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合	132	197	235	229	242	132	163	143	140	91	78	97	1,879
精神	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児	385	545	631	644	589	532	511	442	477	630	636	655	6,677
外科	525	512	500	353	476	464	403	492	408	560	639	469	5,801
整形	4,277	4,068	4,317	4,008	4,347	4,262	4,556	4,761	4,784	5,129	4,809	4,591	53,909
脳外	0	0	15	138	148	100	213	293	213	276	230	158	1,784
脳血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚	77	41	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	129
泌尿	419	433	333	321	322	332	316	347	292	328	199	170	3,812
産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	0	0	0	8	12	12	13	11	11	34	17	18	136
耳鼻	59	94	73	66	42	35	59	63	67	52	42	46	698
理学	26	4	48	11	51	122	259	295	242	228	208	213	1,707
放射	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心外	52	120	86	35	26	15	10	39	72	41	62	93	651
透析	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成	0	0	0	20	79	87	60	127	117	136	95	91	812
救急	130	52	54	33	74	69	78	78	57	38	47	65	775
麻酔（再掲）	170	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	170
歯・口外	1	1	8	7	1	2	0	3	0	4	1	1	29
新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9,905	10,148	10,860	9,839	10,606	9,828	10,772	10,721	9,896	10,750	10,254	9,689	123,268

病棟別病床利用状況 2024年

	月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	実日数	31	29	31	30	31	30	31	31	30	31	30	31
新 1	入院	1	2	0	0	0	2	0	3	5	1	3	1
	退院	19	30	35	33	30	27	25	36	29	27	33	32
	病床利用率	92.1	95.0	91.8	88.6	97.8	93.5	95.8	94.3	96.0	98.4	98.1	92.2
	平均在院日数	67.0	43.1	46.9	39.3	57.5	57.2	76.3	50.1	56.6	80.4	62.3	54.1
新 2	入院			103	112	113	97	114	120	123	121	103	91
	退院			118	104	103	100	104	125	118	115	110	105
	病床利用率			82.1	87.5	87.8	86.3	90.5	88.4	83.4	91.1	90.3	64.8
	平均在院日数			12.5	12.3	12.2	13.3	11.9	11.1	10.4	11.1	12.4	9.7
新 3	入院	65	70	0	0	0	1	1	0	2	2	2	1
	退院	46	65	18	24	19	26	19	28	27	22	22	25
	病床利用率	84.7	90.0	95.8	87.8	96.5	88.3	95.4	96.0	93.1	96.9	97.6	93.1
	平均在院日数	17.8	14.2	32.2	43.9	43.2	46.0	81.6	50.6	49.6	80.1	60.1	53.7
新 4	入院	33	34										
	退院	16	13										
	病床利用率	80.2	98.6										
	平均在院日数	18.7	19.9										
3 東	入院	50	61										
	退院	41	59										
	病床利用率	83.3	86.4										
	平均在院日数	15.9	10.2										
3 西	入院	101	97	126	127	129	113	109	105	101	112	122	125
	退院	80	95	137	110	127	112	110	119	100	103	121	134
	病床利用率	57.3	77.5	63.9	75.4	75.0	88.5	86.6	81.0	69.5	82.6	84.9	86.2
	平均在院日数	5.6	6.6	5.6	5.2	5.0	6.9	7.2	6.9	6.0	6.7	5.9	5.9
4 東	入院	79	48	58	54	45	57	66	39	42	44	43	49
	退院	37	27	34	30	17	32	33	20	22	13	20	24
	病床利用率	78.7	86.1	87.7	89.2	88.3	84.4	97.3	89.5	86.3	90.8	89.9	83.7
	平均在院日数	13.1	18.7	14.3	14.0	19.0	14.6	14.8	20.2	18.8	21.0	20.1	14.4
4 西	入院	2	1	45	38	48	40	26	39	25	43	34	45
	退院	22	14	22	22	18	27	19	20	6	21	17	29
	病床利用率	88.7	92.0	86.1	87.0	87.8	86.9	71.2	90.3	93.3	88.8	91.2	84.8
	平均在院日数	43.1	64.7	8.9	15.9	16.0	16.1	19.9	19.7	26.1	18.1	19.4	14.1
5 東	入院	32	17	17	30	40	28	51	42	41	55	43	39
	退院	26	28	21	21	38	27	31	47	33	43	43	34
	病床利用率	73.4	89.0	79.6	81.6	77.6	72.4	85.3	83.4	82.0	86.9	84.6	76.7
	平均在院日数	12.1	14.0	12.4	15.4	16.8	17.7	14.3	13.3	15.3	13.9	14.7	15.5
SCU	入院	25	27	19	24	21	20	26	20	19	23	23	17
	退院	0	0	0	0	1	3	2	2	3	2	1	1
	病床利用率	98.4	100.0	88.7	97.8	96.2	92.2	87.6	97.3	92.2	93.5	98.9	88.7
	平均在院日数	6.1	4.4	6.3	6.8	7.8	6.5	5.9	8.5	8.3	7.3	6.8	8.3
5 西	入院	8	12	8	16	19	11	23	21	19	13	21	21
	退院	13	28	16	18	20	17	25	21	17	14	20	28
	病床利用率	99.0	92.2	94.3	97.9	98.7	72.6	97.1	87.5	83.1	91.4	85.9	69.7
	平均在院日数	45.3	21.0	24.2	20.3	23.2	20.6	18.2	18.7	18.7	20.8	16.5	12.9
6 東	入院	26	40	31	29	30	40	48	45	44	62	50	37
	退院	42	69	72	61	68	64	65	89	62	97	92	71
	病床利用率	68.4	88.1	80.7	73.6	78.7	74.8	72.1	76.5	69.3	76.9	72.0	70.7
	平均在院日数	20.6	16.4	17.4	15.1	15.3	16.3	14.0	13.2	14.1	11.5	12.2	14.3

	月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	実日数	31	29	31	30	31	30	31	31	30	31	30	31
6 西	入院	2	1	3	1	4	3	2	5	0	3	0	5
	退院	9	11	9	5	8	10	6	6	2	6	7	7
	病床利用率	91.2	93.8	84.7	85.0	76.6	64.2	96.8	86.3	24.2	34.7	54.2	40.3
	平均在院日数	36.0	11.8	11.9	20.4	15.3	11.7	26.4	23.3	29.0	11.7	14.4	11.8
7 階	入院	81	76	86	95	93	105	128	102	84	97	90	117
	退院	57	65	76	92	89	90	94	93	69	78	88	120
	病床利用率	88.4	93.5	85.0	78.2	81.0	79.7	88.6	88.1	85.3	86.6	83.1	72.4
	平均在院日数	14.1	13.4	16.2	12.1	14.5	12.2	11.5	12.6	15.9	13.6	13.2	9.3
第2	入院	8	12	7	12	11	11	8	12	11	15	9	9
	退院	9	13	11	9	13	17	9	20	12	17	11	9
	病床利用率	48.2	56.0	57.9	52.3	80.2	68.1	80.4	79.2	66.0	65.9	53.8	77.2
	平均在院日数	25.2	18.6	31.4	20.9	29.2	20.4	36.3	21.2	25.4	19.2	24.6	36.5
HCU	入院	20	16	22	7	9	13	4	7	4	7	10	9
	退院	4	3	2	4	3	4	4	2	5	3	4	1
	病床利用率	91.4	81.0	90.3	85.0	78.5	88.3	88.7	81.7	83.3	79.6	83.3	78.5
	平均在院日数	2.9	2.7	3.5	2.9	2.9	3.5	3.8	3.2	3.7	2.5	2.8	2.7
合計	入院	533	514	525	545	562	541	606	560	520	598	553	566
	退院	421	520	571	533	554	556	546	628	505	561	589	620
	病床利用率	81.1	79.2	75.1	74.2	77.4	74.1	78.6	78.2	74.8	78.5	77.3	70.7
	平均在院日数	16.1	15.0	14.2	13.9	15.7	15.3	15.6	15.3	16.2	15.3	15.1	13.5
(7対1) (7対1)													
全体	病床利用率	81.1	86.2	84.2	74.2	77.4	74.1	78.6	78.2	74.8	78.5	77.3	70.7
	入院患者数	9,905	10,148	10,860	9,840	10,606	9,828	10,772	10,721	9,896	10,750	10,254	9,688
	新入院患者数	533	514	525	545	562	541	606	560	520	598	553	566
急性期	病床利用率	83.4	90.6	85.1	85.6	85.8	81.3	88.3	87.9	85.4	89.1	87.5	74.5
	入院患者数	5,277	5,360	5,669	5,241	5,425	4,974	5,582	5,562	5,229	5,634	5,352	4,710
	新入院患者数	348	318	315	345	358	338	408	363	334	373	334	362

科別外来患者数（新患） 2024年

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1～12月
実日数	19	19	20	21	21	20	22	21	19	23	21	21	247
卒中	37	33	40	37	31	35	26	24	22	32	24	25	366
脳内	11	19	12	20	18	15	18	16	12	10	10	8	169
腎臓	1	3	1	1	2	3	2	0	0	5	2	1	21
緩和	12	8	10	23	11	9	21	13	17	16	11	17	168
糖尿	3	2	2	2	3	8	3	1	5	2	1	4	36
血・免	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循環	21	18	23	24	14	24	16	25	16	25	34	14	254
消化	51	52	61	74	60	65	62	49	53	69	57	77	730
呼吸	4	2	4	6	6	5	11	8	4	8	6	6	70
免疫	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	4
感染	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
総合	32	27	25	26	27	36	48	40	24	26	29	21	361
精神	0	2	2	1	1	2	2	2	2	2	1	2	19
小児	54	64	53	71	77	60	68	69	64	67	64	86	797
外科	6	11	10	12	11	10	25	12	11	15	16	24	163
整形	222	191	197	292	295	251	336	298	237	244	223	264	3,050
脳外	11	2	6	13	18	12	9	10	11	9	17	14	132
脳血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚	36	37	9	13	11	13	16	14	22	12	8	10	201
泌尿	33	31	27	23	24	45	38	21	25	30	32	34	363
産婦	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
眼科	5	10	7	11	10	14	12	17	8	5	10	8	117
耳鼻	54	45	46	54	53	51	39	37	43	39	35	43	539
理学	0	2	0	1	2	3	2	0	4	2	3	2	21
放射	82	79	89	110	93	96	93	79	91	121	103	94	1,130
呼外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心外	4	5	6	5	7	6	10	4	6	9	5	10	77
透析	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成	10	13	1	20	17	13	27	20	18	20	18	18	195
救急	37	26	18	27	42	22	31	27	21	11	19	64	345
麻酔	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
歯・口外	73	86	115	121	117	83	145	142	121	148	141	156	1,448
新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	799	768	767	987	951	882	1,060	928	837	928	871	1,002	10,780

科別外来患者数（再診） 2024年

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1～12月
実日数	19	19	20	21	21	20	22	21	19	23	21	21	247
卒中	270	293	264	309	302	264	290	281	262	326	295	285	3,441
脳内	171	157	154	205	167	152	185	177	148	187	145	152	2,000
腎臓	55	66	60	86	57	69	81	64	58	59	63	67	785
緩和	59	41	34	44	46	39	55	35	34	53	32	51	523
糖尿	237	237	235	238	257	225	247	244	223	249	232	242	2,866
血・免	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循環	228	225	280	310	255	273	263	245	246	296	271	294	3,186
消化	687	742	882	884	841	833	949	788	831	1,003	876	798	10,114
呼吸	52	51	72	74	82	93	98	115	100	113	101	110	1,061
免疫	44	35	40	39	45	41	54	43	42	44	36	40	503
感染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合	98	76	90	95	87	92	122	112	86	88	92	102	1,140
精神	7	6	6	5	4	3	7	4	3	4	2	2	53
小児	449	436	524	437	485	419	533	475	435	439	440	515	5,587
外科	340	324	310	380	329	330	333	339	326	357	369	325	4,062
整形	2,028	1,922	1,985	1,884	2,035	1,948	2,242	2,099	1,921	2,198	2,027	2,085	24,374
脳外	52	41	38	62	54	54	59	35	51	52	52	50	600
脳血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚	460	421	295	321	250	238	257	241	235	235	236	242	3,431
泌尿	805	835	951	885	839	834	862	808	829	878	799	781	10,106
産婦	62	67	74	56	75	69	50	62	56	58	78	65	772
眼科	336	338	388	372	372	390	420	366	409	429	457	496	4,773
耳鼻	455	559	526	517	624	420	456	436	438	442	449	473	5,795
理学	115	114	96	33	48	64	89	88	86	113	116	106	1,068
放射	15	34	48	22	16	18	34	37	52	45	14	22	357
呼外	36	12	55	33	22	27	22	34	34	29	15	33	352
心外	90	80	88	79	92	80	91	74	85	86	79	82	1,006
透析	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56
形成	97	45	12	93	150	140	180	210	152	208	214	216	1,717
救急	21	21	14	8	14	15	12	16	23	8	14	24	190
麻酔	41	56	50	40	42	45	66	66	44	55	54	57	616
歯・口外	202	242	265	292	313	286	309	328	339	412	378	329	3,695
新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7,568	7,476	7,836	7,803	7,903	7,461	8,366	7,822	7,548	8,466	7,936	8,044	94,229

紹介率・逆紹介率 2024年

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~12月
紹介率	70.7%	68.3%	67.8%	74.6%	74.1%	73.6%	67.4%	65.8%	67.3%	67.1%	64.9%	62.5%	68.7%
逆紹介率	124.0%	148.7%	138.6%	127.9%	127.9%	134.9%	117.9%	132.2%	122.9%	116.4%	119.1%	125.0%	128.0%

手術件数 2024年

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~12月
総手術件数	405	421	404	447	463	485	481	506	417	565	472	455	5,521
手術室手術件数	228	230	220	221	238	246	258	285	220	300	254	241	2,941

救急搬送件数 2024年

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~12月
救急搬送件数	225	191	193	169	212	212	258	227	187	185	168	229	2,456
救急搬送入院件数	137	126	111	107	132	120	139	123	116	108	97	128	1,444
(救急からの)入院比率	60.9%	66.0%	57.5%	63.3%	62.3%	56.6%	53.9%	54.2%	62.0%	58.4%	57.7%	55.9%	58.8%

退院患者統計

医療実績

診療科別患者数・死亡分析

死亡患者分析

診療科別・月別患者数

大分類別・転帰別患者数

診療科別・在院期間別患者数

診療科別上位疾患（10位まで）

悪性新生物に関する統計

医療実績

項 目	内 訳	当 院	評価基準	計 算 方 法
総退院患者数		6,604人		
65歳以上退院患者数		3,801人 (57.6%)		
75歳以上退院患者数		2,756人 (41.7%)		
一日平均在院患者数		336.8人		
病床利用率		77.9%	80~90%が妥当	$\frac{\text{入院患者延数}}{\text{実病床数}} \times 366 \times 100$
病床回転数		15.1回		$\frac{\text{年間患者実数}}{\text{割り当て病床数}}$
粗死亡数 (率)		228人 (3.5%)	4%以内	$\frac{\text{死亡患者総数}}{\text{退院患者総数}} \times 100$
精死亡数 (率)		197人 (3.0%)	粗死亡率より 0.5%低い	$\frac{\text{入院48時間以降死亡数}}{\text{退院患者総数}} \times 100$
術後10日以内死亡数 (率)		2人 (0.1%)	1%以内	$\frac{\text{術後10日以内死亡数}}{\text{総手術件数}} \times 100$
剖検数 (率)		1人 (0.4%)	25%以上	$\frac{\text{剖 検 数}}{\text{全 死 亡 患 者 数}} \times 100$

診療科別患者数・死亡分析

診療科	退院患者数			粗死亡数	粗死亡率	精死亡数	精死亡率	剖検数	剖検率
	男	女	合計						
脳卒中内科	345	315	660	39	5.9%	29	4.4%		
緩和ケア科	79	72	151	119	78.8%	107	70.9%		
糖尿病内科	83	62	145	3	2.1%	3	2.1%		
循環器内科	186	127	313	10	3.2%	10	3.2%		
消化器内科	445	359	804	11	1.4%	10	1.2%		
呼吸器内科	25	23	48	8	16.7%	8	16.7%		
総合内科	62	58	120	4	3.3%	4	3.3%		
小児科	676	581	1,257						
外科	238	132	370	15	4.1%	13	3.5%		
整形外科	721	1,016	1,737	8	0.5%	8	0.5%	1	12.5%
脳神経外科	31	35	66	4	6.1%	3	4.5%		
皮膚科	6	5	11						
泌尿器科	367	87	454	3	0.7%	3	0.7%		
眼科	58	50	108						
リハビリテーション科	14	18	32						
形成外科	46	20	66	1	1.5%	1	1.5%		
歯科口腔外科	9	11	20						
耳鼻咽喉科	104	61	165						
救急科	5	7	12	3	25.0%	0	0.0%		
循環器外科	25	40	65						
総計	3,525	3,079	6,604	228	3.5%	199	3.0%	1	0.4%

死亡患者分析

月	粗死亡	入院48時間 以内死亡	精死亡	術後48時間 以内死亡	術後10日 以内死亡	術後30日 以内死亡	剖 検	ネクロプシー
1月	18	3	15	0	0	0	0	0
2月	14	1	13	0	0	0	0	0
3月	16	1	15	0	0	0	0	0
4月	17	4	13	1	0	0	0	0
5月	23	3	20	0	0	0	0	0
6月	23	2	21	0	0	1	0	0
7月	14	2	12	0	1	1	1	0
8月	24	2	22	1	0	0	0	0
9月	21	3	18	0	0	0	0	0
10月	22	5	17	0	0	0	0	0
11月	21	3	18	0	1	1	0	0
12月	15	2	13	0	0	1	0	0
計	228	31	197	2	2	4	1	0
%	3.5%	0.5%	3.0%	0.9%	0.9%	1.8%	0.4%	0.0%

* 総退院患者数 6,604

診療科別・月別患者数

		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	死亡	剖検
合 計	合計	6,604	421	520	571	533	554	556	546	628	505	561	589	620	227	1
	男	3,525	224	272	290	289	288	297	307	351	285	287	306	329	127	1
	女	3,079	197	248	281	244	266	259	239	277	220	274	283	291	100	
脳卒中内科	合計	660	54	63	66	58	53	59	55	61	44	54	45	48	39	
	男	345	27	29	40	32	28	31	32	34	20	24	27	21	20	
	女	315	27	34	26	26	25	28	23	27	24	30	18	27	19	
緩和ケア科	合計	151	8	12	11	9	16	17	10	19	12	18	11	8	119	
	男	79	5	7	4	5	9	9	5	10	7	10	4	4	65	
	女	72	3	5	7	4	7	8	5	9	5	8	7	4	54	
糖尿病内科	合計	145	11	16	11	15	9	13	10	17	12	10	10	11	3	
	男	83	6	10	3	7	6	6	8	11	9	4	5	8	1	
	女	62	5	6	8	8	3	7	2	6	3	6	5	3	2	
循環器内科	合計	313	15	35	27	21	24	24	21	32	26	23	36	29	10	
	男	186	9	22	17	15	17	12	15	24	11	6	21	17	6	
	女	127	6	13	10	6	7	12	6	8	15	17	15	12	4	
消化器内科	合計	804	45	57	72	58	84	72	77	80	66	68	62	63	11	
	男	445	26	32	34	29	44	38	47	48	43	40	29	35	8	
	女	359	19	25	38	29	40	34	30	32	23	28	33	28	3	
呼吸器内科	合計	48				4	5	2	4	8	9	3	7	6	8	
	男	25				1	3	1	1	4	7	2	3	3	4	
	女	23				3	2	1	3	4	2	1	4	3	4	
総合内科	合計	120	9	14	11	8	10	11	10	12	6	11	6	12	4	
	男	62	5	9	6	3	5	4	7	6	3	6	4	4	1	
	女	58	4	5	5	5	5	7	3	6	3	5	2	8	3	
小児科	合計	1,257	72	89	120	113	120	101	98	98	86	101	120	139		
	男	676	42	41	59	63	63	53	51	59	46	58	68	73		
	女	581	30	48	61	50	57	48	47	39	40	43	52	66		
外科	合計	370	25	32	29	25	24	26	30	36	28	28	40	47	14	
	男	238	13	19	19	13	14	17	23	19	18	21	27	35	8	
	女	132	12	13	10	12	10	9	7	17	10	7	13	12	6	
整形外科	合計	1,737	122	133	149	147	116	150	140	172	135	141	163	169	8	1
	男	721	53	53	57	72	48	63	59	75	64	50	57	70	5	1
	女	1,016	69	80	92	75	68	87	81	97	71	91	106	99	3	
脳神経外科	合計	66				3	12	9	6	6	7	12	5	6	4	
	男	31				1	3	6	1	3	4	7	4	2	3	
	女	35				2	9	3	5	3	3	5	1	4	1	
皮膚科	合計	11	5	4	2											
	男	6	3	2	1											
	女	5	2	2	1											
泌尿器科	合計	454	30	41	43	34	37	35	48	37	36	43	35	35	3	
	男	367	23	34	31	27	28	30	39	29	31	36	32	27	3	
	女	87	7	7	12	7	9	5	9	8	5	7	3	8		
眼科	合計	108				8	12	12	12	11	11	14	15	13		
	男	58				6	7	6	5	5	7	6	9	7		
	女	50				2	5	6	7	6	4	8	6	6		
リハビリ科	合計	32	3		4		2	1	2	5	5	4	2	4		
	男	14			1				2	3	2	1	1	4		
	女	18	3		3		2	1		2	3	3	1			
形成外科	合計	66	1			3	10	5	8	9	3	6	11	10	1	
	男	46	1			3	6	5	4	7	3	5	5	7	1	
	女	20					4		4	2		1	6	3		

		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	死亡	剖検
歯科口腔外科	合計	20	1	1	2	4	1	2		3		4	1	1		
	男	9			1	3		1		2		1		1		
	女	11	1	1	1	1	1	1		1		3	1			
耳鼻咽喉科	合計	165	13	14	18	16	13	11	9	16	16	14	13	12		
	男	104	8	9	15	8	5	10	7	8	9	8	8	9		
	女	61	5	5	3	8	8	1	2	8	7	6	5	3		
救急科	合計	12	4				1	1	1			1	3	1	3	
	男	5	2					1	1				1		2	
	女	7	2				1					1	2	1	1	
循環器外科	合計	65	3	9	6	7	5	5	5	6	3	6	4	6		
	男	25	1	5	2	1	2	4		4	1	2	1	2		
	女	40	2	4	4	6	3	1	5	2	2	4	3	4		

大分類別・転帰別患者数

		合計	治癒	死亡	中止	転医	軽快	その他	自主	寛解	不変	増悪	検査
合 計	合計	6,604	983	228	3	264	4,666	4	5	33	195	12	211
	男	3,525	576	127	1	125	2,402	0	5	19	113	7	150
	女	3,079	407	101	2	139	2,264	4	0	14	82	5	61
01：感染症及び寄生虫症	合計	242	43	5	0	4	185	0	0	2	2	0	1
	男	120	26	3		2	86			2	1		
	女	122	17	2		2	99				1		1
02：新生物	合計	929	150	141	0	21	472	0	0	15	67	9	54
	男	588	100	80		7	297			8	41	5	50
	女	341	50	61		14	175			7	26	4	4
03：血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	合計	25	1	2	0	5	16	0	0	1	0	0	0
	男	16		2		4	9			1			
	女	9	1			1	7						
04：内分泌、栄養および代謝疾患	合計	145	7	1	0	5	104	0	1	1	2	2	22
	男	76	2			3	59		1		1	1	9
	女	69	5	1		2	45			1	1	1	13
05：精神および行動の障害	合計	34	2	0	0	3	18	0	0	1	9	0	1
	男	11	1				6			1	2		1
	女	23	1			3	12				7		
06：神経系の疾患	合計	190	17	2	0	15	110	3	1	1	15	0	26
	男	102	9	1		6	58		1		7		20
	女	88	8	1		9	52	3		1	8		6
07：眼および付属器の疾患	合計	117	106	0	0	0	10	0	0	0	1	0	0
	男	60	56				4						
	女	57	50				6				1		
08：耳および乳様突起の疾患	合計	83	15	0	0	0	66	0	0	0	2	0	0
	男	31	7				24						
	女	52	8				42				2		
09：循環器系の疾患	合計	774	81	33	0	65	539	1	0	4	39	1	11
	男	421	41	18		33	295			3	22	1	8
	女	353	40	15		32	244	1		1	17		3
10：呼吸器系の疾患	合計	1,046	146	23	0	26	843	0	1	3	4	0	0
	男	596	81	10		15	484		1	2	3		
	女	450	65	13		11	359			1	1		
11：消化器系の疾患	合計	505	112	6	0	17	341	0	0	4	11	0	14
	男	292	69	4		9	199			2	4		5
	女	213	43	2		8	142			2	7		9
12：皮膚および皮下組織の疾患	合計	71	7	1	0	5	56	0	0	0	2	0	0
	男	47	6	1		4	34				2		
	女	24	1			1	22						
13：筋骨格系および結合組織の疾患	合計	798	94	2	2	22	661	0	0	0	10	0	7
	男	303	52			11	232				6		2
	女	495	42	2	2	11	429				4		5
14：腎尿路生殖器系の疾患	合計	368	89	2	0	10	233	0	1	0	13	0	20
	男	247	67	1		5	142		1		11		20
	女	121	22	1		5	91				2		
15：妊娠、分娩及び産じょく<褥>	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0											
	女	0											
16：周産期に発生した病態	合計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	男	1											1
	女	0											
17：先天奇形、変形および染色体異常	合計	26	0	0	0	1	20	0	0	0	1	0	4
	男	18				1	13				1		3
	女	8					7						1
18：症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	合計	27	2	1	0	1	21	0	0	0	1	0	1
	男	17	1	1			14				1		
	女	10	1			1	7						1
19：損傷、中毒およびその他の外因の影響	合計	941	90	5	1	48	730	0	1	1	16	0	49
	男	435	45	4	1	17	325		1		11		31
	女	506	45	1		31	405			1	5		18
20：傷病及び死亡の外因	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0											
	女	0											
21：健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	合計	114	7	0	0	2	105	0	0	0	0	0	0
	男	65	6			1	58						
	女	49	1			1	47						
22：特殊目的用コード	合計	168	14	4	0	14	136	0	0	0	0	0	0
	男	79	7	2		7	63						
	女	89	7	2		7	73						

診療科別・在院期間別患者数

		合計	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	32～61日	62～91日	3～6ヶ月	6～12ヶ月	1～2年	2年～
合 計	合計	6,604	3,399	998	583	427	662	306	216	13		
	男	3,525	1,996	579	268	175	266	134	99	8		
	女	3,079	1,403	419	315	252	396	172	117	5		
脳卒中内科	合計	660	121	129	86	60	101	78	78	7		
	男	345	63	64	47	25	60	43	39	4		
	女	315	58	65	39	35	41	35	39	3		
緩和ケア科	合計	151	37	30	24	12	33	6	9			
	男	79	18	21	11	4	15	4	6			
	女	72	19	9	13	8	18	2	3			
糖尿病内科	合計	145	34	58	21	16	12	4				
	男	83	17	39	7	9	8	3				
	女	62	17	19	14	7	4	1				
循環器内科	合計	313	219	40	14	12	19	9				
	男	186	141	16	6	7	9	7				
	女	127	78	24	8	5	10	2				
消化器内科	合計	804	498	175	52	35	32	11	1			
	男	445	287	101	26	12	12	7				
	女	359	211	74	26	23	20	4	1			
呼吸器内科	合計	48	10	8	10	4	8	4	3	1		
	男	25	7	3	6	2	5	1	1			
	女	23	3	5	4	2	3	3	2	1		
総合内科	合計	120	52	27	13	9	14	5				
	男	62	25	14	8	5	8	2				
	女	58	27	13	5	4	6	3				
小児科	合計	1,257	1,120	98	17	11	9	1	1			
	男	676	606	55	5	6	3	1				
	女	581	514	43	12	5	6		1			
外 科	合計	370	178	86	36	25	32	6	7			
	男	238	126	52	19	17	16	4	4			
	女	132	52	34	17	8	16	2	3			
整形外科	合計	1,737	431	187	265	215	360	168	106	5		
	男	721	235	105	108	72	102	53	42	4		
	女	1,016	196	82	157	143	258	115	64	1		
脳神経外科	合計	66	27	10	9	3	12	2	3			
	男	31	13	4	4		8	1	1			
	女	35	14	6	5	3	4	1	2			
皮膚科	合計	11	4	4	1	1	1					
	男	6	2	1	1	1	1					
	女	5	2	3								
泌尿器科	合計	454	301	91	28	15	13	4	2			
	男	367	250	73	19	11	9	4	1			
	女	87	51	18	9	4	4		1			
眼 科	合計	108	107	1								
	男	58	57	1								
	女	50	50									
リハビリ科	合計	32		10	4	2	5	6	5			
	男	14		3		1	3	3	4			
	女	18		7	4	1	2	3	1			
形成外科	合計	66	43	11	2	3	6	1				
	男	46	29	9	1	1	5	1				
	女	20	14	2	1	2	1					

		合計	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	32～61日	62～91日	3～6ヶ月	6～12ヶ月	1～2年	2年～
歯科口腔外科	合計	20	20									
	男	9	9									
	女	11	11									
耳鼻咽喉科	合計	165	138	26			1					
	男	104	88	16								
	女	61	50	10			1					
救急科	合計	12	11			1						
	男	5	5									
	女	7	6			1						
循環器外科	合計	65	48	7	1	3	4	1	1			
	男	25	18	2		2	2		1			
	女	40	30	5	1	1	2	1				

診療科別上位疾患（10位まで）

診療科	順	疾 患 名	件数
脳 卒 中 内 科	1	脳梗塞	312
	2	COVID-19	53
	3	脳内出血	49
	4	固形物及び液状物による肺臓炎	47
	5	てんかん	29
	6	前庭機能障害	18
	7	一過性脳虚血発作及び関連症候群	13
	8	急性尿細管間質性腎炎	12
	9	その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害	11
	10	てんかん重積（状態）	8
緩 和 ケ ア 科	1	気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	22
	2	膵の悪性新生物＜腫瘍＞	17
	3	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	14
	4	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	11
	5	前立腺の悪性新生物＜腫瘍＞	11
	6	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	10
	7	直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	8
	8	食道の悪性新生物＜腫瘍＞	7
	9	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	6
	10	膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞	5
糖 尿 病 内 科	1	2型＜インスリン非依存性＞糖尿病＜NIDDM＞	44
	2	固形物及び液状物による肺臓炎	26
	3	COVID-19	26
	4	肺炎、病原体不詳	7
	5	尿路系のその他の障害	5
	6	詳細不明の糖尿病	4
	7	体液量減少（症）	4
	8	部位不明の細菌感染症	4
	9	細菌性肺炎、他に分類されないもの	3
	10	気管支炎、急性又は慢性と明示されないもの	2
循 環 器 内 科	1	心房細動及び粗動	81
	2	狭心症	54
	3	アテローム＜じゅく＜粥＞状＞硬化（症）	37
	4	心不全	28
	5	COVID-19	25
	6	発作性頻拍（症）	15
	7	肺炎、病原体不詳	10
	8	慢性虚血性心疾患	8
	9	房室ブロック及び左脚ブロック	7
	10	心臓及び血管のプロテーシス、挿入物及び移植片の合併症	7
消 化 器 内 科	1	結腸、直腸、肛門及び肛門管の良性新生物＜腫瘍＞	310
	2	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	53
	3	胆石症	53
	4	腸の憩室性疾患	29
	5	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	28
	6	固形物及び液状物による肺臓炎	25
	7	麻痺性イレウス及び腸閉塞、ヘルニアを伴わないもの	23
	8	腸の血行障害	20
	9	胆道のその他の疾患	19
	10	膵の悪性新生物＜腫瘍＞	18

診療科	順	疾患名	件数
呼吸器内科	1	細菌性肺炎、他に分類されないもの	9
	2	COVID-19	7
	3	アスペルギルス症	5
	4	その他の間質性肺疾患	4
	5	詳細不明のウイルス（性）脳炎	2
	6	肺炎、病原体不詳	2
	7	血清反応陽性関節リウマチ	2
	8	その他の敗血症	2
	9	骨髄異形成症候群	2
	10	膿胸（症）	1
総合内科	1	COVID-19	15
	2	固形物及び液状物による肺臓炎	14
	3	急性尿細管間質性腎炎	12
	4	肺炎、病原体不詳	5
	5	部位不明の細菌感染症	3
	6	その他の慢性閉塞性肺疾患	3
	7	蜂巣炎＜蜂窩織炎＞	3
	8	その他の全身性結合組織疾患	3
	9	詳細不明の認知症	3
	10	その他の筋障害	3
小児科	1	急性気管支炎	212
	2	細菌性肺炎、他に分類されないもの	114
	3	肺炎、病原体不詳	99
	4	その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	73
	5	喘息	68
	6	ウイルス肺炎、他に分類されないもの	52
	7	有害作用、他に分類されないもの	51
	8	皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症、他に分類されないもの	42
	9	ウイルス性及びその他の明示された腸管感染症	37
	10	COVID-19	33
外科	1	そけい＜鼠径＞ヘルニア	51
	2	胆石症	39
	3	麻痺性イレウス及び腸閉塞、ヘルニアを伴わないもの	30
	4	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	28
	5	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	27
	6	急性虫垂炎	21
	7	直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	19
	8	膣の悪性新生物＜腫瘍＞	18
	9	痔核及び肛門周囲静脈血栓症	13
	10	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	11
整形外科	1	膝関節症〔膝の関節症〕	217
	2	大腿骨骨折	158
	3	股関節症〔股関節部の関節症〕	116
	4	膝の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン	110
	5	その他の脊椎障害	101
	6	腰椎及び骨盤の骨折	93
	7	下腿の骨折、足首を含む	83
	8	前腕の骨折	78
	9	その他の椎間板障害	68
	10	肩及び上腕の骨折	55

診療科	順	疾患名	件数
脳神経外科	1	頭蓋内損傷	20
	2	脳梗塞	10
	3	脳内出血	10
	4	その他の非外傷性頭蓋内出血	7
	5	その他の脳血管疾患	6
	6	てんかん重積（状態）	3
	7	頭部の開放創	2
	8	くも膜下出血	2
	9	一過性脳虚血発作及び関連症候群	2
	10	その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	2
皮膚科	1	皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞	3
	2	蜂巣炎＜蜂窩織炎＞	2
	3	じょく＜褥＞瘡性潰瘍及び圧迫領域	2
	4	類天疱瘡	1
	5	帯状疱疹〔帯状ヘルペス〕	1
	6	陰茎の悪性新生物＜腫瘍＞	1
	7	詳細不明の糖尿病	1
泌尿器科	1	膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞	79
	2	閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	61
	3	腎結石及び尿管結石	59
	4	前立腺の悪性新生物＜腫瘍＞	53
	5	前立腺肥大（症）	44
	6	尿路系のその他の障害	22
	7	尿細管間質性腎炎，急性又は慢性と明示されないもの	18
	8	下部尿路結石	12
	9	腎盂を除く腎の悪性新生物＜腫瘍＞	10
	10	腎尿路の良性新生物＜腫瘍＞	8
眼科	1	老人性白内障	107
	2	詳細不明のタンパク＜蛋白＞エネルギー性栄養失調（症）	1
リハビリテーション科	1	脳梗塞	10
	2	脳血管疾患の続発・後遺症	7
	3	炎症性多発（性）ニューロパチ＜シ＞ー	4
	4	パーキンソン＜Parkinson＞病	3
	5	中枢神経系の炎症性疾患の続発・後遺症	3
	6	頭蓋内損傷	2
	7	脳性麻痺	1
	8	その他の脊髄疾患	1
	9	頸部の神経及び脊髄の損傷	1
	10	頭部損傷の続発・後遺症	1
形成外科	1	眼瞼のその他の障害	9
	2	頭蓋骨及び顔面骨の骨折	8
	3	じょく＜褥＞瘡性潰瘍及び圧迫領域	7
	4	良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞（脂肪腫を含む）	6
	5	皮膚のその他の良性新生物＜腫瘍＞	6
	6	線維芽細胞性障害	3
	7	蜂巣炎＜蜂窩織炎＞	3
	8	血管腫及びリンパ管腫、全ての部位	2
	9	その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物＜腫瘍＞	1
	10	結合組織及びその他の軟部組織のその他の良性新生物＜腫瘍＞	1

診療科	順	疾患名	件数
歯科・ 歯科口腔外科	1	歯髄及び根尖部歯周組織の疾患	13
	2	顎骨のその他の疾患	1
	3	紫斑病及びその他の出血性病態	1
	4	口内炎及び関連病変	1
	5	蜂巣炎<蜂窩織炎>	1
	6	処置の合併症、他に分類されないもの	1
	7	血管腫及びリンパ管腫、全ての部位	1
	8	歯及び歯の支持組織のその他の障害	1
耳鼻 咽喉 科	1	睡眠障害	28
	2	前庭機能障害	24
	3	慢性副鼻腔炎	21
	4	急性扁桃炎	15
	5	血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>	11
	6	顔面神経障害	11
	7	扁桃周囲膿瘍	8
	8	その他の難聴	8
	9	扁桃及びアデノイドの慢性疾患	6
	10	非化膿性中耳炎	5
救急 科	1	COVID-19	115
	2	固形物及び液状物による肺臓炎	95
	3	肺炎、病原体不詳	32
	4	尿路系のその他の障害	29
	5	前庭機能障害	26
	6	麻痺性イレウス及び腸閉塞、ヘルニアを伴わないもの	19
	7	心不全	16
	8	急性尿細管間質性腎炎	15
	9	その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害	13
	10	その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの	13
循環 器 外科	1	下肢の静脈瘤	51
	2	静脈炎及び血栓（性）静脈炎	6
	3	大動脈瘤及び解離	4
	4	動脈の塞栓症及び血栓症	1
	5	心臓及び血管のプロステーシス、挿入物及び移植片の合併症	1
	6	非リウマチ性僧帽弁障害	1
	7	肺塞栓症	1
	8	心不全	1
	9	多系統に及ぶその他の明示された先天奇形症候群	1
	10	腸の憩室性疾患	1

悪性新生物に関する統計

1. 悪性新生物の診療科別退院数・死亡患者数

診療科	総退院数			延べ 在院日数	実退院数			死亡退院数			剖検数		
	男	女	総計		男	女	総計	男	女	総計	男	女	総計
外科	67	49	116	2,426	61	44	105	6	5	11			
緩和ケア科	79	70	149	4,224	14	16	30	65	54	119			
呼吸器内科	1	1	2	309				1	1	2			
循環器内科	1		1	11				1		1			
消化器内科	69	51	120	1,498	66	50	116	3	1	4			
整形外科	4	2	6	230	4	2	6						
総合内科		1	1	2		1	1						
糖尿病内科		1	1	5		1	1						
脳神経外科		2	2	33		2	2						
脳卒中内科	3	3	6	295	3	3	6						
泌尿器科	141	12	153	1,420	138	12	150	3		3			
皮膚科	2	2	4	36	2	2	4						
総計	367	194	561	10,553	288	133	421	79	61	140	0	0	0

2. 悪性新生物の部位別退院患者数・死亡患者数

ICD コード	部 位	総退院数			平均在院 日 数	実退院数			死亡退院数		
		男	女	計		男	女	計	男	女	計
C02	舌のその他及び部位不明		2	2	26.0					2	2
C08	その他及び部位不明の大唾液腺		1	1	7.0		1	1			
C13	下咽頭	1		1	10.0				1		1
C15	食道	15	6	21	17.5	10	5	15	5	1	6
C16	胃	49	36	85	17.3	46	29	75	3	7	10
C17	小腸	1		1	11.0				1		1
C18	結腸	29	35	64	18.3	20	28	48	9	7	16
C19	直腸S状結腸移行部	5	1	6	17.0	5	1	6			
C20	直腸	20	16	36	23.9	18	11	29	2	5	7
C22	肝及び肝内胆管	15	8	23	19.7	11	3	14	4	5	9
C23	胆のう<嚢>	2	4	6	18.3		4	4	2		2
C24	その他及び部位不明の胆道	6	9	15	26.7	5	6	11	1	3	4
C25	膵	27	21	48	18.3	20	12	32	7	9	16
C32	喉頭		1	1	6.0					1	1
C34	気管支及び肺	17	6	23	21.9	2	3	5	15	3	18
C38	心臓、縦隔及び胸膜	1		1	62.0				1		1
C41	その他及び部位不明の骨及び関節軟骨	1		1	10.0	1		1			
C44	皮膚のその他	2	2	4	14.0	1	2	3	1		1
C45	中皮腫		1	1	46.0					1	1
C49	その他の結合組織及び軟部組織	1		1	18.0				1		1
C50	乳房		7	7	17.9		4	4		3	3
C52	膣		1	1	9.0					1	1
C56	卵巣		4	4	20.0					4	4
C60	陰茎	1		1	4.0	1		1			
C61	前立腺	60		60	15.0	49		49	11		11
C62	精巣<睪丸>	5		5	5.4	5		5			
C64	腎盂を除く腎	11	2	13	12.0	9	1	10	2	1	3
C65	腎盂	8	1	9	20.0	6	1	7	2		2
C66	尿管	2	2	4	14.0	1	1	2	1	1	2
C67	膀胱	69	14	83	11.0	67	11	78	2	3	5
C68	その他部位不明の尿路	1		1	7.0	1		1			
C70	髄膜		1	1	117.0		1	1			
C71	脳	2	2	4	50.8	2	2	4			
C772	腹腔内リンパ節	2		2	27.0	1		1	1		1
C786	後腹膜及び腹膜	1		1	26.0	1		1			
C787	肝及び肝内胆管	2	1	3	19.7	1	1	2	1		1
C793	脳及び脳髄膜		3	3	18.3		3	3			
C795	骨及び骨髄	3	2	5	25.2	2	2	4	1		1
C80	部位が明示されていないもの	2	1	3	41.7				2	1	3
C83	非ろ<濾>胞性リンパ腫	1	2	3	30.0		1	1	1	1	2
C90	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物		1	1	148.0					1	1
C92	骨髄性白血病	1		1	2.0				1		1
D33	脳及び中枢神経系のその他の部位の良性新生物	1		1	26.0	1		1			
D43	脳及び中枢神経系の性状不詳又は不明の新生物	2		2	83.5	2		2			
D46	骨髄異形成症候群	1	1	2	154.5				1	1	2
総 計		367	194	561	18.8	288	133	421	79	61	140

業務報告

総合診療部 総合内科

スタッフ

医 長 比 森 千 博

日本内科学会認定内科医／日本内科学会総合内科専門医／緩和ケア研修会修了

脳神経内科部長 巽 千賀夫 医学博士

日本内科学会認定内科医／日本神経学会認定神経内科専門医・指導医／

日本脳卒中学会認定脳卒中専門医・指導医／

日本リハビリテーション医学会認定臨床医・専門医・指導医／日本医師会認定産業医／

難病指定医

上位疾患（外来）

疾 患 名	件 数
COVID-19	223
その他の甲状腺障害	126
その他のビタミンB群の欠乏症	103
心不全	99
腹痛及び骨盤痛	95
部位不明のウイルス感染症	91
急性心筋梗塞	90
リポタンパク＜蛋白＞代謝障害及びその他の脂血症	88
播種性血管内凝固症候群〔脱線維素症候群〕	88
インフルエンザ, インフルエンザウイルスが分離されないもの	81
甲状腺中毒症〔甲状腺機能亢進症〕	78
鉄欠乏性貧血	78
肺炎, 病原体不詳	78
その他の原因による熱及び不明熱	77
詳細不明の糖尿病	66
体液量減少（症）	66

脳神経・脳卒中内科

スタッフ

副院長	高橋 務 医学博士 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医／ 日本脳卒中学会認定脳卒中専門医・指導医／日本循環器学会認定循環器専門医／ 日本医師会認定産業医
部長	巽 千賀夫 医学博士 日本内科学会認定内科医／日本神経学会認定神経内科専門医・指導医／ 日本脳卒中学会認定脳卒中専門医・指導医／ 日本リハビリテーション医学会専門医・指導医／日本医師会認定産業医／ 難病指定医
部長	杉浦 史郎 医学博士 日本内科学会認定内科医・指導医／日本脳卒中学会認定脳卒中専門医・指導医／ 日本脳神経血管内治療学会認定専門医
医長	旗手 淳 医学博士 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医／日本脳卒中学会認定脳卒中専門医／ 日本医師会認定産業医
医員	大塚 伸子
医員	中永あやこ 日本内科学会認定内科医・指導医／日本脳卒中学会認定脳卒中専門医
医員	大原真理子 医学博士 日本内科学会認定内科医／日本神経学会認定神経内科専門医／緩和ケア研修会修了

脳神経内科 上位疾患（外来）

疾患名	件数
脳梗塞	353
パーキンソン＜Parkinson＞病	145
てんかん	127
アルツハイマー＜Alzheimer＞病	102
その他のビタミンB群の欠乏症	99
詳細不明の糖尿病	95
本態性（原発性＜一次性＞）高血圧（症）	74
リポタンパク＜蛋白＞代謝障害及びその他の脂血症	71
チ＜サイ＞アミン欠乏症	64
脳血管疾患の続発・後遺症	62
詳細不明の認知症	57
その他の全身性結合組織疾患	56
その他の腸の機能障害	56
異常不随意運動	56
その他の多発（性）ニューロパチ＜シ＞ー	54

脳卒中内科 入院患者内訳

脳卒中内科入院患者内訳	2024.1.1-12.31	2023.1.1-12.31	2022.1.1-12.31
脳梗塞	298	289	299
脳梗塞 tPA施行	30	21	31
平均 Door to Needle Time	70 min	63 min	63 min
Door to Needle Time 範囲	31-109 min	20-101 min	20-113 min
血管内治療例（緊急IVR例）	6 (5)	3 (3)	7 (4)
平均 Door to Puncture Time	101 min	92 min	81 min
脳梗塞（TIA除く）退院時 mRS 0-2（%）	132/286 (46.1%)	130/264 (49.2%)	161/282 (57.1%)
脳出血（くも膜下出血を含む）	48	71	43
脳出血退院時 mRS 0-2（%）	22 (45.8%)	24 (33.8%)	20 (46.5%)
めまい症	18	13	19
意識消失・意識障害	19	20	12
てんかん発作	37	41	26
髄膜炎・脳炎	0	0	2
その他神経関連疾患（脳卒中疑い、頭痛など）	51	37	49
COVID-19	59	17	22
感染症（COVID-19以外の肺炎、尿路感染など）	75	60	60
その他	46	54	19
合計	651	602	551

脳卒中内科入院患者内訳	2021.1.1-12.31	2020.1.1-12.31
脳梗塞	361	380
脳梗塞 tPA施行	38	46
平均 Door to Needle Time	65 min	62 min
Door to Needle Time 範囲	33-105 min	18-198 min
血管内治療例（緊急IVR例）	13 (10)	26 (13)
平均 Door to Puncture Time	82 min	86 min
脳梗塞（TIA除く）退院時 mRS 0-2（%）	180/340 (52.9%)	199 (57.0%)
脳出血（くも膜下出血を含む）	84	72
脳出血退院時 mRS 0-2（%）	31 (36.9%)	29 (40.2%)
めまい症	12	9
意識消失・意識障害	8	10
てんかん発作	27	19
髄膜炎・脳炎	3	1
その他神経関連疾患（脳卒中疑い、頭痛など）	34	
COVID-19	24	
感染症（COVID-19以外の肺炎、尿路感染など）	19	4
その他	15	50
合計	587	545

糖尿病内科

スタッフ

部 長 五郎川伸一 医学博士
日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医／
日本糖尿病学会糖尿病専門医・研修指導医／日本糖尿病学会近畿支部評議員／
日本医師会認定産業医

医 長 森川侑佳
日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医／日本糖尿病学会糖尿病専門医／
日本医師会認定産業医／認知症サポート医養成研修修了／緩和ケア研修会修了

学会活動状況

第61回日本糖尿病学会近畿地方会 1 演題発表

主観患者数 153名（平均在院日数 16.1日）

共観患者数 352名（平均在院日数 33.3日）

トピックス

- ・日本糖尿病学会認定教育施設として、教育入院からCSII(Continuous Subcutaneous Insulin Infusion：持続皮下インスリン注入療法)、CGM(Continuous Glucose Monitoring：持続血糖測定)、SAP (Sensor Augmented Pump) 療法まで、幅広い医療を提供している。間歇スキャン式持続血糖測定器 (isCGM) も積極的に導入し、血糖変動をより正確に把握し、きめ細かい治療に努めている。
- ・周術期血糖コントロールに関して、夜間、休日も含め積極的に対応し、手術の予後が悪化しないように努めている。
- ・コロナ禍で中断していた糖尿病教室を再開した。
- ・肥満外来を開始予定です。

腎臓内科

スタッフ

医 員 (非常勤) 今井 淳 裕

医 員 (非常勤) 松本あゆみ

上位疾患 (外来)

疾 患 名	件 数
慢性腎臓病	211
詳細不明の糖尿病	72
本態性 (原発性<一次性>) 高血圧 (症)	62
鉄欠乏性貧血	61
その他の甲状腺障害	48
心不全	46
全身性エリテマトーデス<紅斑性狼瘡><SLE>	38
その他の全身性結合組織疾患	32
その他のえ<壊>死性血管障害	31
リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症	29
その他の体液, 電解質及び酸塩基平衡障害	29
多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物<腫瘍>	27
腎及び尿管のその他の障害, 他に分類されないもの	26
プリン及びピリミジン代謝障害	25
腎盂を除く腎の悪性 新生物<腫瘍>	21

緩和ケア科

スタッフ

部長 佐竹 主道 医学博士

日本内科学会認定内科医・指導医／日本循環器学会認定循環器専門医／
日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション指導士／緩和ケア研修会修了／
緩和ケア指導者研修会修了／がんのリハビリテーション研修会修了／嚥下機能評価研修会修了／
新リンパ浮腫研修会修了／本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会修了

医員（非常勤）川原 玲子

入院患者内訳 総入院患者数：127名

上位疾患（外来）

疾患名	件数
その他の腸の機能障害	51
疼痛，他に分類されないもの	44
気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	33
膵の悪性新生物＜腫瘍＞	31
背部痛	27
その他の表皮肥厚	22
詳細不明の糖尿病	21
胃炎及び十二指腸炎	19
結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	19
胃食道逆流症	18
神経系のその他の障害，他に分類されないもの	18
肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	18
その他の脊椎障害	18
脊椎症	14
帯状疱疹 [帯状ヘルペス]	13
その他の軟部組織障害，他に分類されないもの	13
乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	13

化学療法科

スタッフ

部 長 永井 健一

日本外科学会外科専門医・指導医／日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医・専門医／
日本がん治療認定医機構がん治療認定医／緩和ケア研修会修了

呼吸器内科

スタッフ

部 長 内田 隆一 医学博士 (令和6年4月1日～)
日本内科学会認定内科医・総合内科専門医／日本感染症学会認定専門医・指導医／
インфекションコントロールドクター／難病指定医／
身体障害者福祉法第15条指定医師(呼吸機能障害)／臨床研修指導医講習会修了

上位疾患(外来)

疾患名	件数
気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	317
肺の画像診断における異常所見	176
鉄欠乏性貧血	135
呼吸器結核、細菌学的又は組織学的に確認されていないもの	119
喘息	116
その他の間質性肺疾患	102
その他の非結核性抗酸菌による感染症	98
非ホジキン<nonnon-Hodgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型	96
その他のえ<壊>死性血管障害	92
その他の慢性閉塞性肺疾患	77
肺炎、病原体不詳	75
全身性エリテマトーデス<紅斑性狼瘡><SLE>	74
アスペルギルス症	58
その他の関節リウマチ	51
細菌性肺炎、他に分類されないもの	44

消化器内科

スタッフ

部 長 徳原 満雄 医学博士
 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医／
 日本消化器内視鏡学会認定専門医・指導医／日本膵臓学会認定指導医／
 日本肝臓学会認定肝臓専門医・暫定指導医／日本胆道学会認定指導医／
 日本消化器病学会認定消化器病専門医・指導医／日本がん治療認定医機構がん治療認定医／
 日本腹部救急医学会認定腹部救急認定医／日本消化器病学会近畿支部評議員／
 日本消化器内視鏡学会近畿支部評議員・学術評議員／日本胆道学会評議員／難病指定医／
 臨床研修指導医講習会修了／緩和ケア研修会修了

部 長 住友 康眞
 日本内科学会認定内科医／日本消化器病学会認定消化器病専門医・指導医／
 日本消化器内視鏡学会認定専門医・指導医／日本医学放射線学会放射線科専門医

医 長 中平 博子
 日本内科学会認定内科医／日本消化器内視鏡学会認定専門医・指導医／
 日本消化管学会認定胃腸科専門医・指導医／日本消化器病学会認定消化器病専門医・指導医／
 日本消化器内視鏡学会近畿支部評議員／難病指定医

医 長 渡部 嘉文 医学博士
 日本外科学会外科専門医／日本消化器病学会認定消化器病専門医／
 日本消化器内視鏡学会認定専門医／日本消化器外科学会消化器外科専門医／
 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医／日本がん治療認定医機構がん治療認定医／
 日本大腸肛門病学会認定大腸肛門病専門医／緩和ケア研修会修了

医 員 中田 英俊 (令和6年4月1日～)

医 員 古川 真吾 (令和6年11月1日～)

令和6年(2024年) 内視鏡治療・検査件数

検査項目/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
GIF：経口	135	133	152	157	137	134	159	106	142	178	157	112	1,702
GIF：経鼻	25	30	32	35	29	24	25	13	21	32	26	15	307
緊急依頼													0
小 計	160	163	184	192	166	158	184	119	163	210	183	127	2,009
健診GIF：経口	47	67	33	43	63	85	91	83	89	101	95	98	895
健診GIF：経鼻	147	182	100	123	152	181	207	207	203	268	240	209	2,219
小 計	194	249	133	166	215	266	298	290	292	369	335	307	3,114
上部ルーチン合計	354	412	317	358	381	424	482	409	455	579	518	434	5,123
EUS	5	2	1	4	1	7	2	6	5	3	3	6	45
ESD(食道)	0	0	1	0	0	1	2	1	0	1	1	2	9
ESD(胃)	1	6	3	5	4	4	5	3	2	9	3	2	47
ESD(十二指腸)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
EMR	1	1	1	0	2	1	1	1	0	0	0	0	8
止血術	1	5	9	6	3	7	4	3	1	8	7	5	59
EUS-FNA	1	2	2	1	4	1	1	0	1	1	1	1	16
EVL	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3
異物除去摘出術	0	1	1	2	1	2	1	1	0	1	1	5	16
イレウス管挿入	3	1	5	0	1	4	1	0	2	2	1	3	23
バルン拡張	0	0	1	1	0	0	2	1	1	1	1	1	9

ステント術（食道）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ステント術（胃・十二指腸）	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
PEG造設	4	3	2	4	1	3	1	1	2	1	3	1	26
PEG交換	1	0	2	3	2	2	1	1	1	1	0	1	15
治療合計	17	22	28	27	19	32	22	18	16	28	21	28	278
CF	56	71	73	85	81	74	91	74	71	75	78	54	883
CF(健診)	4	1	4	2	1	2	7	1	3	2	2	2	31
緊急依頼													0
大腸EMR	16	19	23	25	36	29	22	30	20	35	24	19	298
CSP	24	26	34	30	33	38	34	29	33	48	27	22	378
大腸ESD	2	4	5	4	3	4	3	3	5	7	4	4	48
大腸EUS	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
イレウス管挿入	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	6
大腸止血術	0	3	1	1	1	1	1	3	1	1	1	0	14
大腸バルーン拡張	3	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	9
メタリックステント	0	0	1	2	0	1	0	1	1	3	0	1	10
合計	107	125	142	149	156	150	158	141	135	172	136	107	1,678
小腸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ERCP	5	5	13	8	13	8	7	6	5	12	18	12	112
緊急依頼													0
EST	0	5	9	7	8	4	6	7	4	8	9	7	74
ERBD	7	3	5	5	8	4	4	4	5	4	8	7	64
ENBD	5	4	6	6	13	4	5	4	2	7	9	8	73
IDUS	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	1	0	5
メタリックステント	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
胆道鏡下結石破砕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	17	17	34	26	44	22	22	21	16	31	45	34	329
気管支鏡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
BAL	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	495	576	521	560	600	628	684	589	622	810	720	603	7,408
2024年（R6年）BS除く	495	576	521	560	600	628	684	589	622	810	720	603	7,408

感染制御内科

スタッフ

医 長

辻本和徳

日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医／日本呼吸器学会呼吸器専門医／
日本感染症学会感染症専門医／ICD制度協議会認定インфекションコントロールドクター／
難病指定医／身体障害者福祉法等第15条指定医師（呼吸器機能障害）／
嚥下機能評価研修会修了／緩和ケア研修会修了

循環器科

スタッフ

部長(外科) 保田知生 医学博士

日本外科学会専門医／日本消化器病学会専門医／日本脈管学会専門医／
日本血栓止血学会認定医

(兼任) 緩和ケア科部長 佐竹主道 医学博士

日本内科学会認定内科医・指導医／日本循環器学会認定循環器専門医／
日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション指導士／緩和ケア研修会修了／
緩和ケア指導者研修会修了／がんのリハビリテーション研修会修了／嚥下機能評価研修会修了／
新リンパ浮腫研修会修了／本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会修了

部長 大西 衛

日本内科学会認定内科医／日本循環器学会認定循環器専門医

医 長 中井健太郎

日本内科学会認定内科医／日本循環器学会認定循環器専門医／
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医

循環器系生理検査	2024
心エコー	2,895
経食道心エコー検査	9
下肢エコー検査(動脈)	88
下肢エコー検査(静脈)	2,173
トレッドミル負荷検査	4
ホルター心電図検査	399
イベントレコーダー検査	0
ABI検査	1,747

循環器系放射線科検査	2024
心臓CT	193
大血管CT	215
運動負荷心筋血流シンチ	34
薬剤負荷心筋血流シンチ	16
BMIPP	0
MIBG	0
肺血流シンチ	4

心臓カテーテル検査	2024
総数	252
PCI	40
EVT	39
右心カテ	0
アブレーション	96
ペースメーカ(新規)	9
ペースメーカ(電池交換)	7

心リハ	2024
新規患者数	54
回数	1,619

循環器外科手術件数	2024
下肢静脈瘤血管内焼灼術	56
内視鏡下下肢静脈瘤不全穿通枝	17
下肢静脈瘤手術(高位結紮術)	11
下肢静脈瘤手術(硬化療法)	4
下肢静脈瘤手術(抜去切除術)	2
血管結紮術(その他)	1

精神・神経科

スタッフ

部 長

井上 洋一 医学博士

日本児童青年精神医学会認定医／日本精神神経学会専門医／精神保健指定医／
緩和ケア研修会修了

免疫内科

スタッフ

医 員 (非常勤) 川 田 翔 司

医 員 (非常勤) 行木紳一郎

上位疾患 (外来)

疾 患 名	件 数
その他の関節リウマチ	98
詳細不明の糖尿病	96
その他の間質性肺疾患	66
その他のビタミンB群の欠乏症	49
骨粗しょう<鬆>症<オステオポロシス>, 病的骨折を伴わないもの	44
その他の全身性結合組織疾患	43
胃食道逆流症	42
その他のえ<壊>死性血管障害	25
胃潰瘍	23
全身性エリテマトーデス<紅斑性狼瘡><SLE>	23
急性B型肝炎	21
心不全	19
鉄欠乏性貧血	17
全身性硬化症	16
その他の腸の機能障害	12
皮膚 (多発性) 筋炎	12
播種性血管内凝固症候群 [脱線維素症候群]	12

小児科

スタッフ

部 長 中河いよう 医学博士

日本小児科学会小児科専門医・指導医／日本医師会認定産業医／
インфекションコントロールドクター／臨床研修指導医講習会修了／緩和ケア研修会修了

部 長 松尾康史

日本小児科学会小児科専門医・指導医／日本医師会認定健康スポーツ医／
臨床研修指導医講習会修了／緩和ケア研修会修了

医 長 杉本有紀子

日本小児科学会小児科専門医・指導医／日本アレルギー学会専門医／臨床研修指導医講習会修了

医 長 相馬良子

日本小児科学会小児科専門医

医 長 田村玲子

日本小児科学会小児科専門医

小児科総入院患者数 1,256名 (救急からの入院患者 336名 27%)

疾病分類	件数	率(%)	疾病分類	件数	率(%)
【感染症】	583	46%	【血液/造血器の疾患ならびに免疫機構の障害】	11	0.8%
RSウイルス感染症	123		IgA血管炎	8	
インフルエンザウイルス感染症	73		血小板減少性紫斑病	3	
アデノウイルス感染症	14		【内分泌/栄養および代謝疾患】	38	3%
ヒトメタニューモウイルス感染症	56		成長ホルモン分泌不全性低身長(検査目的を含む)	15	
COVID-19感染症	33		アセトン血性嘔吐症	9	
溶連菌感染症	15		思春期早発症	7	
マイコプラズマ感染症	129		糖尿病	3	
EBウイルス感染症	5		肥満	2	
手足口病	21		バセドウ病	1	
ヘルパンギーナ	5		尿崩症	1	
突発性発疹症	14		【精神および行動の障害】	23	2%
単純ヘルペスウイルス感染症	4		摂食障害	7	
水痘・带状疱疹	1		睡眠リズム障害	3	
ウイルス性胃腸炎	73		適応障害	5	
細菌性腸炎	10		身体表現性障害	8	
菌血症	2				
その他のウイルス・菌感染症	5				

疾病分類	件数	率(%)
【神経系の疾患】	30	2%
てんかん	5	
熱性けいれん	10	
片頭痛	5	
脊椎捻挫症	5	
無菌性髄膜炎	2	
運動発達遅滞	2	
視神経脊髄炎	1	
【眼、耳および付属器の疾患】	15	1%
急性中耳炎	14	
急性副鼻腔炎	1	
【循環器系の疾患】	29	2%
起立性調節障害	29	
【呼吸器系の疾患】	369	29%
急性肺炎/気管支肺炎	113	
急性気管支炎	100	
急性喉頭炎	14	
急性咽頭炎/扁桃炎	58	
喘息性気管支炎	53	
気管支喘息	31	
【消化器系の疾患】	32	3%
アレルギー性胃腸炎	15	
肝機能障害、乳児肝炎	3	
胃食道逆流症	1	
消化性潰瘍	2	
潰瘍性大腸炎	2	
クローン病	2	
過敏性腸症候群	2	
腸間膜リンパ節炎	4	
便秘症	1	

疾病分類	件数	率(%)
【皮膚および皮下組織の疾患】	29	2%
頸部リンパ節炎	4	
アトピー性皮膚炎	11	
蜂窩織炎	5	
じんましん	1	
薬疹	1	
その他皮膚疾患	7	
【筋骨格系および結合組織の疾患】	13	1%
川崎病	12	
単純性股関節炎	1	
【尿路器系の疾患】	20	2%
急性腎盂腎炎・尿路感染症	15	
糸球体腎炎	2	
膀胱尿管逆流症	3	
【損傷、中毒およびその他の外因の影響】	10	1%
頭部外傷	3	
タバコ誤飲	2	
予防接種副反応	3	
熱傷	1	
アルコール中毒	1	
【アレルギーの疾患】	51	4%
食物アレルギー	49	
アナフィラキシー	2	
【その他】	3	0.2%
不明熱	1	
分類不能	2	

外科

スタッフ

副院長 福地成晃

健康管理センター長 日本外科学会外科専門医・指導医／日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医／
診療部長 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医／日本消化器病学会消化器病専門医・指導医／
臨床研究・治験管理部長 日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能指導医／日本胆道学会認定指導医／難病指定医／
医療安全管理部長 臨床研修指導医講習会修了／プログラム責任者養成講習会修了／緩和ケア研修会修了
医師事務作業補助管理部長

部長 永井健一 医学博士

日本外科学会外科専門医・指導医／日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医・専門医／
日本がん治療認定医機構がん治療認定医／緩和ケア研修会修了

医長 杉本 聡

日本外科学会外科専門医／日本消化器外科学会消化器外科専門医／
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医／専門医／
日本内視鏡外科学会技術認定医（消化器・一般外科）／日本腹部救急医学会腹部救急認定医／
日本腹部救急医学会評議員／近畿外科学会評議員／
da Vinci Surgical System certification（術者）／ジオン注四段階注射法講習会修了／
SNM講習会修了／緩和ケア研修会修了

医長 木戸上真也 医学博士 （令和6年4月1日～）

日本外科学会外科専門医／日本消化器外科学会消化器外科専門医／
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医／緩和ケア研修会修了

医員 米田直樹 （令和6年4月1日～）

日本外科学会外科専門医／緩和ケア研修会修了

医員 朴 正勝 （～令和6年3月31日）

日本外科学会外科専門医／日本消化器外科学会消化器外科専門医／
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医／日本がん治療認定医機構がん治療認定医／
緩和ケア研修会修了

令和6年 手術件数

術式	悪性（うち鏡視下手術）	良性（うち鏡視下手術）
A. 胃・食道	19 (14)	3 (1)
幽門側胃切除術	14 (12)	0
噴門側胃切除術	1 (0)	0
胃部分切除術	1 (1)	0
胃全摘術	1 (0)	0
その他	2 (1)	3 (1)
B. 小腸・大腸	43 (33)	31 (14)
小腸切除術	0	13 (5)
結腸切除術	24 (19)	5 (2)
直腸切除術	12 (11)	1 (1)
直腸切断術	1 (1)	0
ハルトマン手術	2	1
人工肛門・結腸瘻造設術	4 (2)	7 (6)
その他	0	4
C. 肛門とその周辺	0	11
痔核手術	0	7
痔瘻手術	0	1
肛門周囲膿瘍切開術	0	0
直腸脱	0	2
裂肛	0	1
その他	0	0
D. 肝・胆・膵	9 (1)	64 (54)
肝部分切除術	2	3
肝区域切除術	0	0
膵頭十二指腸切除術	4	0
膵体尾部切除術	1	0
胆嚢摘出術	0	59 (52)
総胆管切開術	0	0
その他	2 (1)	2 (2)
E. 腹壁	0	62 (35)
鼠径ヘルニア	0	53 (31)
大腿ヘルニア	0	0
閉鎖孔ヘルニア	0	2
腹壁癒痕ヘルニア	0	5 (4)
臍ヘルニア	0	2
F. 緊急手術	0	34 (21)
腸閉塞手術	0	11 (5)
腹膜炎手術	0	8 (1)
虫垂炎手術	0	15 (15)
G. その他	8	9 (3)
小計	79 (48)	214 (128)
総計	293 (176)	

整形外科

スタッフ

院長	細野 昇 医学博士 日本整形外科学会認定整形外科専門医／日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医／ 日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科指導医／中部日本整形外科災害外科学会評議員／ 緩和ケア研修会修了
副院長	奥田 眞也 医学博士 日本整形外科学会認定整形外科専門医／日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医／ 日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科専門医・指導医／難病指定医／身体障害者指定医／ 臨床研修指導医講習会修了／緩和ケア研修会修了
統括診療部長	立石 耕介 医学博士 日本整形外科学会認定整形外科専門医／日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医／ 日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医／ 日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科専門医・指導医／臨床研修指導医講習会修了
部長	梶座 康夫 医学博士 日本整形外科学会認定整形外科専門医／日本リウマチ学会リウマチ専門医・指導医／ 日本人工関節学会認定医／日本関節病学会認定医／日本リウマチ学会評議員
部長	吹上 謙一 医学博士 (令和6年4月1日～) 日本専門医機構認定整形外科専門医／日本小児整形外科学会認定医／ 日本小児整形外科学会評議員／近畿小児整形外科懇話会世話人／難病指定医／ 小児慢性特定疾病指定医／身体障害者福祉法第15条指定医師 (肢体不自由)
部長	米谷 泰一 医学博士 (～令和6年2月28日) 日本整形外科学会認定整形外科専門医／日本体育協会公認スポーツドクター／ 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (JOSKAS) 評議員／JOSKAS関節鏡技術認定医
部長	阿部 裕仁 医学博士 日本整形外科学会認定整形外科専門医
医長	安井 行彦 医学博士 日本整形外科学会認定整形外科専門医／日本手外科学会認定手外科専門医
医長	藤戸 稔高 医学博士 (～令和6年3月31日) 日本整形外科学会認定整形外科専門医／日本人工関節学会認定医／身体障害者指定医
医長	宮崎 亮
医長	後藤 泰 日本整形外科学会認定整形外科専門医／緩和ケア研修会修了
医長	粕谷 泰祐 日本整形外科学会認定整形外科専門医／緩和ケア研修会修了
医長	星山 政輝 (～令和6年9月30日) 日本整形外科学会認定整形外科専門医／日本整形外科学会認定脊椎脊髄病専門医・指導医
医員	鈴木 秀和 日本整形外科学会認定整形外科専門医
医員	前川 隆博 (令和6年4月1日～)

医 員	阪本将希 緩和ケア研修会修了	(令和6年4月1日～)
医 員	山本大貴 緩和ケア研修会修了	(令和6年4月1日～)
医 員	田伏佑規 緩和ケア研修会修了	(令和6年4月1日～)
医 員	花草颯志 緩和ケア研修会修了	(令和6年4月1日～)
医 員	吉村晃介 緩和ケア研修会修了	(令和6年4月1日～)
医 員	井森淳太	(令和6年4月1日～)
医 員	田中雄大 緩和ケア研修会修了	(～令和6年3月31日)
医 員	宮本僚太 緩和ケア研修会修了	(～令和6年3月31日)
医 員	松川優樹 緩和ケア研修会修了	(～令和6年3月31日)

2024年整形外科手術実績

疾患名	件数
上肢（肘・手）	445
肩	0
脊椎	234
人工股関節	139
人工膝関節	233
リウマチ・足	9
スポーツ	145
外傷（下肢・体幹）	290
小児整形	72
腫瘍・その他	221
総 数	1,788

スポーツ整形外科

スタッフ

部 長 米谷 泰一 医学博士 (～令和6年2月28日)
 日本整形外科学会認定整形外科専門医／日本体育協会公認スポーツドクター／
 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (JOSKAS) 評議員／JOSKAS関節鏡技術認定医

医 長 宮崎 亮

医 員 鈴木 秀和
 日本整形外科学会認定整形外科専門医

手術統計

術式	件数
関節鏡下靭帯断裂形成手術 (十字靭帯)	38
人工関節置換術 (膝)	24
関節鏡下半月板縫合術	14
人工関節置換術 (股)	13
関節鏡下半月板切除術	9
腱鞘切開術	8
骨折観血の手術 (大腿)	8
関節鏡下関節滑膜切除術 (膝)	7
人工骨頭挿入術 (股)	5
椎間板内酵素注入療法	4
デブリードマン (100>以上3000>未満)	4
骨折観血の手術 (前腕)	4
骨内異物 (挿入物) 除去術 (大腿)	4
骨移植術 (自家骨移植)	4
骨移植術 (自家骨又は非生体同種骨移植と人工骨移植の併施、その他)	4
骨折観血の手術 (膝蓋骨)	3
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術 (椎弓形成)	3
椎間板摘出術 (後方摘出術)	3
関節鏡下靭帯断裂形成手術 (内側膝蓋大腿靭帯)	3
顕微鏡下腰部脊柱管拡大減圧術	3
関節内骨折観血の手術 (肘)	2
内反足手術	2
骨折観血の手術 (指 (手))	2
腱剥離術	2
腱縫合術	2
骨切り術 (下腿)	2
関節内骨折観血の手術 (足)	2
関節形成手術 (手)	2
骨盤内異物 (挿入物) 除去術	2
アキレス腱断裂手術	2
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術 (椎弓切除)	2
骨折経皮的鋼線刺入固定術 (指 (手、足))	2
術中透視装置使用加算	2
一時的創外固定骨折治療術	2

術式	件数
骨移植術 (自家骨又は非生体同種骨移植と人工骨移植の併施、その他)	2
多椎間又は多椎弓実施加算 (椎弓切除)	1
創傷処理 (筋肉、臓器に達するもの・長径5cm未満)	1
脊椎、骨盤腫瘍切除術	1
デブリードマン (100>未満)	1
骨搔爬術 (足)	1
骨折経皮的鋼線刺入固定術手、指 (手)	1
骨折観血の手術 (上腕)	1
骨折観血の手術 (下腿)	1
骨折観血の手術 (手舟状骨)	1
骨内異物 (挿入物) 除去術 (下腿)	1
骨内異物 (挿入物) 除去術 (鎖骨)	1
骨内異物 (挿入物) 除去術 (指 (足))	1
変形治癒骨折矯正手術 (大腿)	1
化膿性又は結核性関節炎搔爬術 (股)	1
関節内異物 (挿入物を含む) 除去術 (足)	1
関節滑膜切除術 (指・足)	1
関節内骨折観血の手術 (膝)	1
靭帯断裂縫合術 (その他の靭帯)	1
観血的関節制動術 (手)	1
人工関節再置換術 (股)	1
デュプイトレン拘縮手術 (1指)	1
脊椎骨 (軟骨) 組織採取術 (その他)	1
椎間板摘出術 (経皮的髓核摘出術)	1
関節鏡下関節滑膜切除術 (股)	1
関節鏡下手根管開放手術	1
寛骨臼移動術	1
関節鏡下関節内骨折観血の手術 (膝)	1
脊髄誘発電位測定等加算 (脳、頭蓋頸椎移行部等の手術)	1
関節鏡下関節授動術 (膝)	1
関節鏡下関節授動術 (肘)	1
神経ブロック (ボツリヌス毒素使用) 眼瞼・片顔面・慢性斜頸・上下肢痙縮治療	1
小児創傷処理 (筋肉、臓器に達しないもの・長径5cm以上10cm未満)	1
	227

心臓血管外科

スタッフ

医 員 (非常勤) 河村 拓史

上位疾患 (外来)

疾 患 名	件 数
静脈炎及び血栓 (性) 静脈炎	377
下肢の静脈瘤	257
アテローム<じゅく<粥>状>硬化 (症)	253
心不全	158
大動脈瘤及び解離	145
本態性 (原発性<一次性>) 高血圧 (症)	96
その他の凝固障害	92
胃食道逆流症	67
リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症	57
浮腫, 他に分類されないもの	55
肺塞栓症	55
急性心筋梗塞	49
動脈の塞栓症及び血栓症	46
心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在	36
気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	31

血管外科

スタッフ

医 員 (非常勤) 澁谷 卓

形成外科

スタッフ

部 長	光野乃祐 医学博士 (令和6年4月1日～)
	日本専門医機構認定形成外科専門医／日本創傷外科学会専門医／ 日本形成外科学会小児形成外科分野指導医／日本形成外科学会領域指導医／ 臨床研修指導医講習会修了／緩和ケア研修会修了
部 長	廣田龍一郎 医学博士 (～令和6年3月31日)
	日本専門医機構認定形成外科専門医
医 員	出口 大 (令和6年4月1日～)
	緩和ケア研修会修了

当科は2024年4月より常勤2人体制となり、これまでより幅広い疾患に迅速柔軟に対応できるようになりました。

当科では、主に体表の外傷・先天奇形や皮膚の良性・悪性腫瘍に対して最新の知見と技術を用いた診療を実践しております。また、顔面骨骨折、熱傷（全身管理を要しない熱傷面積）等の外傷治療にも注力し、創部と機能の早期の回復を目指しています。2024年は熱傷の受け入れが少なかったため今後地域連携を強め受け入れを増やしていく予定です。褥瘡や難治性潰瘍の治療、眼瞼下垂や腋臭症などの変性疾患に対する治療も積極的に行っており、患者様の生活の質向上に努めております。

形成外科2024年手術統計

	入院	外来	計
全身麻酔での手技数	42	0	42
腰麻・伝達麻酔での手技数	1	0	1
局所麻酔・その他での手技数	40	202	242
計	83	202	285

疾患大分類手技数	入院			外来			計
	全身麻酔	腰麻・伝達麻酔	局所麻酔・その他	全身麻酔	腰麻・伝達麻酔	局所麻酔・その他	
外傷	14	1	2			32	49
先天異常	2						2
腫瘍	5		18			114	137
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド						4	4
難治性潰瘍	17		7			31	55
炎症・変性疾患	4		4			17	25
美容（手術）							
その他			9			4	13
Extra レーザー治療							
計	42	1	40			202	285

脳神経外科

スタッフ

部 長

祖母井 龍

日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医／日本脳神経血管内治療学会認定専門医／
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医／日本頭痛学会認定頭痛専門医

脳血管内治療科

スタッフ

部 長 杉浦 史郎 医学博士
日本内科学会認定内科医／日本脳卒中学会認定脳卒中専門医／
日本脳神経血管内治療学会認定専門医

呼吸器外科

スタッフ

医 員 (非常勤) 狩 野 孝

上位疾患 (外来)

疾 患 名	件 数
気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	101
呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物<腫瘍>	86
その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物<腫瘍>	55
心不全	15
その他の間質性肺疾患	14
肺気腫	14
中耳, 呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	13
その他の腸の機能障害	10
リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	9
胃食道逆流症	8
睡眠障害	7
本態性 (原発性<一次性>) 高血圧 (症)	7
その他の不整脈	7
その他の慢性閉塞性肺疾患	7
その他及び部位不明の胸腔内臓器の良性新生物<腫瘍>	7

皮膚科

スタッフ

部長	立花隆夫 医学博士 (～令和6年3月31日)
	日本皮膚科学会認定皮膚科専門医／日本皮膚科学会認定美容皮膚科・レーザー指導専門医／ 日本アレルギー学会指導医／難病指定医／小児慢性特定疾病指定医／緩和ケア研修会修了
医員	小林佳道 (～令和6年3月31日)
	緩和ケア研修会修了

入院患者統計

疾患名	症例数
基底細胞癌	3
蜂巣炎	2
褥瘡	2
水疱性類天疱瘡	1
帯状疱疹	1
糖尿病性壊疽	1
有棘細胞癌	1
合計	11

手術統計

術式	症例数
皮膚、皮下腫瘍摘出手術	7
皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）	4
皮弁作成術	3
骨移植術（軟骨移植術を含む）	1
植皮術	1
その他	2
合計	18

(中央手術室実施分)

泌尿器科

スタッフ

部 長	松本吉弘 医学博士	日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医・指導医／奈良県立医科大学臨床教授／ 日本排尿機能学会認定医／日本透析医学会認定透析専門医／ 日本がん治療認定医機構がん治療認定医／日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医／ 日本脊髄障害医学会評議員／摂南大学客員教授／緩和ケア研修会修了
医 長	豊島優多 (～令和6年3月31日)	日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医・指導医／日本透析医学会認定透析専門医／ 日本がん治療認定医機構がん治療認定医／日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医／ 難病指定医／緩和ケア研修会修了
医 員	大森千尋 (令和6年4月1日～)	日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医／日本がん治療認定医機構がん治療認定医／ 日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医／緩和ケア研修会修了
医 員	守安雅弘 (令和6年4月1日～)	緩和ケア研修会修了
医 員	橘進彰 (～令和6年3月31日)	緩和ケア研修会修了
医 員	宮崎和喜 (～令和6年12月31日)	緩和ケア研修会修了

入院患者内訳 総入院患者数：463名

頻度別上位15疾患

疾患名	件数	平均在院日数
膀胱の悪性新生物	79	10.0
前立腺の悪性新生物（疑いを含む）	75	6.9
閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	61	9.7
腎結石及び尿管結石	59	6.0
腎盂腎炎	23	20.0
前立腺肥大症	22	9.5
尿路系のその他の障害	22	12.3
下部尿路結石	12	4.4
腎盂を除く腎の悪性新生物	10	9.9
腎尿路の良性新生物＜腫瘍＞	8	8.3
神経因性膀胱（機能障害）	8	14.0
前立腺の炎症性疾患	8	10.8
膀胱炎	8	12.1
腎盂の悪性新生物	7	9.3
精巣＜睾丸＞の悪性新生物	5	5.4

総手術件数：351件

悪性腫瘍

腎癌	腹腔鏡下腎摘除術、部分切除術	4
腎盂尿管癌	腹腔鏡下腎尿管全摘除術	3
	尿管鏡下腫瘍切除術、生検	8
膀胱癌	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	2
	経尿道的膀胱腫瘍切除術	72
前立腺癌	前立腺生検	69
精巣腫瘍	高位精巣摘除術	5
その他		4
合 計		167

尿路結石症

経尿道的腎尿管碎石術	77
経尿道的膀胱碎石術	14
体外衝撃波結石破碎術	29
合 計	120

下部尿路機能検査

尿流測定	192
残尿測定	1,047
膀胱内圧測定（PFSを含む）	102
排尿時膀胱尿道撮影	14
ビデオウロダイナミクス	48
合 計	1,403

その他の良性疾患

経尿道的前立腺切除術、レーザー蒸散術	29
経皮的腎瘻造設術、膀胱瘻造設術	6
包皮環状切除術（完全包茎）	6
コンジローマ切除術	4
陰嚢水腫/精液瘤	3
内尿道切開術、尿管バルーン拡張	3
精索捻転手術	2
尿管膀胱新吻合術	2
経尿道的膀胱憩室焼灼術	2
その他	7
合 計	64

その他主たる検査

膀胱尿道鏡検査	610
超音波断層法	2,188
逆行性腎盂造影	120
順行性腎盂造影	11
尿管皮膚瘻造影	61
膀胱造影	26
合 計	3,016

産婦人科

スタッフ

部長 河 流 陽 子
緩和ケア研修会修了

眼科

スタッフ

部長 高橋元 医学博士 (令和6年4月1日～)
日本眼科学会専門医

手術統計

症例・術式	件数
白内障	106
後発白内障ヤグレーザー	26
網膜光凝固	17
結膜結石除去術	1
涙点プラグ	5
レーザー光凝固術	2
その他	2
合計	159
抗VEGF抗体硝子体内注射	65

耳鼻咽喉科

スタッフ

部 長	高田 智子	(～令和6年6月30日)
	日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医／難病指定医／ 身体障害者福祉法第15条指定医師（聴覚障害認定医）／補聴器適合判定医	
医 長	高安 幸恵	(～令和6年6月30日)
	日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医／難病指定医／ 身体障害者福祉法第15条指定医師（聴覚・平衡・音声・言語・そしゃく機能障害認定医）／ 補聴器相談医	
医 長	桑原 敏彰	
	日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医／難病指定医／臨床研修指導医講習会修了／ 緩和ケア講習会修了	
医 員	山本 高也	(令和6年6月10日～)

手術件数

2024年

耳	67件	喉	80件
鼓膜切開術	34	口蓋扁桃摘出術	54
鼓膜チューブ挿入術	22	アデノイド切除術	10
先天性耳瘻管摘出術	4	甲状腺悪性腫瘍摘出術	1
外耳道異物除去術	2	咽後膿瘍切開術	1
耳介血腫開窓術	5	咽頭異物摘出術	4
鼻	158件	唾石摘出術（表在性のもの）	3
鼻腔粘膜焼灼術	21	気管切開術	3
下甲介粘膜レーザー焼灼術（両側）	7	気管切開孔閉鎖術	2
下甲介粘膜焼灼術	1	口唇腫瘍摘出術	2
鼻骨変形治癒骨折矯正術	1		
鼻甲介切除術	2		
内視鏡下鼻・副鼻腔手術（I - IV型）	31		
内視鏡下鼻腔手術I型（下鼻甲介手術）	25		
内視鏡下鼻中隔手術	27		
経鼻腔的翼突管神経切除術	38		
鼻副鼻腔腫瘍摘出術	4		
鼻茸摘出術	1		

リハビリテーション科・リハビリテーション部

スタッフ（令和6年12月）

リハビリテーション科

部長 伊藤 泰司 医学博士
日本リハビリテーション医学会認定臨床医／日本医師会認定産業医

部長 吹上 謙一 医学博士（令和6年4月1日～）
日本専門医機構認定整形外科専門医／日本小児整形外科学会認定医／
日本小児整形外科学会評議員／近畿小児整形外科懇話会世話人／難病指定医／
小児慢性特定疾病指定医／身体障害者福祉法第15条指定医師（肢体不自由）

部長 高橋 大介（令和6年4月1日～）
日本内科学会認定内科医／総合内科専門医・指導医／
日本神経学会認定神経内科専門医・指導医／日本脳卒中学会認定脳卒中専門医・指導医／
日本頭痛学会認定頭痛専門医／難病指定医／身体障害者福祉法第15条指定医師（肢体不自由）／
緩和ケア研修会修了

リハビリテーション部

理学療法士長 権藤 要
副理学療法士長 大西和彦、永富孝幸
主任理学療法士 山本朋子、大道雅之、瀧口福人、木村宏隆、宮下 創
他理学療法士 45名（非常勤 3名含む）
主任作業療法士 白井淳史、細川純子、門川泰輔、中路悟史
他作業療法士 17名（非常勤 2名含む）
主任言語聴覚士 渋谷静英
他言語聴覚士 7名

専門理学療法士（神経系） 権藤 要
（小児） 権藤 要
認定理学療法士（脳卒中） 川村知史、金 由佳、早瀬裕之、宮下 創、橋爪稚乃、
松下有加里、村上 萌、松本拓也、高尾茉侑、浦上慎司
（運動器） 永富孝幸、川村知史、金 由佳
（脊髄障害） 宮下 創、小笠原峻、高尾茉侑
（神経筋障害） 吉田圭佑
（呼吸） 木村宏隆、北村優友
（循環器） 山本 准
（地域） 山本 准

認定作業療法士 加藤敏一
3学会合同呼吸療法認定士 権藤 要、永富孝幸、木村宏隆、菊池 恵、北村優友、松下有加里、
橋爪稚乃、坊慎太郎、山本 准、瀧口福人、氏家琴音
呼吸ケア指導士 瀧口福人
心臓リハビリテーション指導士 永富孝幸、北村優友、松下有加里、瀧口福人、山本 准
心不全療養指導士 橋爪稚乃
地域ケア会議推進リーダー 権藤 要、木村宏隆、北村優友、川村知史、渋谷静英、宮下 創、
高尾茉侑、山本 准

介護予防推進リーダー	権藤 要、木村宏隆、川村知史、渋谷静英、北村優友、宮下 創、山本 准
がんのリハビリテーション研修受講者	権藤 要、永富孝幸、木村宏隆、菊池 恵、北村優友、山本 准、松下有加里、門川泰輔、兼松大輔、山本朋子、細川純子、岡本麻美、橋爪稚乃、白井淳史、瀧口福人、浦上慎司、小笠原峻、富山柚果、瀬川 栞、濱中 駿、平野義希
臨床実習指導者研修修了	権藤 要、永富孝幸、木村宏隆、加藤敏一、細川純子、金 由佳、大道雅之、北村優友、坊慎太郎、宮下 創、吉田圭佑、白井淳史、山内 純、橋爪稚乃、門川泰輔、兼松大輔、小西直弥、伴 征晃、高岡夏実、片岡史穂、山本 准、松本拓也、浦上慎司、小笠原峻、早瀬裕之、古川啓介、川村知史、菅野絢子、平野義希、近藤雅也、田邊 匠、高木太一、富山柚果、瀬川 栞
糖尿病療養指導士	松下有加里
大阪糖尿病療養指導士	菊池 恵
生活行為向上実務者	松山裕子、岡野沙絵
福祉住環境コーディネーター	細川純子、中路悟史、谷口えりか、川村知史、山本 准、小笠原峻、松山裕子、兼松大輔、平野義希、氏家琴音、山下隼生
フレイル対策推進マネジャー	権藤 要、木村宏隆、北村優友、宮下 創、山本 准
LSVT® BIG	吉田圭佑
LSVT® LOUD	渋谷静英、岡本麻美、樋口 優

2. 地域支援

枚方市保健所難病患者地域支援対策推進事業 訪問相談

岡本麻美、高岡夏実、樋口 優、田邊 匠

大阪頸髄損傷者連絡会（交流会）

3. 2024年 臨床実習受け入れ状況

	臨床実習	評価・検査実習
理学療法	京都大学 四条畷学園大学 新潟医療福祉大学 畿央大学 森ノ宮医療大学 関西医療学園 大阪医療福祉専門学校 阪奈中央リハビリテーション専門学校 兵庫医科大学 大阪行岡医療大学 大阪公立大学 関西医科大学 長崎大学 計21名	兵庫医科大学 森ノ宮医療大学 大阪医療福祉専門学校 関西福祉科学大学 畿央大学 大阪行岡医療大学 計12名
		見学実習 森ノ宮医療大学 大阪南視聴障害支援学校 大阪人間科学大学 大阪医療福祉専門学校 関西福祉科学大学 計19名
作業療法	大阪医療福祉専門学校 大阪公立大学 佛教大学 関西福祉科学大学 阪奈中央リハビリテーション専門学校 森ノ宮医療大学 大阪リハビリテーション専門学校 四条畷学園大学 計8名	森ノ宮医療大学 大阪保健医療大学 関西医科大学 計5名
言語療法		大阪保健医療大学 京都保健医療専門学校 大和大学 計3名

4. 養成校講義依頼

新潟医療福祉大学、大阪医療福祉専門学校、阪奈中央リハビリテーション専門学校、森ノ宮医療大学、清恵会第二医療専門学院

5. 研修会開催状況

依頼者	依頼者テーマ	参加人数(名)
和歌山県PT協会	姿勢制御を考える「姿勢制御に関する最近の知識の整理と、その評価と治療介入のために」講義・実技	24名
JCHO近畿四国地区リハビリ主任会	リハビリ部門における人事異動の現状と課題	60名
枚方市脊損勉強会	患者・当事者と語る脊髄損傷リハビリテーションと社会復帰	116名
JCHO多施設運動器合同勉強会	勉強会の目的、内容、展望について	30名
枚方PT士会	呼吸器勉強会「フィジカルアセスメント」	107名
JCHO多施設運動器合同勉強会	JCHOとしてのエビデンス特徴とサブグループ解析	40名

JCHO多施設運動器 合同勉強会	勉強会のアンケート開示と症例検討2症例	30名
枚方PT士会	呼吸器勉強会「人工呼吸器」	123名
市民公開講座	中学生軟式野球 投球障害予防	538名
JCHO多施設運動器 合同勉強会	JCHO学会の予演会	20名
枚方PT士会	神経系・片麻痺勉強会「脳卒中に必要な姿勢制御」	73名
大阪府理学療法士会 生涯学習センター主催	呼吸理学療法の実際～ポータブル超音波エコーによる 呼吸評価と呼吸介助手技を中心に～	19名
枚方PT士会	神経系・片麻痺勉強会「脳卒中の歩行:歩行介助の実演」	21名
清恵会OB会	視診・触診、超音波エコーによる呼吸評価etc	5名
JCHO多施設運動器 合同勉強会	JCHO学会の振り返りとアンケート開示	20名

6. 2024年 リハビリテーション実績

(単位)

(件)

実施単位数	全体	PT	OT	ST	実施件数	全体	PT	OT	ST
脳血管	161,610	74,319	67,811	19,480	脳血管	63,157	28,899	25,816	8,442
運動器	93,513	83,561	9,952		運動器	37,078	33,258	3,820	
呼吸	14,735	11,676	240	2,819	呼吸	7,136	5,581	96	1,459
心大	3,587	3,304	283		心大	1,619	1,499	120	
廃用	4,771	3,518	846	407	廃用	2,192	1,646	346	200
癌	2,967	2,723	200	44	癌	1,488	1,374	91	23
合計	281,183	179,101	79,332	22,750	合計	112,670	72,257	30,289	10,124

7. 回復期・急性期病棟のFIM評価と転帰

回復期 病棟	退院 患者数 (人) [*]	FIM(ADL)			転帰 (人)							
					在宅				転院			その他
		リハ開始時	回復期入棟時	退院時	自宅	居宅施設	特養ホーム	身障施設	他病院	診療所	老健施設	死亡
新1病棟	347	68.4	85.9	104.5	266	14	21	0	19	0	27	0
新3病棟	260	64.5	80.1	97.3	188	7	25	0	20	0	18	2

※退院患者数には転棟の人数は含まず

急性期 病棟	退院 患者数 (人)	FIM(ADL) ^{**}		転帰 (人)							
				在宅				転院			その他
		リハ開始時	退院時	自宅	居宅施設	特養ホーム	身障施設	他病院	診療所	老健施設	死亡
脳卒中内科	335	57.5	82.1	195	32	32	2	41	0	14	19
脳神経外科	28	56.2	92.9	18	3	1	0	0	0	3	3
整形外科	672	90.1	112.1	594	10	21	0	36	0	8	3
外科	97	80.9	106.3	78	6	4	1	5	0	0	3
消化器内科	117	60.2	75.6	58	12	16	0	14	0	8	9
総合内科	69	68.1	82.1	37	6	5	0	17	0	4	0
糖尿病内科	96	70.7	82.4	64	7	10	0	9	0	5	1

循環器内科	77	53.4	69	30	9	15	0	8	0	6	9
心臓血管外科	9	89.9	103.0	7	0	0	0	2	0	0	0
泌尿器科	46	63.8	81.2	33	4	6	0	1	0	0	2
皮膚科	2	82.0	95.0	2	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	1	95.0	113.0	0	0	0	0	1	0	0	0
呼吸器内科	29	70.7	90.4	18	3	0	1	1	0	0	6
形成外科	9	62.0	66.5	3	1	0	0	3	0	1	1
小児科	8	38.5	40.5	7	0	0	0	1	0	0	0
リハビリテーション科	17	102.9	103.3	13	1	2	0	1	0	0	0

※※死亡患者のFIMを含まず

放射線科・診療放射線部

スタッフ

部長 田中健寛 医学博士
日本医学放射線学会放射線科専門医／日本インターベンショナルラジオロジー学会指導医／
日本医学放射線学会放射線診断専門医

非常勤嘱託医

診療放射線部

診療放射線技師長 石原正仁
副診療放射線技師長 辻村恭平
主任診療放射線技師 中嶋泰司、奥田博志、松島正直、青木和好、藤本浩員
井上博（～令和6年3月31日）
小寺力史（～令和6年6月30日）
幸田和章（～令和6年9月30日）
他技師 14名（2名常勤嘱託）

認定資格

第一種放射線取扱主任者	1名
検診マンモグラフィ撮影認定技師	3名
胃がん検診専門技師	4名
胃がんX線検診読影部門B資格認定	1名
医学物理士	1名
放射線治療品質管理士	1名
放射線治療専門放射線技師	3名
核医学専門技師	1名
救急撮影認定技師	3名
X線CT認定技師	4名
肺がんCT検診認定技師	1名
放射線管理士	3名
放射線機器管理士	2名
医療情報技師	1名
医用画像情報専門技師	1名

認定施設

放射性同位元素等使用許可施設（原子力規制委員会）、マンモグラフィ検診施設画像認定

【トピックス・特記事項】

- 1月 大阪ハイテクノロジー専門学校より実習生受け入れ（2名）
- 2月 健診胸部撮影用富士メディカル社製DR-FPD搭載受光システムCALNEOpu2 導入
放射線部門システム F-RIS Reportへ更新
- 3月 井上博主任がJCHO京都鞍馬口医療センターへ異動
宇野政徳技師がJCHO京都鞍馬口医療センターへ異動
- 4月 健診センターにてMRI装置を利用した新オプション稼働
- 5月 大阪ハイテクノロジー専門学校より実習生受け入れ（2名）
- 6月 小寺力史主任が退職
西村晴香技師が第22回 関西キヤノンCTユーザー会にて「頭部CTAの基礎からテクニックまで」と題してWEB講演
- 7月
- 8月
- 9月 幸田和章主任がJCHO京都鞍馬口医療センターへ異動
鎌田大誠技師がJCHO可児とうのう病院へ異動
- 10月 北脇泰壮主任がJCHO大阪病院より赴任
三輪大輝技師がJCHOりつりん病院より赴任
- 11月 第9回JCHO地域医療総合医学会にて
黒澤亮が「左心耳血栓評価における腹臥位心臓CTの有用性に検討」
渡邊浩平が「一般撮影におけるプレシヨトを用いた撮影精度向上の検討」
三輪大輝が「Dual Energy CT有効利用によるMRI予約枠外検査負担の改善」について発表
- 12月 大阪ハイテクノロジー専門学校より実習生受け入れ（1名）

単純撮影件数（人数）

期間：2024年1月1日～2024年12月31日まで

撮影部位別	件数
胸腹部	15,658
骨・一般	31,315
下肢長尺	1,328
脊椎長尺	2,023
乳房	2,339
骨塩測定	2,274
救急	2,490
病室	2,125
手術室	1,609
合計	61,161

造影検査件数

期間：2024年1月1日～2024年12月31日まで

検査内容		件数
消化器科系	食道・下咽頭（VF含む）	2
	上部消化管	15
	注腸（健診・小児腸重積含む）	1
	小腸	3
	DIC（胆嚢造影）	1
	胃管挿入・入替	77
	PEG	1
泌尿器科系	DIP・IP	0
	CG・VCG	38
	UCG	0
	VUUDS	48
	RP	116
	PNS	11
	尿管皮膚瘻カテ交換・造影	61
	膀胱瘻増設・カテ交換・造影	2
	その他	0
整形外科系	ミエロ・ディスク	17
	関節造影	1
	神経根造影・ブロック	37
	イメージ下整復・撮影	171
	その他（上肢静脈）	1
婦人科系	HSG	0
消化器内分泌系	PTCD・PTGBD等	96
外科系	イレウス管挿入・造影	61
	吻合部透視	1
	瘻孔造影	16
	チューブ造影	0
	シャント造影	2
	IVH挿入・位置調整	163
	胸部・腹部ドレナージ	0
内視鏡	BS	1
	ERCP系	165
	CF	29
	その他	0
健診	上部消化管（胃透視）	2,536
合計		3,673

CT検査件数

期間：2024年1月1日～2024年12月31日まで

検査部位	件数	
頭部	2,491	
頸部	55	
胸部	1,266	
腹部	313	
骨盤	705	
頸部～胸部	118	
頸部～腹部	6	
頸部～骨盤	955	
胸部～腹部	94	
胸部～骨盤	2,997	
腹部～骨盤	1,753	
脊椎	832	
四肢	2,335	
心臓	196	
ミエロ後CT	16	
ガイド下穿刺	1	
Ai	10	
合計	14,143	
外来	10,753	76.0%
入院	3,394	24.0%
単純	12,546	88.6%
造影	1,597	11.4%
病診連携	548	3.9%
救急（救急科）	391	2.8%

MRI検査件数

期間：2024年1月1日～2024年12月31日まで

検査部位	件数	割合
頭部	2,736	39.7%
頸部	29	0.4%
胸部	10	0.1%
腹部	523	7.6%
骨盤	462	6.7%
脊椎	1,550	22.5%
関節	1,217	17.6%
四肢	308	4.3%
心臓	0	0%
その他	62	0.9%
合計	6,897	100%
外来	5,669	82.2%
入院	1,228	17.8%
病診連携	829	12.0%
救急（救急科）	50	0.7%

血管撮影件数

期間：2024年1月1日～2024年12月31日まで

部位	患者数	手術・検査名	件数
心臓	177	心臓カテーテル検査	80
		経皮的冠動脈ステント留置術	42
		経皮的カテーテル心筋焼灼術	95
		ペースメーカー移植術など	18
		その他	0
頭部	27	動脈造影カテーテル法	25
		脳血管内手術（1箇所）	5
		経皮的脳血管形成術	0
		頭部血栓（溶解、吸引、回収）術	6
		経皮的頸動脈ステント留置術(CAS)	2
		その他	3
腹部	7	動注治療	6
		血管塞栓術	7
		その他	0
四肢	40	血管拡張術・血栓除去術	38
		その他	0
合計	251		327

核医学検査件数

期間：2024年1月1日～2024年12月31日まで

検査部位	件数	
骨	68	
腫瘍・炎症	11	
脳（SPECT含）	72	
心筋	50	
肝・胆道	0	
腎	2	
レノグラム	2	
副腎	0	
肺血流	4	
甲状腺	1	
副甲状腺	1	
唾液腺	1	
消化管出血	1	
リンパ管	2	
蛋白漏出	1	
合計	216	
外来	183	84.7%
入院	33	15.3%
病診連携	23	10.6%

放射線治療件数

期間：2024年1月1日～2024年12月31日まで

疾患郡分類	件数	
脳・脊髄	glioma	0
	転移	0
	その他	1
食道		0
頸部・鎖骨リンパ節		0
胸部	扁平上皮癌	0
	腺癌	0
	小細胞癌	0
	大細胞癌	0
	転移	0
	再発	0
	その他	1
乳房		1
胃・肝・小腸・結腸・直腸	再発	5
泌尿器系	前立腺	1
	膀胱	0
	その他	0
皮膚・骨・軟部腫瘍	肺癌	1
	胃癌	0
	腎癌	0
	膀胱癌	1
	前立腺癌	5
	悪性リンパ腫	0
	皮膚癌	0
	ケロイド	0
	不明癌	0
	合計	16

麻酔科

スタッフ

部長 集中治療部長 辻村 茂久

麻酔科標榜医／日本専門医機構認定麻酔科専門医／日本麻酔科学会麻酔科認定指導医

医 長 名本和子 医学博士

麻酔科標榜医／日本専門医機構認定麻酔科専門医／日本麻酔科学会認定麻酔科指導医

医 員 柏井朋子

麻酔科標榜医／日本専門医機構認定麻酔科専門医／日本麻酔科学会認定麻酔科指導医／
緩和ケア研修会修了／日本区域麻酔検定試験（JRACE）合格

医 員 大倉奈保美

麻酔科標榜医／日本麻酔科学会認定麻酔科専門医・指導医

医 員 駕田貴美子 (～令和6年3月31日)

麻酔科標榜医／日本麻酔科学会認定麻酔科認定医・専門医

医 員 大平僚祐 (～令和6年12月31日)

麻酔科標榜医／緩和ケア研修会修了

年齢別統計

	男 性	女 性
～1カ月	0	0
～12カ月	0	1
～5歳	6	9
～18歳	122	69
～65歳	391	221
～85歳	400	539
86歳～	62	110
合 計	981	948

ASA PS別統計

1	343
2	1,242
3	239
4	1
5	0
6	0
1 E	23
2 E	47
3 E	27
4 E	7
5 E	0
6 E	0
合 計	1,929

診療科別統計

整形外科	1,304
外科	247
泌尿器科	241
耳鼻咽喉科	78
形成外科	31
心臓血管外科	20
脳神経外科	5
皮膚科	3
歯科口腔外科	0
合 計	1,929

手術部位別統計

脳神経・脳血管	5
胸腔・縦隔	0
心臓・血管	1
胸腔+腹部	0
上腹部	100
下腹部	297
帝王切開	0
頭頸部・咽喉頭	93
胸壁腹壁会陰	100
脊椎	213
股関節・四肢	1,115
検査	1
その他	4
合 計	1,929

体位別分類

仰臥位	1,140
腹臥位	271
側臥位	236
切石位	250
坐位	21
その他	11
合 計	1,929

麻酔法別分類

全身麻酔(吸入)	1,747
全身麻酔(TIVA)	17
全(吸)+硬脊伝	67
全(TIVA)+硬脊伝	10
CSEA	0
硬膜外	0
脊髄くも膜下麻酔	88
伝達	0
その他	0
合 計	1,929

歯科・歯科口腔外科

スタッフ

部長 福辻美貴

歯科医師臨床研修指導医／緩和ケア研修会修了

外来新患者主訴内訳

歯周疾患	1,075
歯科補綴	117
う歯疾患	37
抜歯（難抜歯・埋伏歯他）	63
顎関節症	17
粘膜疾患	20
唾液腺疾患（ドライマウス含）	3
外傷（裂傷・歯牙破折等）	11
顎骨骨折	2
腫瘍（悪性含む）	6
三叉神経痛	2
睡眠時無呼吸症候群	5
味覚障害	3
その他	115

入院患者疾患・処置内訳

顎骨骨折	0
顎骨嚢胞	1
蜂窩織炎	1
プレート除去	0
抜歯	15
腫瘍	0
止血処置	9
上顎洞炎	0
その他	1

新患患者年齢分布

0～10	10
11～20	55
21～30	31
31～40	34
41～50	73
51～60	145
61～70	253
71以上	804

新患有病疾患別（重複あり）

内臓疾患（糖尿病等）	106
脳血管・脳外科疾患	92
整形（脊髄損傷等）疾患	691
循環器疾患	44
感染症（HBV・HCV・HIV等）	77
呼吸器疾患	17
皮膚疾患	33
外科系疾患	70
泌尿器・腎臓疾患	132
眼疾患	90
消化器疾患	98
産科・婦人科疾患	5
耳鼻咽喉疾患	61
その他	100

外来患者統計

患者統計者延数	5,238
1日平均患者数	21
新患者数	1,405
院外紹介患者数	107
院内紹介患者数	207

臨床検査科・病理診断科・臨床検査部

スタッフ

病理診断科

部長 鳥井 郁子 医学博士
日本病理学会認定病理専門医・指導医／日本臨床細胞学会細胞診専門医・指導医／
日本がん治療認定医機構暫定教育医

部長 河 流 陽 子
緩和ケア研修会修了

非常勤病理医 2名

臨床検査部：33名

臨床検査技師長 稲 田 孝
主任（検体検査部門） 筒 井 孝 一（～R06.03.31）
小 井 エ ミ、槇野美紀子
主任（生体検査部門） 岩間真奈美、井 田 淳
助手・洗浄 1名

学会認定施設

日本病理学会登録施設（平成26年より変更）
日本臨床細胞学会認定病院（平成15年4月より認定）

認定資格

細胞検査士	4名
国際細胞検査士	3名
認定病理検査技師	1名
超音波検査士（循環器領域）	4名
超音波検査士（消化器領域）	3名
超音波検査士（体表臓器領域）	2名
超音波検査士（健診領域）	4名
日本糖尿病療養指導士	2名
認定血液検査技師	1名
認定血骨髓検査技師	1名
認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師	1名
認定医療情報技師	1名
緊急検査士	3名
認定心電図専門士	1名
二級臨床検査士資格認定（血液学）	7名
二級臨床検査士資格認定（臨床化学）	4名
二級臨床検査士資格認定（微生物学）	4名
二級臨床検査士資格認定（病理学）	4名
二級臨床検査士資格認定（循環生理学）	5名
二級臨床検査士資格認定（神経生理学）	1名

臨床検査部業務実績・特記事項

- ・タスクシフトシェアに関する厚生労働大臣指定講習会 9名受講
- ・検体採取等に関する厚生労働省指定講習会 21名受講
- ・臨地実習指導者講習会 2名受講
- ・検査説明、相談ができる臨床検査技師育成講習会 1名受講

日本医師会臨床検査精度管理調査

令和6年度日本医師会精度管理評価点は99.1点であった。

過去5年間の評価点を記す。

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
評価点	100	99.2	99.1	99.1	99.1
D、Cの評価	0	0	0	0	0

臨床検査部業務統計報告

1) 検査件数

	2024年度
一般検査	65,221
血液検査	125,323
化学免疫検査	993,092
細菌検査	30,917
病理検査	24,743
外部委託	19,885
総 合 計	1,259,181

2) 超音波検査件数

	2024年度
腹部	4,602
心臓（経食含む）	2,904
下肢深部静脈（血栓・弁不全）	2,173
頸動脈	999
その他	711
総 合 計	11,389

3) 生理検査件数

	2024年度
心機能検査	9,201
呼吸器機能検査	707
脳波・神経検査	367
聴力検査	1,326
その他	171

	2024年度
《健診》	
血管年齢	985
心電図	8,830
肺機能	2,143
聴力	8,350
視力	8,438
眼圧	1,271
眼底カメラ	3,063
総 合 計	44,852

4) 実習生受入れ数

施設名	人数
大阪医療技術学園専門学校	2

輸血検査室

輸血責任医師 梶座康夫 (兼 整形外科部長)

専従臨床検査技師 1名

臨床検査部 血液製剤の発注及び在庫管理
血液製剤使用状況の把握
自己血の管理
保冷庫の管理 (自記温度記録、警報装置)
輸血副作用の情報整理と赤十字血液センターへの報告
アルブミン製剤の管理
使用製剤管理及び適正輸血の推進
血液型、交差試験、不規則抗体スクリーニングと抗体同定
その他輸血関連検査

診療治療部 輸血後感染症の把握
使用製剤管理及び適正輸血の推進
自己血輸血に対する協力

看護部 輸血療法、自己血輸血の安全な実施のための看護管理・教育

統計資料

①輸血管理料 (I) + 輸血適正使用加算施設基準

FFP 76u /RBC 980u = 0.08 (基準0.54未満)

ALB 1580u /RBC 980u = 1.61 (基準2.00未満)

②製剤別症例数

製剤名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総症例数
自己血 C P D A	13	18	12	10	9	12	15	13	9	14	8	10	143
照射赤血球液 - LR	28	18	24	13	18	26	23	16	22	19	20	24	251
照射濃厚血小板 - LR	1	1	2	2	1	1	2	1	4	3	5	1	24
新鮮凍結血漿 - LR	0	2	1	0	0	2	2	2	3	1	1	0	14
献血アルブミン	8	8	7	10	3	11	12	5	9	6	9	15	103

*管理料算定数 年間443症例

③製剤別使用数

製剤名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総単位数
自己血C P D A	28	36	24	20	19	24	38	26	18	31	16	19	299
照射赤血球液-LR	90	58	88	54	74	112	104	60	96	74	80	90	980
照射濃厚血小板-LR	10	10	40	30	30	10	90	10	80	60	100	10	480
新鮮凍結血漿-LR	0	8	2	0	0	8	6	8	28	4	12	0	76
献血アルブミン20%静注10g/50ml	13	15	6	19	6	26	40	20	36	31	29	38	279(本)
献血アルブミン5%静注12.5g/250ml	8	9	40	17	8	14	11	3	20	1	10	15	156(本)

④廃棄率

	購入単位数	廃棄単位数	年間廃棄率
R B C	996	12	1.2%
F F P	92	8	8.7%

⑤輸血検査件数

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総件数
血液型検査	341	311	383	330	291	352	375	342	336	430	358	362	4,211
不規則抗体検査	123	117	132	138	109	132	127	112	114	140	115	92	1,451
交差試験(生食法のみを含む)	48	93	59	30	47	58	54	30	51	36	41	44	591

病理診断体制

令和6年における病理診断は病理医3名で協力してこれにあたり、細胞診は指導専門医1名と細胞検査士4名で所見作成に当たった。

病理解剖は、解剖医、主治医、研修医、臨床検査技師でこれに当たった。

病理診断実績

1) 病理組織診断に関する統計：本年2353件

項目	統計(件)						
性別	男	1,481	62.9%	女	872	37.1%	計 2,353
出所別	外来	1,290	54.8%	入院	1,063	45.2%	計 2,353
依頼方法	至急(迅速)	87(22)	3.7%	普通	2,266	96.3%	計 2,353
材料別	生検・EMR(ポリバク)	1,854	78.8%	手術・摘出	499	21.2%	計 2,353
良悪性	悪性	429	18.3%	良性・境界	1,885	80.3%	計 2,314
癌の種類別	腺癌	246	50.0%	その他	246	50.0%	計 492
保険対象別	1臓器	1,861	72.7%	2・3臓器	454	17.7%	計 2,315
免疫染色	免疫加算(MLを含む)	205	98.6%	乳癌ER,PgR&Her2	3	1.4%	計 208
備考	胃+大腸標本数	1,536	65.3%	その他	817	34.7%	計 2,353

2) 細胞診断に関する統計：本年4065件

	判 定					組織診断と 対比できた件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適（重複含）	合計件数	
婦人科（頸部を除く）	395	4	1	36	436	1
呼 吸 器	106	0	0	13	119	0
消 化 器	62	41	14	1	118	92
泌 尿 器	712	84	25	0	821	95
乳 腺	11	6	6	2	25	4
甲 状 腺	28	3	2	4	37	0
体 腔 液	76	4	7	0	87	34
リ ン パ 節	5	1	2	2	10	0
そ の 他	5	0	0	0	5	0
総 件 数	1400 (84.4%)	143 (8.6%)	57 (3.4%)	58 (3.5%)	1658 (100.0%)	226

婦 人 科 頸 部	検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL
	0	2351	35	8	9	2
	AGC	SCC	Adenocarcinoma	AIS	Other maling	合計件数
	1	1	0	0	0	2407
						組織診断と 対比できた件数
						2

剖検に関する内容

通し番号	剖検月日		出 所	主病変	死 因
A24-0900	7月26日	74歳男性	整形外科	肺炎	肺炎

CPCならびにカンファレンス

- 1) 剖検CPC：病理医1名と初期研修医1名が担当し、2024/10/4に実施した。
- 2) 手術・生検病理カンファレンス：病理診断室で随時、診断困難例について担当医らとヴァーチャルスライドなどで討議した。

健診科

スタッフ

副院長 福地成晃

健康管理センター長

外科部長

日本外科学会外科専門医・指導医／日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医／
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医／日本消化器病学会消化器病専門医・指導医／
日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能指導医／日本胆道学会認定指導医／難病指定医／
臨床研修指導医講習会修了／緩和ケア研修会修了

部長 河流陽子

緩和ケア研修会修了

部長 中本泰生 医学博士

日本人間ドック・予防医療学会認定医／人間ドック健診情報管理指導士（人間ドックアドバイザー）

医 長 佐竹英恵 医学博士

日本内科学会認定内科医／日本人間ドック・予防医療学会認定医／
人間ドック健診情報管理指導士

手術部

スタッフ

部 長	奥田 眞也	
麻酔科部長	辻村 茂久	
看護師長	松島真智子	
副看護師長	池野 智子	
	片柳 ちえ	
看 護 師	24名	臨床工学技士 3名 看護補助者 3名

手術件数（各科別手術室使用の件数）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
外 科	26	16	21	21	26	17	21	26	23	23	31	22	273
整形外科	115	130	113	115	121	121	137	149	122	138	118	112	1,491
脳 外 科	0	0	1	2	1	2	4	2	1	5	3	1	22
皮 膚 科	8	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
泌尿器科	23	26	34	21	20	24	29	25	23	28	31	23	307
婦 人 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼 科	0	0	0	8	12	12	12	11	11	17	12	12	107
口腔外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
形成外科	8	0	0	11	18	14	14	19	9	17	11	12	133
消化器内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳 鼻 科	2	8	10	10	4	4	7	8	7	9	8	7	84
血管外科	4	6	5	5	5	5	3	6	3	4	4	6	56
緩和ケア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計件数	186	192	184	193	207	199	227	246	199	241	218	196	2,488

各科別緊急手術件数（当日発生した緊急手術）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
外 科	9	2	5	5	4	3	2	6	4	3	4	6	53
整形外科	9	7	5	8	7	9	10	8	9	10	7	12	101
脳 外 科	0	0	0	1	1	2	3	2	1	4	3	1	18
皮 膚 科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
泌尿器科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	1	1	6
眼 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
口腔外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心臓血管外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
形成外科	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	5
耳 鼻 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計件数	19	9	11	15	13	15	15	17	14	21	15	21	185

麻酔科別件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
全身麻酔	137	156	146	145	150	140	174	168	153	169	155	151	1,844
腰椎麻酔	11	4	7	11	4	6	6	7	8	10	10	4	88
局所麻酔、他	38	32	31	37	53	53	47	71	38	62	53	41	556

集中治療部

スタッフ

ハイケアユニット

部長	辻村 茂久 (麻酔科部長)
看護師長	藤本 育美 ~3月 大友 貴代 4月~
副看護師長	小林 重美 (脳卒中リハビリテーション認定看護師) ~3月 深津 百合 (集中ケア認定看護師) 4月~
看護師	19名 ~3月 18名 4月~

クリニカル・インディケーター

入室後48時間以内の再入室率 0%

診療科別

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
脳 外	0	0	2	3	1	2	2	0	1	4	1	0	16
整 形	21	24	21	31	23	25	35	32	32	47	31	42	364
外 科	16	8	10	7	15	7	7	14	8	10	11	8	121
泌 尿 器	1	2	2	0	0	2	1	3	2	3	3	1	20
救 急	7	2	3	1	3	5	1	2	1	2	1	3	31
卒 内	12	12	11	6	6	5	3	1	6	2	5	3	72
循 内	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
消 内	0	1	5	0	2	3	0	0	0	0	3	0	14
そ の 他	2	2	0	1	0	2	2	1	1	2	3	1	17
計	59	53	55	49	50	51	51	53	51	70	59	58	659

入室経路

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
緊急入院	20	16	22	6	9	13	4	7	4	7	10	9	127
緊急転入	12	9	14	7	4	5	7	4	10	3	6	4	85
予定転入	27	28	19	36	37	33	40	42	37	60	43	45	447
計	59	53	55	49	50	51	51	53	51	70	59	58	659

転帰

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
軽 快	54	50	53	49	50	44	45	51	45	71	45	60	617
転 院	1	3	0	1	1	1	3	1	0	10	1	1	23
死 亡	3	0	2	3	2	3	1	1	5	2	3	0	25
計	58	53	55	53	53	48	49	53	50	83	49	61	665

入室日数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
0～7	49	51	50	48	48	45	46	51	44	67	53	58	610
8～14	4	2	2	2	0	2	1	1	3	0	3	1	21
15～21	2	0	0	2	0	1	0	0	1	2	1	0	9
22～	1	0	0	1	2	0	1	1	2	1	0	2	11
計	56	53	52	53	50	48	48	53	50	70	57	61	651

年齢別入院

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
0～15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16～29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
30～49	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3
50～64	1	2	5	0	0	3	0	0	0	0	2	1	14
65～74	1	2	2	1	2	0	2	1	1	1	3	2	18
75～79	0	0	3	0	1	0	0	0	0	1	1	4	10
80～89	6	9	10	4	3	7	1	5	2	2	4	1	54
90～	0	2	2	2	2	3	1	1	1	1	0	1	16
計	8	16	22	7	9	13	4	7	4	7	10	9	116

人工透析室

スタッフ

室長	松本吉弘	医学博士 日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医・指導医 日本排尿機能学会認定医 日本透析医学会認定透析専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医
担当医	宮崎和喜	日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医・指導医 日本透析医学会認定透析専門医
	大森千尋	日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医
	守安雅弘	
看護師長	藤本育美	～2024年3月
	大友貴代	2024年4月～
看護師	林由美子	
臨床工学技士	村岡利英	

学会認定施設

日本透析医学会教育関連施設

業務統計

透析関連治療施行件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
外来	50	68	50	52	54	45	52	52	52	52	52	52	631
入院	25	46	32	9	23	50	42	57	33	32	40	55	444
アフエレーシス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
透析導入	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3
CART	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3

透析用コンソール 9台

最大透析可能人数 27名

内視鏡センター

スタッフ

センター長 徳原 満雄

副センター長 乾 直美 (～R6.3) 林 由規彦 (R6.4～)

令和6年(2024年)内視鏡治療・検査件数

検査・治療	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
上部消化管(健診含む)	346	395	317	358	381	424	482	409	455	579	518	434	5,098
EUS・EUSFNA	5	2	3	5	5	8	3	6	6	4	4	7	58
ESD	1	6	4	5	4	5	7	4	2	10	4	4	56
EMR	1	1	1	0	2	1	1	1	0	0	0	0	8
止血術(APC含む)	1	5	9	6	3	7	4	3	1	8	7	5	59
PEG造設・交換	5	4	4	7	3	5	2	2	3	2	3	2	42
その他	4	4	7	4	2	6	5	2	4	4	3	10	55
下部消化管	59	71	77	87	82	76	98	75	74	77	80	56	912
大腸EMR	26	23	23	25	36	29	22	30	20	35	24	19	312
コールドポリペクトミー	15	22	34	30	33	38	34	29	33	48	27	22	365
大腸ESD	5	4	5	4	3	4	3	3	5	7	4	4	51
その他	0	2	3	3	2	3	1	4	3	5	1	6	33
ERCP	10	8	14	10	18	10	12	10	7	13	18	12	142
気管支鏡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	478	547	501	544	574	616	674	578	613	792	693	581	7,191

医療器機

内視鏡室4室、TV室1室の5つの検査室で運用している。

オリンパス社AIを搭載したENDOBRRAIN-EYEシステム1台設置し運用を始めた。

2024年2月より、内視鏡ファイリングシステムSolemio QUEVを導入した。

オリンパス	EVIS X1 CV1500 4台
	EVIS LUCERA ERITE CV290 1台

ビデオスコープ

上部				下部		
	GIF-EZ1500	3本	GIF-Q260J	1本	CF-EZ1500DI	2本
	GIF-XZ1200	1本	GIF-H290T	2本	CF-XZ1200I	3本
	GIF-H260	1本	GIF-UCT260		PCF-H290ZI	5本
	GIF-1200N	8本	GIF-2TQ260M		PCF-PQ260L	2本
					CF-H260AI	1本
側視鏡	JF-260V 1本	TJF-260V 1本	TJFQ290V 1本			

高周波

ERBE VIO3 2台

地域医療連携室

スタッフ

室長（副看護部長）	1名
地域医療連携室員（事務）	5名（うち1名は3月31日まで、うち2名は4月1日から）
ソーシャルワーカー	2名（うち1名は3月31日まで）
任期付常勤職員（看護師）	1名
非常勤職員（事務）	1名

月別「紹介総件数」及び「地域医療連携室予約件数」

	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	紹介総数	地域予約	紹介総数	地域予約	紹介総数	地域予約	紹介総数	地域予約	紹介総数	地域予約
1月	837	609	761	502	792	553	705	492	738	477
2月	810	540	682	503	715	484	727	518	737	478
3月	832	545	922	636	853	622	903	633	761	541
4月	611	337	889	588	800	544	792	483	983	643
5月	583	362	763	497	775	553	855	554	866	571
6月	862	594	852	548	858	625	893	564	858	551
7月	914	644	888	608	834	553	782	520	906	566
8月	866	592	790	515	756	516	746	464	785	458
9月	910	676	786	561	819	601	758	564	776	516
10月	1,054	735	938	722	814	584	857	506	866	507
11月	904	581	916	590	850	579	695	477	798	493
12月	756	483	825	526	767	488	703	409	827	472
合計	9,939	6,698	10,012	6,796	9,633	6,702	9,416	6,184	9,901	6,273

開放型病棟入院患者数

	平成29年	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
	1月	11	10	17	22	12	19	18
2月	11	15	19	14	6	14	23	13
3月	11	19	18	12	16	13	27	31
4月	12	8	32	8	25	16	35	24
5月	8	12	22	10	43	16	40	37
6月	21	16	23	9	48	36	46	24
7月	11	15	28	12	24	37	22	26
8月	10	12	20	13	15	38	35	27
9月	15	15	29	13	9	30	30	17
10月	7	10	16	13	9	17	34	27
11月	16	9	26	13	15	30	19	37
12月	16	16	21	7	13	31	25	31
合計	149	157	271	146	235	297	354	312

令和6年 地域医療連携室 科別「予約件数」

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
内科再掲	内 科	126	130	153	185	150	121	146	125	130	150	129	112	1,649
	脳 卒 中	9	8	7	8	9	8	3	7	4	8	7	7	85
	脳 神 内	21	13	14	21	18	8	16	13	11	13	8	11	167
	糖 尿 病	0	5	2	2	1	6	1	6	3	0	3	3	32
	腎 臓 病	0	4	2	2	6	1	2	1	0	5	1	2	26
	緩 和 病	11	8	14	23	12	14	22	18	13	18	13	15	181
	循 環 器	12	24	32	26	15	15	17	17	21	16	21	17	233
	消 化 器	67	63	74	96	71	59	68	54	75	77	69	54	827
	呼 吸 器	1	2	3	4	7	3	6	6	2	7	4	3	48
	総 計	5	3	3	2	11	4	11	3	1	4	3	0	50
免 疫 内	0	0	2	1	0	3	0	0	0	2	0	0	8	
精神神経科	3	3	1	1	0	3	3	1	3	2	4	2	26	
小児科	11	13	20	20	24	18	17	9	9	12	13	11	177	
外科	7	6	3	7	7	6	10	8	6	10	13	4	87	
整形外科	117	116	154	193	199	178	183	142	137	126	119	161	1,825	
脳神経外科	3	2	2	5	1	0	1	0	2	0	1	2	19	
皮膚科	11	6	1	0	1	1	5	7	8	4	6	5	55	
泌尿器科	28	28	25	18	19	31	22	15	18	28	31	19	282	
産婦人科	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
眼科	3	2	1	5	4	6	4	0	7	5	9	0	46	
耳鼻咽喉科	40	41	38	44	42	28	32	26	30	29	25	25	400	
リハビリ科	0	3	0	1	1	4	2	0	1	0	1	1	14	
放射線科	107	105	128	137	101	130	108	106	135	124	119	116	1,416	
呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
形成外科	10	10	1	9	13	11	21	9	13	8	10	10	125	
心臓血管外科	0	0	0	8	3	9	6	7	10	4	6	3	56	
血管外科	6	8	8	0	1	0	0	0	2	1	0	0	26	
歯科・口腔外科	4	4	6	10	5	5	6	3	5	4	7	1	60	
合 計	477	478	541	643	571	551	566	458	516	507	493	472	6,273	

入退院支援室

スタッフ

入退院支援室 室長 看護師長 1名
 入退院支援室 室員 副看護師長 2名
 入院支援専従看護師 1名 専任看護師 1名
 退院支援専従看護師 1名
 看護師 4名

〈活動内容〉

令和6年次は、3月から導入した入退院ナビシステムを活用し、患者の意向に基づいた医療の提供を實踐できるようにPatient Flow Managementの充実に努めた。

地域の医療、介護機関との連携が円滑になるよう情報共有システムについての学習会に参加した。

入院支援室では、入院が決定した患者への入院前説明や意向確認に注力し、退院後の生活支援を見据えた支援に取り組んでいる。

・地域連携会議への参加

枚方市訪問看護ステーション連絡会 2回
 入退院支援ネットワーク会議 3回

・教育活動

大手前大学看護学部 関西看護専門学校実習受け入れ
 院内研修生に対し、退院前同行訪問を取り入れた研修を実施

2024年度 入退院支援室

入院支援														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院対応件数		279	238	265	254	261	253	279	281	300	283	264	242	3,199
入院前説明	緊急	46	38	40	41	32	39	57	50	84	59	60	41	587
	予定	233	200	225	213	229	214	222	231	216	224	204	201	2,612
術前支援・検査説明・他科対応		468	433	487	498	544	487	546	549	528	583	436	500	6,059
術前オリ	全麻	216	205	221	210	228	180	208	225	209	236	190	203	2,531
	腰椎/伝麻	11	9	16	15	16	15	18	13	15	11	19	12	170
	追加対応	241	219	250	273	300	292	320	311	304	336	227	285	3,358
退院支援														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
退院支援介入件数		391	481	437	453	397	389	470	425	447	364	326	337	4,917
緊急入院		272	321	293	309	254	255	298	255	314	258	224	232	3,285
65歳以上予定入院		119	160	144	144	143	134	172	170	133	106	102	105	1,632
退院支援カンファレンス 実施件数		839	1,033	901	934	866	682	1,138	819	779	537	810	595	9,933

新規	評価	425	447	429	419	420	292	495	348	356	214	321	226	4,392
	退院支援介入	113	232	148	187	181	145	272	204	167	121	193	155	2,118
継続	退院支援介入	251	291	258	267	218	190	307	189	180	149	269	156	2,725
IC・カンファレンス		50	63	66	61	47	55	64	78	76	53	27	58	698
連携・加算		22	34	33	36	15	30	31	47	32	23	12	30	345
多機関		1	1	3	3	0	0	0	2	2	0	0	0	12
共同指導		2	4	5	5	6	4	4	7	9	2	1	5	54
介護連携指導料		19	29	25	28	9	26	27	38	21	21	11	25	279
退院支援介入業務		206	275	258	297	263	161	229	321	312	267	182	241	3,012
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合同カンファ		21	18	28	15	17	13	14	23	30	22	7	22	230
情報提供	ケアマネ	103	114	108	146	88	60	106	130	113	112	70	118	1,268
	施設	37	70	74	75	90	50	63	86	104	83	50	56	838
	診療所・病院	3	4	10	6	1	4	1	13	13	7	17	9	88
	家族	17	14	10	20	28	8	12	16	14	10	8	9	166
	訪問看護	7	19	12	6	9	8	11	21	23	11	7	6	140
	認定調査	5	9	4	7	2	4	1	7	4	3	1	6	53
	MSW	13	27	12	22	28	14	21	25	11	19	22	15	229

福祉相談室

スタッフ

室長	亀谷明美	社会福祉士・介護支援専門員
室員	岩本亜加根	社会福祉士
	山岸久高	社会福祉士・介護支援専門員
	山口卓哉	社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員
	本間紘奈	社会福祉士・介護支援専門員
	小木奈々恵	社会福祉士・精神保健福祉士
	山崎咲奈	社会福祉士・精神保健福祉士
	泉秀人	社会福祉士

令和6年次 福祉相談室新規相談患者件数

※援助区分は一行為一件でカウントする

相談月	入・外		小計	診療科別												小計	紹介経路	
	入院	外来		総合内科	脳神経内科	脳卒中内科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科	外科	整形外科	脳外科	泌尿器科	緩和ケア科	その他		医師	看護師
1月	142	53	195	23	0	63	0	16	8	6	47	1	8	8	15	195	22	52
2月	130	27	157	7	3	57	0	14	10	6	41	0	6	2	11	157	11	55
3月	134	27	161	6	0	52	0	16	11	8	37	1	6	4	20	161	21	57
4月	126	22	148	1	0	57	0	6	8	8	46	6	5	5	6	148	8	57
5月	107	36	143	8	2	46	1	0	10	10	29	3	4	13	17	143	14	40
6月	122	24	146	8	0	36	2	4	13	11	37	6	4	8	17	146	11	55
7月	147	36	183	5	0	45	3	4	21	15	53	1	8	12	16	183	17	62
8月	119	24	143	10	0	54	2	4	8	10	32	2	7	4	10	143	17	49
9月	112	41	153	12	3	38	1	3	14	14	35	5	3	9	16	153	11	61
10月	113	56	169	6	0	35	2	6	9	10	48	5	7	29	12	169	15	62
11月	114	49	163	12	0	50	1	5	9	11	27	7	1	17	23	163	23	46
12月	116	60	176	7	0	48	2	3	14	8	44	2	0	36	12	176	15	68
合計	1,482	455	1,937	105	8	581	14	81	135	117	476	39	59	147	175	1,937	185	664

相談月	紹介経路					小計	相談区分					小計	援助区分					小計
	院内職員	他病院	関係機関	自発	その他		経済問題	療養問題	受診問題	退院問題	その他		情報提供	面接援助	関係調整	制度利用	その他	
1月	46	23	4	40	8	195	6	45	45	72	38	206	24	84	136	9	37	290
2月	58	9	3	14	7	157	4	42	19	64	33	162	15	51	90	11	29	196
3月	51	6	3	20	3	161	5	32	32	70	29	168	5	70	79	5	37	196
4月	47	9	1	26	0	148	3	34	23	62	35	157	6	72	59	3	38	178
5月	43	19	7	9	10	142	2	21	43	50	33	149	6	50	84	8	32	180
6月	53	12	2	13	1	147	1	28	31	69	27	156	9	55	95	6	19	184
7月	68	15	9	11	1	183	2	49	38	70	30	189	8	68	114	8	30	228
8月	16	10	3	48	0	143	4	21	35	51	41	152	7	53	79	2	30	171
9月	26	20	7	26	2	153	3	33	39	59	25	159	7	61	92	5	23	188
10月	22	37	2	28	3	169	3	35	51	71	18	178	9	68	104	6	15	202
11月	18	35	10	21	11	158	11	27	50	52	27	167	17	52	96	7	24	196
12月	14	34	9	23	12	175	7	29	54	55	36	181	14	59	96	8	34	211
合計	462	229	60	279	58	1,931	51	396	460	745	372	2,024	127	743	1,124	78	348	2,420

令和6年次 福祉相談室継続相談患者件数

※援助区分は一行為一件でカウントする

相談月	入・外		小計	診療科別												小計
	入院	外来		総合内科	脳神経内科	脳卒中内科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科	外科	整形外科	脳外科	泌尿器科	緩和ケア科	その他	
1月	718	61	779	25	0	237	1	44	14	27	270	0	19	90	52	779
2月	741	35	776	29	3	290	0	72	42	23	211	1	13	38	54	776
3月	823	24	847	27	1	292	0	51	46	34	244	1	19	56	76	847
4月	677	13	690	41	9	253	3	35	33	29	181	14	14	29	49	690
5月	662	31	693	38	0	216	2	52	50	18	213	20	21	24	39	693
6月	676	18	694	11	0	212	1	35	48	40	252	14	11	35	35	694
7月	712	29	741	15	15	219	19	26	41	36	234	13	24	35	64	741
8月	708	17	725	36	1	194	39	41	42	21	184	36	25	34	72	725
9月	597	23	620	13	2	180	40	31	26	35	153	16	16	24	84	620
10月	697	16	713	9	2	193	28	33	28	22	245	39	27	25	62	713
11月	622	35	657	9	1	195	34	20	19	27	227	28	15	20	62	657
12月	614	28	642	17	1	159	39	18	22	23	223	34	2	30	76	644
合計	8,247	330	8,577	270	35	2,640	206	458	411	335	2,637	216	206	440	725	8,579

相談月	相談区分					小計	援助区分					小計
	経済問題	療養問題	受診問題	退院問題	その他		情報提供	面接援助	関係調整	制度利用	その他	
1月	53	130	111	477	37	804	72	304	485	59	15	935
2月	30	121	72	546	28	797	49	298	523	41	20	931
3月	61	108	70	592	26	857	49	325	553	51	20	998
4月	12	69	38	557	20	696	24	269	473	17	11	794
5月	19	90	53	505	31	698	28	255	492	27	13	815
6月	12	101	32	553	21	719	20	282	479	47	10	838
7月	15	99	65	561	12	752	36	276	496	26	26	860
8月	30	65	69	536	25	725	49	254	454	31	22	810
9月	23	69	67	437	30	626	30	250	392	22	37	730
10月	31	90	55	532	20	728	34	328	422	30	32	846
11月	36	80	56	462	27	661	32	257	405	39	40	773
12月	17	61	73	463	41	655	46	255	426	33	29	789
合計	339	1,083	761	6,221	318	8,718	469	3,353	5,600	423	275	10,119

社会福祉実習受け入れ状況

学校名	人数	期間
大阪公立大学	1名	令和6年8月8日～令和6年9月11日（実日数24日間）
龍谷大学	2名	令和6年10月1日～令和6年11月7日（実日数24日間）

医療相談室

スタッフ

室長 医事課長

専従 看護師長

専任 副看護部長

専任 事務員

《医療相談検討会委員》

医師：地域包括支援センター長

総務企画課：総務企画課長補佐

経理課：経理課長補佐

医療安全対策室：専従リスクマネージャー・副看護師長

福祉相談室：福祉相談室長

総務企画課：総務企画課長 オブザーバー

1. 医療相談

性別	男性	151	
	女性	157	
	不明	2	
相談・苦情	相談	177	
	苦情	133	
相談内容	診察・検査内容	128	
	職員の接遇	68	
	看護に関する内容	15	
	経済的理由	14	
	入退院・転院	7	
	受診相談	61	
	施設・設備・環境	15	
	病院経営・システム	14	
	癌・緩和ケア	8	
	福祉・介護制度	11	
	その他	76	
	援助区分	面接	181
		電話	89
		情報提供	1
書面回答		2	
関係調節 MSW		0	
続柄	関係調節・医事課	0	
	関係調節・庶務課	1	
	地域医療	2	
	その他	76	
	本人	217	
	家族	90	
	親戚	0	
その他	3		
	不明	0	

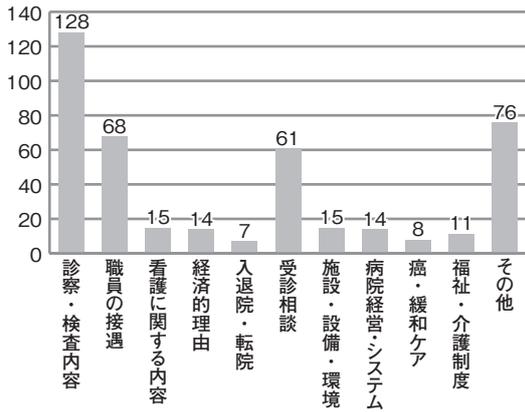
1-1) 医療相談・苦情内容

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
診察・検査内容	13	6	7	16	11	11	6	10	6	15	13	14	128
職員の接遇	4	4	3	8	9	7	2	9	2	3	11	6	68
看護に関する内容	0	1	0	2	5	1	0	2	1	2	0	1	15
経済的理由	2	2	0	2	0	0	1	0	1	3	2	1	14
入退院・転院	1	0	1	0	1	0	0	3	0	0	1	0	7
受診相談	6	7	4	6	5	5	1	2	6	9	4	6	61
施設・設備・環境	1	2	1	1	0	2	1	1	1	1	3	1	15
病院経営・システム	0	0	0	1	1	1	1	2	2	4	1	1	14
癌・緩和ケア	1	2	0	2	1	1	1	0	0	0	0	0	8
福祉・介護制度	0	0	0	2	1	0	2	0	1	1	2	2	11
その他	3	4	2	7	5	7	3	8	9	8	6	14	76
合計	31	28	18	47	39	35	18	37	29	46	43	46	417

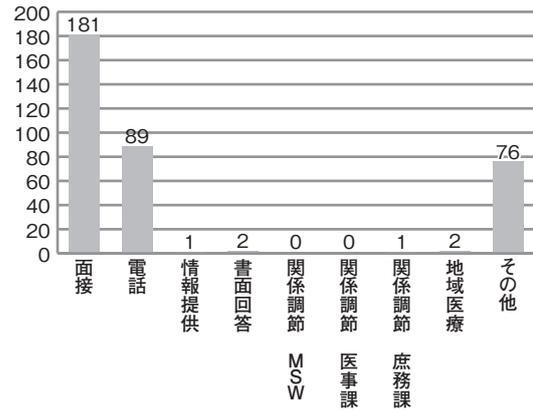
2. みなさまの声 月別投稿件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
意見・提案	3	4	5	8	8	3	4	5	7	5	3	2	57
苦情・不満	7	4	8	6	7	3	5	11	6	5	7	1	70
感謝・お誉め	2	3	1	4	1	2	5	3	4	4	6	4	39
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合計	12	11	14	18	16	8	15	19	17	14	16	7	167

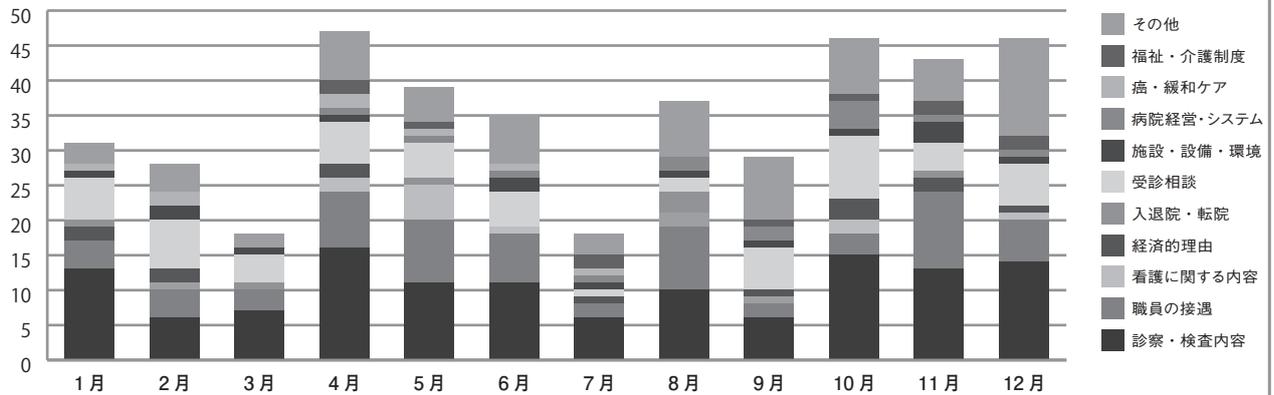
1. 医療相談 内容



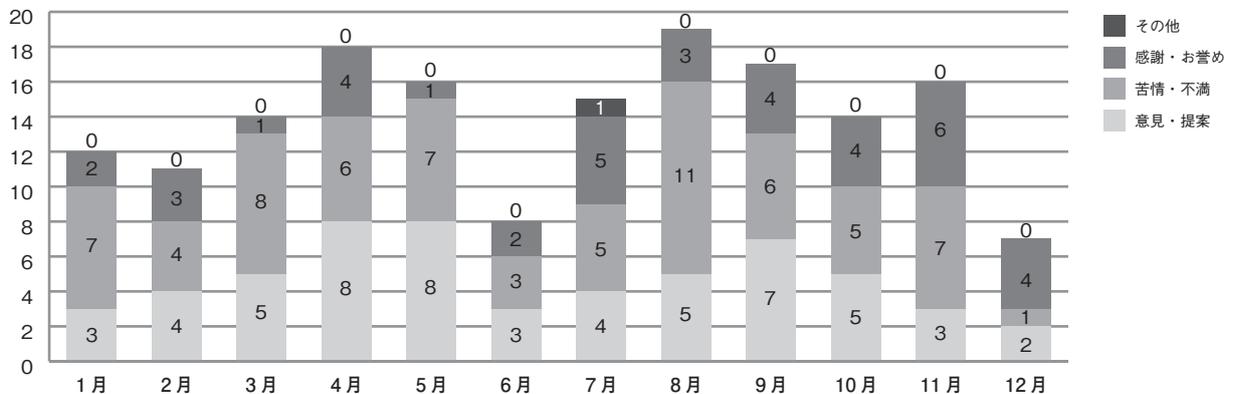
1. 医療相談 援助区分



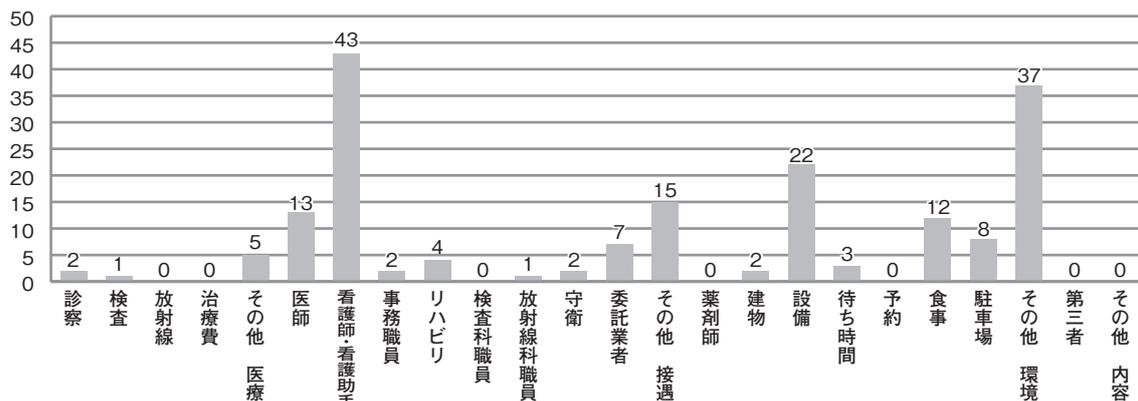
1-1) 医療相談 月別報告



2. みなさまの声 分類



2. みなさまの声 投稿内容



がん相談支援センター

センター部門

がんMDT(多分野横断チーム医療)センター

スタッフ

センター長	福地成晃	(医師)
がん相談専任者	山口卓哉	(MSW)
がん相談兼任者	森本道子	(がん放射線療法看護)
がん相談兼任者	大谷智子	(臨床心理士)
がん相談兼任者	亀谷明美	(MSW)
がん相談兼任者	山岸久高	(MSW)
がん相談兼任者	岩本亜加根	(MSW)
がん相談兼任者	春田広子	(MSW)
がん相談兼任者	船曳美穂	(MSW) (~令和6年3月31日)
がん相談兼任者	本間紘奈	(MSW)
がん相談兼任者	小木奈々恵	(MSW)
がん相談兼任者	山崎咲奈	(MSW)
がん相談兼任者	泉秀人	(MSW)

令和6年次 がん相談支援室 統計

■相談形式

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
対面相談	1	1	0	1	1	2	1	1	0	0	1	0
電話相談	8	7	11	17	10	14	17	17	6	11	15	18
Eメール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9	8	11	18	11	16	18	18	6	11	16	18

■受診状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
自施設入院中	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0
自施設通院中	1	1	2	0	1	2	1	0	0	0	3	0
他施設入院中	2	2	3	6	4	6	5	5	3	3	4	9
他施設通院中	6	5	6	10	6	6	11	13	3	8	9	9
その他(不明)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
合計	9	8	11	18	11	16	18	18	6	11	16	18

■がんの部位

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
眼・脳・神経				2						1		
耳鼻咽喉・口腔		2	1	1	3	1		1			1	1
胃	1	1	1	1		1	2	1	2	1		
食道					1			1			1	
大腸	1	1	2	2	2	4	2	3			2	2
小腸・肛門												
肝・胆	1		4	3	1	1	1	1			2	2
膵	1	2		1		2	4	1		1	3	7
肺	1	1	1	4	1		4	2	2	5	1	1
縦隔・心臓												
乳房					1			3			2	2
卵巣・膣・外陰部			1	1		2	1					
子宮												
精巣												
前立腺	2	1	1		1	2	3	1		1		
腎・尿管・膀胱				2		3	1	1		1	4	2
甲状腺								1		1		
副腎												
血液・リンパ腫	1							1	2			
皮膚				1								
骨・軟部組織					1			1				
後腹膜・腹膜												
中皮腫	1											
原発不明												1
不明											1	
その他												
希少がん												
診断なし												
合計	9	8	11	18	11	16	18	18	6	11	17	18

■相談内容

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
がんの治療	1		1	2	1						2	
がんの検査				1							1	
副作用・後遺症		1			1	2					2	
セカンドオピニオン(一般)												
セカンドオピニオン(受入)												
セカンドオピニオン(他へ紹介)												
治療実績												
臨床試験・先進医療												
受診方法・入院				2								
転院												
医療機関の紹介												
がん予防・検診												
在宅医療												
ホスピス・緩和ケア	8	7	10	15	10	12	17	18	6	11	13	18
食事・服薬・入浴・運動・外出など												
介護・看護・養育		1				1	1					
社会生活(就労・仕事・就学・学業)												
医療費・生活費・社会保障制度												
補完代替療法												
生きがい・価値観												
不安・精神的苦痛												
告知												
医療者との関係・コミュニケーション												
患者-家族間の関係・コミュニケーション				1								
友人知人・職場の人間関係・コミュニケーション												
患者会・家族会(ピア情報)												
不明												
その他						1						
その他(具体的内容)												
グリーフケア												
合 計	9	9	11	21	12	16	18	18	6	11	18	18

■がんサロン

開催日時】令和6年10月11日(金)10時30分～11時30分 ひまわりサロンを開催

【場 所】1階患者図書室

【参加人者】6名

医療安全管理室

1. 活動報告

- 1) RMによる院内ラウンド12回実施
- 2) 医療安全対策地域連携
 - ①加算Ⅰ－Ⅰ連携（10月1日・10月22日 相互訪問）
 - ②加算Ⅰ－Ⅱ連携（11月13日、12月13日 訪問）
- 3) 「誤認防止策 救急外来 簡易ネームバンド導入」
医療安全対策マニュアル改訂（医療安全関連メンバーなど、救急システムマニュアルなど）
医療安全管理指針改訂
- 4) 院内広報：Hoshigaoka Safety News 発行
 - ・【チューブ閉塞】（経管栄養薬剤注入）
 - ・【チューブ抜去】（SJカテーテルと膀胱留置カテーテル留置、ミゼアセーフX導入）
 - ・中央採血室で患者照合システムを導入しました！
 - ・新年度あらたにインシデントレポートシステムがいよいよわかります
 - ・誤認リーフレットの活用
 - ・ファントルくん使用状況
 - ・子ども虐待防止組織 オレンジニュース発行 2回
- 5) 医療安全文化調査 令和6年9月調査

2. 医療安全研修の開催：年2回の研修受講率100%

- 1月・医療安全研修（追加）
 - ・コメディックス・ファントルくん（インシデントシステム）操作説明会

- 5月・NPPVのマスク説明会
- 5月・医療ガス研修「医療ガスの安全な取り扱い」
- 6月【医療安全 全体研修】
「令和5年度の活動報告・医療安全に関する押さえておきたいこと」
 - ・CV/PICC研修
 - ・2024年度第1回災害研修
- 7月・医療安全前期研修（追加Web研修）
 - ・第57回院内薬剤研修「なるほど納得とろみ付けのポイント」
- 9月・第1回チームSTEPPS研修
 - ・ME機器研修（ハンズオン）「輸液ポンプ、シリンジポンプの取り扱い」
- 10月・第2回チームSTEPPS研修
 - ・CPT委員会医療安全研修
- 11月・CPT委員会医療安全研修（追加Web研修）
 - ・第3回チームSTEPPS研修
 - ・医療放射線安全研修「放射線検査を行う為の基礎知識」
- 12月・医療放射線安全研修「放射線検査を行う為の基礎知識」（追加Web研修）
 - ・ME機器研修（ハンズオン）「用手的人工換気」
- 12月【医療安全 全体研修】
講演「カスタマーハラスメントについて」
講師：仁邦法律事務所 弁護士 桑原博道氏
・身体拘束最小化推進研修「身体拘束最小化の基準」

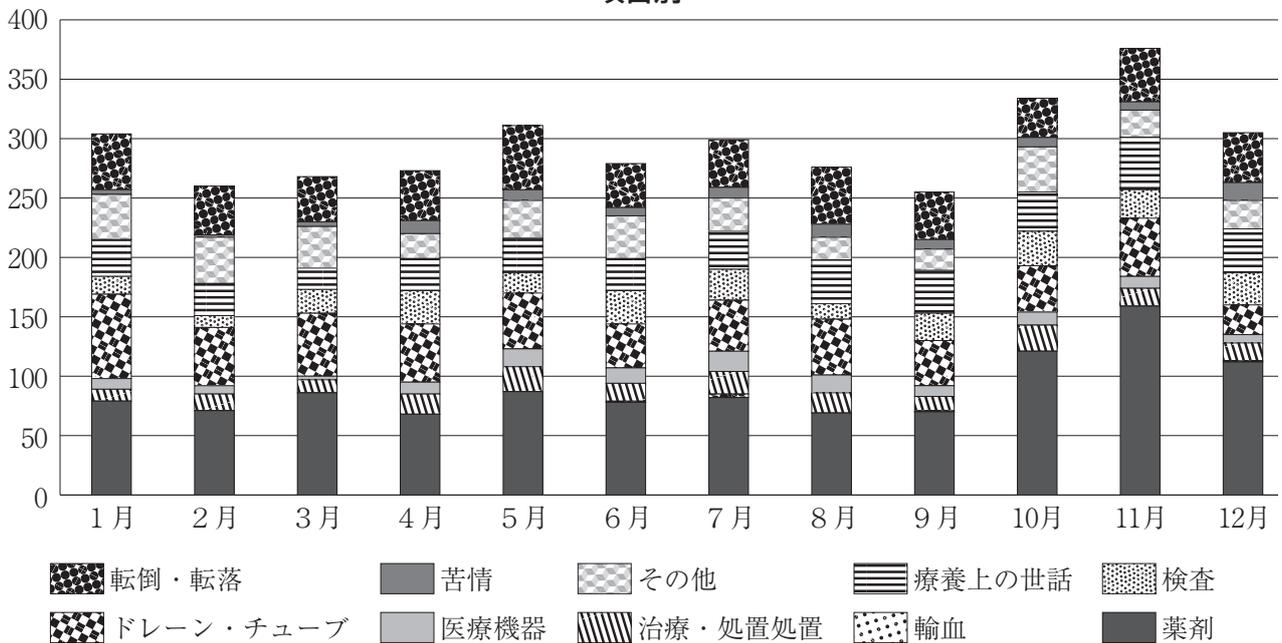
項目別 ヒヤリ・ハット・インシデント・アクシデント報告件数

	R6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
薬剤	79	71	86	68	87	78	82	69	70	121	159	112	1,082
輸血	0	0	0	0	0	1	3	0	1	0	0	1	6
治療・処置処置	10	14	11	17	21	15	19	17	12	22	15	15	188
医療機器	9	7	3	10	15	13	17	15	9	11	10	7	126
ドレーン・チューブ	71	49	53	49	47	37	43	47	38	39	49	25	547
検査	15	10	20	28	17	28	26	13	23	29	24	27	260
療養上の世話	31	27	18	27	29	27	32	37	36	33	44	37	378
その他	38	39	35	21	32	36	28	19	18	38	23	24	351
苦情	4	2	4	11	9	7	9	11	8	8	7	15	95
転倒・転落	47	41	38	42	54	37	40	48	40	33	45	42	507
合計	304	260	268	273	311	279	299	276	255	334	376	305	3,540

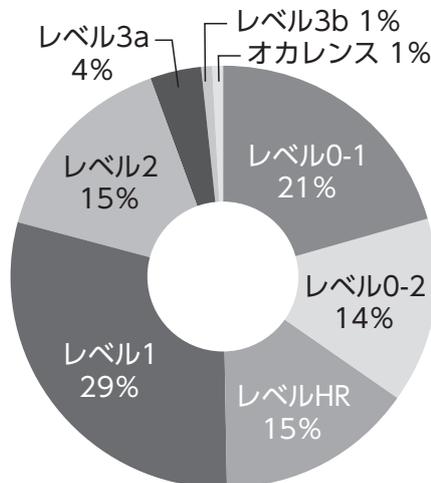
レベル別 ヒヤリ・ハット (0-1~HR)・インシデント (1~3a)・アクシデント (3b~5) 報告件数

	R6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
レベル0-1	48	49	38	55	51	58	73	45	73	85	88	72	735
レベル0-2	36	35	25	33	50	50	42	46	36	56	47	56	512
レベルHR	41	34	45	39	42	34	38	28	36	65	80	48	530
レベル1	103	80	105	78	109	80	73	78	65	80	99	95	1,045
レベル2	68	49	46	49	46	41	57	54	36	33	49	22	550
レベル3a	9	10	7	15	11	15	12	18	9	13	9	11	139
レベル3b	0	3	2	4	2	1	4	7	0	2	4	1	30
レベル4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
レベル5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オカレンス	4	0	3	0	3	3	2	2	1	1	1	2	22
合計	309	260	271	273	314	282	301	278	256	335	377	307	3,563

項目別



レベル別割合



感染管理室

1. 構成メンバー

感染管理室のメンバーは病院長が指名する医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務職員等で構成される。
感染管理責任者（室長：ICD）1名、感染管理担当者（副室長：感染管理室専従看護師）1名
感染管理担当医師1名、感染管理室担当薬剤師2名、感染管理室担当臨床検査技師2名
感染管理室担当看護師2名

2. 通常業務

- 1) 院内感染症実態の把握（後掲）と感染症報告の届け出（院内・保健所）
- 2) 院内発生の感染事故の把握と対応（針刺し切創事故を含む）
- 3) 院内分離菌の情報収集（MRSA、ESBL、MDRP等の耐性菌）と週間・月間・年間報告
- 4) 薬剤感受性率等の年間報告
- 5) 院内抗菌薬使用状況の報告
- 6) 栄養課環境検査、施設水道設備レジオネラ検査

3. 活動報告

- 1) 感染対策研修会開催
 - ・クリニカルカンファレンス（対象：全職員）：計59回
 - ・e-ラーニング（対象：全職員）：4コンテンツ

月 日	テ ー マ	対 象	参加者数
6月4日～25日 e-ラーニング(7/1～7/31)	令和5年度活動報告	全職員	727名
10月21日～12月26日 12月9日～13日	手洗いキャンペーン	全職員	699名
11月22日	CLAP療法	医 師 看護師	42名
11月29日	抗菌薬の基本と薬剤耐性対策について	全職員	33名
12月3日	第58回院内薬剤勉強会 適正な輸液管理について	医 師 看護師 薬剤師	24名

2) 感染対策向上加算

- ・I-I 連携相互ラウンド（市立ひらかた病院、関西医大ひらかた病院、美杉会佐藤病院、枚方公済病院、男山病院、暁生会脳神経外科病院、交野病院、守口生野記念病院（2024年度より））
2024年1月24日（2023年度） 交野病院感染対策チームによる当院への施設内ラウンド
2024年11月8日 枚方公済病院感染対策チームによる当院への施設内ラウンド
2024年11月18日 当院感染対策チームによる守口生野記念病院への施設内ラウンド
- ・I-II、Ⅲ及び外来感染対策向上加算定期カンファレンス（市立ひらかた病院、香里ヶ丘有恵会病院、東香里病院、福田総合病院、大阪精神医療センター）
新型コロナウイルス感染拡大に伴い2022年4月以降webmeetingへと変更した。

月 日	議 題
2023年度第4回目 2024年2月13日(火) 14:00~15:00	1. 基本事項 手指消毒薬の1日1患者あたりの使用量の推移、耐性菌検出動向、カルバペネム系薬・抗MRSA薬のAUDおよび抗MRSA薬のTDM率 2. 泌尿器科医の考える尿路感染症について 3. CR-BSI対策 CDCガイドライン2017での部分改定について 4. 質疑応答
2024年度第1回目 2024年7月4日(木) 1部: 15:00~15:45 2部: 15:50~16:15	1部: 合同カンファレンス ・手指消毒薬の1日1患者あたりの使用量の推移、耐性菌検出動向、カルバペネム系薬・抗MRSA薬のAUDおよび抗MRSA薬のTDM率 ・今回の診療報酬改定と新興感染症と薬剤耐性菌に備えた地域連携の強化 2部: 新興感染症に関する訓練 ・熱帯地方で蚊にさされて高熱を発している人の対応
2024年度第2回 2024年9月11日(水) 15:00~16:00 (Zoom)	・手指消毒薬の1日1患者あたりの使用量の推移、耐性菌検出動向、カルバペネム系薬・抗MRSA薬のAUDおよび抗MRSA薬のTDM率
2024年度第3回 2024年11月13日(水) 15:00~16:00 (Zoom)	・手指消毒薬の1日1患者あたりの使用量の推移、耐性菌検出動向、カルバペネム系薬・抗MRSA薬のAUDおよび抗MRSA薬のTDM率

・ I-II、III及び外来感染対策向上加算施設ラウンド

月 日	訪問施設
2024年3月5日 (2024年度)	大阪精神医療センター、福田総合病院

3) 職員への啓発活動

- ・感染症の流行期における注意点や注意喚起を院内掲示板(コメディックス)に掲載し注意喚起を実施
- ・ICT NEWS(COVID19 NEWS)の発行

発行号数	タイトル	発行月
17-18合併	職業別の感染対策、古くて新しい麻しんに注意	4月
19	手足口病が大阪府内でも流行中	6月
20-21合併	感染管理システム(ICTweb)を活用しよう マイコプラズマ肺炎に注意 感染対策の徹底を	10月
23	感染管理に関する診療報酬が改定されました	10月
24	年末年始はインフルエンザにご注意!	12月

4. 感染症報告

1) 入院患者

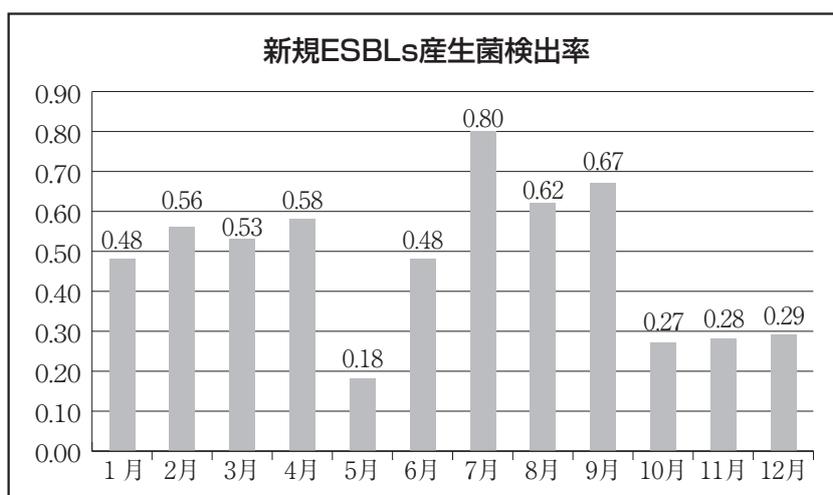
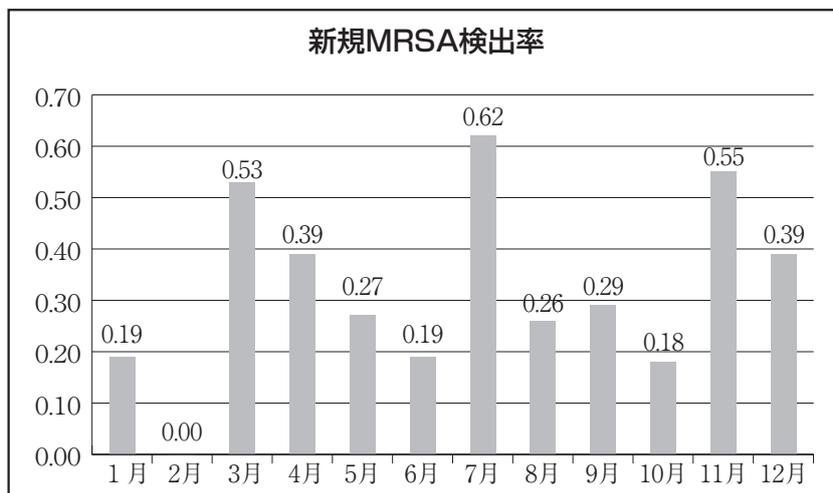
MRSA検出率及びESBLs産生菌検出率は下記グラフ参照

疾患名	合計	疾患名	合計
新型コロナウイルス感染症	217	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0
インフルエンザA型	0	ノロウイルス感染症	1
インフルエンザB型	0	その他	0

・新型コロナアウトブレイク対応 3回(7月、12月)

2) 職員

疾患名	医師	看護部	医療技術	事務	外部委託	合計
新型コロナウイルス感染症	9	92	13	10	9	133
インフルエンザA型またはB型	0	22	8	1	4	35



5. 針刺し切創・粘膜曝露報告

・針刺し切創：15件

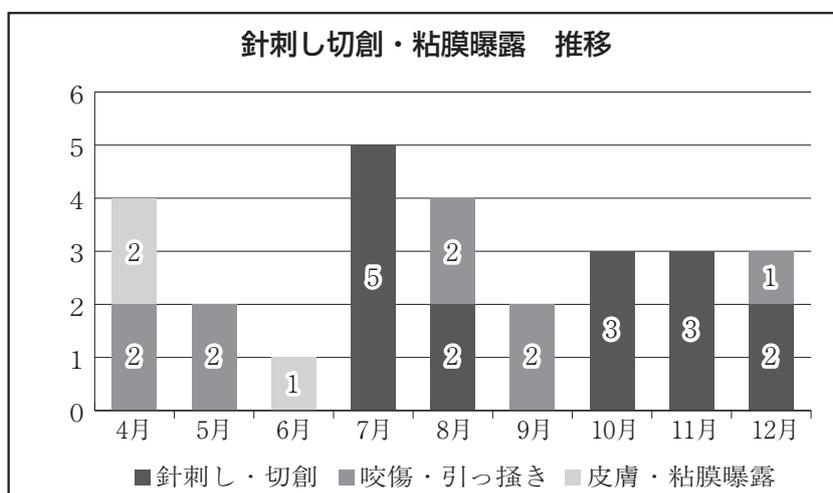
内訳：診療部：5件、看護部：8件、臨床検査部：1件、リハビリ部：1件

・咬傷・引掻：7件

内訳：看護部：7件

・粘膜曝露：3件

内訳：診療部：1件、看護部：1件、その他：1件



チーム医療部・摂食嚥下支援チーム

コアメンバー

委員 長 脳卒中内科副院長
 副委員 長 摂食嚥下障害看護認定看護師
 委員 医師 4 名 歯科医師 1 名 言語聴覚士 7 名 管理栄養士 1 名 看護師 3 名

活動内容

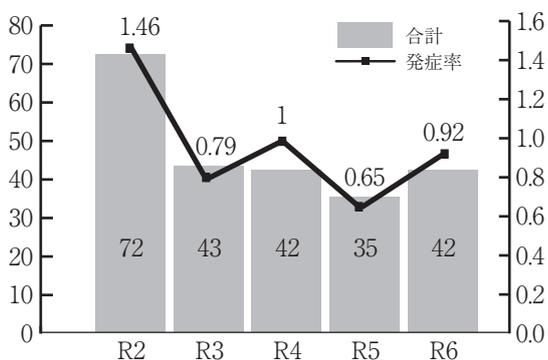
嚥下障害のある患者に対して、食形態の選定についての相談や、嚥下訓練や摂食姿勢などの指導を多職種で行っています。嚥下評価は、ベッドサイドスクリーニングの結果より、必要な患者さんに対して、嚥下内視鏡での評価を行っています。できる限り経口摂取が継続、また獲得できるように支援をしています。急性期の患者さんから在宅への退院に向けた食事摂取や外来患者さんに対する支援を行っています。また栄養サポートチームとも情報共有し、食事形態や補助食品など栄養も考慮した食事を検討しています。誤嚥性肺炎予防や経口摂取ができるような支援を中心に関わっています。

入院患者の嚥下内視鏡実施件数

(単位：人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
外科	1		1										2
整形外科								2	1	2			5
泌尿器科							1						1
糖尿病内科	2	1	1			2	2	2				1	11
循環器科		1	1	2									4
消化器内科	2	3			1								6
呼吸器内科						1		1					2
総合内科	1		3	5	2	2	2	3	2	1	2		23
心臓血管外科			1						1				2
	6	5	7	7	3	5	5	8	4	3	2	1	56

誤嚥性肺炎の院内発症率



回復期リハビリ病棟の経口摂取移行率（令和6年度）

新1病棟 20%
 新3病棟 44%

チーム医療部・認知症ケアチーム

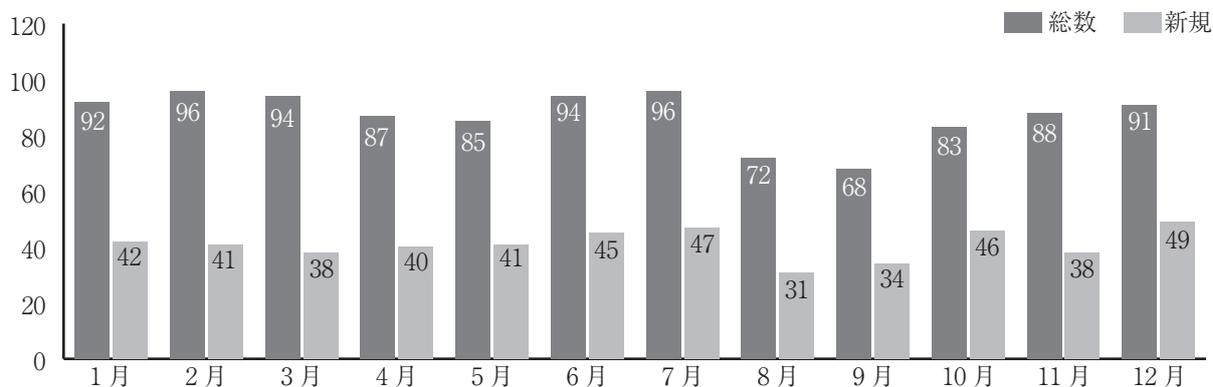
チームメンバー

リーダー 高橋大介医師
 サブリーダー 中野認知症看護認定看護師
 メンバー 岩本・小木ほか社会福祉士
 稲葉・柿花・小山薬剤師
 大谷臨床心理士
 門川・高木作業療法士
 富山・奥村理学療法士
 渋谷言語聴覚士
 東管理栄養士

活動内容

入院患者に対して、毎週火・水曜日に多職種で病棟回診・カンファレンスを行っています。認知症による行動・心理症状や意思疎通の困難さが見られ、身体的疾患の治療への影響の可能性のある患者さんに対し、行動・心理症状を予防・緩和し、安全を守る方法として身体的拘束が第一選択とならないように安心・安全な環境調整、認知症ケアについて部署とともに話し合い、検討しています。

チーム介入総数・新規介入依頼数



チームへの依頼内容（重複あり）

入院初期・術後の混乱	223
安静が守られにくい	77
転倒・転落の可能性がある	118
夜間眠れない	34
ルート類を抜く・抜こうとする	83
食事を食べない、食べようとしていない	14
元気がない	17
その他	197

チーム介入終了になった理由

部署で対応できるようになった	199
依頼内容が解決できた	85
入院前と同じ状態に戻った	95
多職種と連携して関わっている	41
体調管理を優先	20
その他	51

チーム医療部・呼吸療法サポートチーム（RST）

スタッフ

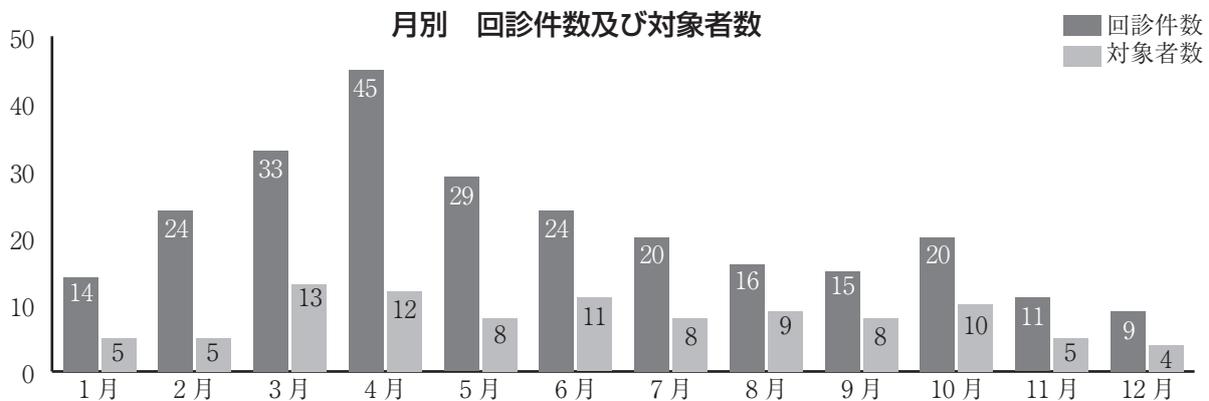
医師
看護師
理学療法士
臨床工学技士

活動内容

病棟回診として週一回スタッフにより人工呼吸器の装着中あるいはそれに準ずる患者を回診し、適切な人工呼吸器管理（機器管理、鎮静、喀痰吸引、ポジション、栄養、口腔ケアなど）をチェックしアドバイスしています。RSTには人工呼吸器に関連した特定行為研修修了者が在籍しており、必要な患者に対して特定行為手順書に基づいてタイムリーな対応を実施しています。また、要望に応じて病棟スタッフに対する説明や物品の紹介説明を行い、院内の呼吸ケアの標準化を図っています。教育活動は職種の専門分野を生かした講義や勉強会を開催し、知識と実践の両面から呼吸ケアのレベルアップを図っています。

月別 回診件数及び対象者数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
回診件数	14	24	33	45	29	24	20	16	15	20	11	9	260
対象患者数	5	5	13	12	8	11	8	9	8	10	5	4	98



年間介入件数

年間回診数	年間対象者数	加算対象者数	加算対象外者数
260	46	8	38

年間人工呼吸器関連機器装着件数

人工呼吸器	NPPV	HFNC
34	32	35

チーム医療部・栄養サポートチーム

コアメンバー

医務局	伊藤泰司（リハビリテーション科部長）
看護部	長谷川有美子（看護師長） 小林重美（副看護師長） 井上文（副看護師長）～令和6年3月 岡田由紀子～令和6年3月 二神鳴美 瀬屑多映子 令和6年4月～
栄養管理室	東由里（副栄養管理室長） 坂東由香（主任管理栄養士） 尾上結香
薬剤部	稲場純子（主任薬剤師） 鈴木香織
リハビリテーション部	安東賢太郎
臨床検査部	小井エミ（主任臨床検査技師）

活動内容

低栄養状態の方、静脈栄養又は経腸栄養から経口移行目的の方、経腸栄養管理を行っている方に低栄養の改善を目的に、毎週木曜日・金曜日にNST回診を実施しています。嚥下調整食を摂取している方には、摂食・嚥下障害看護認定看護師と連携し、個々の嚥下状態に応じた食事を提供し、低栄養にならない栄養管理を行っています。また、褥瘡チーム、がんサポートチーム、認知症ケアチーム、摂食・嚥下障害看護認定看護師等、多職種と連携し情報共有を行っています。平成22年12月1日より栄養サポートチーム加算を算定しています。

認定資格

日本病態栄養学会病態栄養専門医	1名
日本病態栄養学会栄養サポートチームコーディネーター	1名
日本病態栄養学会病態栄養認定管理栄養士	2名
日本病態栄養学会認定NST研修修了者	9名
日本栄養治療学会栄養サポートチーム専門療法士	3名
日本栄養治療学会臨床実地修練修了者	3名
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	2名
摂食・嚥下障害看護認定看護師	1名

施設認定

日本栄養療法推進協議会認定NST稼働施設（平成19年度より）
日本病態栄養学会認定NST研修施設（平成21年度より）

NST介入理由

Alb不良	328
摂取不良	215
術前・術後管理	59
GLIM低栄養	29
経腸移行	15
経口移行	14
経腸栄養管理	11
褥瘡	2
体重減少	1
その他	4
合計	678

単位：人

NST終了理由

回復期リハビリ病棟へ転棟	164
転院	141
退院	110
Alb改善	87
地域包括ケア病棟へ転棟	85
死亡	28
新2病棟へ転棟	14
中止	13
緩和ケアへ移行	8
ターミナル	2
合計	652

*26名は継続

単位：人

病棟別回診件数

(単位：人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
4東病棟	19	45	39	34	33	40	34	29	22	35	28	28	386
4西病棟	35	35	31	43	44	29	36	42	23	19	12	25	374
SCU	5	1	5	3	4	0	2	1	1	0	4	3	29
5東病棟	37	16	34	29	25	21	22	37	17	19	20	25	302
5西病棟	26	25	42	18	24	17	20	19	18	11	14	19	253
7階病棟	16	32	45	10	30	14	26	35	16	11	26	18	279
新2病棟	59	75	47	49	44	46	42	47	-	-	-	-	409
HCU	5	3	9	7	10	5	7	8	4	6	4	4	72
合計	202	232	252	193	214	172	189	218	101	101	108	122	2,104

※9月より新2病棟はリハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算算定

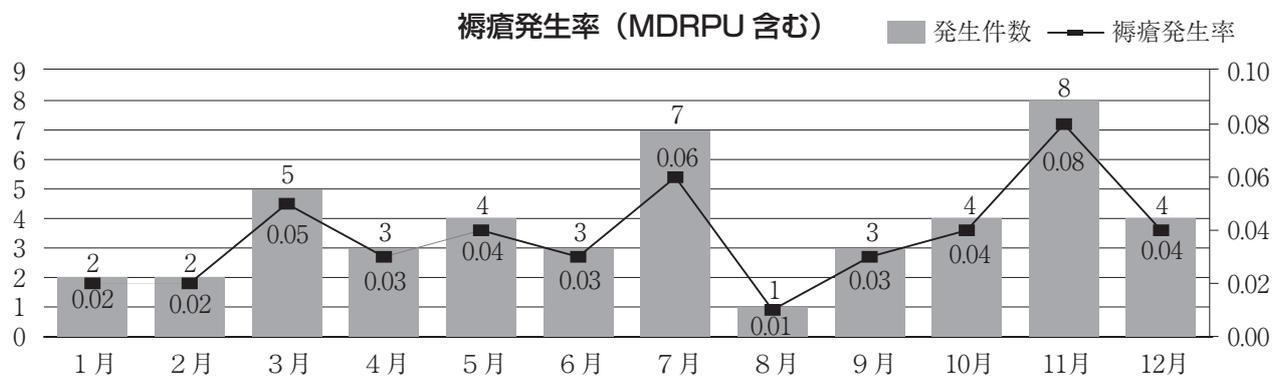
チーム医療部・褥瘡対策チーム

スタッフ

- 委員長 皮膚科医師（3月まで）、形成外科医師（4月より）
 副委員長 皮膚・排泄ケア認定看護師
 委員 皮膚科医師1名（3月まで）、形成外科医師2名（4月より）
 薬剤師 1名、管理栄養士 1名、理学療法士 2名
 作業療法士 2名、皮膚・排泄ケア認定看護師 2名、医事課 1名

活動内容

毎週月・火曜日の2回、多職種で病棟回診を行っています。回診では褥瘡および医療関連機器圧迫創傷（以下MDRPU）を有する患者さんに対し、治癒または改善を目的として、発生要因をみきわめ治療の検討やケアアドバイスをしています。特にポジショニングが難しい場合は体圧分布センサーを用い可視化し、個人の体の特徴に応じた体圧管理を行っています。

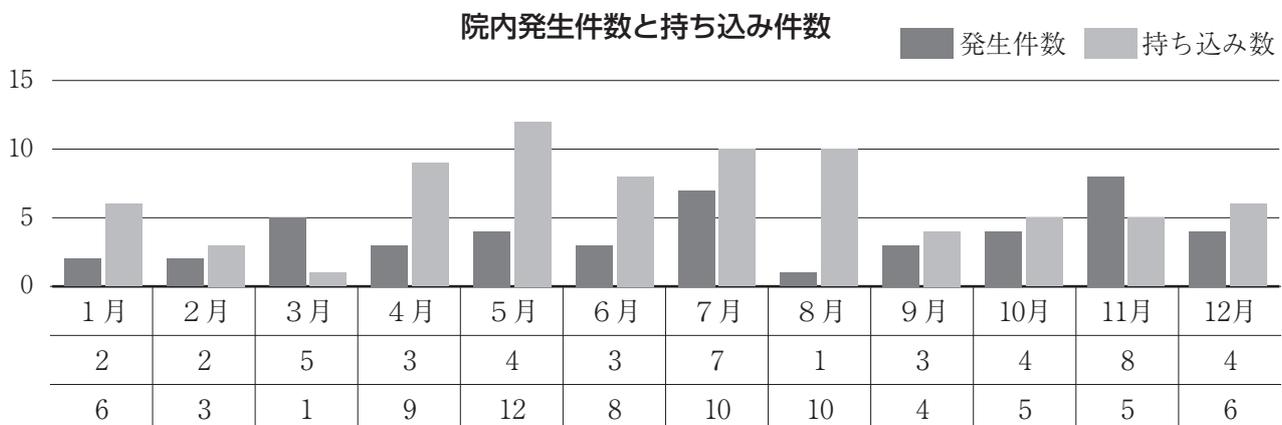


※真皮までの褥瘡発生率：医療の質可視化プロジェクト（日本医療機能評価機構）

当院の病床数と同等規模の病院の中央値は0.08

分子：調査期間中に真皮以上の新規褥瘡発生患者数

分母：入院時に既に真皮以上の褥瘡発生した患者を除いた入院患者延べ数



チーム医療部・がんサポートチーム

スタッフ

委員長	緩和ケア科部長
副委員長	チーム専従：チームリーダー 精神科医師
委員	チーム専任：緩和ケア科医師
	チーム専従 看護師：がん放射線看護認定看護師
	看護師：がん性疼痛看護認定看護師
	看護師：がん化学療法看護認定看護師
	薬剤師、臨床心理士、医療ソーシャルワーカー、栄養士

活動内容

多職種で構成されるメンバーで、入院・外来ともに平日1日30名を上限として、毎日回診を行っています。週1回チームカンファレンスを開催し、症状マネジメント及び緩和ケア病棟への転棟検討を実施しています。病棟回診時に症状緩和及びその他の苦痛緩和の為のアドバイスや療養先の調整、患者・家族の意思決定支援を行い早期に苦痛緩和ができるように支援しています。

地域に対しては、往診医と連携を取りながら緩和ケア病棟・外来・急性期病棟と協力、情報共有し生活を支援しています。

チーム依頼件数：190件（非がん：1件、がん：189件）

依頼時の治療時期

診断の初期治療前	がん治療中	がん治療終了後
60	79	50

依頼時のPS(Performance Status)

PS=0	PS=1	PS=2	PS=3	PS=4
36	36	55	48	15

依頼時の依頼内容(重複有り)

疼痛	その他の症状	精神症状	家族ケア	倫理/鎮静	地域/退院支援	その他
43	106	159	40	5	78	0

転帰

緩和ケア病棟	転院	退院	死亡退院	入院継続
30	7	129	15	3

チーム医療部・糖尿病チーム

スタッフ

医師	五郎川伸一、森川侑佳
看護師	福田純子、秦志麻、前田有未子、中野加代子、松村忍、磯野恵実、相見紗恵子、高亀瑞季
薬剤師	鈴木麻友、石黒日向
管理栄養士	東由里、上野綾香
臨床検査技師	佐藤亜純、藤本彩香
理学療法士	菊池恵、山本准、村上萌、富山柚果

活動内容

院内入院中の主観、共観患者の患者背景、治療方針等の情報共有を目的に、毎週水曜日にカンファレンスを実施しています。インスリン自己注射は看護師・薬剤師、血糖自己測定は臨床検査技師、食事指導は管理栄養士、運動指導は理学療法士、薬物療法は薬剤師にて対応しております。外来でも、特に必要と思われる患者さんに対しては、適宜カンファレンスを実施しています。フットケア外来を行っており、必要に応じ入院でも行っております。コロナ禍で中断していた糖尿病教室も再開しました。肥満外来も開始予定です。

認定資格

日本糖尿病学会糖尿病専門医	2名
糖尿病看護認定看護師	2名
日本糖尿病療養指導士（CDEJ）	5名

施設認定

日本糖尿病学会認定教育施設（2015年より）

病棟別患者数、介入時HbA1c(共観患者)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
3階病棟	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
4階病棟	6	2	6	5	8	8	6	2	0	5	3	7	61
SCU	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5階病棟	2	0	0	2	0	1	3	3	4	0	1	2	18
6階病棟	3	6	7	5	4	3	5	2	9	5	5	5	59
7階病棟	5	6	3	3	3	4	6	4	6	3	3	5	51
第2病棟	0	1	0	1	0	0	2	1	0	1	1	0	7
ICU	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
新1病棟	3	6	5	5	6	5	1	5	4	5	4	4	53
新2病棟	1	0	3	4	5	6	3	4	6	11	11	4	58
新3病棟	5	4	1	3	1	3	5	5	1	0	3	1	32
新4病棟	5	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	9
合計	30	29	26	28	27	31	32	26	30	33	31	29	352
Mean HbA1c(%)	7.4	7.4	7.4	7.4	7.2	7.2	7.3	7.3	7.5	7.0	7.1	7.7	7.3
Max HbA1c(%)	10.9	11.4	11.0	12.0	9.5	11.5	11.4	10.6	11.4	10.0	10.7	13.3	13.3
平均共観日数(日)	33.0	33.6	38.6	44.5	34.1	32.7	40.6	39.1	28.4	28.6	31.5	17.0	33.3

チーム医療部・排尿自立支援チーム

スタッフ

医師	松本吉弘（泌尿器科）
看護師	石濱慶子（WOCナース）、井上文、有信恵子（リンクナース）
療法士	小西直弥、佐藤貴之（作業療法士） 小笠原綾、高尾茉侑、中尾修平（理学療法士）

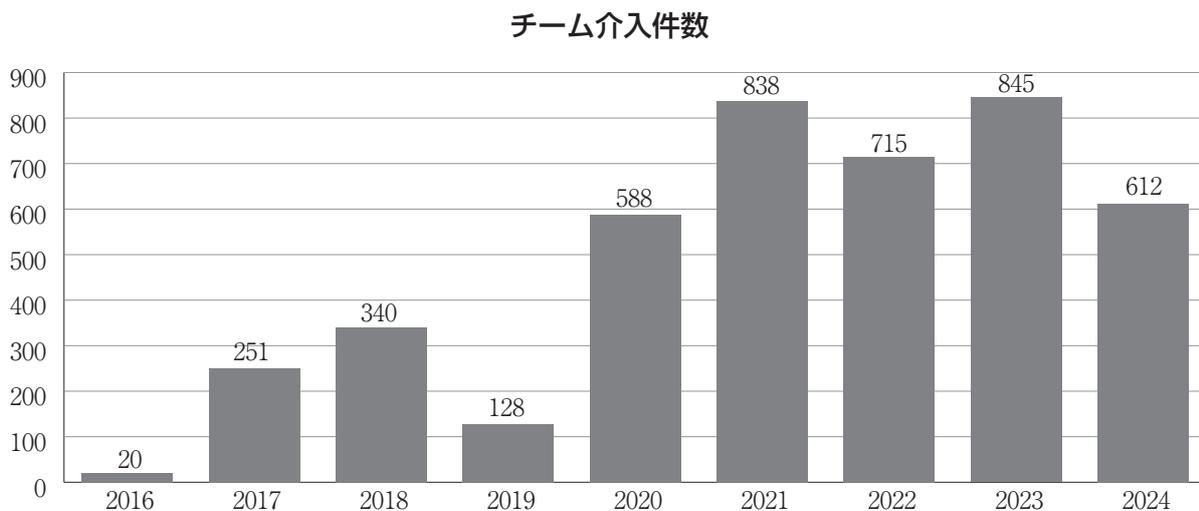
活動内容

医師、看護師、療法士から成るチームで、現在入院中で、膀胱留置カテーテルが留置されていて抜去後に排尿障害が予想される患者、またはカテーテル抜去後に排尿障害のある患者を対象に、週1回のチーム回診を行っている。

留置カテーテルを1日も早く抜去し、尿路感染を防止すること、排尿自立の方向に導くことを目的としている。「排尿自立」とは、排尿管理方法は問わず、自力で排尿管理が完結できること、である。

排尿を完結するための膀胱機能や身体機能を評価し、状況により治療介入やリハビリ、生活指導を行う。排尿自立は個人の尊厳を保ち、生活の質の向上につながる。

チーム介入件数



チーム医療部・感染対策チーム／抗菌薬適正使用支援チーム

1. 構成メンバー

医 務 局	感染制御内科医師（ICD）1名（兼任）
看 護 部	感染管理認定看護師（ICN）1名（専従）
薬 剤 部	薬剤師2名（兼任）
臨床検査部	臨床検査技師2名（兼任）

2. 活動内容

感染対策チーム／抗菌薬適正使用支援チームは、感染管理室直属の実働部隊であり、感染管理・抗菌薬適正使用に関する権限を委譲され、下記の事項について日常的に検討・実践するチームである。

1) 感染対策チーム

- ①定期的な院内ラウンドの実施
- ②サーベイランスの計画策定・実施・評価・フィードバック・委員会への報告
- ③アウトブレイク防止と早期特定および制圧
- ④感染管理コンサルテーション（相談と助言）
- ⑤院内感染対策マニュアルの策定・委員会への諮問
- ⑥職業感染防止対策（針刺し切創・皮膚粘膜曝露防止、ワクチンプログラム）
- ⑦ファシリティーマネジメント（感染性廃棄物、レジオネラ対策、院内清掃など）

2) 抗菌薬適正使用支援チーム

- ①血液培養陽性症例に対する介入
- ②抗菌薬使用状況の把握と適正使用への啓発・介入
- ③抗菌薬適正使用マニュアルとアンチバイオグラムの見直しと活用方法の啓発
- ④感染症治療に関するコンサルテーション

3. 活動報告

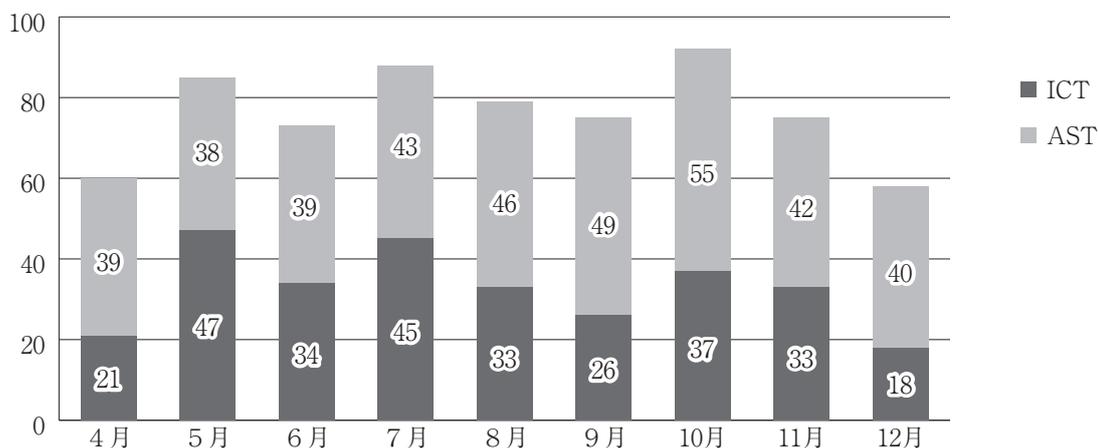
1) ICT/AST会議（毎週水曜日）

- ・抗菌薬使用患者

無菌材料からの菌検出患者と抗菌薬長期投与患者の抗菌薬適正使用に関するカンファレンスを実施。必要時主治医へ抗菌薬選択の推奨を行った。

- ・ASTによるMEPM使用患者の適正使用評価実施（2022年8月以降）

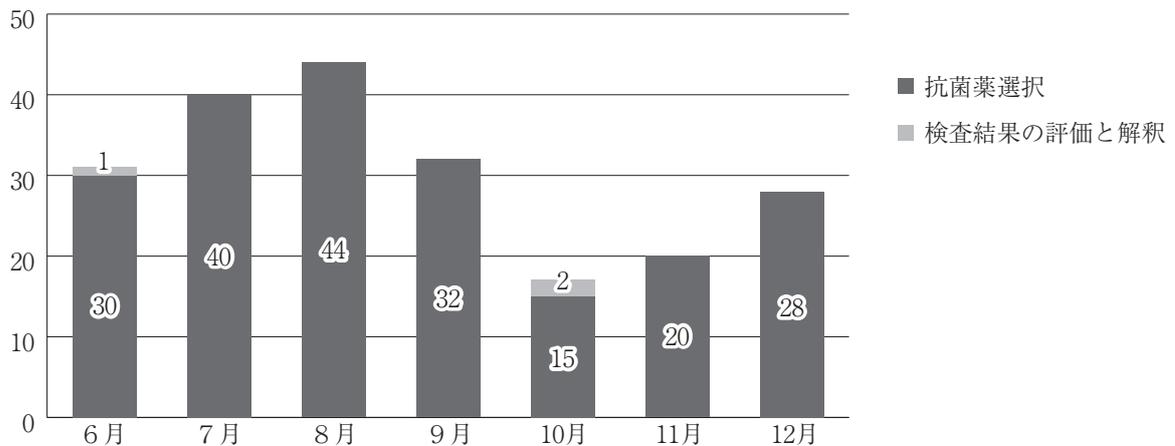
ICT/AST のべフォロー患者数



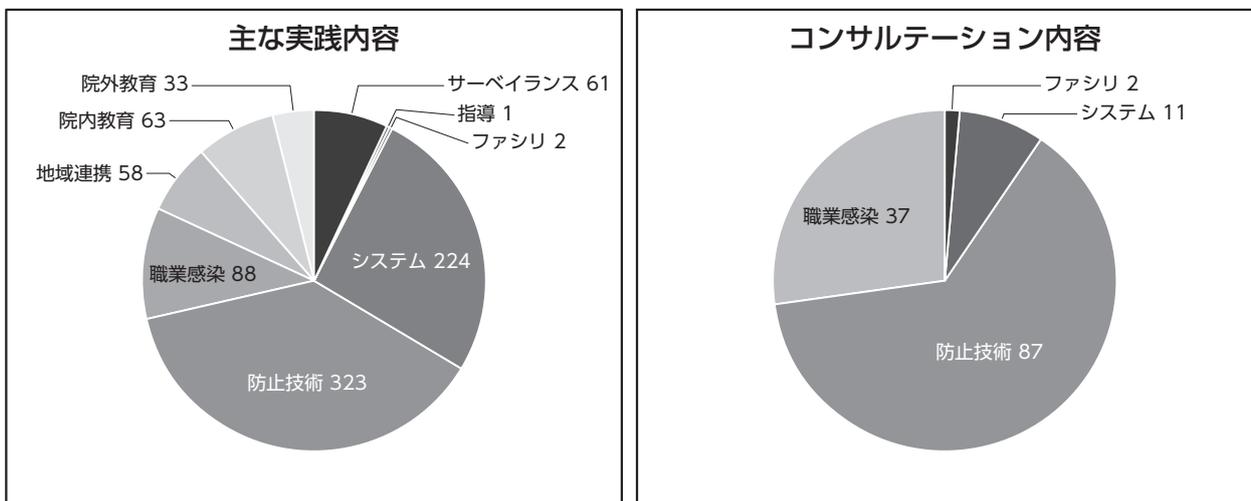
2) 感染管理コンサルテーション

- ・ 感染症治療に関する内容 (ICD)

ICD コンサルテーション件数



- ・ 感染対策に関する内容 (主にICN)



3) ICTラウンド

- ・ 耐性菌患者ラウンド (毎週月または火曜日)

耐性菌検出患者の感染対策についてラウンドを実施し、病棟スタッフ等へ感染対策の指導を行った。新規耐性菌検出したときに、病棟スタッフとともに感染対策に関するカンファレンスを行った。

- ・ 環境ラウンド (毎週木曜日)

病棟・部署ラウンドとして、感染対策の実施状況、患者周囲環境チェックし、部署の問題点、改善すべき点や良好な点などの評価を行い、フィードバックを行った。

毎月第1週目：3西病棟、4階病棟、7階病棟、新2病棟、新3病棟

毎月第2週目：5階病棟、6階病棟、新1病棟、第2病棟、ICU

奇数月 (第3、4週目)：救急外来、内視鏡室、手術室、透析室、栄養課

偶数月 (第3、4週目)：外来、リハビリ室、検査部、薬剤部、放射線部

臨床心理室

スタッフ

公認心理師・臨床心理士 大谷 智子

その他の検査(AQ等)の件数が増えてきたので、項目を独立させました。検査件数合計で前年比約30%増。心理カウンセリング件数は約15%増、病室訪問件数は約10%減、合計件数は約10%増加しました。

患者およびその家族、職員の相談も随時受け付けています。

各科内容別件数

	精神・神経科	小児科	緩和ケア科	整形外科	がんサポートチーム	合計
知能検査	7	49	0	0	0	56
その他の検査	4	0	0	0	0	4
心理カウンセリング	0	114	0	0	5	119
病室訪問	0	0	82	20	0	102
合計	11	163	82	20	5	281

*件数は延べ数とする

臨床研究・治験管理室

スタッフ

部長 福地 成晃
室長 佐原 敏之
治験管理室員 國田 愛

すべての「治験（医薬品の開発のための臨床試験）」は、GCP「医薬品の臨床試験の実施の基準」を遵守して行うよう、医薬品医療機器等法で定められています。GCPでは、高い倫理性と治験データの科学性と信頼性が求められています。

臨床研究については、研究倫理や被験者保護の一層の向上を図るため、「臨床研究法」や「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の周知徹底、遵守が求められています。

「臨床研究・治験管理室」では、当院での治験・臨床研究が適正かつ円滑に実施できるよう管理・支援しています。

主な業務内容

- ・院内の治験・臨床研究全ての管理
- ・臨床研究審査委員会（IRB）の事務局業務
- ・治験コーディネーター業務
- ・臨床研究コーディネーター業務
- ・研修会の開催

臨床研究に関する研修会（2024年6月17日・21日・26日）

令和6年 臨床研究・治験管理室 業務報告

分類	内容	件数
被験者対応	被験者対応	12
	うち同意説明	1
治験	IRB前事前打合せ・研究会	6
	開始時時説明会	0
	医師対応	27
	他部門対応	13
	治験薬・被験者負担軽減費納入・回収	2
	治験依頼者対応	74
	モニタリング・監査	2
臨床研究	医師対応	218
	メディカルスタッフ対応	491
	他部門対応	19
	事務局対応	121
製造販売後調査	依頼者対応	41
	医師対応	1

令和6年 治験 受託状況

区分	薬品コード及び目的	依頼者	科名
	膝関節軟骨欠損症患者を対象としたCCI(自家培養軟骨細胞)キットの有効性及び安全性に関する探索的臨床試験	インターステム株式会社	整形外科
第I/II相	腰椎椎体固定術を必要とする患者を対象としたNZ-1909の臨床第I/II相試験	日本臓器製薬株式会社	整形外科

令和6年 製造販売後調査 受託状況

区分	薬品名	依頼者	科名
使用成績調査	ヘムライブラ皮下注(全例調査)	中外製薬株式会社	小児科
特定使用成績調査	ヘルニコア椎間板注用1.25単位	科研製薬株式会社	整形外科
特定使用成績調査	スマイラフ錠50mg、100mg(全例調査)	アステラス製薬株式会社	整形外科
特定使用成績調査	タリージェ錠	第一三共株式会社	整形外科
有用性調査	アクアラSQRUMライナー	京セラ株式会社	整形外科
有用性調査	HYBRIX橈骨遠位端掌側ロックングプレート	ミズホ株式会社	整形外科
特定使用成績調査	リンヴォック®錠	アツヴィ合同会社	整形外科
特定使用成績調査	ジセレカ錠®200mg、ジセレカ錠®100mg	エーザイ株式会社	整形外科
使用成績調査	ジェセリ錠40mg	大鵬薬品工業株式会社	外科
使用成績調査	リトゴビ®錠4mg	大鵬薬品工業株式会社	外科
有用性調査	Veffecta	株式会社エム・イー・システム	整形外科

令和6年 臨床研究 実施状況

区分	研究課題名	科名
臨床研究	脳主幹動脈狭窄による急性期アテローム血栓性脳梗塞に対する血管内ステント留置術に関する臨床研究	脳卒中内科
付随研究	J-STARS Genomics: 脳血管疾患の再発に対する高脂血症治療薬HMG-CoA還元酵素阻害薬の予防効果の遺伝子背景に関する研究	脳卒中内科
臨床研究第Ⅲ相	JFMC48-1301-C4 (ACHIVE-2 Trial): 再発危険因子を有するハイリスクStage II 結腸がん治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法の至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験	外科
臨床研究	脳卒中後のlateropulsionに対する直流前庭電気刺激の効果	リハビリテーション部
臨床研究	メトトレキサート(MTX)関連リンパ増殖性疾患発症予測因子の同定	整形外科
後ろ向き観察研究	当院にて施行した、膝前十字靭帯再建術の成績	整形外科
臨床研究	人工関節手術におけるカスタムメイド骨切りガイドの作成	整形外科
臨床研究	非弁膜症性心房細動とアテローム血栓症を合併する脳梗塞例の二次予防における最適な抗血栓療法に関する他施設共同ランダム化比較試験(ATIS-NVAF)	脳卒中内科
後ろ向き観察研究	Sequential Radiographic Evaluation after Partial Meniscectomy with Repair for Discoid Lateral Meniscus 円板状外側半月板に対する形成縫合術一時的レントゲン評価	整形外科
後ろ向き観察研究	Discoid Lateral Meniscal Repair without Saucerization 外側円板半月板に対する円板状形態温存修復術	整形外科
後ろ向き観察研究	大腿骨頸部骨量量の左右差と運動器疾患の関連に関する観察研究	整形外科
臨床研究	心不全合併脳卒中患者の離床時の脳循環動態の解明～組織酸素モニタでの検討～	リハビリテーション部
臨床研究	脊髄損傷者の呼吸と嚥下の協調性に関する検討	リハビリテーション部
後ろ向き観察研究	膝半月板損傷に対する、鏡視下半月板縫合術および切除術の成績	整形外科
臨床研究	骨粗鬆症・変形性関節症・関節リウマチの病態および各種治療効果についての検討	整形外科
臨床研究	エビ径口負荷試験の安全性および負荷試験後の摂取状況の多施設症例集積研究	小児科
臨床研究	心不全の発症・重症化の高精度予測とそれに基づく最適な治療法の開発のための心不全レジストリ	循環器内科

区 分	研究課題名	科 名
臨 床 研 究	看護師による末梢挿入式中心静脈カテーテル（PICC）挿入の実態と効果の検討	看 護 部
臨 床 研 究	脳卒中後疼痛を分類するための痛みの表現型データベース構築	リハビリテーション部
臨 床 研 究	変形性関節症・関節リウマチ患者における下肢画像解析	整 形 外 科
臨 床 研 究 第 Ⅲ 相	血液循環腫瘍DNA陰性の高リスクStageⅡ及び低リスクStageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのCAPOX療法と手術単独を比較するランダム化第Ⅲ相比較試験	外 科
臨 床 研 究	がん患者における凝固線溶系の解明およびバイオマーカーの網羅的探索	血 管 外 科
臨 床 研 究	COVID-19に関するレジストリ研究	呼 吸 器 内 科
臨 床 研 究	根治的外科治療可能な結腸・直腸癌を対象としたレジストリ研究	外 科
後 ろ 向 き 観 察 研 究	軟骨損傷・離断性骨軟骨炎に対する治療成績（短期・中期・長期）	整 形 外 科
臨 床 研 究	非弁膜症性心房細動を合併する冠動脈インターベンション施行患者の経口抗凝固薬と抗血小板薬の至適併用療法：多施設、前向き、無作為化比較試験	循 環 器 内 科
臨 床 研 究	回復期リハビリテーション病棟に入院中の整形外科術後高齢患者における体幹回旋運動速度と歩行速度との関連	リハビリテーション部
臨 床 研 究	うっ血性心不全（心性浮腫）における五苓散追加投与の浮腫に対する有効性を検証する研究	循 環 器 内 科
臨 床 研 究	骨転移を有する去勢抵抗性前立腺癌患者におけるBone Scan Index (VSBONE BSI) の有用性の検討	泌 尿 器 科
後 ろ 向 き 観 察 研 究	人工膝関節置換術手術における脛骨近位部、筋付着部圧痛評価	整 形 外 科
臨 床 研 究	pStageⅡ大腸癌に対する OSNA 法によるリンパ節微小転移診断意義の検討	外 科
臨 床 研 究	泌尿生殖器系および後腹膜腫瘍を対象とした手術療法・薬物療法・放射線療法・無治療監視療法の治療成績および合併症の包括的比較解析	泌 尿 器 科
臨 床 研 究	二分脊椎症に伴う下部尿路機能障害症例に対する薬物療法に関する後方視的検討	泌 尿 器 科
臨 床 研 究	大腸癌手術に対するCOVID-19の影響に関する後方視的解析	外 科
後 ろ 向 き	テント下脳卒中患者の静止立位時の左右足圧中心位置に関与する要因－後ろ向き研究－	リハビリテーション部
後 ろ 向 き	回復期リハビリテーション病棟における脊髄損傷者の動向の調査	リハビリテーション部
後 ろ 向 き	SGLT-2 阻害薬の初期腎機能低下に及ぼすレニン・アンジオテンシン系抑制薬および利尿薬の影響に関する研究	薬 剤 部
臨 床 研 究	日本整形外科学会症例データベース（JOANR）構築に関する研究	整 形 外 科
臨 床 研 究	下肢静脈瘤重症例に対する不全穿通枝治療の多施設共同前向きレジストリー研究	血 管 外 科
臨 床 研 究	脳卒中後疼痛における表現型ごとの病態メカニズムの分析	リハビリテーション部
臨 床 研 究	脳卒中患者における自覚的姿勢垂直位の信頼性の調査	リハビリテーション部
臨 床 研 究	股関節手術の周術期管理・合併症治療の多施設調査と人工知能構築	整 形 外 科
臨 床 研 究	再発高リスク消化管間質腫瘍に対する完全切除後の治療に関する研究（STAR ReGISTry）の追跡調査	外 科
臨 床 研 究 第 Ⅱ 相	高齢者に対する幽門側胃切除後再（Billroth-II 法 versus Roux-en-Y 法）に関するランダム化比較第Ⅱ相臨床試験	外 科
臨 床 研 究	脳卒中患者を対象とした急性期病棟退院後の投薬歴に関する調査	薬 剤 部
臨 床 研 究	外科症例臨床データベースを利用した臨床調査研究	外 科
アンケート	「退院時薬剤情報提供書」に関するアンケート調査	薬 剤 部
後 ろ 向 き	前十字靭帯再建術における移植腱の違いによる臨床成績の比較	整 形 外 科
臨 床 研 究	脳卒中患者における脳の病変部位と脳卒中後の感覚障害、及び身体性の経時的変化の関連性	リハビリテーション部
コホート研究	卵黄をアレルゲンとする Acute Food protein-induced enterocolitis syndrome (FPIES) 小児の予後に関する研究～多施設共同前向きコホート研究	小 児 科
臨 床 研 究	末梢動脈疾患に対する血管内治療の医療被ばくに関する多施設共同後ろ向き観察研究	診 療 放 射 線 部
臨 床 研 究	プロテオミクス手法による卵黄消化管アレルギーの要因解析	小 児 科

区 分	研究課題名	科 名
臨 床 研 究	二分脊椎症（脊髄膜腫と脊髄脂肪腫）の修復術後に発生した再係留症候群における係留解除術前後の下部尿路機能に関する後方視的検討	泌 尿 器 科
臨 床 研 究	生活環境が食物アレルギーに及ぼす影響に関する研究	小 児 科
後 ろ 向 き	心房細動カテーテルアブレーションによる睡眠時無呼吸への治療効果の検証	循環器内科
後 ろ 向 き	心房細動カテーテルアブレーションにおけるLesion Size Index (LSI) の有効性の検討	循環器内科
後 ろ 向 き	心房細動カテーテルアブレーションによる予後予測因子の検証	循環器内科
アンケート	緩和ケア病棟看護師のエンゼルケアに対する意識調査	看 護 部
臨 床 研 究	テント下領域の脳卒中運動失調患者におけるScale for the Assessment and Rating of Ataxia (SARA)とVertigo Symptom Scale- short form (VSS-sf)のMinimal clinically important differences (MCID)を探索する多施設共同前向き観察研究	リハビリテーション部
臨 床 研 究	尾側膝切除後の膝脱端閉鎖における水平マットレス縫合の有用性の検討	外 科
臨 床 研 究	S-1による胃癌術後補助化学療法患者に対する成分栄養剤（エレンタール）の有用性に関する第Ⅱ相臨床試験（OGSG1108）の追跡観察研究OGSG1108 Follow	外 科
後 ろ 向 き	2023年即時型食物アレルギー 全国モニタリング調査	小 児 科
後 ろ 向 き	心不全患者のACP支援する看護師の役割認識	看 護 部
後 ろ 向 き	「退院時薬剤情報提供書」の発行状況に関する調査	薬 剤 部
臨 床 研 究	ZNN CM Fortis Nailの安全性及び有効性を評価するための後ろ向き多機関共同観察研究	整 形 外 科
後 ろ 向 き	心大血管疾患患者に対する心肺運動負荷試験における骨格筋組織代謝の反応（仮）	リハビリテーション部
後 ろ 向 き	自覚的姿勢垂直位と自覚的視性垂直位的一方のみ異常な変動性を示す脳卒中患者の把握と特徴	リハビリテーション部
臨 床 研 究	回復期脳卒中患者における身体活動量と身体機能・日常生活活動能力改善の関連性 ～多施設共同研究～	リハビリテーション部
臨 床 研 究	外傷性頸髄損傷患者の姿勢の違いによる横隔膜機能の変化 ～超音波エコー検査法を用いた検討～	リハビリテーション部
臨 床 研 究	大阪大学 スポーツ・関節鏡・膝・足関節外科グループ膝関節手術 多施設前向き臨床研究	整 形 外 科
臨 床 研 究	脳卒中患者の療養環境変化に伴う薬物治療上の問題に、薬剤師間連携が与えるアウトカム 1：単群比較試験	薬 剤 部
臨 床 研 究	脳卒中患者の療養環境変化に伴う薬物治療上の問題に、薬剤師間連携が与えるアウトカム 2：無作為化比較試験	薬 剤 部
臨 床 研 究	人工膝関節全置換術における後十字靭帯切除後の膝可動域の術中変化；術中動態評価と後十字靭帯の組織学的評価と画像的評価の観点から	整 形 外 科
臨 床 研 究	脳卒中患者の視覚遮断・再入力に伴う静止立位姿勢制御の適応的变化について	リハビリテーション部
臨 床 研 究	回復期脳卒中患者の歩行におけるLimb Kinematicsの回復特性 ～多施設共同による観察研究～	リハビリテーション部
臨 床 研 究	脳卒中患者における幾何拘束下（肩関節屈曲角条件）でのロボットを用いた上肢ワイピング動作訓練の分析	リハビリテーション部
後 ろ 向 き	消化器悪性腫瘍患者の周術期VTEマネジメントに関する臨床研究	外 科
後 ろ 向 き	股関節疾患の歩行制御解明に向けた探索的研究	リハビリテーション部
後 ろ 向 き	がん終末期患者の経口摂取が減少してから亡くなるまでの期間の調査	看 護 部
後 ろ 向 き	整形外科手術における術前便処置後の実態調査	看 護 部
後 ろ 向 き	小児患者の点滴トラブルの原因と実態調査	看 護 部
後 ろ 向 き	A病院手術室における6年目以上のヒヤリ・ハット背景要因の分析 ～P-mSHELLモデルを用いて～	看 護 部
後 ろ 向 き	過去5年間に当院で経験したPFAPA症候群の7例	小 児 科
後 ろ 向 き	外来予約日より早く受診する外来患者の要因分析～分析から考える在宅療養支援への課題～	看 護 部
後 ろ 向 き	表在型非乳頭十二指腸上皮性腫瘍（superficial non-ampullary duodenal epithelial tumor (SNADET)）に対するNoninjection Resection using Bipolar Soft coagulation mode (NIRBS) の評価	消化器内科

区 分	研究課題名	科 名
後 ろ 向 き	新型コロナウイルス感染症高齢入院患者の早期経口摂取を目指した看護実践の効果	看 護 部
後 ろ 向 き	(仮) 脳卒中後上肢期運動機能改善に関連する評価因子の検討	リハビリテーション部
後 ろ 向 き	回復期リハビリテーション病棟患者を対象としたmodified CI療法後1年間の経過について	リハビリテーション部
後 ろ 向 き	当院における二分脊椎患者のフォローアップについての検討	泌 尿 器 科
臨 床 研 究	アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬 (ARNI) と利尿薬、非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs)、プロトンポンプ阻害薬 (PPI) 併用時の腎機能低下に及ぼす影響に関する研究	薬 剤 部
臨 床 研 究	触覚アロディニアを定量評価するための脳波計測と解析	リハビリテーション部
後 ろ 向 き	前立腺肥大症に対する経尿道的手術の術後経過に関する後方視的検討	泌 尿 器 科
後 ろ 向 き	消化器悪性腫瘍患者における栄養指標に関する臨床研究	外 科
後 ろ 向 き	神経因性大腸機能障害患者に対する逆行性洗腸療法に関する臨床研究	外 科
臨 床 研 究	鶏卵アレルギーにおける食事指導で治療食品により負担度が異なるかどうかの検討	小 児 科
後 ろ 向 き	(仮) 当院脳卒中患者のデータベースを用いた平均値やカットオフ値の検討	リハビリテーション部
後 ろ 向 き	当院の糖尿病教育入院における糖尿病理学療法評価及びアンケートについて (仮)	リハビリテーション部
後 ろ 向 き	(仮) 当院脳卒中患者における栄養状態と運動機能との関係	リハビリテーション部
臨 床 研 究	脳卒中患者における幾何拘束下 (肩関節屈曲角条件) での上肢ワイピング動作訓練の分析	リハビリテーション部
後 ろ 向 き	当院の入院心不全患者の傾向の把握	リハビリテーション部
後 ろ 向 き	アレルギー性鼻炎合併喘息症例における舌下免疫療法の治療経過について	小 児 科
後 ろ 向 き	排尿管理開始初期の脊髓損傷患者における有熱性尿路感染症	泌 尿 器 科
後 ろ 向 き	膝前十字靭帯再建術後の術後1か月以内における膝伸展筋力が術後6か月の筋力回復を予測するか	リハビリテーション部
後 ろ 向 き	当院の入院人工関節患者の傾向と把握 - 人工関節疾患報告書を用いて -	リハビリテーション部
臨 床 研 究	足部CT画像における接地面と骨組織の位置関係に関する検討	整 形 外 科
臨 床 研 究	MRI画像解析ソフト - Spinal Cord Toolbox - を用いた予後予測の検証	リハビリテーション部
後 ろ 向 き	大腸ポリープの切除方法による治療成績の検討	消化器内科
後 ろ 向 き	S状結腸軸捻転症の治療成績の検討	消化器内科
後 ろ 向 き	特定保健指導対象者の特定保健指導に対する認識 特定保健指導利用者と未利用者の比較	看 護 部
後 ろ 向 き	緩和ケア病棟における逝去時に家族が立ち会えなかった要因	看 護 部
後 ろ 向 き	当院におけるアトピー性皮膚炎スキンケア指導入院の取り組み	小 児 科
後 ろ 向 き	当院で加療中の回避制限性食物摂取症例の臨床的検討	小 児 科
後 ろ 向 き	心不全・誤嚥性肺炎で入院した患者の在院日数が延長している要因 - 退院支援の実態調査 -	看 護 部
後 ろ 向 き	当院回復期脳卒中患者の歩行自立予測 - 臨床応用を目指した検討 -	リハビリテーション部
臨 床 研 究	人工膝関節置換術における患者教育・早期リハビリテーションの有効性の検討	リハビリテーション部
後 ろ 向 き	ENBDチューブ折れ (キンク) の要因	看 護 部
後 ろ 向 き	下肢全長における足関節アライメント評価についての検討	整 形 外 科
後 ろ 向 き	SCU入室患者の誤嚥性肺炎を発生した患者の要因分析	看 護 部

薬剤部

スタッフ

2024年1月1日～1月31日

薬剤部長 佐原敏之
副薬剤部長 加地 真
主 任 山口洋子 稲場純子 坂野玲子 福田裕子
他 薬剤師 15名
事務員 3名(非常勤)

2024年2月1日～3月31日

薬剤部長 佐原敏之
副薬剤部長 加地 真
主 任 山口洋子 稲場純子 坂野玲子 福田裕子
他 薬剤師 14名
事務員 3名(非常勤)

2024年4月1日～11月30日

薬剤部長 佐原敏之
副薬剤部長 加地 真
主 任 山口洋子 稲場純子 坂野玲子 福田裕子 奥田直之
他 薬剤師 15名
事務員 3名(非常勤)

2024年12月1日～2025年2月20日

薬剤部長 佐原敏之
副薬剤部長 加地 真
主 任 山口洋子 稲場純子 坂野玲子 福田裕子 奥田直之
他 薬剤師 14名
事務員 3名(非常勤)

2025年2月21日～2025年3月31日

薬剤部長 佐原敏之
副薬剤部長 加地 真
主 任 山口洋子 稲場純子 坂野玲子 福田裕子 奥田直之
他 薬剤師 13名
事務員 3名(非常勤)

認定資格

日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師 6名
日本病院薬剤師会 日病薬病院薬学認定薬剤師 12名
日本病院薬剤師会 認定指導薬剤師 4名
日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師 6名

日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師	1名
日本臨床腫瘍薬学会 外来がん化学療法認定薬剤師	1名
日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師	1名
日本病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師	1名
日本薬剤師研修センター・日本生薬学会 漢方薬・生薬認定薬剤師	1名
日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師	1名
日本緩和医療薬学会 緩和医療暫定指導薬剤師	1名
日本臨床栄養代謝学会 NST専門療法士	2名
日本臨床栄養協会 NR・サプリメントアドバイザー	1名
日本臨床救急医学会 救急認定薬剤師	1名
日本臨床救急医学会 救急専門薬剤師	1名
日本脳卒中学会 脳卒中相談士	1名
日本高血圧学会・日本循環器予防学会・日本動脈硬化学会・	
日本心臓病学会認定 循環器病予防療養指導士	2名
日本アンチドーピング機構公認スポーツファーマシスト	1名
薬剤師生涯学習達成度試験合格	4名
日本薬剤師研修センター 生涯学習指導薬剤師	1名
大阪DMAT隊員	1名
日本麻酔科学会 術後疼痛管理研修	1名

施設認定

プレアボイド報告施設認定（2005年より）、薬学生実務実習受入施設（2010年より）

薬剤部特記事項

- ・ 1月 薬学部5年次長期実務実習第4期（2名）（11/20～2/11）
（大阪医科薬科2）
- ・ 3月 第56回院内薬剤勉強会開催
病院見学会（4名）
- ・ 4月 病院見学会（3名）
- ・ 5月 薬学部5年次長期実務実習第2期開始（2名）（5/20～8/4）
（京都薬科1、大阪医科薬科1）
- ・ 7月 第57回院内薬剤勉強会開催
- ・ 8月 薬学部5年次長期実務実習第3期開始（2名）（8/19～11/3）
（京都薬科1、摂南1）
- ・ 11月 薬学部5年次長期実務実習第4期開始（2名）（11/18～2/9）
（大阪医科薬科1、摂南1）
摂南大学薬学部1年次早期体験学習（2日間7名）
- ・ 12月 第58回院内薬剤勉強会開催
- ・ 2月 学生インターンシップ受け入れ（2日間3名）

2024年 調剤件数

	処方せん枚数			処方件数			注射枚数			注射処方件数		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
1月	6,654	4,487	11,141	14,071	481	14,552	7,858	903	8,761	16,329	1,528	17,857
2月	6,579	3,964	10,543	12,622	80	12,702	9,114	737	9,851	14,124	1,127	15,251
3月	5,782	4,017	9,799	10,693	131	10,824	7,835	846	8,681	17,765	1,505	19,270
4月	5,772	4,179	9,951	10,882	172	11,054	6,772	1,159	7,931	15,903	1,216	17,119
5月	5,505	4,377	9,882	11,220	228	11,448	7,348	937	8,285	17,897	1,380	19,277
6月	5,186	3,933	9,119	10,414	220	10,634	7,282	723	8,005	17,425	1,121	18,546
7月	6,114	4,456	10,570	12,101	247	12,348	8,892	911	9,803	21,763	1,371	23,134
8月	5,223	4,142	9,365	10,763	209	10,972	7,934	749	8,683	19,144	1,090	20,234
9月	4,869	3,841	8,710	10,104	165	10,269	6,548	662	7,210	16,296	952	17,248
10月	5,727	4,353	10,080	11,783	166	11,949	7,559	759	8,318	19,012	1,125	20,137
11月	5,296	4,084	9,380	10,808	229	11,037	7,455	669	8,124	17,514	1,024	18,538
12月	5,773	4,393	10,166	11,734	363	12,097	6,366	790	7,156	15,573	1,206	16,779
合計	68,480	50,226	118,706	137,195	2,691	139,886	90,963	9,845	100,808	208,745	14,645	223,390
平均	5,706.7	4,185.5	9,892.2	11,432.9	224.3	11,657.2	7,580.3	820.4	8,400.7	17,395.4	1,220.4	22,339.0

2024年 院外処方せん発行率

月	院外枚数	院内枚数	総枚数	発行率
1月	3,973	514	4,487	88.5%
2月	3,911	53	3,964	98.7%
3月	3,922	95	4,017	97.6%
4月	4,065	114	4,179	97.3%
5月	4,222	155	4,377	96.5%
6月	3,792	141	3,933	96.4%
7月	4,302	154	4,456	96.5%

月	院外枚数	院内枚数	総枚数	発行率
8月	4,002	140	4,142	96.6%
9月	3,730	111	3,841	97.1%
10月	4,240	113	4,353	97.4%
11月	3,938	146	4,084	96.4%
12月	4,166	227	4,393	94.8%
合計	48,263	1,963	50,226	96.1%
平均	4,022	164	4,186	96.1%

★院内は病児保育、救急外来、治験、緊急の場合に限定

2024年 無菌製剤処理本数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
在宅TPN	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病棟TPN	69	32	96	80	71	64	167	169	94	131	103	120	1,196
外来PCA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院PCA	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
特殊製剤	184	122	176	144	200	159	208	126	193	184	170	177	2,043
合計	253	155	272	224	271	223	375	295	287	315	274	297	3,240

2024年 抗癌剤調製のべ患者数・件数

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
外来	人数	0	7	85	95	94	104	92	95	92	90	90	95	939
	ケモ数	16	72	96	101	119	126	115	114	114	123	119	141	1,256
	閉鎖式人数	78	1	3	4	7	6	5	6	6	10	11	14	151
	Preその他	1	15	18	35	33	35	33	25	25	31	27	33	311
入院	人数	0	7	9	3	7	1	7	7	6	7	8	3	65
	ケモ数	0	10	9	3	11	1	7	7	6	14	24	3	95
	閉鎖式人数	8	2	2	0	1	0	1	1	1	3	5	1	25
	Preその他	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	人数	0	14	94	98	101	105	99	102	98	97	98	98	1,004
	ケモ数	16	82	105	104	130	127	122	121	120	137	143	144	1,351
	閉鎖式人数	86	3	5	4	8	6	6	7	7	13	16	15	176
	Preその他	3	15	18	35	33	35	33	25	25	31	27	33	313
RA	44	39	55	54	48	52	43	55	48	40	45	32	555	

2024年 薬剤管理指導件数

	点数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
薬剤管理指導総患者数(非算定病棟含む)		589	644	683	647	645	606	716	675	609	674	648	643	7,779	648
薬剤管理指導総件数(非算定病棟含む)		1,656	1,678	1,369	1,654	1,733	1,580	1,908	1,748	1,647	1,921	1,674	1,609	20,177	1,681
退院時薬剤情報管理指導料算定件数	90	174	233	245	223	230	211	238	225	139	180	237	240	2,575	215
薬剤管理指導料1(安全管理)算定件数	380	546	520	485	431	453	435	435	392	435	525	489	412	5,558	463
薬剤管理指導料1(麻薬・安全)算定件数	430	10	11	10	7	8	11	19	17	9	5	6	10	123	10
薬剤管理指導料2(1以外)算定件数	325	628	625	563	745	755	665	847	773	647	704	644	677	8,273	689
薬剤管理指導料2(麻薬・1以外)算定件数	375	26	22	28	22	22	18	14	12	12	7	13	12	208	17
薬剤情報提供料算定件数	10	139	109	83	100	132	122	131	125	97	103	129	201	1,471	123

2024年 薬剤管理指導実施率(診療報酬算定支援・診療報酬算定チェックより)

	点数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
薬剤管理指導1実施率	%	95.0	96.9	91.8	91.5	95.3	91.1	97.0	94.6	94.9	97.2	93.9	92	1,132	94.3
退院時薬剤情報管理指導実施率	%	68.5	77.1	77.3	75.7	77.4	70.6	77.5	73.0	82.5	69.0	72.7	66	887	73.9
麻薬管理指導実施率	%	89.8	85.0	82.6	90.3	90.9	81.8	88.6	65.9	79.2	92.3	65.5	84	996	83.0

2024年 ポリファーマシー関連件数

	点数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
薬剤総合評価調整加算算定件数	100	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
薬剤調整加算算定件数	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院時薬剤情報連携加算算定件数	60	8	12	9	4	11	5	7	7	4	4	9	4	84	7

2024年 がん・無菌製剤関連件数

	点数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
がん患者指導管理料ハ算定件数	200	6	2	2	5	4	6	4	2	9	3	5	8	56	5
無菌製剤処理料1（閉鎖式）算定件数	180	12	12	8	11	9	9	7	5	6	6	9	5	99	8
無菌製剤処理料1（イ以外）算定件数	45	50	48	58	48	41	45	38	34	36	45	32	41	516	43
無菌製剤処理料2算定件数	40	69	30	95	81	70	51	151	165	124	156	121	146	1,259	105
外来化学療法加算1A算定件数	600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外来化学療法加算1B算定件数	450	49	44	36	50	41	37	42	38	35	46	41	48	507	42

2024年 後発品使用率

	点数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
後発品使用率（数量ベース） （シミュレーションより）	%	87.6	85.3	84.0	83.8	84.3	84.3	83.7	86.0	85.6	84.9	86.2	88.4	1,024.0	85.3

2024年 調剤室での疑義照会件数

薬剤部で受けたもの	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
薬剤採用の有無	4	1	6	8	6	2	13	6	7	6	6	6	71
同種同効薬の検索	1	2	5	2	2	2	4	4	6	3	3	5	39
処方日数制限	1	0	0	1	0	1	1	1	1	0	1	0	7
オーダーリング関連事項	3	3	6	5	7	10	10	3	2	1	6	5	61
配合変化	8	9	9	1	5	11	9	6	10	3	4	9	84
その他	32	13	37	28	25	23	44	32	21	21	22	12	310
合計	49	28	63	45	45	49	81	52	47	34	42	37	572

薬剤部からしたもの	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
用法用量の確認	8	2	1	4	5	6	15	1	0	4	6	2	54
日数の確認	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3
処方内容の確認	2	2	3	0	4	3	4	3	5	0	1	2	29
禁忌薬剤の発見	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
配合変化	0	5	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	7
その他	2	0	1	0	3	4	2	2	1	1	1	0	17
合計	13	9	6	4	12	14	22	6	8	5	8	4	111

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
薬剤鑑別件数	151	130	125	208	226	218	233	199	209	273	264	232	2,468
薬剤鑑別剤数	962	850	875	1,339	1,576	1,525	1,444	1,241	1,347	1,864	1,888	1,451	16,362
持参薬入力件数	534	565	584	551	562	541	548	505	499	547	482	509	6,427
持参薬入力剤数	2,299	2,632	3,390	3,074	2,990	2,946	3,114	2,709	2,468	2,821	2,468	2,706	33,617

2024年 病棟での処方介入件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
アレルギー患者への該当薬剤処方の発見	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
禁忌の発見	1	0	0	1	1	1	0	2	0	0	3	0	9
重複投与の発見	0	2	4	0	3	2	3	3	3	4	6	1	31
プロトコール違反	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
処方漏れ・処方忘れの発見	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
中止すべき薬剤の続行の発見	1	1	1	0	1	0	1	1	2	3	2	1	14
再開すべき薬剤の確認	0	2	0	1	1	0	1	1	1	1	2	0	10
同種同効薬の検索	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肝・腎機能低下時の用量調節支援	0	0	0	1	3	0	0	1	2	2	3	0	12
薬剤選択についてのアドバイス	2	2	1	1	0	1	0	0	2	2	1	1	13
適正使用のための処方支援	3	4	2	7	4	1	4	4	2	3	2	8	44
副作用の発見	2	0	0	0	0	4	1	0	2	3	0	0	12
相互作用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
配合変化の回避	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
患者の訴えに基づく処方の追加や変更	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	1	5
誤処方の発見	0	0	3	2	8	2	3	3	4	3	1	3	32
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
TDM	6	0	4	5	17	5	6	5	8	1	8	6	71
合 計	15	11	16	18	38	18	19	20	28	22	30	23	258

2024年 DI室業務内容

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
DI室で対応した質疑	14	20	14	17	27	30	27	23	13	26	27	20
Information from Pharmacy	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	239
Pre-avoid報告	9	11	12	13	21	13	13	16	20	22	22	17
厚労省副作用報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
添付文書改訂処理	35	34	45	26	33	1	20	30	24	2	51	34
院内薬剤勉強会			・第56回院内薬剤勉強会（片頭痛治療薬～急性期治療から予防まで～）				・第57回院内薬剤勉強会（なるほど納得！とろみ付けのポイント 栄養製品はとろみが付きにくいと悩んでいませんか？）					・第58回院内薬剤勉強会（適正な輸液管理について）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
部内勉強会	・コレチメント錠説明会	・ジクトルテープ説明会 ・アラグリオ顆粒説明会 ・ツイミーグ錠説明会 ・オスタバロ皮下注説明会 ・ドブレット錠説明会	・ナゾラ皮下注説明会 ・アミティーズと慢性便秘ガイドライン改訂説明会	・バクスミ一点鼻説明会	・ギャバロン髄注説明会 ・カログラ錠説明会	・クレセンバ説明会 ・アリドネパッチ説明会	・ピロイ点滴静注用説明会	・メトジェクト皮下注説明会		・バリキサ説明会		

2024年発行『Information from Pharmacy』

2月 No.238 肥満症治療薬ウゴービ® 皮下注について

12月 No.239 今年、当院から厚生労働省に報告した医薬品副作用について

2024年発行『THE くすり』

No.327 原薬製造、30年ぶり国内回帰＝抗菌薬、中国依存脱却へ

米FDA、GLP-1受容体作動薬の追加リスク調査を公表
知っていますか？医療用漢方148方剤 56：大黄牡丹皮湯
添付文書改訂のお知らせ
医薬品・医療機器等安全性情報No.406について

No.328 若年発症多い「家族性アルツハイマー病」の治験開始 発症前の人にも新薬レカネマブなど投与

知っていますか？医療用漢方148方剤 57：桂枝加芍薬湯
添付文書改訂のお知らせ
医薬品・医療機器等安全性情報No.407、408について

No.329 「歯生え薬」9月から治験 先天性無歯症 世界初の治療薬へ

京大病院など
認知症有病率2060年に18% 現在より200万人超増加
知っていますか？医療用漢方148方剤 58：人参湯
添付文書改訂のお知らせ
医薬品・医療機器等安全性情報No.409について

No.330 母乳の栄養成分「トリカブリン」、おなかの大動脈瘤を縮小させる可能性…治療薬候補として臨床試験

AD薬ドナネマブ米承認 2番目の抗アミロイド抗体薬
知っていますか？医療用漢方148方剤 59：白虎加人参湯
添付文書改訂のお知らせ
医薬品・医療機器等安全性情報No.410、411について

No.331 慢性心不全の治療薬、「急性」にも効果 佐賀大確認

AED20年 救った8千の命 ～全国69万台 使用率低さが課題～
知っていますか？医療用漢方148方剤 60：小建中湯

添付文書改訂のお知らせ

医薬品・医療機器等安全性情報No.412について

No.332 腸内細菌移植研究を開始 パーキンソン病で順天堂大

認知症薬「ドナネマブ」保険適用 薬価は年308万円

知っていますか？医療用漢方148方剤 61：猪苓湯

添付文書改訂のお知らせ

医薬品・医療機器等安全性情報No.413、414について

2024年 医薬品等安全性情報の厚生労働省への報告

10月 ランソプラゾールOD錠15mgによる下痢、collagenous colitis

11月 ザイボックス錠600mgによる血小板減少

12月 乾燥BCGワクチンによる結核疹

有害事象報告件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
Pre-avoid報告	9	11	12	13	21	13	13	16	20	22	22	17
厚労省副作用報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1

2024年 実習生受入状況

実習内容	実習期間	大学	受入人数
2023年度薬学部5年次長期実務実習 第4期	2023年11月20日～ 2024年2月11日 (11週間)	大阪医科薬科大学	2名
2024年度薬学部5年次長期実務実習 第2期	2023年5月20日～ 8月4日(11週間)	京都薬科大学 大阪医科薬科大学	1名 1名
2024年度薬学部5年次長期実務実習 第3期	2023年8月19日～ 11月3日(11週間)	京都薬科大学 摂南大学	1名 1名
2024年度薬学部5年次長期実務実習 第4期	2023年11月18日～ 2024年2月9日 (11週間)	大阪医科薬科大学 摂南大学	1名 1名
2024年度薬学部1年次早期体験実習	2024年11月6日・ 11月13日(各2時間)	摂南大学	4名 3名

栄養管理室

スタッフ

栄養部長 中河いよう (小児科部長)
副栄養管理室長 東 由里 (管理栄養士)
主任管理栄養士 坂東由香
管理栄養士 上野綾香 多賀重矢子 尾上結香

認定資格

日本栄養治療学会栄養サポートチーム専門療法士 1名
日本糖尿病療養指導士認定機構日本糖尿病療養指導士 4名
日本病態栄養学会栄養サポートチームコーディネーター 1名
日本病態栄養学会病態栄養認定管理栄養士 3名
日本人間ドック学会人間ドック健康情報管理指導士 1名
がん病態栄養専門管理栄養士 1名

施設認定

日本栄養療法推進協議会認定NST稼働施設 (平成19年度より)
日本病態栄養学会認定NST研修施設 (平成21年度より)

令和6年 患者給食食数状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
一般食	14,294	14,952	15,070	13,903	14,109	13,434	14,675	15,807	14,041	14,443	13,406	12,274	170,408	14,201
特別食	12,624	13,291	14,640	12,965	15,106	13,330	14,418	13,487	12,970	14,890	14,490	14,421	166,632	13,886
院内保育・病児食	139	156	159	57	75	77	93	76	65	75	81	101	1,154	96
検食	207	201	213	224	219	210	225	219	204	230	215	221	2,588	216

令和6年 栄養指導など実施状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
個人栄養指導	117	126	143	125	144	133	145	126	143	171	171	171	1,715	143
集団栄養指導	0	0	5	4	4	7	0	0	4	4	4	4	36	3
NST回診	202	232	252	193	214	172	189	218	101	101	108	122	2,104	175
褥瘡回診	19	18	26	47	57	49	67	39	30	37	32	31	452	38
健診ドック	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	4	0
栄養情報提供書	1	5	2	5	3	7	7	7	10	6	9	7	69	6

栄養管理室活動状況

NST活動	毎週木曜日・金曜日の病棟ラウンドと月1回の勉強会
	6月：「令和5年次NST回診実績報告」
がんサポートチーム活動	毎週月曜日の病棟ラウンドと月1回の報告会及び勉強会
褥瘡チーム活動	毎週月曜日・水曜日の病棟ラウンドと月1回の合同カンファレンス
認知症ケアチーム活動	毎週水曜日の病棟ラウンド
回復期リハビリテーション病棟の活動	毎週月曜日（新1病棟）・毎週金曜日（新3病棟）のカンファレンス
リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算算定病棟の活動	毎週月曜日（新2病棟）のカンファレンス
日本病態栄養学会NST研修受け入れ	NST研修40時間受け入れ
調理師のスキルアップ	1月・5月・7月・9月・11月：衛生管理講習会実施
関係諸団体への活動支援	枚方市医療機関給食の「非常時における協定書」（8月）
	指定難病患者への栄養に関する相談（11月）
地域住民への栄養セミナー	10月：脳卒中予防教室

令和6年次 実習生受入状況

	実習内容	実習期間	大学	受入人数
1	臨床栄養学実習C	2週間（令和6年2月19日～3月1日）	大阪樟蔭女子大学	2
2	臨床栄養学臨地実習	2週間（令和6年3月4日～15日）	摂南大学	2
3	臨床栄養実習Ⅱ	3週間（令和6年5月13日～31日）	武庫川女子大学	2
4	臨床栄養実習Ⅱ	3週間（令和6年6月10日～28日）	武庫川女子大学	2
5	臨地実習	2週間（令和6年8月5日～16日）	帝塚山大学	2
6	臨地実習Ⅰ・Ⅱ	2週間（令和6年9月2日～13日）	京都華頂大学	2
7	臨地実習Ⅰ	1週間（令和6年9月16日～20日）	畿央大学	2
8	臨地実習Ⅲ・Ⅳ	3週間（令和6年9月23日～10月11日）	畿央大学	2
9	臨床栄養実習Ⅱ	2週間（令和6年10月21日～11月1日）	武庫川女子大学	2
10	臨地実習AC	2週間（令和6年11月5日～11月15日）	相愛大学	2
11	臨床栄養実習Ⅱ	1週間（令和6年11月18日～22日）	帝塚山大学	3
12	臨床栄養実習Ⅱ	1週間（令和6年11月25日～29日）	帝塚山大学	2
13	臨床栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ	3週間（令和6年12月2日～20日）	関西福祉科学大学	2
合 計				27

臨床工学部

スタッフ

臨床工学部長 奥田 真也 (副院長)
主任臨床工学技士 村岡 利英 (医療機器安全管理責任者)
他 臨床工学技士 7名

医療機器管理室 実績

機器保有台数

機種	台数
人工呼吸器	11
除細動器 (AED機能付含む)	9
AED	11
輸液ポンプ	127
シリンジポンプ	69
小型シリンジポンプ	8
フットポンプ (間欠的空気圧迫法)	62
超音波ネブライザー	18
メッシュ式ネブライザー	34
セントラルモニタ	23
ベッドサイドモニタ	83
送信機	130
パルスオキシメーター	278
低圧持続吸引器	3
コンプレッサー	1
ME機器点検機器	12

医療機器年間稼働率

機種	稼働率
人工呼吸器	2.4
NPPV	1.1
HFNC	1.4
Airvo2	0.5
輸液ポンプ	99.0
シリンジポンプ	47.3
フットポンプ	69.3
ネブライザー	56.5

人工呼吸器関連 導入件数

機種	件数
人工呼吸器	34
NPPV	32
HFNC	35
Airvo2 (小児HFNC)	34

定期点検及び修理件数

機種	件数
人工呼吸器	11
除細動器 (AED機能付含む)	18
AED	22
輸液ポンプ	254
シリンジポンプ	138
小型シリンジポンプ	16
セントラルモニタ	23
ベッドサイドモニタ	83
その他 院内ME点検	67
その他 院外メーカー点検	126

診療支援ME室 実績

透析室件数

内容	件数
外来透析	623
入院透析	492
online HDF	156
アフエレーシス	0
CART	3

手術室件数

内容	件数
経尿道的内視鏡手術（介助）	207
術中自己血回収術	95
術中神経モニタリング	6
ナビゲーション（耳鼻科・脳外科）	10
スコープオペレーター（スコピスト）	141

アンギオ室件数

内容	件数
アブレーション	96
CAG	59
AoG	22
PCI	40
EVT	39
PMI(交換含め)	16
temporary PM	2
IABP	0
PCPS	0

主催講習会

日時	場所	テーマ	参加人数
1月15日	小会議室	院内急変対策委員会 第11回 PUSH講習会	11
3月7日	相談指導室	医療機器安全管理委員会 ME機器研修会(生体情報モニター)	5
4月8日	第2病棟	新規採用ME機器 研修会(小型シリンジポンプTE-362PCA)	5
4月15日	新会議室A	院内急変対策委員会 第12回 PUSH講習会	13
4月25日	会議室AB・新4病棟	新人看護師ME機器実技講習会	23
5月16日	相談指導室	新規採用ME機器 研修会(NPPV用マスクNivairo)	22
5月21日・28日 30日・31日	会議室B	医療ガス安全管理委員会 医療ガス研修	111
7月25日	新2病棟	新規採用ME機器 研修会(人工呼吸器 モナール HFSモード)	13
8月6日	相談指導室	新規採用ME機器 研修会(低圧持続吸引器 MS-009)	5
8月16日	新会議室B	星ヶ丘卒後教育カンファレンス(HFNC)	25
9月10日	相談指導室	医療機器安全管理委員会 ME機器研修会(ME室中央管理機器)	10
10月21日	相談指導室	院内急変対策委員会 第13回 PUSH講習会	10
11月18日	4階病棟	新規採用ME機器 研修会(気道粘液除去装置カフアシストE70)	15
12月10日	相談指導室	医療機器安全管理委員会 ME機器研修会(用手呼吸補助具)	11
12月13日	SCU	新規採用ME機器 研修会(心電計FCP-8300)	6
12月25日	HCU	新規採用ME機器 研修会(体温管理装置COCCON)	7

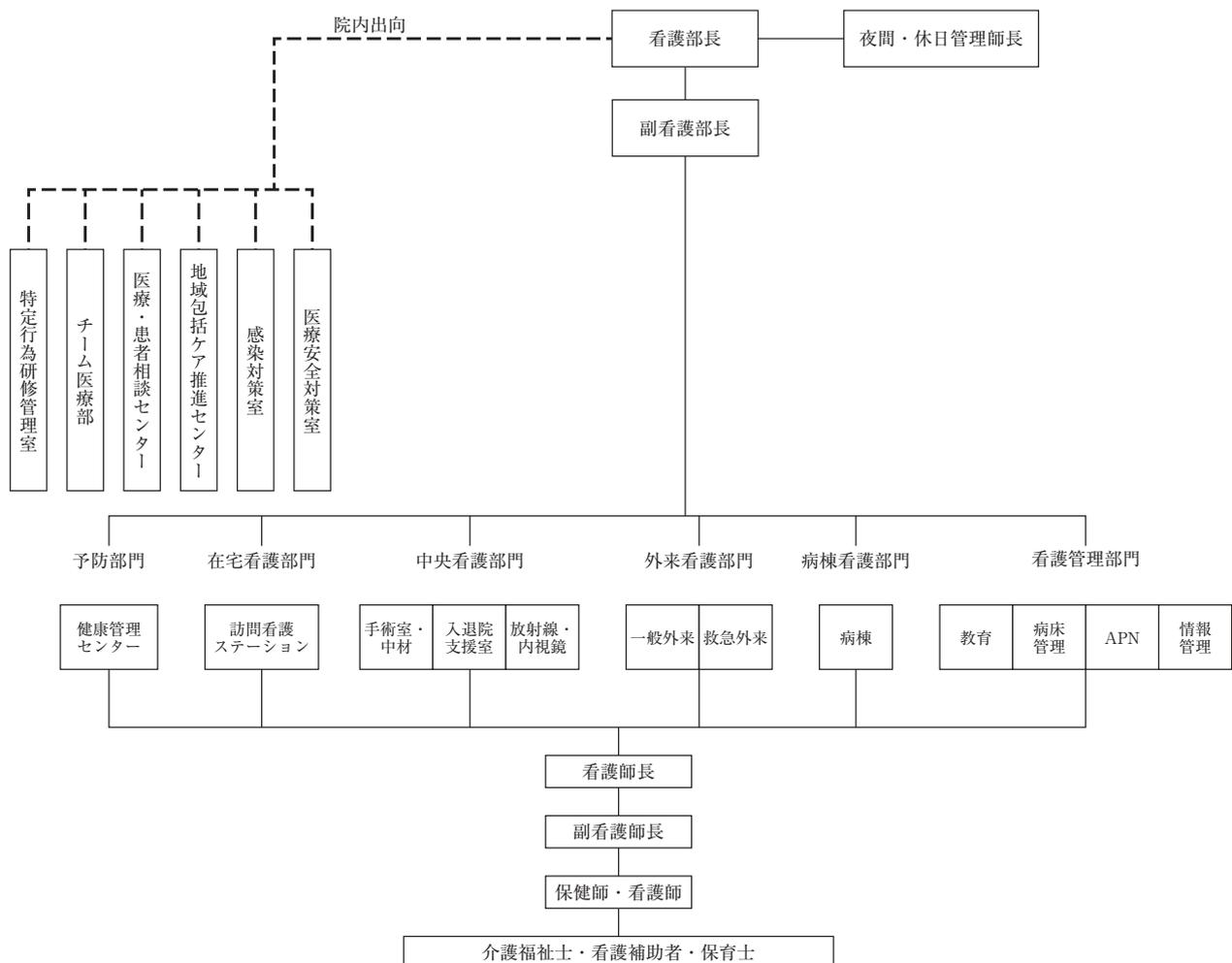
看護部

スタッフ

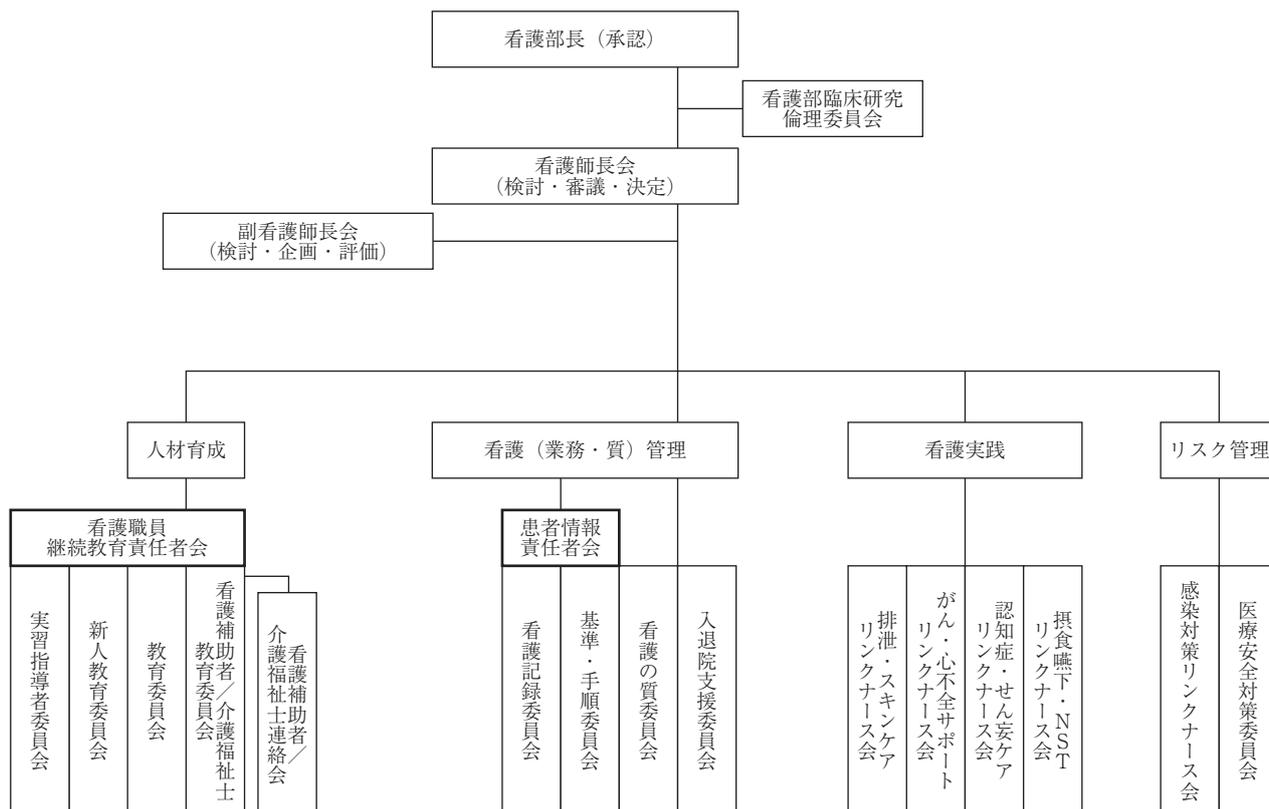
看護部長	1名
副看護部長	2名
看護師長	20名
副看護師長	32名
看護師	302名 (保健師含む)
看護補助者	56名
保育士	2名

看護部運営体制

組織図



機能図



看護部理念

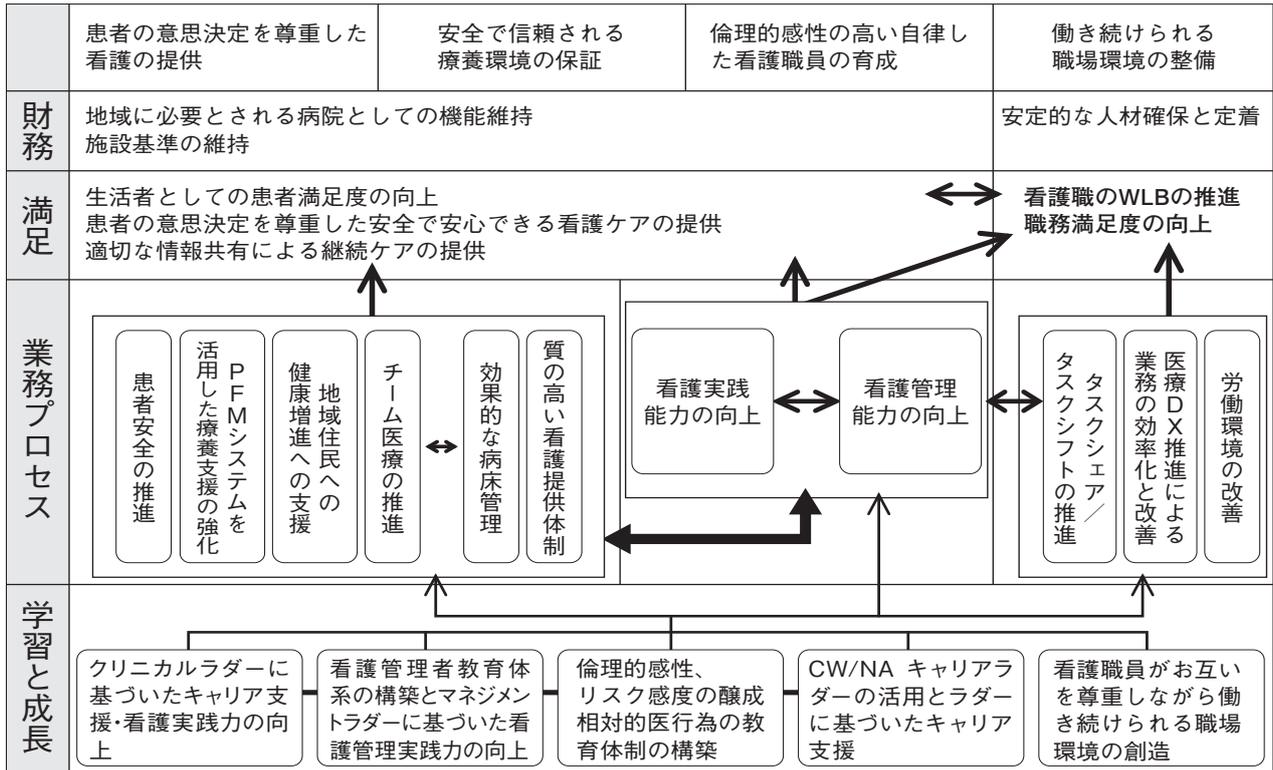
「心と心がふれあう看護」を目指します

- ①患者さんが安心して療養できる看護を行います
- ②患者さんの生命・人格・人権を尊重した看護を行います
- ③地域住民の健康を支える看護を行います

看護部基本姿勢

- ①高い実践能力・判断力・倫理観で安全で満足度の高いあたたかい看護を提供するために最善を尽くす
- ②生活者としての患者さんの意思決定を支援する
- ③社会の変化に柔軟に対応しチーム医療、多職種・多機関連携により地域包括ケアを推進する
- ④看護職として成長し続けられる教育・キャリア支援を行う
- ⑤お互いを尊重し支援しあい働き続けられる職場づくりに取り組む

2024年度 看護部戦略マップ



看護部の目標と取り組み

1 倫理的感性の高い自律した看護職員を育成する

日本の社会、看護を取り巻く状況は少子化の進展、医療技術の進歩及び医療提供の場の多様化により大きく変化した。これら意識・認識の変化、多様化する国民のニーズに応じていくためにも、看護職一人ひとりが資質を向上し専門性を発揮していくことが求められる。高度な専門知識と技能、そして自信と誇りをもってケアができる看護師の育成には、看護管理者が地域包括ケアシステムにおける地域の実状や将来を見据えたリーダーシップの発揮、現場を束ねる看護管理者の役割も高まりをみせている。令和5年度より「学習する看護管理者から学習する看護部組織へ」を目的にそれぞれの看護管理者が備え持つ看護管理実践力（経験値や思考）を看護師長会のグループ活動等で補完し看護管理課題に取り組んだ。マネジメントリーダーを活用し、自身の傾向を認識するとともに効果的な病床管理や副看護師長の代行・補佐力の向上など人材育成・活用につなげてきた。しかし、看護管理実践に向けた支援や動機付けが不十分であること、数年後には、看護師長、副看護師長の約2割が定年を迎える状況から、看護管理者の教育・支援体制の整備が喫緊課題と捉え、「看護管理者の教育プログラム」の作成に着手した。また、看護部の委員会機能図においても一部変更を行った。主な変更点は、新人教育委員会の対象を新卒から3年目までに拡大、業務改善委員会の機能を看護の質委員会に包含し、効果と効率の両側面から看護の業務を高めるようにした。

看護提供体制の再構築では、「固定チームナース 継続受け持ち制」に取り組み、スタッフの役割認識に変化が見られ、コミュニケーションエラーに伴うインシデント発生件数の減少につながってきている。看護補助者、介護福祉士のキャリア支援では、昨年度作成したマニュアル、リーダー表を活用し、看護チームの一員とした実践が評価され、複数の看護補助者、介護福祉士のリーダー昇格につながった。

特定行為研修修了者は13区分17名、受講者も年々増加し育成目標30名が現実化してきた。修了者の活動・活躍の場として、新たに訪問看護ステーションでの環境が整い、地域のニーズに対応できるようになった。院内においては、令和5年度に設置した特定行為管理室を中心に、総合内科、整形外科の医師と調整し、多職種で取り組む体制が確立しつつある。65歳以上の入院患者は約6割を占め、年々増加している。特定行為修了者がもつ臨床推論、フィジカルアセスメント力を生かし、質の高い看護実践の提供をめざしたい。

看護実践結果として院内研究10演題、認定看護師の活動報告、看護管理者の実践報告会を実施した。院外発表は7演題であり、外来が取り組んだ「A病院における外来予約日より早く受診する患者の要因分析」は、第12回大阪看護学会で最優秀賞を受賞し、看護の取り組み効果・重要性を再認識した。

2 働き続けられる職場環境を整備する

医療・看護DXの促進が進む中、昨年度、電子カルテシステム更新を終え患者情報の一元化を目指し、活用・周知に注力した一年であった。看護過程を電子カルテ上で展開できるように、クリニカルフローや入退院ナビ機能の活用を看護記録員会が中心に取り組んだ。今までの慣習から思考整理、行動変容に導くことに時間を要したが、DXの促進、多職種連携による業務改善につなげるため、情報担当の看護師長が軸となり、電子カルテシステム更新後の記録フォーマットやマニュアル作成・整理することができ、業務の効率化につながった。業務量調査では、副看護師長会の時間管理ワーキンググループ、看護の質委員会活動を中心に取り組み、申し継ぎ・報告は10分以上の短縮ができた。

患者安全の推進では、防災・減災の取り組み強化を掲げ、部署ごとの訓練の実施、BCPの見直し、災害支援ナースの育成に取り組んだ。長引く新型コロナウイルス対応により、実施ができていなかった夜間想定消防訓練の実施ができた。しかし、被災時の受援計画は未着手であることが明らかとなり、次年度は受援時の指揮系統を盛り込んだBCPの作成をめざしたい。また、第8次医療計画では新興感染症対応も踏まえた災害支援ナースの育成が求められ、6名の災害支援ナースの育成・登録につなげることができた。

令和6年の診療報酬改定では、入院料の通則に“栄養管理体制の基準の明確化”“身体的拘束最小化の取り組み”が追加された。チーム医療を推進し質の高い看護を提供するため、栄養管理体制の基準としてGLIM評価を取り入れ、対応フローを再考し整理した。身体拘束最小化の取り組みは、身体拘束率の測定、看護補助者の夜勤勤務は導入していたが、組織的な取り組みとして、身体拘束最小化委員会の設置、指針の作成・整理ができたことは、より安全安心な療養環境の提供ができる基盤となった。身体拘束率の低減に向け、指針の周知、チーム活動の促進を行っていくことが今後の課題である。

看護師・看護補助者の確保は、必要数の確保が困難な状況が続き、経験者採用活動を強化した。採用活動として、看護師長会の人材確保ワーキンググループが院内の広報・人事担当者とホームページのリニューアル、看護師長会では採用者マニュアルの見直し、オリエンテーション内容・支援計画の整備をすることで、採用の確保につなげることができた。新人看護師は進学を理由に1名の退職、経験者は結婚・出産・育児に伴うが30%を占めた。職員構成として中堅看護師の育児世代が多いことが強みであるが、業務過多によるやりがいの喪失につながらないよう安定した人材確保、業務整理、支援体制の強化が急務である。看護補助者の確保は、業務内容のイメージがしづらいつとの意見もあり、ホームページや地域の広報誌の活用、体験会を3回実施し、3名の応募2名の採用ができ、取り組みの効果を実感した。

3 患者の意思決定を尊重した満足度の高い看護を提供する

最善の医療・ケアの提供には患者さん自身の意思を尊重した支援は不可欠である。令和6年“人生の最終段階における意思決定支援”も入院料の通則に組み込まれ、現行の“適切な意思決定支援の指針”の改定に取り組んだ。「その人らしく生きる」ための患者の権利と意思決定を支える体制として、入院前から情報収集しカルテ内で他職種とともに共有できるよう更なる体制整備に取り組んだ。患者の思いを確認するツールの一つとなるAI問診の導入予定となっており、得られた患者・利用者の情報が分断しないよう取り組むことが求められる。

患者・利用者評価では、通年実施している退院時アンケートの“意向の確認”が0.1P、“職員間の連携”は0.06P上昇した。JCHO患者満足度調査では入院患者の総合評価が前年度より0.18P上昇し、特に納得して治療を受けることができた、退院後の療養に向けての説明の項目が高得点であった。評価が高かった項目については、患者の意向を共有し看護につなげるため、多職種とともにカンファレンスを積極的に取り組んだ結果といえる。引き続き、患者の意向に沿った意思決定支援につなげられるよう、職員・職種間の対話を大

切にし、多職種連携、カンファレンスの開催に取り組み、倫理的感性の醸成、看護の質向上に取り組んでいく。

4 病院建て替えに向けた健全経営に看護職員が貢献する

診療報酬改定により一般急性期7対1の在院日数は18日から16日以内、地域包括ケア病棟の転入率65%以下、在院日数40日以上減算など要件の厳格化により、ベッドコントロールに難渋することもあった。しかし、前年度より進めてきた病床管理システムの導入、医師、看護師、コメディカルが参加し朝のベッドコントロール会議の開催により、タイムリーな病床運用の検討ができるようになった。医師、医事課の参加により患者の病態やDPC指標から迅速な判断ができ、病床利用率も前年度より4%上昇することができた。病床編成としては、令和7年1月小児科病棟を28床から36床に増床、実働病床数を402床に変更となった。

附属施設である健康管理センターでは、保健師配置を見直し特定保健指導の増加、業務の見直し、訪問看護ステーションでは特定行為実施（区分：栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連）の体制整備に取り組んだ。

看護活動

1 看護提供体制

部署	看護体制	看護方式	勤務体制
一般病棟	入院基本料1	固定チームナーシング+ 継続受け持ち型	変則2交替
	急性期看護補助体制加算50：1		
	夜間看護職員12：1配置加算		
	夜間100対1急性期看護補助体制加算		
特定入院算定病棟	回復期リハビリテーション病棟入院料1	受け持ち看護方式	変則2交替
	地域包括ケア病棟入院料2		
	小児入院医療管理料3		
	緩和ケア病棟入院料1		
	ハイケアユニット入院医療管理料1		
	脳卒中ケアユニット入院医療管理料		
外来・救急外来			変則2交替
検査部門			
手術室			

2 看護部委員会活動2024

委員会名	目標	活動内容
教育委員会	1. 倫理観を備え、患者を生活者としてとらえた看護の展開を行い、地域包括ケアシステムにおけるチーム医療の中心的役割を担うことができる。 ①キャリアラダー看護実践能力：ラダーⅡ以上：前期以上 2. 人材育成に必要な能力の習得および看護研究活動を支援する。 ①キャリアラダー自己教育・研究能力：ラダーⅡ以上：前期以上 ②看護研究発表 全部署	1. ラダーⅡ以上看護師対象に、高齢者看護研修（誤嚥性肺炎の看護）を実施した。1事例をもとに、高齢者の病態の特徴、臨床推論、看護展開、誤嚥性予防ケア、胃瘻造設の意思決定支援までの一連の看護展開について3回コースで実施した。ガイドラインやエビデンスに基づき、患者家族の意向を尊重し方針を決めていくことの重要性を学ぶことができた。全体像の把握では、関連図を用いて4側面からアセスメントするには、アドバイザーの助言が必要であり、課題であった。 2. ①キャリア開発研修を実施し、自己のキャリアプランについて考えるきっかけになったとの意見もみられ、研修後のラダー評価では、受講生の87.5%がB評価であった。②看護研究発表では、全部署取り組みを行い、11部署が発表をおこなった。看護研究研修に、修士課程修了者2名をアドバイザーとして参加することでその場で研究を進めるにあたり疑問に思っていること等を解決することができた。
新人教育委員会	1. 新人看護職員が心理的安全性のある環境のもと、安心して安全な看護ケアを提供することができる。 ①卒後1年目看護師 離職率 7%以下 2. 全体像から患者を捉え、倫理的観点もち患者に応じた看護過程を展開できる ①ニーズをとらえる力・ケアする力の向上 キャリアラダー評価 前期以上	1. ローテーション研修を4週へ短縮したが、104項目の看護技術習得は、全員要件を満たすことができた。また、ローテーション研修時期を早めたことで、前年度と比較し夜勤の立ち回りや入院対応など早い時期に経験できたことで、2年目にむけ経験を積み重ねることができた。2年目の後期前半に、メンタルヘルスの研修を実施した。「同期と話が来て良かった」「同期と共有できて安心につながった」などの意見があり、不安や悩みを共有できる機会となり有用であった。 2. 3年目リフレクシオン研修では全体像から患者を捉える力に課題があることがわかり、研修だけでなく日々ニーズを捉える力やケアをする力が向上するようにOJTで1、2年目看護師から計画的に指導していく必要がある。

委員会名	目 標	活 動 内 容
実習指導者会	1. 各学校の実習要綱を理解し、担当教員と協働・連携しながら実習目標達成のための調整や関わりとその評価ができる。 2. 効果的な指導方法について、知識を習得し、実践・評価することができる。	1. 委員会を通し、自部署以外での実習指導体制や学生・教員との関係についての共有や困りごとなど意見交換や課題等を検討することができた。学生の傾向として、メンタルに不調をきたし、実習に來れなくなる学生が数名いた。その中でも、指導者と教員との連携で、乗り越えられた学生もいた。学生のレイビネスについては、実習調整会議で事前に把握し実習開始前より教員と個別的な指導方法が検討できるよう今後取り組んでいく必要がある。 2. 研修会では、効果的な指導についての研修を4回/年実施した。研修で得た指導スキルを実践した実践報告会を行い、学びを共有することができた。
CW/NA教育委員会	看護補助者/介護福祉士が看護チーム内で能力発揮できるように、役割と責任の明確化に基づく実践能力の向上を目指した教育体制を構築する 目標値：①キャリア開発プログラムの活用と評価、修正 ②看護補助者満足度調査結果：総合評価6以上	1. 看護補助者研修のうち、おむつ交換の研修を介護福祉士が研修企画に参画したことで、介護福祉士のやりがいに繋げることができた。看護補助者からも、日常に活かせる研修で学びとなったとコメントもあり、高評価であった。 2. 看護補助者/介護福祉士継続教育マニュアルや技術チェックリストも運用開始後の評価を行い、必要箇所の修正をワーキンググループを中心に実施することができた。 3. キャリア開発プログラムを実践するにあたり、プログラムに沿って研修後の部署内教育ができるように関わっていく必要がある。委員である副看護師長は委員会活動を通し看護補助者のキャリア開発プログラムを再認識する機会になった。
CW/NA連絡会	看護補助者/介護福祉士としての役割と責任のなかで、部署における業務課題を明確にし、看護チームとして看護師と協働するうえでの問題点を検討する。 部署内の課題や問題を抽出し、情報共有のもと解決に向けて検討する 目標値：問題の解決100%	1. 問題の解決について 各部署での業務における問題点について、委員より意見を集約し検討した。 ①掃除道具の埃りたの変更をしたことでの問題は生じておらず、衛生的にも改善された。 ②レンタルタオルの使用方法について、用紙を作成し配布した。周知に時間を要したが、現在は定着してきている。 2. 看護補助者研修について 看護ケアに必要な専門技術(おむつ交換編)の担当をおむつフitter資格を有する介護福祉士へ依頼し、研修を実施した。講師として、実施できたことで役割認識やモチベーションの向上へつながった。 3. 看護補助者体験会 看護補助者採用活動の一環で体験会を開催した。業務見学やベッドメイクの体験することでイメージ化が図れ、参加者4名のうち2名が就職に繋がった。
医療安全対策委員会	1. 転倒転落による3b以上の有害事象発生件数低減 前年度6件(目標0件) →結果15件 転倒転落発生件数発生率の低減(レベル2以上) 前年度118件: 目標100以下(2.27%) →108件(率2.56%) 2. 薬剤インシデントの発生の低減 薬剤インシデントレベル1以上前年度:291件(投薬忘れ109件) 目標レベル1以上1割減270件(投薬忘れ90件) →結果233件(投薬忘れ95件) 3. 患者誤認インシデント発生件数の低減(レベル2以上) 患者誤認 2件→4件(面会間違い1件、薬剤患者間違い3件)、書類誤認 5件→1件 4. 医療安全文化向上をはかり、心理的安全性の担保をはかる。職員意識調査(適度な精神的不安を感じることなく仕事を勧める) 48.1% →未実施 5. 経験に基づくリスクの低減 各部署RCA分析件、改善事項の共有1件 →各部署2件以上、改善事項の共有6件以上	委員会の活動は4つのWG(転倒・転落、薬剤インシデント、患者誤認、インシデントシステムファントルくんの活用)と委員を中心にラダー研修を企画し実施した。 1. 転倒転落 今年度は、アクシデントが昨年度倍以上となり、転倒率0.29%増であった。転倒データから、80代の病室内やトイレ・廊下での排泄行動や移動動作のデータが多い。「入院後に転ばないために」のパンフレットを改訂し、入院時に使用を啓蒙した。高齢者の行動分析を行い、患者参画、多職種で対策を検討する必要がある。 2. 薬剤インシデント 昨年度の投薬忘れの内、高齢者の自己管理や医療者の確認不足について検討した。高齢患者の傾向を把握し支援が必要な為、内服自己管理フローを見直し修正中である。投薬忘れの内訳の上位は、確認不足21件、医師指示関連12件、自己管理関連10件、職員間の伝達ミス5件ある。今年度は、薬剤間違い13件あり、患者支援とこれらの対策も誤投与の対策が必要である。 3. 患者誤認 昨年度作成した誤認防止のリーフレットを各部署へ配布し、医療安全ニュースで啓蒙した。インシデントの振り返りに利用した。リーフレットは、インシデントの振り返りは自己の傾向を知る機会となり、予防行動を指導時に利用できた。 4. ラダー研修(8回)の中でラダーで習得する医療安全のスキル、分析方法と医療安全文化を向上させるツールや対応を組み込んでいる。部署の教育計画の中で医療安全研修の内容を計画的に取り組めるように、研修内容の共有やRMの支援、実践状況の確認が必要である。 5. 研修の課題としてRCA分析を各部署で行い委員会でも共有した。RCA分析研修は継続して実施しているが、課題以外の取り組みは部署によって違い、形式についても差がある。 今年度はインシデントシステムが変更となり、ワーキンググループを中心に入力方法の周知を図り、分析方法の手順を作成し、学習会を実施した。事案の着眼点が概要に影響する為、正しいデータを得るためにも、指標の周知が重要である。

委員会名	目 標	活 動 内 容
看護記録委員会	PFMシステム活用による療養支援の強化・患者参加型看護により高齢者看護の質を向上する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育：新人研修：年4回（4月、5月、8月、10月、1月）実施 記録研修：6月 看護過程に沿った看護実践記録 2. 監査 質的、形式 年2回（8月、1月）実施 入退院支援委員会 監査内容と記録監査の項目を見直しを行い、協働で施行した質的監査 結果質的監査結果：情報67.5%、全体像62%、看護計画60.8%、経過 表94%、経過記録88.5%評価58%カンファ48%、看護要約64%であり、 カンファレンス記録の充実が課題である。 3. 患者用の看護計画書を作成し使用開始した 4. 看護記録基準、手順の見直しを行った。
看護の質委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療・看護の質向上に向け、電子カルテの活用や他職種連携により業務改善が推進される。 業務量調査一人当たり 1) 報告・申し継ぎ 61分→61分以下 2) 記録 33分→33分以下 3) 職務満足：業務2.07→2.26以上 2. NIの項目を明らかにし、NIのデータを評価する。また評価の結果から質改善の課題に取り組み課題を明確化する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1) 報告、申し継ぎは、日勤が40分、夜勤は56分であり、目標は達成できた。小項目のカンファレンスと申し送りなど同じ項目であったことは整理した。また各部署での取り組みを部署間で共有し、自部署でも実施した。結果、部署間に差はあるものの、平均すると短縮されている。 2) 記録は、日勤は51分、夜勤は97分と短縮はしていないが、新システムであるYahgeeに慣れておらず、時間がかかっているが、時期に応じた退院調整ができたり、看護要約のタイムリーな記載などできるようになっている。慣れていくことで時間短縮はできると評価している。経過用紙の記録に時間がかかっている結果が見られた。看護展開を適切にできていないことが根本的な問題でもあり、次年度は、患者の評価を適切にしながら看護展開の質を向上につとめる。 3) 職務満足：3.97であり、目標達成とする。業務量調査により出た結果で、おむつ交換の時間も長くおむつの種類の変更をすることにより、夜間のおむつ交換の時間は短縮できた。また、部署間の申し継ぎはなくすことで、引継ぎの時間は短縮している。ただし、部署間の申し継ぎは、引き続き評価は必要であり、申し送りがなくないことによる不具合はあるため、修正はしていく。 2. NIに関しては、今年度は身体抑制率の改善のため、『身体抑制率』に全部署統一した。身体拘束をしない、低減するためのカンファレンスなどは、各部署課題があり。3原則に沿った抑制が必要な症例を検討し、記録に残せるように今後も引き続き実施していく。
看護基準・手順委員会	PFMを活用した看護過程の基準を定め、看護の質を保証するための基準・手順を検討、周知する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護基準・手順の新規採用、バージョンアップ 2024年4月現在424のうち212手技採用をおこなった。 2. 看護過程の展開に基づいた、記録の充実を図るために、入退院ナビの整備を行った。 今後は周知していくことが課題である。
入退院支援委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. ACP支援に基づいた入退院支援を理解、実践にむけ、入退院支援監査を実施する 2. 入退院支援の基礎知識の充足及び入退院支援の標準化を図る。(研修の企画、実践、評価、入退院支援マニュアルの改訂) 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 監査評価視点を委員会で共有した。目標に挙げたカンファレンスについては「カンファレンスで検討した内容を退院支援計画書について修正されている」は12/100Pであった。「患者家族の意向や希望が反映された個別性のある看護計画書となっている」に至っては全体平均45/100Pである。患者の意向に基づいた看護実践の記録が課題である。 2. 入退院支援マニュアルについては、電子カルテ更新後の内容へ改訂をした。 ・新人研修（地域包括ケアと地域における当院の役割を知る）の、アンケートでは、理解ができたは95%の結果を得たが、「わからなかった」「時期が早かった」が5%あった。地域包括ケアシステムの知識はあったが、実際の入退院支援とのつながりの理解が難しかった。 ・2年目研修（当院のPFMの流れを知り、看護師の役割を考えられる）では、他部署と意見交換ができたことで、病床機能ごとの関わりの違いを理解できたという意見があった。 ・ラダーⅡ研修では、（退院支援、調整における多職種連携と看護師の役割を理解できる）では患者の意向を知ることや多職種連携の重要性を再認識できた。
感染対策リンクナース会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自部署の手指衛生の遵守率及び手指消毒剤の使用量を把握、分析し、上昇に向けた対策の立案と実施、評価ができる。 (遵守率:80%手指消毒剤使用量:16ml/日/患者（看護部全体）) 2. 自部署の耐性菌検出患者に対し、適切な感染経路別予防策が実践できる。 3. 院内感染対策マニュアルに基づいて、部署の特徴や患者の状態に応じた感染対策が提案でき、他職種と協同して適切な感染対策が実践することができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. リンクスタッフによる直接観察法による手指衛生の評価や手洗いキャンペーンを開催し職員に適切な手指衛生の手順とタイミングについて指導を行うなど手指消毒剤使用量の増加と遵守率の向上にむけ活動を行った。活動の結果、手指消毒剤使用量は病棟8.1ml/日/患者と目標達成を達成出来なかった。手指衛生の遵守率についてもリンク患者に触れる前が58%と前年度よりも低くなり目標達成することが出来なかった。 2. 前期では、耐性菌検出患者のラウンド時にはリンクスタッフと協議することで感染経路別予防策について理解を得ることができたと考えられる。後期では、新型コロナ対策として病室内のゾーニングについてグループワークを通し、新型コロナ対策について理解を得ることができた。 3. 昨年度から診療部門以外のスタッフがリンクスタッフとしてリンクナース会に参加するようになり、ICT環境ラウンド時に意見交換をするなど各部門での感染対策を考える機会となっている。看護部においては後期よりリンクスタッフがICTの環境ラウンドに同席し自部署の課題を明確にし改善にむけた取組を行った。それにより汚物室や不潔リネン庫など改善がみられ対策が継続出来ている。

委員会名	目 標	活 動 内 容
認知症ケアリンクナース会	<p>1. せん妄、BPSDの予防・緩和に向けたカンファレンスが開催でき、認知症・せん妄を発症した患者を尊重した個別性に合わせたケア選択ができる 指標：1. 監査票を活用したカンファレンス開催：各部署月1回（7月から開始） 2. カンファレンス時のマニュアル活用率100% 3. 部署ごとの身体拘束率：各部署先月以下</p> <p>2. 認知症ケアマニュアルの見直し</p> <p>3. 認知症看護・ケア研修の企画・開催・評価ができる 指標：看護補助者・介護福祉士研修企画・開催・評価、次年度の新人看護師研修の企画</p>	<p>1. 今年度は認知症やせん妄に関するカンファレンスの実施とアセスメントした内容やケア方法が患者に実践され、ケアの成果につながるように取り組んだ。自部署で認知症ケアマニュアルと監査表を用いてカンファレンスを行い、その実践内容をリンクナース会で報告・共有を行った。その際、実践報告の成果についてフィードバックを行った。また毎月認知症ケアのトピックスを伝え、部署に伝達し、ケア選択が広がるよう取り組んだ。認知症ケアの一つとして、マフの効果の説明と実際に部署でマフを患者に使用してもらい、焦燥感の軽減やチューブの自己抜去が防げたケースが複数例みられ、リンクナース会で共有を行った。</p> <p>2. 認知症ケアマニュアルの改訂については、トピックスをマニュアルに追加し、ケアを積み上げれるように取り組んだ。</p> <p>3. 補助者研修にリンクナースの参加を計画し、研修ではファシリテーターの役割を担うよう取り組んだ。3月のリンクナース会で新人研修の企画について検討する。</p> <p>その他、加算算定について、せん妄ハイリスクケア加算算定率が低下した現状をうけて、加算算定が低下した要因を検討してもらうように働きかけた。現在、情報管理とも検討中であり、次年度も加算もれに対して取り組んでいくことが課題である。</p>
がん・心不全サポートリンクナース会	<p>1. がん、心不全患者の苦痛の把握ができがんサポートチーム、心不全チームと病棟、部署をつなげる役割ができる。</p> <p>2. 早期からACPの視点をもって患者、必要な支援について考えることができる。</p> <p>3. 心不全末期患者のがんサポートチーム介入の連携ができる。</p>	<p>1. 各部署1事例、事例検討をおこなった。 毎月2～1部署から事例の提供あり全部署の検討会の実施し、自部署では体験できないことを考えることができ、実践として、意思決定に活かせるカンファレンスの開催や、適切なタイミングやACPの大切さを学ぶことができた。</p> <p>2. 生活のしやすさスクリーニングの実施の把握、再評価できる取り組みについて、部署での周知するための活動をおこない、入院時の実施76%、再評価47%まで増加した。 また、気持ちの辛さについて、生活のしやすさに関する質問票が活かせる可能性もあり、がん以外の患者への使用も広めることを検討していく。</p> <p>3. 心不全チームへつなげる役割のため、チーム介入の方法の確認、心不全チームから勉強会の実施をおこなった。 チーム介入後のチームとの連携ができていなかったことが課題であり、心不全が末期となったときにがんサポートチームと連携できる仕組み作りを取り組んでいく。</p>
摂食嚥下・NSTリンクナース会	<p>誤嚥生肺炎患者の低減を図り、経口摂取移行率の改善ができる。</p> <p>1. 誤嚥性肺炎の発症率の低減（昨年度0.68%）1.0%以下</p> <p>2. 経鼻栄養患者の経口摂取移行率の向上（30.3%）35%以上</p>	<p>1. 誤嚥性肺炎の発症率は、0.92%であり、目標は達成できた。不顕性誤嚥17件（0.37%）、食形態17件（0.37%）、嘔吐6件（0.13%）、その他2件（0.04%）であった。不顕性誤嚥と食形態の誤嚥は、割合は多いが前年度と比較すると不顕性誤嚥はほとんど変わらない。各部署の口腔ケアの徹底や歯科へのコンサルテーションが根付いている結果とも考えられる。また食形態の誤嚥は、やや増加しているものの、嚥下チームへのコンサルテーションもありVEは定期的には実施できている。食形態に関しての誤嚥も、以前と比較すると少なくなっている。院内の食事の窒息症例もなく、適切な嚥下評価はできるようになっている。ただ、院内のヤギーでの嚥下評価チャートが実施できていない症例もあり、実際の嚥下評価の実施率なども監査していく必要はある。</p> <p>2. 経口摂取移行率は、20%であり目標値は達成できていない。急性期や転院待ちなどの多い6階は、経口摂取に移行できない症例も多い。しかし、回復期は、新1が22% 新3が40%であり、回復期の平均は31.1%であり、目標値にあと一歩といったところである。次年度は、部署別のデータを目標値にしていくことを検討する。</p> <p>今年度は、リンクナースが一人1事例症例検討をしている。中には、経鼻栄養であったが、経口摂取をチームで目指して、獲得できた症例や、気管切開した患者の経口摂取を人工呼吸器装着中から訓練を行いながらサポートし、嚥下チームとの連携の中、経口摂取獲得できた症例などが発表された。KTバランスチャートでの評価により、可視化できたことにより看護実践の振り返りもしやすくなっている。今後も更なる看護実践能力の向上を目指し継続していきたい。また学会発表へもつなげるによりリンクナースのより摂食嚥下障害の看護の専門性の向上にも努める。</p> <p>摂食機能療法の算定率は95%であり、看護実践が適正な加算算定にもつながっている。</p>

委員会名	目 標	活 動 内 容
排泄・スキンケアリンクナース会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 部署の褥瘡・MDRPU・スキン-テア発生状況を把握し、発生要因の分析と部署の特徴に応じた対策を検討・周知できる →褥瘡発生率0.45以下 2. 創傷（褥瘡・スキン-テア・MDRPU・IAD）および排泄に関するケアカンファレンスを部署内で行い、患者の個別性に合ったケアを提供することができる →各部署ケアカンファレンスを看護管理基準3-8「カンファレンスの運営」に則り毎月1事例実施、リンク会で報告 3. 新人研修、介護福祉士/看護補助者研修の研修アシスタントおよび褥瘡回診への同行を行い、正しい皮膚の観察と予防ケアについて学び部署内教育へ活用することができる →研修内容の検討と実施・評価、部署内勉強会の開催（各部署1回以上） 	<p>※2025年1月末までのデータ※ 発生件数（23年/24年）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 褥瘡発生件数42件/42件）、MDRPU発生件数（10件/11件）、スキン-テア発生件数（19件/33件）と、スキン-テアの発生が増加、それ以外は前年と同様で推移した。褥瘡発生率は0.45と目標値は達成した。一方で、スキンテアの発生件数が増加した。脆弱な皮膚を持つ高齢者の入院増加と、予防ケアの定着化が図れていないことが要因としてあげられる。また、療養上の世話において発生した皮膚障害がインシデントレポートの対象となることを各リンクナースが部署内で意識付けしていったことが要因として挙げられた。 2. 前期はケアカンファレンスが実施できない部署が多かったが、後半はカンファレンスが実施出来るようになった部署が増えた。スキン-テアや褥瘡発生予防には、多職種との情報共有を図ること、患者家族の協力も不可欠である。多職種も交えたケアカンファレンスの定着化に向け、部署の管理者と情報を共有する。 3. 研修アシスタントを担い、部署内OJTにつなげることができた
APNセンター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域医療支援病院として地域医療介護従事者の人材育成に貢献する 2. 相対的医行為研修の研修の体制構築と運用 3. 認定看護師のキャリアパスの作成と運用 4. 臨床推論や病態判断力を身につけ、高齢者看護の質向上を図る 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ZOOMを利用した研修を企画し実施した。また、当院と提携している近隣の施設職員と、毎月情報交換会を実施した。 今年度は3件の救命処置に関する出前研修に対応している。昨年初めて市内中学校の養護教諭勉強会から、感染管理CNへ依頼があり対応したところ、昨年勉強会に参加していた3つの中学校教員から依頼があり、出前研修の実施につながった。 2. ワーキングとして活動していたため、活動に対する評価を行い、EDチューブ留置以外は部署内教育またはラダー教育に移行することとなった。 3. 未着手 4. チャレンジラダーⅢ以上を対象に高齢者の誤嚥性肺炎に関して3回コースとして運営を行った。内容としては全体像を捉える・病態生理・フィジカルアセスメント・ACP・看護計画立案など、一連の看護展開を学習できる内容とした
特定行為研修管理委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. ジェネラリストの特定行為研修修了者が、継続的に活動できる体制を整備し、特定行為を実践する：NST 2. 検査治療での特定行為実践及び救外での初期診療対応の実践 3. 特定行為研修受講者の研修にかかわる支援を行う：統合実習での模擬患者の作成 	<ol style="list-style-type: none"> 1-1. NSTラウンドを活用して脱水補正の特定行為を実践する予定だったが、対象患者の縮小により5階入院中の総合内科の患者を対象に仕組み作りを行った。また3月からは4階整形外科患者を対象に脱水補正の特定行為実践に向けた仕組み作りを行っている。 1-2. 修了者活用ガイドラインは、地域での活用を想定した部分は作成できた。院内のガイドラインは作成中である。 1-3. 修了者によるクリニカルカンファレンス「特定行為研修修了者の現状と展望」は開催できた。しかし参加者は看護部がほとんどで、他職種の聴講はわずかだったため、特定行為の周知に向けた広報活動が課題である。 2-1. 救急外来のウォークイン患者を対象とした、事前包括指示に基づいた診療の補助の支援は、事前包括指示の素案を作成した。しかし修了者の救外での実践は未だのため次年度以降の課題である。 2-2. 外来の定期胃ろう交換患者を対象とした、修了者による胃ろう交換の実施に向けた体制作りは、修了者による交換は実施できている。後半は日程調整を行うことで、初回交換以外の症例はほぼ修了者が交換を行うことができた。 3. 特定行為研修への支援として、統合実習の演習において修了者によるファシリテーターを行った。また演習に用いる症例の作も行うことができた。

3 認定看護師活動

認定看護師分野	人数	活動の概要
集中ケア	2	<ul style="list-style-type: none"> ・院内迅速対応システム（Rapid Response System：RRS）の普及活動の一環として、関連分野の認定看護師と協力し、定期的に病棟ラウンドを行い、重篤化リスクの高い患者への早期介入を行った。今年度より、RRTの構成メンバーとして特定行為研修修了者が参加した。また、地域の中学校で救命技術の研修を実施した。 ・人工呼吸器装着中の安全管理や、呼吸ケアが必要な患者に対し、RST（呼吸療法サポートチーム）のラウンドを実施し、主治医やスタッフと治療方針を確認しながら、患者に適した呼吸管理となるよう活動した。 ・ラダーⅡ以上の看護師に対して、誤嚥性肺炎予防のための知識、技術習得への研修を実施し、複合的な疾患をもつ高齢者の増加に伴う予防的看護への一助となるよう活動した。 ・救急CN、クリティカルケアCNとともに院内災害研修の講師を担当した。
皮膚・排泄ケア	2	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡発生低減に向け、多職種で構成された褥瘡対策チームの一員として回診を実施した。毎週月曜日は急性期病棟、水曜日に回復期・地域包括ケア・緩和ケア病棟と日を分けて、ベッドサイドにてケア方法のアドバイスを実施した。 ・院内研修では新人への褥瘡発生予防ケア、介護福祉士/看護補助者への褥瘡予防ケア（ポジショニングを中心に）を担当した。その際は褥瘡対策チームの理学療法士と作業療法士も演習を担っている。 ・看護外来ではストーマケア、褥瘡保有者や排泄に悩みを抱える患者さんへの介入、近隣施設や訪問看護ステーションなどからも褥瘡やストーマケアに関する相談を受け、必要時は同行訪問を実施した。 ・近隣の医療介護従事者に対し、高齢者の便秘ケアについて、外科医師とともに講演を行った。 ・創傷管理関連特定行為のNPWTを関連する診療科医師と協力し実施し、患者さんのQOL向上と医師のタスクシフトの一助を担った。また、JCHO特定行為研修「創傷管理関連」区分の実習指導者として、研修生のOSCEや実習への対応を実施した。
脳卒中リハビリテーション看護	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「脳卒中相談窓口」では、多職種の脳卒中療養相談士と連携して、当院で入院中または入院歴のある脳卒中患者および家族の困りごとに対する相談の対応を行った。 ・院内の看護師を対象とした研修では、フィジカルアセスメント研修を新人看護師に実施し、脳卒中疾患を受け入れる関連部署には勉強会を実施した。 ・地域住民を対象に、世界脳卒中デーに脳卒中予防教室を実施した。また、他の認定看護師と共に「冬の健康増進」をテーマに地域に出前研修を実施した。 ・排尿チームの一員として回診に参加し、病棟看護師と共に対象患者の排尿自立に向けた支援を行った。 ・摂食嚥下障害看護認定看護師や多職種と協働し、嚥下チームの一員として、嚥下評価を実施しVEの実施に繋げることや、栄養状態の担保、嚥下機能の向上、食事に関連した支援を行った。
認知症看護	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週火曜日・水曜日に医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、MSWとともに認知症ケアチームとして回診・カンファレンスを行い、患者さんが安心して過ごせるように療養環境やケアに関する話し合い、助言を行っている。また認知症ケアチームとして、看護師対象の研修や全職員対象のクリニカルカンファレンスを企画し実施している。 ・認知症・せん妄ケアリンクナース会では委員長として、リンクナースとともに認知症看護に取り組んだ。 ・地域からのニーズの高いもの忘れ外来では、医師や臨床心理士、医療秘書と協働し、医師の診察前に問診を行い、生活の困りごとや相談への対応や助言を実践している。 ・新人看護師へは、毎年4月に認知症・高齢者への看護研修を行っている。またCW・NA研修としても毎年事例を取り入れた認知症ケア研修を行っている。 ・大阪府看護協会など外部研修の講師やファシリテーションなどの依頼を受け活動した。
救急看護	1	<ul style="list-style-type: none"> ・救急外来での看護実践や、3日目看護師に対してOJTを含めた教育を実施した。また、集中ケア認定看護師やクリティカルケア認定看護師とともに災害研修やRRSの定着を中心に活動した。 ・枚方市内の中学校や他病院へ救命技術の研修を実施し、院外での救命技術の向上に寄与できた。
感染管理	3	<ul style="list-style-type: none"> ・感染管理部の専従看護師として院内の感染対策担当者として従事した。 ・院内における耐性菌や医療関連感染のサーベイランスを実践し、感染対策の質向上のために活動を行った。 ・新型コロナウイルス感染症について院内における感染対策の実際について、ガイドラインや近隣病院とのディスカッションを行いながら適宜変更した。また、新型コロナウイルスやインフルエンザによるアウトブレイク発生時には早期鎮圧に向け対策をおこなった。
がん性疼痛看護	1	<ul style="list-style-type: none"> ・当院の附属訪問看護ステーションに在籍し、悪性腫瘍の鎮痛療法及び抗がん剤の有害事象への対応など指示書に基づき計画的に管理し、月1回以上定期的に訪問している。実施件数は延べ25件で、スタッフと同行訪問若しくは訪問看護実施後に今後の支援方法などスタッフへ伝え継続できるように支援した。 ・大阪府訪問看護ステーション協会からの依頼で、地域の看護師に向けてACP支援実践人材育成研修のファシリテーターを行い、地域で働く看護師の人材育成に協力した。
がん化学療法看護	1	<ul style="list-style-type: none"> ・外来化学療法室、緩和ケア病棟に在籍し、外来化学療法患者の投与管理や副作用管理・指導などを実施した。また、入院で、化学療法を実施する患者への、投与管理や副作用管理などの相談対応を行った。 ・治療期・終末期患者の意向を確認し、意思決定支援を行い、緩和ケアに移行する患者に対しては、緩和ケア病棟への転棟調整などを実施した。 ・院内の看護師が安全に、化学療法が実施できるように、新人看護師に対して、「ローテーション研修で化学療法の管理」についての研修を実施、外来化学療法室で業務を行うスタッフに対して、「抗がん剤の穿刺」の研修と実技を実施した。

認定看護師分野	人数	活動の概要
摂食・嚥下障害看護	1	<ul style="list-style-type: none"> ・嚥下リクナースの支援をしながら、嚥下障害患者の看護の質向上に向けた活動を行った。誤嚥性肺炎の院内発症の低減や、経口摂取移行に向けた取り組みを行った。誤嚥性肺炎の発症率は、0.92%であり目標値は達成している。部署での嚥下障害看護の実践力は向上してきている。また経口摂取移行に関しては、20%であり、目標値は達成しなかった。回復期2病棟の結果は、31%と目標値には達成していないものの、経口摂取に移行できた症例もある。また、嚥下チームのコンサルテーションを通して、多職種でサポートできる体制の構築を行った。昨年度より耳鼻科医とともに嚥下外来を設立し、地域からの紹介で嚥下障害の患者を嚥下内視鏡で評価し、食事の方法、形態、嚥下訓練の指導を行っている。
がん放射線看護	1	<ul style="list-style-type: none"> ・がんサポートチーム専従看護師としてチーム活動をおこない、入院時がん患者には「生活しやすさに関する質問票」で苦痛把握をし、がん病名入院患者の68%チームに介入し、身体的、精神的苦痛の軽減、意思決定支援をおこなった。 ・新人終末期看護で、エンゼルケア研修、3年目救急研修で、放射線防護について講義を担当し救急外来で安全に検査がおこなわれるようにした。 ・リーダー研修、「意思決定支援について」講義し、実践の中で意思決定が困難なケースへの介入。がん以外の3件の倫理カンファレンスでは参加者が意思決定支援の視点をもち考えることができた。 ・放射線治療患者への意思決定支援、副作用の予防、ケア方法介入し、11件中10件治療完遂となった。
糖尿病看護	2	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物療法（インスリン治療）により退院が難渋する高齢糖尿病患者・家族に対し薬剤調整や注射手技習得指導を行い、患者・家族の思いに寄り添いながら退院支援を行った。 ・糖尿病合併症の1つである腎症II期以上の患者に対して、2023年コロナ禍で中断していた「糖尿病透析予防指導」を再開し合併症の発症・進展防止に繋がるようチームで生活指導に取り組んだ。 ・院内のインシデント事案に関して医療安全管理室と協働し、発生状況確認や防止対策の検討・対策の定着化に取り組んだ。 ・「世界糖尿病デー」に合わせて、当院に通院している患者やその家族・地域の住民に向けて、糖尿病を含めた生活習慣病の発症・合併症進展予防のための啓蒙活動を行った。 ・地域の看護師・PT・ケアマネ等を対象にZOOM研修、地域住民を対象に健康フェアを実施した。
手術看護	1	<ul style="list-style-type: none"> ・術後疼痛管理チーム活動が2年半経過となった。マニュアル作成、プロトコル見直し、チーム内での検討、クリニカルパス作成、評価を行った。個別にクリニカルパス評価の漏れが多くある病棟へ指導を行った。年度末の成果発表の場において副作用、有害事象、合併症、体動時・安静時NRS別の3年間のデータを開示しチーム活動内容、チーム活動の有効性報告することができた。それに合わせ今後の課題も明確にすることができた。 ・手術室内アクシデント・インシデント事案に関して医療安全管理室と協働し、発生状況確認や防止対策の検討・対策の定着化に取り組んだ。 ・体位マニュアルの修正1症例完成。
クリティカルケア	1	<ul style="list-style-type: none"> ・集中ケア・救急看護認定看護師と協働し、RRSの定着にむけ活動した。また、看護師の臨床能力の向上にむけRRT・RSTの活動しにベッドサイドでのOJTを実施した。また、希望者に対し臨床推論の研修もおこなった。急変時対応としてICLSの活動、地域の病院・中学校・訪問看護ステーションへのBLS研修なども企画・実施を行った。 ・院内の災害訓練を行い、災害対応についての講義・演習を実施した。 ・特定行為として、院内の人工呼吸器管理患者の設定変更やHCU入室患者の人工呼吸器離脱への行為実施を行った。

特定行為区分	人数
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	1
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	3
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	0
ろう孔管理関連	3
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	2
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	4
創傷管理関連	3
創部ドレーン管理関連	1
動脈血液ガス分析関連	1
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16
感染に係る薬剤投与関連	3
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	2
循環動態に係る薬剤投与関連	3
在宅・慢性期領域	0

2024年度のトピック

	業務関連	看護関連	診療報酬関連
4月		看護補助者/介護福祉士ラダー活用開始	
5月			
6月			
7月	病床管理システム J 太郎稼働開始		
8月	エンゼルケア時の寝巻きSPD化		
9月			歯科口腔リハビリ加算算定開始
10月	面会制限緩和（毎日13:00～17:15）	看護補助者体験会①	
11月		看護補助者体験会②③	
12月			
1月	病棟編成（小児科28床→36床）	採用者マニュアルの改定	
2月		看護記録方式の変更決定	急性期看護補助体制加算50対1へ変更
3月		入職前インターンシップ 看護研究・実践報告会 訪問看護ステーション特定行為開始	

継続教育

1 新人卒後臨床研修

集合研修

	研 修		研 修
4月	病院オリエンテーション・地区事務研修 看護技術（血糖測定、移乗、酸素療法、吸引、オムツ交換） 医療安全基礎①・感染対策基礎① 接遇マナー フィジカルアセスメント（呼吸・循環・脳） 看護記録① 高齢者看護（摂食嚥下、認知症看護） 災害、防災 目標管理、業務管理（時間管理、物品管理、コスト管理） ME機器の取り扱い 夜勤オリエンテーション ストレスマネジメント①	9月	薬品の取り扱い ストレスマネジメント② 褥瘡対策
5月	看護記録② 救急看護（BLS） 看護技術（採血・点滴、尿道カテーテルの挿入）	10月	リフレクション 重症度・医療、看護必要度 地域包括ケア I
6月	医療安全② 感染管理② 糖尿病看護 看護技術（検体の取扱い）	11月	看護技術フォローアップ
7月	人工呼吸管理 終末期ケア	12月	感染対策③
8月	看護記録③ 摂食嚥	1月	医療安全③（多重課題シミュレーション） 看護記録④ ストレスマネジメント③
		2月	静脈留置研修
		3月	ケーススタディまとめ・修了式

ローテーション研修（6～11月）

研 修 場 所	期 間
急性期病棟もしくは回復期リハビリ病棟	1 週間
手術室	1 週間
HCU・SCU	1 週間
緩和ケア病棟・外来	1 週間

2 院内研修（院内全職員研修及び部署内研修は除く）

ラダーレベル	主な対象者	開催月	テーマ	参加人数
ラダー I	2年目	5月	救急看護 BLS	25
		6月	倫理	26
		7月	医療安全 KYT入門	26
		9月	感染対策 II 2年目	25
		10月	ストレスマネジメント（フォローアップ）	25
		9～12月	地域包括ケア II（入退院支援室ローテーション含む）	25
	3年目	6月	リフレクション①	35
		8月	医療安全 RCA入門	35
		7月	地域包括ケア II 訪問看護	35
		10月	感染対策 II 3年目	33
		12月	リフレクション②	34
		12～1月	救急看護（救急外来ローテーション含む）	33
ラダー II	プリセプター	6月	プリセプター（看護過程の展開）	16
	プリセプター以外	7月	フォローアップ	17
		8月	リーダーシップ	14
		9月	医療安全 KYT	12
ラダー III	10月	リーダーシップ（意思決定支援）	12	
ラダー II 以上	6月	学びなおしのリフレクション	10	
	7月	実地指導者	13	
	8月	キャリアデザイン	16	
	11月	感染対策 III	11	
	9月	地域包括ケア III 多職種連携	11	
	11.12.1月	高齢者看護（誤嚥性肺炎の看護展開）	10	
ラダー III	10月	意思決定支援	12	
ラダー III 以上	7月	感染対策 IV	12	
	7月	看護チームとしての協働	22	
	9月	教育指導	8	
	10月	医療安全 RCA分析	10	
臨床実習指導者	5月	初学者のための実習指導	14	
	6月	実習要綱に基づいた実習指導案の作成	24	
	8月	教員との効果的な連携について	21	
	11月	効果的な学生指導について	25	
	1月	効果的な学生指導について取り組んだ成果発表	21	
看護研究に取り組む者	5月	テーマ設定	24	
	5月	文献検索	21	
	7月	研究計画書作成と倫理的配慮	31	
	12月	研究発表の形式と方法	32	
看護研究活動支援者	5月	査読の視点	15	
	8月	自部署の看護研究取り組み相談	30	
全看護職員	3月	看護研究発表会	79	

3 院外研修

カテゴリー	研 修 名	主 催 者	開 催 月	参加人数
役割	新人職員研修	JCHO西日本地区事務所	4月	23名
管理	新任副看護部長研修	JCHO本部	6月	1名
	新任副看護師長研修	JCHO西日本地区事務所	9月	1名
	認定看護管理者研修 セカンドレベル	JCHO本部	6～7月、9～10月	1名
	認定看護管理者研修 ファーストレベル	大阪府看護協会	7～8月	1名
	認定看護管理者研修 ファーストレベル	藍野大学教育センター	11月～12月	1名
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	大阪府看護協会	6月	2名
	医療安全管理者養成研修	大阪府看護協会	12月	1名
教育	実習指導者講習会	大阪府看護協会	5～7月	1名
	実習指導者講習会	大阪府看護協会	9～10月	1名
	実習指導者講習会	大阪府看護協会	1～2月	1名
	実習指導者講習会	JCHO本部	11～12月、1月	1名
	実習指導者講習会（特定分野）	大阪府看護協会	11月	1名
	新人看護職員教育担当者研修	大阪府看護協会	1月	1名
	実習指導者講習会	大阪府看護協会	12月	1名
実践	在宅療養支援研修	JCHO西日本地区事務所	10月	4名
	認知症看護研修	JCHO西日本地区事務所	6月	3名
	中堅看護師研修	JCHO西日本地区事務所	7月	3名
	がんのリハビリテーション研修	ライフプランニングセンター	11月	1名
	経肛門的洗腸療法講習会	日本大腸肛門病学会	6月	1名
	認知症対応力向上研修	大阪府看護協会	11月	2名
	退院支援強化研修	大阪府看護協会	11月	1名
	災害支援ナース養成研修	大阪府看護協会	8月、9月、11月、1月	4名
メディエーター（基礎）	日本医療メディエーター協会	9月	1名	
認定	摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程（B課程）	愛知県看護協会	4月～3月	1名
自己研鑽	短期研修・トピックス参加	大阪府看護協会・その他外部研修		128名

4 院外研修・講演・講義の講師派遣状況

主 催 者	研 修 ・ 講 演 内 容	派 遣 数	時 期
日本看護協会	サーベイランス 感染防止技術 講師	1名	9月
大阪府看護協会	セカンドレベル 講師	1名	6～2月
大阪府看護協会	認知症看護研修 講師	1名	10月
関西看護専門学校	地域包括ケアシステム	1名	11月
摂南大学	老年看護学援助論 講師	1名	7月
JCHO本部	セカンドレベル 講師	1名	7～10月
JCHO本部	特定行為研修研修関連 講師	2名	11月
JCHO西日本地区事務所	看護師長研修グループワークファシリテーター	1名	5月
JCHO西日本地区事務所	新任副看護師長研修 講師	1名	9月
石川県立看護大学	創傷管理関連 講師	1名	10月
日本創傷・オストミー失禁管理学会	創傷・排便管理関連 講師	1名	8月
DPCマネジメント研究会	摂食嚥下障害関連 講師	1名	10月
大阪府理学療法士会	ポジショニングの基本と実践 講師	1名	2月
大阪府在宅医療部、 枚方市地域包括支援センター他	ACPに関する講師	4名	10～11月

5 実習受入

学 校 名	課 程	主 な 実 習 科 目	受け入れ人数	受け入れ累計人数
摂南大学	4年制大学	基礎、老年、急性、慢性、小児、在宅	278	1,712
宝塚大学	4年制大学	基礎、急性	34	216
大阪歯科大学	4年制大学	統合	27	72
大阪信愛学院大学	4年制大学	基礎	5	16
JCHO大阪病院附属看護専門学校	3年課程の看護師養成所等	緩和ケア	41	82
大手前大学	4年制大学	急性、慢性、在宅、入退院支援	47	405
森ノ宮医療大学	4年制大学	基礎	20	80
甲南女子大学	4年制大学	在宅	8	22
関西看護専門学校	3年課程の看護師養成所等	基礎、急性、小児、在宅、入退院支援	70	348
大阪保健福祉専門学校	准看護師教育課程	基礎	7	17
合 計			537	2,970

その他

令和5年度の看護師長会の地域連携ワーキング活動として認知症フェアの企画・開催が、今年度は病院として認知症カフェへと発展した。この取り組みに看護部としても、認知症・せん妄リンクナースが参加することで、地域住民や地域包括支援センター、行政の方々と情報交換する機会が増えた。認知症カフェを通して実施した“認知症マップ作り”のワークショップや“最後まで自分らしく生きるために”をテーマにした講演の開催、人生会議（もしバナゲーム）の模擬体験にも多くの看護職員が係わる事ができたことは有益であった。

事務部

スタッフ

事務部長 魚澤正克

1. 総務企画課

総務企画課長 松本祥敬
総務企画課長補佐 福永幸子（総務）
総務企画課係長 杉浦理加 松尾憲子
総務企画課員 17名

○業務内容

- ・ 職員の人事、公印の保管及び公文書類に関すること。
- ・ 職員の労働条件、福利厚生に関すること。
- ・ 中期計画及び年度計画に関すること。
- ・ 前各号に掲げるもののほか、他の所掌に属しないものに関すること。

2. 経理課

経理課長 植山邦彦
経理課長補佐 小鹿憲司
経理課係長 道休華子
経理課員 6名

○業務内容

- ・ 予算、決算及び財務書類等に関すること。
- ・ 債権及び債務の管理に関すること。
- ・ 契約に関すること。
- ・ 固定資産の管理に関すること。

3. 医事課

医事課長 長谷川秀樹
医事課長補佐 鈴木久子
医事課係長 渡部龍輔
医事課員 6名

○業務内容

- ・ 患者の入退院及び入院患者の厚生に関すること。
- ・ 医療に関する統計に関すること。
- ・ 診療記録の保管に関すること。

（令和6年12月31日現在）

星ヶ丘医療センターの経営状況

(損益計算書)

(単位：千円)

科 目		R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	
収 益 の 部	医 業 収 益	入 院 収 入	7,225,998	7,396,375	7,854,429
		外 来 収 入	1,675,815	1,629,750	1,598,810
		そ の 他 収 入	264,503	249,604	219,178
		小 計 (A)	9,166,316	9,275,729	9,672,417
	医 業 外 収 益	医 業 外 収 益	1,817,965	536,745	191,015
収 益 合 計 (B)		10,984,281	9,812,474	9,863,432	
費 用 の 部	医 業 費 用	給 与 費	5,853,140	5,487,445	5,448,024
		材 料 費	1,933,581	2,026,945	2,091,440
		経 費	1,751,797	1,615,658	1,608,885
		そ の 他	1,263,654	1,228,950	948,762
		小 計 (C)	10,802,172	10,358,998	10,097,111
	医 業 外 費 用	医 業 外 費 用	8,074	8,009	12,765
費 用 合 計 (D)		10,810,245	10,367,008	10,109,876	
利 益 の 部	医 業 利 益 (A - C)		-1,635,855	-1,083,269	-424,694
	経 常 利 益 (B - D)		174,036	-554,534	-246,444

※ 1. 経費の中には委託費を含む。但し、徴収不能損失及び租税公課の一部（法人税・事業税）は除く。

※ 2. 医業外費用の中には徴収不能損失を含む。

(貸借対照表)

(単位：千円)

科 目		R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	
資 産 の 部	流 動 資 産	当 座 資 産	2,910,935	2,138,676	2,123,662
		棚 卸 資 産	109,595	106,465	111,848
	固 定 資 産	有 形 固 定 資 産	11,114,886	11,420,131	11,231,584
		無 形 固 定 資 産	1,667	805,401	715,770
	投 資 そ の 他 資 産		3,987,891	4,291,256	3,787,453
	繰 延 資 産		0	0	0
資 産 合 計		18,124,974	18,761,929	17,970,317	
負 債 資 本 の 部	流 動 負 債		2,095,447	3,368,398	2,219,998
	固 定 負 債		873,040	1,859,964	2,465,681
	基 金 剰 余 金		0	0	0
	利 益 剰 余 金		15,156,487	13,533,567	13,284,638
	負 債 ・ 資 本 合 計		18,124,974	18,761,929	17,970,317

令和6年 機器購入一覧

商品名称	メーカー	規格	数量	供用部署	購入年月日
超音波診断装置 サイトライト8	メデイコン	9770554	1	超音波検査室	2024年1月19日
超音波診断装置 一式	コニカミノルタ	SONIMEGA HS2	1	整形外科外来	2024年2月15日
ペンタナ Connect(L) タワーサーバーセット	ロシユ・ダイアグノスティックス	518114114	1	病理検査室	2024年2月16日
一般X線撮影間接変換型FPD装置CALNEO FLOWシステム	富士フイルムメデイカル		1	診療放射線部	2024年2月16日
部門システムサーバー	富士フイルムメデイカル(株)		1	診療放射線部	2024年2月19日
ConsoleAdvance	富士フイルムメデイカル(株)		1	診療放射線部	2024年2月19日
ConsoleAdvance	富士フイルムメデイカル(株)		1	診療放射線部	2024年2月19日
ConsoleAdvance(モバイル仕様)	富士フイルムメデイカル(株)		1	診療放射線部	2024年2月19日
集中スキヤン用スキヤナ	富士フイルムメデイカル(株)		1	診療放射線部	2024年2月19日
集中スキヤン用スキヤナ	富士フイルムメデイカル(株)		1	診療放射線部	2024年2月19日
電子カルテシステム一式	富士通		1	総務企画課 企画	2024年2月19日
電子カルテシステム一式(健診)	富士通		1	総務企画課 企画	2024年2月19日
医事システム一式	富士通		1	総務企画課 企画	2024年2月19日
POSレジ 1号機(会計窓口)	富士通		1	医事課	2024年2月19日
POSレジ 2号機(会計窓口)	富士通		1	医事課	2024年2月19日
POSレジ 3号機(経理課)	富士通		1	医事課	2024年2月19日
POSレジ 4号機(救急)	富士通		1	医事課	2024年2月19日
POSレジ 5号機(健診)	富士通		1	健康管理センター	2024年2月19日
再来受付機	PFU		1	医事課	2024年2月19日
再来受付機	PFU		1	医事課	2024年2月19日
再来受付機	PFU		1	医事課	2024年2月19日
再来受付機	PFU		1	医事課	2024年2月19日
再来受付機	PFU		1	医事課	2024年2月19日
診察券発行機	日本データカード		1	医事課	2024年2月19日
診察券発行機	日本データカード		1	医事課	2024年2月19日

商品名称	メーカー	規格	数量	供用部署	購入年月日
自動精算機 1号機	グローリー		1	医事課	2024年2月19日
自動精算機 2号機	グローリー		1	医事課	2024年2月19日
自動精算機 3号機	グローリー		1	医事課	2024年2月19日
会計表示盤	富士通		1	医事課	2024年2月19日
眼科カルテファイリングシステム・耳鼻科ファイリングシステム・入院画像入力システム一式	ファイテンデックス		1	総務企画課 企画	2024年2月19日
薬剤部門・薬剤在庫管理システム	湯山		1	総務企画課 企画	2024年2月19日
ネットワーク機器	アライドテレス		1	総務企画課 企画	2024年2月19日
歯科ファイリングシステム(バラビューエポックス)	富士通	X700+2D	1	総務企画課 企画	2024年2月19日
歯科ファイリングシステム(アイエックスmaxiX Type2)	富士通		1	総務企画課 企画	2024年2月19日
iRad-QA_IMカラー (MX-Series)	富士フイルムメデイカル(株)		1	診療放射線部	2024年2月19日
iRad-QA_IMカラー (MX-Series)	富士フイルムメデイカル(株)		1	診療放射線部	2024年2月19日
iRad-QA_IMカラー (MX-Series)	富士フイルムメデイカル(株)		1	診療放射線部	2024年2月19日
SYNAPSE VINCENTクライアントWS_24インチ	富士フイルムメデイカル(株)		1	診療放射線部	2024年2月19日
SYNAPSE VINCENTクライアントWS_24インチ	富士フイルムメデイカル(株)		1	診療放射線部	2024年2月19日
56形壁掛形エアコン	三菱電機	PKZ-ERMPS6SLL3	1	総務企画課 総務	2024年3月8日
ガススチコン スーパースチーム	(株)マルゼン	SSCGX-20D	1	栄養管理室	2024年3月26日
ラック型サーバー	DELL	PowerEdge R350 Server	1	総務企画課 企画	2024年5月20日
ラック搭載 APC	DELL	Smart-UPS	1	総務企画課 企画	2024年5月20日
運動負荷用自動血圧計タンゴM2	フクダ電子	99-0088-40	1	臨床検査部	2024年6月19日
セントラルモニタ	日本光電	WEP-5218	1	医療機器管理室	2024年7月18日
サジタル鋸アタッチメント	ストライカー	OR-4100-400	1	手術室	2024年9月12日
NAVIインスツルメントトラッカー	ストライカー	6007-008-000	1	手術室	2024年11月28日
人工呼吸器	ドレーゲルジャパン	Evita V600 8422300	1	医療機器管理室	2024年12月9日
解析付心電計	フクダ電子	FCP-8300	1	医療機器管理室	2024年12月13日
サージ・エアトームII	ジンマー・バイオメット	00-5058-001-00	1	手術室	2024年12月27日

【医事課算定病歴係・診療情報管理室

スタッフ

課長 宮本光裕（～R6.03.31）、長谷川秀樹（R6.04.01～）
診療情報管理士 石川陽加、富田朱美、下辻愛梨、小幡真也

業務内容

- ・退院サマリシステム【H24.03～インフォコム(株)製】
退院サマリ：記載確認、依頼、督促、入力項目の確認、その他情報入力
疾病分類（ICD-10）、手術分類（ICD-9-CM）
- ・退院サマリ・手術記録記載状況報告
- ・手術記録回収、記載確認、督促、依頼
- ・診療録監査
- ・National Clinical Databaseへの登録
- ・退院患者統計表の作成
- ・院内がん登録の全国集計・全国がん登録データ届出
- ・がん診療連携拠点病院における院内がん登録調査データ提出
- ・情報検索・各種調査・アンケート
全国原発性肝癌追跡調査用資料 など
- ・（紙）入院診療録の貸出・返却
貸出件数 124件

職員研修状況

がん登録・情報提供部会
がん登録実務者研修会
がん登録実務者認定研修会
近畿病歴管理セミナー

統計業務

- I 退院患者数に関する統計
- II 疾病に関する統計
- III 悪性新生物に関する統計
- IV 診療圏に関する統計
- V 手術に関する統計

図書室・患者図書室

スタッフ

常勤司書 1名

雑誌受入

①受入雑誌数

	誌数	内訳
和雑誌	56	プリント（冊子）：59誌
洋雑誌	10	プリント（冊子）：1誌 オンライン（電子）：9誌
計	66	

※雑誌受入点数内訳

和雑誌：659冊 洋雑誌：6冊 合計：665冊

②令和5年からの変更

	和雑誌	洋雑誌
新規購読	0	0
購読中止	3	3

相互利用

①相互利用数（文献複写申込／受付数）

	国内文献	国外文献	計
申込 （当院→院外）	43	48	91
受付 （院外→当院）	4	17	21

②申込内訳（部門別）

	件数
診療部門	76
医療技術部門	6
看護部門	9
事務部門	0
計	91

③受付内訳（都道府県別）

	件数
大阪府	6
京都府	5
滋賀県	1
兵庫県	2
愛知県	7
計	21

データベース

導入データベース

医中誌Web	3アクセス	Cochrane Library	1アクセス
メディカルオンライン	（アクセス数制限なし）	Medical Database	（アクセス数制限なし）

患者図書室

開室時間：月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く） 13：30～16：00

貸し出し：入院患者のみ／ひとり1冊・3日間

ボランティア：2名

令和6（2024）年開室日数：244日

枚方市立図書館自動車文庫

枚方市立図書館自動車文庫カワセミ号が隔週金曜日14：00～15：00（※令和6年3月まで14：00～15：30）に巡回し、新館1階と体育館の渡り廊下で図書の貸し出しを行っている。

令和6（2024）年巡回数：24回

健康管理センター

スタッフ

センター長 福地成晃
 担当医師 河流陽子、中本泰生、佐竹英恵
 応援医師 森川和要、長田良子

副看護部長 菅原友美子（～R06.03）、村上博美（R06.04～）
 看護師長 北村育久子（～R06.03）、土田清美（R06.04～）
 副看護師長 井上香里（～R06.03）
 保健師 畠利江、川上円香
 看護師 嶋利圭那子
 非常勤看護師 西理沙

管理課長 深津英夫（併任）（～R06.03）、松本祥敬（併任）（R06.04～）
 管理係員 松尾悦子、川上るみ、（R06.03～）、村島好美（～R06.09）
 非常勤事務員 松田美奈恵（～R06.09）、高崎愛（～R06.09）

業務活動

協会けんぽ 生活習慣病予防健診

	2021年	2022年	2023年	2024年
一般健診	4,392	4,294	4,373	4,060
付加健診	164	164	158	351
子宮がん	18	22	8	57
フォローアップ健診	0	0	0	0
肝炎検査	80	73	81	93
合計	4,654	4,553	4,620	4,561

協会けんぽ 男女別受診者数

	一般健診				付加健診				合計			
	2021年	2022年	2023年	2024年	2021年	2022年	2023年	2024年	2021年	2022年	2023年	2024年
男	2,702	2,668	2,681	2,448	90	83	94	213	2,792	2,751	2,775	2,661
女	1,690	1,626	1,692	1,612	74	81	64	138	1,764	1,707	1,756	1,750
合計	4,392	4,294	4,373	4,060	164	164	158	351	4,556	4,458	4,531	4,411

協会けんぽ 健診指導区分

指導区分	一般健診				付加健診				合計			
	2021年	2022年	2023年	2024年	2021年	2022年	2023年	2024年	2021年	2022年	2023年	2024年
A	15	20	25	19	0	0	0	0	20	20	25	19
B	88	84	81	73	3	2	0	1	86	86	81	74
C	1,270	1,302	1,251	1,164	45	52	33	82	1,354	1,354	1,284	1,246
D 1	593	581	597	1,938	18	20	19	220	601	601	616	2,158
D 2	2,426	2,307	2,419	866	98	90	106	48	2,397	2,397	2,525	914
合計	4,392	4,294	4,373	4,060	164	164	158	351	4,458	4,458	4,531	4,411

その他の健診実施状況

	2021年	2022年	2023年	2024年	
半日ドック	44	49	58	71	
若年層	493	513	500	550	
一般健診(自費)	60	58	52	50	* 1
一日ドック	975	956	938	1,196	
特定健診	1,515	1,531	1,638	1,686	
脳ドック	67	64	55	52	
枚方市民検診	1,855	1,429	1,427	2,279	
乳児健診	15	11	2	7	
予防注射	490	309	385	972	* 2
職員健診	1,178	1,157	1,138	1,129	
特定保健指導	33	47	50	179	
合計	6,725	6,124	6,243	8,171	

* 1 : 協会けんぽ以外の一般健診

* 2 : 職員ワクチン含む

指導区分

A	異常なし
B	軽度異常
C	要経過観察・生活改善
D 1	要治療
D 2	要精検

健康管理センター活動状況

健康管理センター運営会議	・毎月第2、4金曜日午後4:30開催
--------------	--------------------

訪問看護ステーション

スタッフ

管理者・スタッフ兼務 看護師（看護師長） 1名

スタッフ 看護師 3名、理学療法士 1名（病院兼務）

活動内容

住み慣れた場所で安心して療養生活ができるように、オンコールで24時間対応体制と緊急時訪問看護体制をとり、地域の訪問診療医と連携をとりながら、在宅看取りの支援をおこなっています。質の高いケアを提供するために、星ヶ丘医療センターの専門・認定看護師及び特定行為研修修了者と連携・同伴訪問を行い、専門的なアドバイスを受けています。当ステーションには緩和ケア特定認定看護師1名が所属し、鎮痛療法や化学療法を受けている利用者に対して計画的な管理のもと在宅療養を継続できるように支援しています。また、当ステーションの利用者以外にも地域のがん患者さんの治療・終末期ケアの相談に対応しています。昨年度より、利用者の在宅医療のニーズに応えるために、医療依存度の高い利用者が医師を待たずにタイムリーな医療を受けることができるように特定行為ができるスタッフを育成しています。

平成30年度から地域への研修活動、在宅実習の受け入れ等により、機能強化型訪問看護管理療養3を取得しました。さらに、平成31年3月には看護体制強化加算Ⅱを取得し、医療依存度の高い利用者の受け入れも積極的に行っています。

院内連携

- ・地域包括ケア推進委員会
- ・医療安全対策委員会、感染対策委員会、入退院支援委員会、認知症ケア委員会、APNセンター会、がん・心不全リンクナース会、排泄・スキンケアリンクナース会

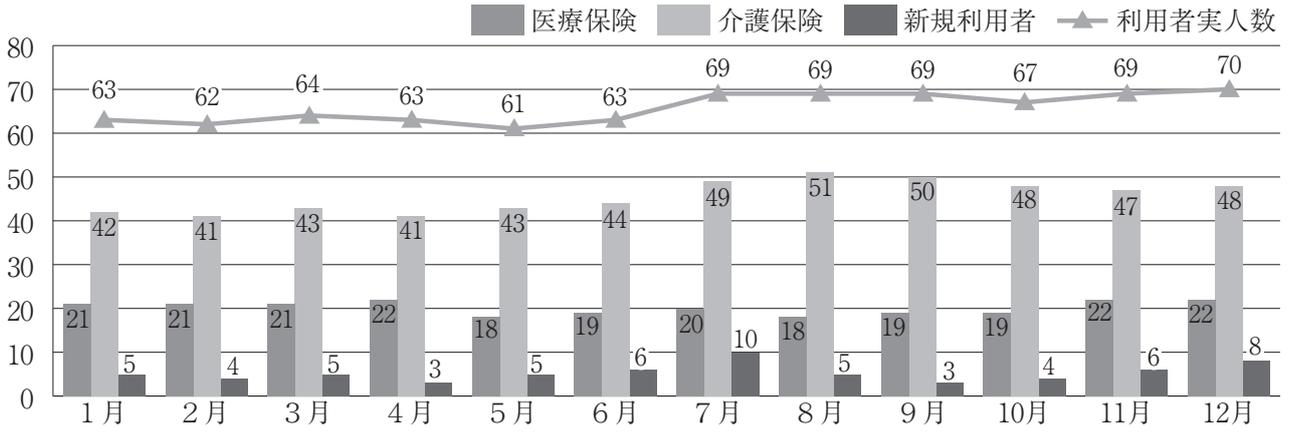
地域連携

- ・訪問看護への出向：看護師1名、理学療法士1名
- ・枚方市訪問看護ステーション会議 6回/年、北河内ブロック会
- ・枚方市在宅医療・介護連携電話相談窓口担当
- ・MCSを利用した相談体制（利用者、主治医、病院、関連の事業所）
- ・医療的ケア教員2名所属し、1事業所1名の介護職員に実地指導

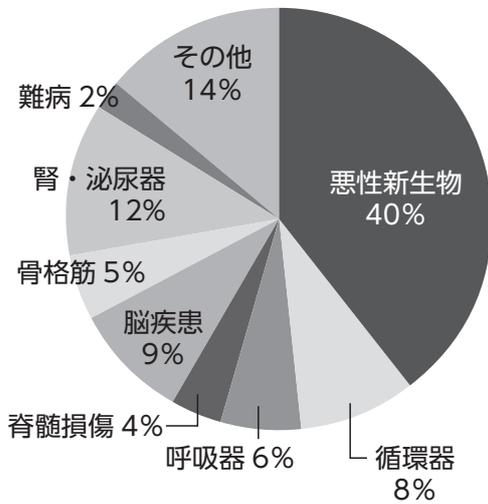
教 育

- ・星ヶ丘医療センター（看護部）：地域包括ケアシステム「在宅療養支援～訪問看護について～」がん看護「終末期ケア」医療安全「医療安全基礎2」
- ・大阪府訪問看護実践研修：地域の看護職員に対して「ACP支援実践人材育成研修」1回/年
- ・訪問看護ステーション在宅看護学実習受け入れ（4施設 43名受け入れ）
大手前大学 4名、甲南女子大学 9名、関西看護専門学校 4名、摂南大学看護学部 26名

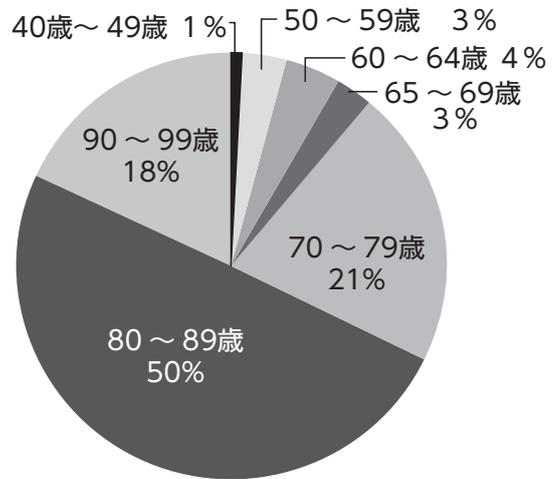
2024年 訪問看護利用者



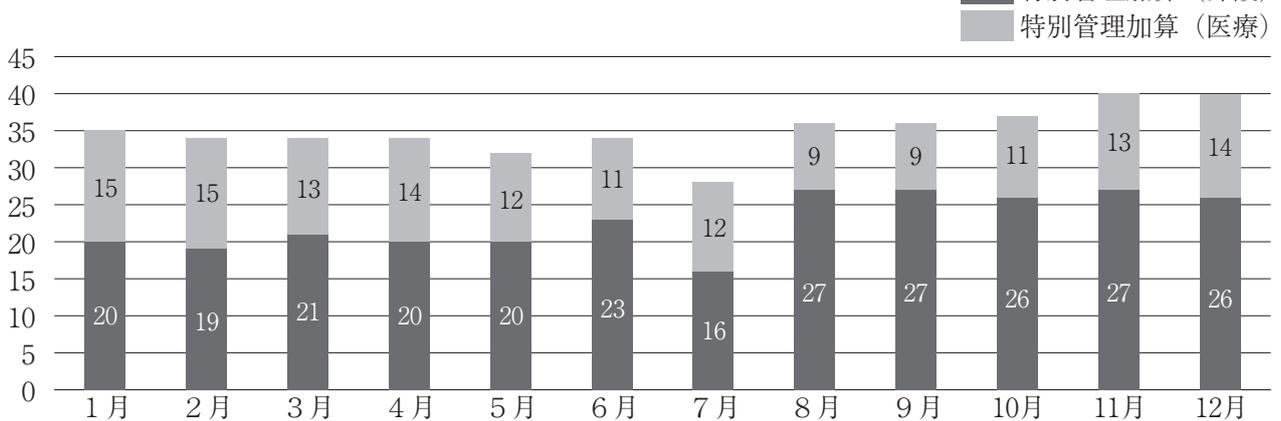
2024年 疾患別分類



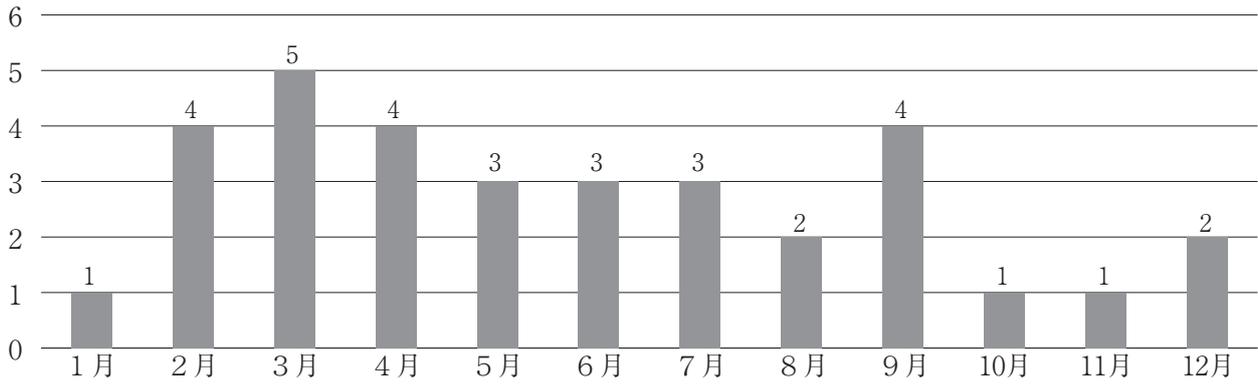
2024年 年齢分類



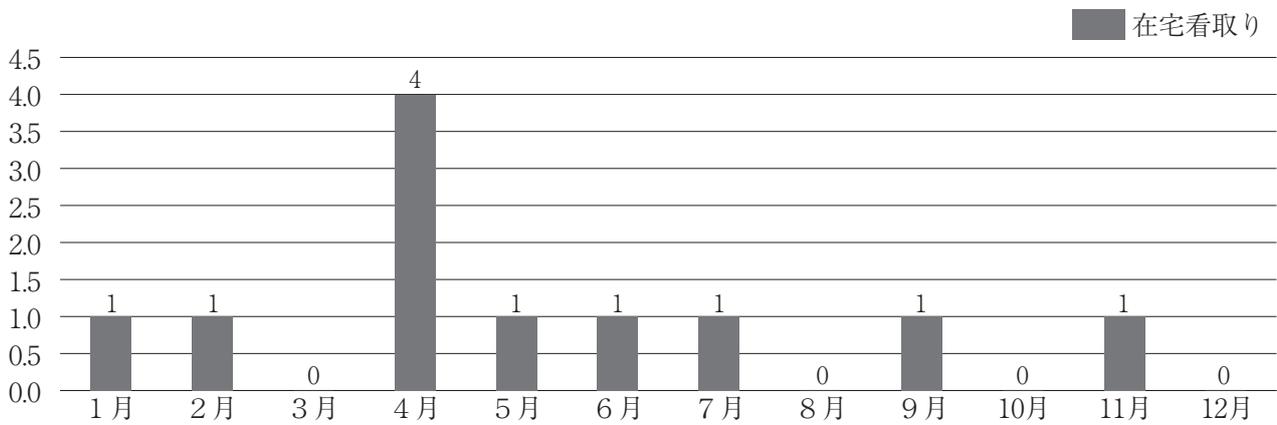
2024年 重症者受け入れ状況



2024年 専門管理加算件数（緩和ケア）



2024年 在宅看取り件数



委員会活動

委員会組織・会議構成員等

ACLS運営委員会

星ヶ丘DMAT委員会

薬事委員会

医師臨床研修管理委員会

図書委員会

がん拠点病院協議会

化学療法委員会

臨床研究審査委員会

利益相反審査委員会

医の倫理委員会

委員会組織・会議構成員等

令和6年12月31日

区分	会議・委員会名	区分	開催頻度	開催日時	委員長 議長	副委員長 副議長	事務局 (書記)	委員構成
【会議】								
	管理者会議		1回/週	第1、3木曜日 16:00 第2、4、5木曜日 8:30	院長		総務企画課長補佐	副院長・統括診療部長・事務部長・看護部長・感染管理者・医療安全管理者・総務企画課長(進行)・総務企画課長補佐(記録)・その他(必要に応じて召集される者)
	病院運営会議 (月次決算評価会)	(本部通知)	1回/月	最終月曜日 16:30	院長	事務部長	総務企画課長補佐	副院長・統括診療部長・診療部長(部長・医長)・看護部長・副看護部長・薬剤部長・副薬剤部長・診療放射線技師長・臨床検査技師長・理学療法士長・副栄養管理室長・福祉相談室長・地域医療連携室長・主任臨床工学技士・看護師長・総務企画課長・経理課長・医事課長・総務企画課長補佐・経理課長補佐・医事課長補佐・経理係長・健康管理センター管理係長
【委員会】								
安全	院内感染対策委員会	医療法 施設基準	1回/月	第3水曜日 16:00	院長	感染管理部長 ICN	ICN	副院長・統括診療部長・事務部長・看護部長・歯科・口腔外科部長・整形外科部長・感染制御内科医長・呼吸器内科部長・診療放射線技師長・臨床検査技師長・理学療法士長・臨床検査技師・理学療法士長・副栄養管理室長・薬剤部長・薬剤師・看護師長・副看護師長
安全	医療安全管理委員会	医療法 施設基準	1回/月	第3水曜日 16:30	医療安全管理部長	医療安全管理室長・医療安全管理者	RM	統括診療部長・事務部長・看護部長・看護師長・薬剤部長・医事課長
安全	小委員会 医療安全推進担当者会		1回/月	第3火曜日 16:30	医療安全管理部長	医療安全管理室長・医療安全管理者	RM	糖尿病内科部長・整形外科部長・副看護部長・看護師長・主任診療放射線技師・主任臨床検査技師・副栄養管理室長・副薬剤部長・主任理学療法士・主任臨床工学技士・総務企画課長補佐・医療社会事業専門員・医療秘書
安全	小委員会 院内急変対策委員会		随時		副院長	看護師長	総務係員	副院長・副看護師長・主任理学療法士・臨床工学技士・主任薬剤師・総務係員
安全	小委員会 迷惑行為等対策委員会		適時		事務部長	総務企画課長	RM	副院長・循環器外科部長・整形外科医員・副看護部長・看護師長・副看護師長・医事課長
安全	小委員会 CPT委員会		隔月		小児科部長	小児科部長	RM	看護師長・副看護師長・医療社会事業専門員・総務企画課長補佐
安全	小委員会 ACLS運営委員会		3回/年		副院長	看護師長	看護部	看護師長・副看護師長・看護師・主任理学療法士・臨床工学技士・総務係員
安全	小委員会 医療放射線管理委員会	医療法	随時		医療放射線安全管理責任者	診療放射線技師長		統括診療部長・脳卒中内科部長・循環器外科部長・看護師長・主任診療放射線技師
安全	小委員会 医療機器安全管理委員会	医療法	1回/年		臨床工学部長	主任臨床工学技士	財務管理係員	臨床検査技師長・診療放射線技師長・看護師長・副看護師長・臨床工学技士・経理課長・財務管理係員
安全	防火・防災管理委員会	法律	1~2回/年度		院長	総務企画課長	総務企画課長補佐	副院長・看護部長・副看護部長・看護師長・薬剤部長・臨床検査技師長・診療放射線技師長・理学療法士長・副栄養管理室長・主任臨床工学技士・事務部長・医事課長・総務企画課長補佐・地域医療連携室長・総務企画課事務員・中央監視室担当者
安全	小委員会 星ヶ丘DMAT委員会		1回/月	第1火曜日 16:30	副院長	整形外科医長	総務係員	主任薬剤師・薬剤師・看護師長・副看護師長・看護師・医療社会事業専門員・総務企画課長補佐・総務係員・給与係員・医事課係員
安全	放射線障害防止委員会	法律	1回/年		放射線科部長	診療放射線技師長	副診療放射線技師長	院長・糖尿病内科部長・看護師長・看護師・副診療放射線技師長・主任診療放射線技師・診療放射線技師・総務企画課長・経理課長
安全	安全衛生委員会	法律	1回/月	第4水曜日 16:00	副院長	事務部長	厚生係	脳神経内科部長・糖尿病内科部長・健診科部長・外科部長・糖尿病内科医長・整形外科医員・副看護部長・副看護師長・看護師・心理療法士・臨床検査技師長・副栄養管理室長・臨床工学技士・総務企画課長・厚生係員
安全	医療ガス安全対策委員会	医療法	1回/年		麻酔科部長	中央監視室担当者	経理課長補佐	薬剤部長・看護師長・副看護師長・主任臨床工学技士・経理課長・経理課長補佐・中央監視室担当者
情報	情報セキュリティ委員会	本部通知	随時		事務部長	医療情報管理部長	経営企画係	看護部長・看護師長・薬剤部長・診療放射線技師長・臨床検査技師長・理学療法士長・副栄養管理室長・総務企画課長・総務企画課長補佐・経営企画係員
情報	文書管理委員会	評価機構	随時		脳神経内科部長	総務企画課長	総務企画課長補佐	整形外科医員・看護部長・副薬剤部長・副診療放射線技師長・臨床検査技師長・理学療法士長・医事課長・総務企画課長補佐・医事課長補佐・経理係長
情報	診療情報管理委員会	施設基準	随時		脳神経内科部長	医事課長	医事課長補佐	整形外科部長・臨床検査技師長・薬剤部長・看護師長・医事課長補佐
情報	小委員会 同意書説明文書(IC)管理委員会		随時		循環器外科部長		医事課	整形外科部長・消化器内科部長・外科部長・看護師長・副看護師長・医事課長・医事課事務員
情報	情報システム管理委員会		随時		医療情報管理部長	医療情報管理室長	経営企画係員	副看護部長・看護師長・主任薬剤師・経営企画係員
情報	個人情報保護委員会	法律	適時		院長	事務部長	総務企画課長補佐	統括診療部長・看護部長・薬剤部長・総務企画課長・医事課長・臨床検査技師長・健康管理センター管理係長・経営企画係員
質改善	広報委員会		1回/月	第2水曜日 16:00	副院長	事務部長	厚生係	副看護部長・看護師長・臨床検査技師長・理学療法士長・診療放射線技師長・副栄養管理室長・副薬剤部長・医事課長・総務企画課長補佐・地域医療連携事務員・厚生係員・経理係員
管理	契約審査委員会	本部通知 (規程)	1回/月	第4木曜日 施設設備委員会後	副院長	副院長	経理課長補佐	統括診療部長・看護部長・薬剤部長・総務企画課長・医事課長
管理	過半数代表者選出選挙管理委員会	法律	随時		総務企画課長		厚生係長	統括診療部長・看護部長・薬剤部長・臨床検査技師長・診療放射線技師長・理学療法士長・副栄養管理室長・主任臨床工学技士・事務部長・総務企画課長補佐
管理	役割分担推進委員会	施設基準	随時		脳卒中内科部長	総務企画課長	医療秘書	院長・事務部長・副看護部長・看護師長・理学療法士長・臨床検査技師長・診療放射線技師長・副薬剤部長・医事課長・医事課長補佐・職員係長・医療秘書

区分	会議・委員会名		区分	開催頻度	開催日時	委員長 議長	副委員長 副議長	事務局 (書記)	委員構成
運営	消耗品等新規採用審査委員会			1回/月	第2金曜日 17:00	副院長	整形外科部長	契約係	循環器外科部長・看護師長・副看護師長・臨床工学技士・経理課長・契約係長・ 医事課事務員・契約係員
運営	保険診療委員会 (DPC検討部 会)		施設基準	1回/月	第3金曜日 16:00	副院長	医事課長	医事課長補 佐	リハビリテーション科部長・薬剤部長・臨床検査技師長・診療放射線技師長・ 理学療法士長・副看護部長・看護師長・医事課長補佐・入院係長・医事課事務員・ 医療秘書・医事業務委託職員
運営	DPCコーディング委員会		DPC	年4回以上		副院長	医事課長	医事課長補 佐	薬剤部長・医事課長補佐・入院係長・医事課事務員
運営	薬事委員会		医療法	1回/月	第3月曜日 16:30	統括診療部 長	薬剤部長	薬剤部	整形外科部長・脳卒中内科部長・循環器外科部長・主任薬剤師・看護師長・経 理課長補佐・入院係長
運営	臨床検査適正化委員会		施設基準	1回/年		脳神経内科 部長	臨床検査技 師長	検査部	統括診療部長・小児科部長・臨床検査科部長・リハビリテーション科部長・泌 尿器科部長・主任臨床検査技師・看護師長
運営	施設整備委員会			1回/月	第4木曜日 16:00	院長	副院長	経理課長補 佐	副院長・統括診療部長・小児科部長・脳神経内科部長・健康管理センター長・ 看護部長・事務部長・薬剤部長・臨床検査技師長・診療放射線技師長・総務企 画課長・経理課長・医事課長・契約係長
運営	棚卸実施委員会		規程	随時		院長	事務部長	財務管理係 長	看護師長・薬剤部長・臨床検査技師長・診療放射線技師長・副栄養管理室長・ 主任理学療法士・主任臨床工学技士・経理課長・経理課長補佐・契約係長
質改善	医療サービス委員会			1回/月	第4火曜日 16:00	副院長	事務部長 副看護部長	総務企画課 長補佐	薬剤部長・看護師長・臨床検査技師長・診療放射線技師長・理学療法士長・副 栄養管理室長・主任臨床工学技士・総務企画課長・医事課長・総務企画課長補佐・ 経理課長補佐・経営企画係員
質改善	小委員会	患者図書室運営 委員会		随時		総務企画課 長		総務企画課 長補佐	小児科部長・主任薬剤師・看護師長・主任理学療法士・経理係長・総務企画課 事務員
質改善	小委員会	医療相談検討会		1回/週		医事課長	看護師長		副看護部長・副看護部長・福祉相談室長・総務企画課長補佐・経理課長補佐・ 総務企画課事務員
運営	保育所運営委員会			随時		事務部長	看護師長	職員係長	小児科部長・副看護師長・副栄養管理室長・医事課長・総務企画課長・労働者 代表・職員係長・経理課事務員・保育士・保護者代表
教育	医師臨床研修管理委員会		施設基準	2回/年度		副院長	副院長	総務係	摂南大学相談役・大阪精神医療センター医師・小川医院院長・JCHO大阪病院産 婦人科主任部長・市立ひらかた病院循環器内科主任部長・新世病院医師・院長・ 副院長・統括診療部長・小児科部長・看護部長・事務部長・臨床検査科部長・ 麻酔科部長・放射線科部長・糖尿病内科部長・緩和ケア科部長・泌尿器科部長・ 薬剤部長・総務企画課事務員
教育	専門医制度プログラム委員会			随時		副院長	統括診療部 長	厚生係	脳神経内科部長・糖尿病内科部長・総務企画課長補佐・給与係長・経営企画係員・ 厚生係員
教育	図書委員会			隔月	第4水曜日 16:30	小児科部長	総務企画課 長	司書	主任薬剤師・看護師長・主任理学療法士・経理係長・総務企画課事務員
質改善	医療の質の評価委員会			1回/月	第4金曜日 16:45	循環器外科 部長	看護師長	看護師長	副院長・外科部長・糖尿病内科部長・看護部長・事務部長・薬剤部長・看護部長・ 副看護部長・医事課長・職員係長 (オブザーバー: 院長)
教育	教育研修委員会			随時		統括診療部 長	看護師長	職員係長	副看護部長・看護部長・薬剤部長・臨床検査技師長・診療放射線技師長・理学 療法士長・副栄養管理室長・総務企画課長・総務企画課長補佐
教育	特定行為研修病院管理委員会		法律	随時		泌尿器科部 長	看護部長	看護師長	指導医・副看護部長・看護部長・副看護部長・薬剤部長・事務部長
診療	診療部部長会議			1回/月	第1月曜日 16:30	統括診療部 長		総務係	院長・副院長・診療部長 (部長・医長)・看護部長・事務部長・薬剤部長
診療	がん拠点病院協議会			2回/年度		副院長	医事課長	医事課	統括診療部長・放射線科部長・臨床検査科部長・泌尿器科部長・緩和ケア科部長・ 診療放射線技師長・副薬剤部長・臨床検査技師・看護師長・副看護師長・看護師 ・総務企画課長・経理課長・地域医療連携室長・医療社会事業専門員・医事課事 務員
診療	緩和ケア委員会			3回/年度		緩和ケア科 部長	看護師長	医療社会事 業専門員	がんMDTセンター長・緩和ケア診療担当精神科医・緩和ケア身体担当医師・緩 和ケアチーム専従看護師・緩和ケア専従理学療法士・心理療法士・主任薬剤師・ 地域医療連携室長・医療社会事業専門員・医事課長・医事課事務員
診療	褥瘡対策委員会			1回/月	第3火曜日 13:30	皮膚科部長	看護師長	入院係長	看護師長・主任薬剤師・薬剤師・副栄養管理室長・理学療法士・入院係長・看 護師
診療	NST委員会			1回/月	第3水曜日 16:45	リハビリ テーション 科部長	副栄養管理 室長	栄養管理室	看護師長・副看護師長・看護師・主任臨床検査技師・主任薬剤師・薬剤師・言 語聴覚士・管理栄養士
診療	RST委員会			1回/年度		麻酔科部長	臨床工学技 士	臨床工学技 士	看護師長・副看護師長・看護師・理学療法士
診療	手術部運営委員会			隔月		副院長	麻酔科部長 看護師長	医事課長補 佐	副院長・歯科口腔外科部長・泌尿器科部長・循環器外科部長・脳神経外科部長・ 形成外科部長・耳鼻咽喉科医長・眼科医長・主任薬剤師・主任臨床工学技士・ 副看護師長・医事課長補佐
診療	救急部運営委員会			1回/月	第4金曜日 16:30	統括診療部 長	看護師長	医事課長補 佐	小児科部長・脳卒中内科部長・泌尿器科部長・麻酔科部長・消化器内科部長・ 外科部長・整形外科医長・総合内科医長・看護師長・副看護師長・診療放射線 技師長・臨床検査技師長・主任薬剤師・医事課長・地域医療連携室長・福祉相 談室長・医事課長補佐
診療	HCU運営委員会			1回/年度		麻酔科部長	看護師長	医事課長補 佐	副院長・脳卒中内科部長・泌尿器科部長・リハビリテーション科部長・診療放 射線技師長・臨床検査技師長・副理学療法士長・主任薬剤師・副看護師長・医 事課長補佐
診療	輸血療法委員会		施設基準	随時		整形外科部 長	臨床検査技 師長	輸血検査室	院長・副院長・消化器内科部長・麻酔科部長・泌尿器科部長・看護師長・副 看護師長・主任薬剤師・医事課事務員
診療	化学療法委員会		施設基準	1回/月	第3金曜日 16:30	外科部長	泌尿器科医 長	薬剤部	整形外科部長・看護師長・副看護師長・看護師・主任薬剤師・薬剤師・入院係長・ 医事課事務員
診療	中央滅菌材料室運営委員会		医療法	1回/年度		副院長	看護師長	財務管理係 長	副看護師長・主任薬剤師・主任臨床工学技士・業務委託職員

区 分	会議・委員会名	区 分	開催頻度	開催日時	委員長 議 長	副委員長 副 議 長	事務局 (書記)	委員 構 成
診療	外来運営委員会		2回/年度		副院長	看護師長	医事課長補佐	副院長・統括診療部長・小児科部長・脳神経内科部長・消化器内科部長・糖尿病病内科部長・緩和ケア科部長・形成外科部長・皮膚科部長・泌尿器科部長・外科部長・耳鼻咽喉科部長・放射線科部長・麻酔科部長・歯科・口腔外科部長・循環器内科部長・看護部長・副看護部長・リハビリテーション科部長・形成外科部長・脳神経外科部長・呼吸器内科部長・眼科部長・看護師長・副看護師長・理学療法士長・臨床検査技師長・診療放射線技師長・副栄養管理室長・薬剤部長・副薬剤部長・福祉相談室長・地域医療連携室長・経理課長補佐・医事課長補佐・医療秘書
診療	病棟運営委員会		2～6回/年度		統括診療部長	看護部長	入院係長	副院長・泌尿器科部長・小児科部長・脳神経内科部長・消化器内科部長・リハビリテーション科部長・麻酔科部長・整形外科部長・緩和ケア科部長・副看護部長・看護師長・薬剤部長・理学療法士長・主任臨床工学士・副栄養管理室長・福祉相談室長・医事課長・入院係長
診療	クリニカルパス検討委員会		随時		副院長	看護師長	医事課	麻酔科部長・整形外科部長・消化器内科部長・主任診療放射線技師・臨床検査技師・主任薬剤師・副栄養管理室長・副看護部長・看護師長・経営企画係員・医事課事務員
地域医療	地域包括ケア推進委員会		1回/月	第2金曜日 16:00	地域包括ケア推進センター長	地域医療連携室長	地域医療連携室	副看護部長・看護師長・副看護師長・福祉相談室長・地域医療連携係員(オブザーバー:医事課長)
地域医療	地域医療諮問委員会	医療法	4回/年		枚方市医師会会長	交野市医師会会長	地域医療連携室	守口市医師会会長・大東・四条畷医師会会長・門真市医師会副会長・寝屋川市医師会会長・枚方市歯科医師会相談役・枚方市薬剤師会会長・摂南大学看護学部長・枚方寝屋川消防組合警防部長・枚方市役所健康福祉部長・枚方市役所健康福祉次長・地域包括ケア推進センター長・看護部長(オブザーバー:院長) [事務局:整形外科部長・事務部長・薬剤部長・看護師長・福祉相談室長・総務企画課長・医事課長・地域医療連携室長・地域医療連携係員]
地域医療	地域医療研修委員会	医療法	2回/年		地域包括ケア推進センター長		地域医療連携室	副薬剤部長・理学療法士長・診療放射線技師長・看護師長・地域医療連携室長・地域医療連携係員・総務企画課事務員
地域医療	地域連絡協議会		2回/年	本部通知	院長	枚方市医師会会長	地域医療連携室	交野市医師会会長・枚方市健康福祉部長・交野市健やか部長・枚方市桜丘北コミュニティ協議会会長・地域包括支援センター松徳会所長・マイライフ新聞社・ケアセンター癒しの森施設長・地域包括ケア推進センター長・事務部長・看護部長・看護師長・地域医療連携室長
臨床研究	臨床研究審査委員会		1回/月	最終月曜日 病院運営会議後	臨床研究・治験管理部長	薬剤部長	薬剤部	泌尿器科部長・リハビリテーション科部長・整形外科部長・臨床検査技師長・看護部長・事務部長・経理課長・医事課長補佐 [院外委員:薬剤師・大阪A&M法律事務所弁護士・大阪旭こども病院理事] [事務局:薬剤師]
臨床研究	利益相反委員会		随時		臨床研究・治験管理部長	総務企画課長	薬剤部	薬剤部長(臨床研究・治験管理室事務局)・経理課長・総務企画課事務員 [院外委員:大阪旭こども病院理事]
臨床研究	医の倫理委員会		1回/月	第2月曜日 17:00	臨床研究・治験管理部長	副院長	薬剤部	統括診療部長・小児科部長・看護部長・副看護部長・薬剤部長・事務部長・総務企画課長・医事課長 [院外委員:摂南大学薬学部講師・大阪旭こども病院理事]
【部署会議】								
診療部門	人工透析室運営委員会		2回/年		泌尿器科部長	看護師長	-	臨床検査技師長・診療放射線技師長・主任臨床工学士・副看護師長・看護師・地域医療連携室長・福祉相談室長・薬剤師
	内視鏡室運営委員会		1回/年度		消化器内科部長	看護師長	-	消化器内科部長・消化器内科医長・リハビリテーション科部長・泌尿器科部長・看護師長・副看護師長・臨床検査技師・地域医療連携室長
	超音波センター運営委員会				循環器外科部長	消化器内科部長	-	泌尿器科部長・消化器内科医長・主任臨床検査技師
	診療放射線部運営委員会		1～2回/年度		副院長	診療放射線技師長	-	放射線科部長・脳卒中内科部長・脳神経外科部長・整形外科部長・循環器内科部長・看護師長・副看護師長・副診療放射線技師長・経理課長補佐
	リハビリテーション部運営委員会		随時		リハビリテーション科部長	リハビリテーション科部長	-	理学療法士長・副理学療法士長・看護師長・入院係長
	栄養管理室運営委員会		隔月		栄養管理部長	副栄養管理室長	-	看護師長・副看護師長・管理栄養士・医事課事務員
看護部門	看護師長会議		2回/月	第2・4水曜日 14:00	看護部長	副看護部長	-	看護師長
	副看護師長会議		1回/月	第3火曜日 15:00	看護部長	副看護部長	-	副看護師長
事務部門	課長会議		1回/週	毎週月曜日 11:30	事務部長	総務企画課長	-	経理課長・医事課長・健康管理課長・各課長補佐
健康管理センター	健康管理センター運営委員会		2回/月	第2・4金曜日 16:00	健康管理センター長	健康管理センター管理係長	-	健診科部長・健診科医長・副看護部長・看護師長・保健師・主任臨床検査技師・主任診療放射線技師・臨床検査技師・管理課長・管理係長・管理係事務員・業務委託職員
【連絡会】								
	三役連絡会		1回/週	毎週月曜日 8:15	院長		総務企画課長	看護部長・事務部長・総務企画課長
【臨時委員会】								
安全	医療事故調査委員会		随時				RM	院長の諮問委員会とする。(外部委員を含む。)
安全	医療事故対策委員会		随時		副院長(医療事故対応担当)	事務部長	RM	院長・副院長・統括診療部長・小児科部長・脳神経内科部長・消化器内科部長・循環器外科部長・看護部長・副看護部長・医療安全管理者・薬剤部長・総務企画課長・経理課長・医事課長・その他必要とされた者
安全	事例検討会		随時				RM	事例に応じて構成する。

区 分	会議・委員会名	区 分	開催頻度	開催日時	委員長 議 長	副委員長 副 議 長	事務局 (書記)	委員 構 成
診療	脳死判定委員会	法律	随時		脳神経内科 部長	麻酔科部長	総務企画課 長補佐	脳卒中内科部長・事務部長・看護師長・臨床検査技師・福祉相談室長
診療	HIV診療連絡委員会	法律	随時		整形外科部 長		福祉相談室 長	リハビリテーション科部長・歯科・口腔外科部長・副看護師長・薬剤部長・薬 剤師・臨床検査技師長・医事課長・福祉相談室長
管理	懲戒審査委員会		随時		事務部長	総務企画課 長	総務企画課 長	副院長・看護部長・その他
管理	ハラスメント委員会		随時		事務部長	総務企画課 長	総務企画課 長	副院長・看護部長・その他
情報	診療記録開示委員会		随時		事務部長	医事課長	医事課長	副院長・看護部長・その他

ACLS運営委員会

2024年はACLS運営委員会を2/22、5/7、6/13、10/21の4回開催した。

2024年は日本救急医学会認定ICLS(兼大阪ALS認定) コースを3回開催した。

2024. 3. 2 (土) 第50回星ヶ丘医療センター二次救命処置コース開催

受講者：院内14名、院外0名

参加スタッフ：院内15名

2024. 6. 8 (土) 第51回星ヶ丘医療センター二次救命処置コース開催

受講者：院内12名、院外0名

参加スタッフ：院内19名

2024. 11. 2 (土) 第52回星ヶ丘医療センター二次救命処置コース開催

受講者：院内12名、院外0名

参加スタッフ：院内17名

星ヶ丘DMAT委員会

2024年のDMAT委員会は毎月第1火曜に開催した。

活動は以下の通り

- ・星ヶ丘医療センター災害訓練（12/7）に向けての院内災害医療研修（6/28、7/10、7/24、8/7、8/28、9/4、10/9、10/17、11/15）を実施した。
- ・2024.12.7 2024年度星ヶ丘医療センター災害医療訓練を実施した。
大規模地震を想定、一次・二次トリアージ訓練、情報伝達訓練、本部機能訓練、摂南大学薬学部学生25名参加
- ・JCHO医療班研修：2024年7月9日に参加した
- ・近畿地方DMATブロック研修：2024年11月9日に参加した

薬事委員会

2024年薬事委員会 採用・採用中止薬品品目数

新規採用	内服	注射	外用	薬価収載外	X線用剤	計
2024/ 1/22	3	1				4
2024/ 2/19	7	3				10
2024/ 3/18	1	10				11
2024/ 4/15	5	1	1			7
2024/ 5/20	4	5	1			10
2024/ 6/17	6	3	1			10
2024/ 7/22	13	1				14
2024/ 8/19	5		3			8
2024/ 9/24	4	2				6
2024/10/21	3	5	3			11
2024/11/18	4	2				6
2024/12/16	1	1	1			3
計	56	34	10	0	0	100

院外専用採用	内服	注射	外用	薬価収載外	X線用剤	計
計	13	8	3	0	0	24

採用中止	内服	注射	外用	薬価収載外	X線用剤	計
2024/ 1/22	3	2				5
2024/ 2/19	4	1				5
2024/ 3/18	1					1
2024/ 4/15	3					3
2024/ 5/20	5	1				6
2024/ 6/17	2					2
2024/ 7/22	26	23	9		2	60
2024/ 8/19	2					2
2024/ 9/24	2	1				3
2024/10/21	3	3	1			7
2024/11/18	2					2
2024/12/16	1		1			2
計	54	31	11	0	2	98

製造・販売中止	内服	注射	外用	薬価収載外	X線用剤	計
計	24	15	13	0	0	52

2024年 医薬品購入額 (単位：円、外税、造影剤、薬価収載外含む)

	1月	2月	3月	4月	
医薬品購入額	60,434,357	60,738,956	53,656,103	77,777,164	
	5月	6月	7月	8月	
医薬品購入額	60,261,094	54,899,950	67,133,197	72,178,563	
	9月	10月	11月	12月	計
医薬品購入額	62,002,064	53,982,494	52,348,490	77,234,401	752,646,833

医師臨床研修管理委員会

医師臨床研修管理委員会委員

委員	氏名	所属	役職
統括責任者	細野 昇	星ヶ丘医療センター	院長
委員長	高橋 務	星ヶ丘医療センター	副院長
副委員長	福地 成晃	星ヶ丘医療センター	副院長
委員	奥田 真也	星ヶ丘医療センター	副院長
委員	立石 耕介	星ヶ丘医療センター	統括診療部長
委員	中河いよう	星ヶ丘医療センター	小児科部長
委員	鳥井 郁子	星ヶ丘医療センター	臨床検査科部長
委員	立花 隆夫	星ヶ丘医療センター	皮膚科部長
委員	矢田 定明	星ヶ丘医療センター	リハビリテーション科部長
委員	田中 健寛	星ヶ丘医療センター	放射線科部長
委員	辻村 茂久	星ヶ丘医療センター	麻酔科部長
委員	五郎川伸一	星ヶ丘医療センター	糖尿病内科部長
委員	佐竹 主道	星ヶ丘医療センター	緩和ケア科部長
委員	松本 吉弘	星ヶ丘医療センター	泌尿器科部長
委員	佐原 敏之	星ヶ丘医療センター	薬剤部長
委員	北田美奈子	星ヶ丘医療センター	看護部長
委員	魚澤 正克	星ヶ丘医療センター	事務部長
院外委員	筒井 建紀	独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院	産婦人科主任部長
院外委員	井家上 讓	社会医療法人三上会 東香里第二病院	院長
院外委員	萩田喜代一	常翔学園摂南大学	相談役、同薬学部特任教授
院外委員	中島 伯	市立ひらかた病院	診療局長兼循環器内科主任部長
院外委員	森川 和要	医療法人愛和会 新世病院	医師
院外委員	小川 智	医療法人社団医泉会 小川医院	院長
書記	内田奈央子	星ヶ丘医療センター	総務企画課事務員

星ヶ丘卒後教育カンファレンス

	開催日	所属	演者	演題
1	2024年1月12日	歯科口腔外科	藤原 和子	これってオーラルフレイル？－心身の衰えはお口から－
2	2024年1月19日	薬剤部	佐原 敏之	薬物乱用 ダメ。ゼツタイ。
3	2024年1月26日	MSW	亀谷 明美	北河内圏内の医療提供体制～地域医療構想と医療法人制度と病院機能ってなに？
4	2024年2月2日	研修医	古川 真吾	胆道鏡が診断・治療に有用であった肝内結石の一例
5	2024年2月9日	研修医	今西慶一郎	嚥下障害に対する胃瘻造設後に、門脈ガス血症および消化管気腫症を呈した症例
6	2024年2月16日	研修医	田上 健太	診断に苦慮した特発性器質化肺炎の1例
7	2024年3月1日	研修医	冨江 祥生	汎血球減少から診断し得た自己免疫性胃炎
8	2024年3月8日	研修医	中橋 雄大	高γGLB血症性紫斑からIgG4関連疾患を考えた男児例について

	開催日	所属	演者	演題
9	2024年3月15日	研修医	鎌谷竜太郎	巨大肝嚢胞による閉塞性胆管炎が嚢胞感染へ波及し治療に難渋した症例
10	2024年6月7日	脳卒中内科	高橋 務	脳卒中の初期診療
11	2024年6月14日	泌尿器科	松本 吉弘	脊髄損傷の排尿管理
12	2024年6月21日	リハビリテーション部	永富 孝幸	リハビリテーション診療の流れ
13	2024年6月28日	放射線科	田中 健寛	造影CTの合併症と対策
14	2024年7月5日	小児科	中河いよう	星ヶ丘医療センターChild Protection Team(CPT)について
15	2024年7月12日	脳神経内科	巽 千賀夫	パーキンソン病の診かた
16	2024年7月19日	NSTチーム	伊藤 泰司	NSTについて
17	2024年7月26日	整形外科	宮崎 亮	前十字靭帯損傷について
18	2024年8月2日	呼吸器内科	内田 隆一	肺炎の診療の基本
19	2024年8月9日	耳鼻咽喉科	山本 高也	耳鼻咽喉科で扱う救急疾患
20	2024年8月16日	臨床工学部	土井 昌樹	HFNC ハイフロー
21	2024年8月23日	整形外科	立石 耕介	救急搬送された腰痛 様子みましようでいいですか？
22	2024年8月30日	外科	永井 健一	胃癌 治療と術後管理
23	2024年9月6日	消化器内科	徳原 満雄	消化管出血の初期対応
24	2024年9月13日	脳卒中内科	高橋 務	大阪府における救急搬送システムについて～救急隊はどのように搬送先を決めるのか～
25	2024年9月20日	整形外科	鈴木 秀和	下腿診療Do&Do Not
26	2024年10月4日	リハビリテーション科	吹上 謙一	知っておきたい小児整形外科診療のコツ
27	2024年10月11日	外科	杉本 聡	化学療法の副作用
28	2024年10月18日	整形外科	奥田 眞也	頸椎頸髄損傷
29	2024年11月1日	形成外科	光野 乃祐	形成外科とその関連疾患
30	2024年11月8日	MSW	亀谷 明美	地域医療構想と病院機能について
31	2024年11月15日	整形外科	梶座 康夫	骨粗鬆症について
32	2024年11月22日	小児科	田村 玲子	小児期の予防接種：子宮頸癌ワクチンを中心に
33	2024年11月29日	外科	米田 直樹	急性腹症のアプローチ
34	2024年12月6日	脳卒中内科	高橋 務	災害医療
35	2024年12月13日	糖尿病内科	五郎川伸一	肥満症の薬物治療
36	2024年12月20日	総合内科	比森 千博	ショックの見方

令和6年度 臨床研修医オリエンテーション予定表

月 日	曜日	時間	テーマ	場所	担当
4月1日	月	2024年度新入職員研修会（別紙参照）			
4月2日	火	8：30～9：30	薬剤オーダー研修	薬剤部	薬剤部主任薬剤師 福田 裕子
		9：30～9：45	休憩		
		9：45～12：00	血液型クロス、グラム染色	検査室	臨床検査部技師長 稲田 孝

月 日	曜日	時間	テーマ	場 所	担 当
4月2日	火	12:00~13:00	昼休憩		
		13:00~13:30	EPOC2の操作説明、医師個人賠償責任保険の加入について、その他研修期間中の諸注意など	研究室	医師臨床研修管理委員会
		13:30~13:45	休憩（電カル準備）		
		13:45~15:30	電子カルテ操作研修	研究室	総務企画課 繁田 直樹
		15:30~15:45	休憩（電カル片づけ）		
		15:45~16:45	ME研修	研究室	臨床工学技士 土井 昌樹
		16:45~16:50	講義準備		
		16:50~17:15	講義	研究室	総合内科 医長 比森 千博
4月3日	水	8:30~10:30	図書室利用方法（文献検索、UpToDate、今日の臨床サポート）について	図書室	図書室 司書 加藤 美紀
		10:30~10:45	休憩		
		10:45~11:25	コンプライアンス研修	研究室	総務企画課
		11:25~11:30	休憩		
		11:30~12:00	保険診療について	研究室	医事課入院係長 渡部 龍輔
		12:00~12:15	栄養部の業務について	研究室	副栄養管理室長 東 由里
		12:15~13:15	検食・昼休憩	研究室	
		13:15~13:45	情報セキュリティ研修	研究室	総務企画課 繁田 直樹
		13:45~14:45	プログラム説明 & 臨床研修オリエンテーション	研究室	臨床研修管理委員会委員長 高橋 務
		14:45~15:00	休憩		
		15:00~15:30	地域医療について	研究室	福祉相談室長 亀谷 明美
4月4日	木	9:00~12:00	感染対策研修 *看護部集合研修に参加	新会議室AB	医療安全 感染管理
		12:00~13:00	昼休憩		
		13:00~16:00	医療安全研修 *看護部集合研修に参加		
		16:00~16:10	休憩		
		16:10~16:50	指示出しについて（VTR上映） （掲示板と指示簿指示の運用、処方オーダーの運用、注射オーダーの運用）	研究室	
4月5日	金	9:00~16:00 *9:00看護管理室前に集合	看護体験（病棟配属） ・柿本翔太郎（かきもと しょうたろう）研修医 ・松本 光司（まつもと こうじ）研修医 ・加藤 亮汰（かとう りょうた）研修医	各病棟	看護部

月 日	曜日	時間	テーマ	場 所	担 当
4月5日	金	16:00~16:10	休憩		
		16:10~16:30	大阪府医師会紹介MOVIE	研究室	医師臨床研修 管理委員会
		16:30~	内科医局会 *2024年度入職の研修医紹介	新会議室A	診療部
4月8日	月	9:00~12:00	看護技術（トランスファー介助、歩行 介助、血糖測定） *看護部集合研修に参加	新会議室AB	看護部
		12:00~13:00	昼休憩		
		午後から診療科配属			

図書委員会

2ヶ月ごとの定例委員会、雑誌選定のために臨時委員会1回を開催した。

院内での図書購入の検討のほか、年間を通じて購読雑誌の利用調査を実施した。

【委員会開催日】

令和6年2月28日

- ・2023年度第6回図書購入希望について
- ・データベースの契約更新について
- ・その他（2024年度図書委員会の日程案について）

令和6年4月24日

- ・2024年度第1回図書購入希望について

令和6年6月26日

- ・2024年度第2回図書購入希望について
- ・その他（令和5年次年報の原稿について）

令和6年8月28日

- ・2024年度第3回図書購入希望について
- ・2025年購読雑誌の選定について

令和6年10月2日

- ・2025年購読雑誌の選定について
- ・2024年度第4回図書購入希望について

令和6年10月23日

- ・2024年度第4回図書購入希望について
- ・2025年購読雑誌の選定について
- ・その他（メディカルオンラインのパスワード変更について）

令和6年12月25日

- ・2024年度第5回図書購入希望について
- ・国立情報学研究所：目録所在情報サービス、文献複写相殺サービスへの参加について
- ・その他（2024年雑誌利用調査の実施について、CoMedixを使った議事録承認について）

がん拠点病院協議会

○がん登録 2024年提出 主要5部位・全登録件数

胃	76
結腸及び直腸	83
肝及び肝内胆管	9
気管支及び肺	29
乳房	16
全がん登録件数	437

○協議会活動報告

- ・大阪府がん診療拠点病院 現況報告提出
- ・院内がん登録全国集計、全国がん登録提出
- ・新型コロナウイルス感染症ががん医療に及ぼした影響の調査協力

化学療法委員会

開催日：令和6年6月21日（金）

- 議 題：1. 制吐剤ガイドライン改訂に伴う前投薬の見直し
2. 委員交代について
3. 採用変更に伴うレジメンの一部改訂

開催日：令和6年7月19日（金）

- 議 題：1. 新規レジメン申請

開催日：令和6年11月15日（金）

- 議 題：1. 新規レジメン申請

臨床研究審査委員会

令和6年 臨床研究審査委員会 審査項目

開催日	区分	項目	依頼者	科名	研究責任者	予定症例数	期間
2024.1.29	後ろ向き観察研究	表在型非乳頭十二指腸上皮性腫瘍 (superficial non-ampullary duodenal epithelial tumor (SNADET) に対する Noninjection Resection using Bipolar Soft coagulation mode (NIRBS) の評価		消化器内科	徳原		2024年11月～2024年4月まで
	後ろ向き観察研究	新型コロナウイルス感染症高齢入院患者の早期経口摂取を目指した看護実践の効果		看護部	長谷川		2023年11月～2024年6月
2024.2.26	後ろ向き観察研究	(仮) 脳卒中後上肢期運動機能改善に関連する評価因子の検討		リハビリテーション部	門川		2024年1月～2024年11月
	後ろ向き観察研究	回復期リハビリテーション病棟患者を対象としたmodified CI療法後1年間の経過について		リハビリテーション部	高岡		2024年1月～2024年11月
	後ろ向き観察研究	当院における二分脊椎患者のフォローアップについての検討		泌尿器科	松本		2024年2月～2024年12月まで
	症例報告	多職種連携による喘息指導でアドヒアランスが向上した学童前期の1例		看護部	久保		
	症例報告	再発性脳梗塞後の円背姿勢の患者に対し、誤嚥予防と離床促進のためにシーティングに介入した一例		リハビリテーション部	細川		
2024.3.25	症例報告	TKA術後脛骨骨折患者に対して運動恐怖心を考慮した理学療法を行った一症例		リハビリテーション部	清水		
	症例報告	長期免荷期間による著明な筋力低下を認めたTKA患者の一症例～筋電図評価を用いたFES歩行練習の評価		リハビリテーション部	伊藤		
	症例報告	運動負荷量に制限のある、脳梗塞後歩行障害を呈した症例に対して免荷式トレッドミル歩行トレーニングと機能的電気刺激を併用した一症例		リハビリテーション部	岡島		
	症例報告	腹臥位療法と視覚的フィードバックの組み合わせにより短期間でPusher現象が軽減した急性期脳卒中患者の一症例		リハビリテーション部	山本		
	症例報告	セラピストと患者の認識の違いから目標の再設定が必要となった左視床出血患者の一症例-集いの場への復帰を目指すための歩行補助具の選択-		リハビリテーション部	小山		
	多施設共同後ろ向き観察研究	アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬 (ARNI) と利尿薬、非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs)、プロトンポンプ阻害薬 (PPI) 併用時の腎機能低下に及ぼす影響に関する研究	JCHOみなど中央病院	薬剤部	小山		2028年3月
2024.4.30	臨床研究	触覚アロディニアを定量評価するための脳波計測と解析	畿央大学	リハビリテーション部	江田	10	2026年3月まで
	後ろ向き観察研究	前立腺肥大症に対する経尿道的手術の術後経過に関する後方視的検討		泌尿器科	橘		2026年3月まで
	後ろ向き観察研究	消化器悪性腫瘍患者における栄養指標に関する臨床研究		外科	米田		2029年3月まで
	後ろ向き観察研究	神経因性大腸機能障害患者に対する逆行性洗腸療法に関する臨床研究		外科	米田		2026年3月まで
	症例報告	急性期に自発眼振の方向性が反転した左延髄外側梗塞後の一症例		リハビリテーション部	福本		
	症例報告	半側身体失認と痛みを伴った急性期脳卒中患者へのリハビリテーションと経過		リハビリテーション部	浦上		
	症例報告	アロディニアを伴い神経機能改善と動作能力改善の乖離を認めた中心性頸髄損傷患者の臨床経過		リハビリテーション部	古川		
	症例報告	下肢機能の改善を予測し初期から歩行再建を目指した外傷性胸髄損傷の一症例		リハビリテーション部	小山		
	症例報告	足関節戦略に着目した立位バランス練習により、静止立位バランス改善に至った急性期小脳出血患者の一症例		リハビリテーション部	福本		
	症例報告	重症歩行障害を呈した脳卒中患者に対する発症早期からのFESを併用したBWSTTによる下肢筋出力の経時的変化		リハビリテーション部	江田		
	症例報告	姉二人の意見により転帰先の決断が揺らいだ頸髄損傷者一症例の退院支援		リハビリテーション部	氏家		
	症例報告	FAC1の脳卒中患者に対してBWSTTを実施し連続歩行距離・歩行自立度が改善した一症例-BWSTT歩行介助時の工夫-		リハビリテーション部	坂井		
	症例報告	歩行自立度の向上を目指した外傷性頸髄不全損傷者一症例		リハビリテーション部	清水		
	症例報告	入院前ADLの大幅な変更を余儀なくされた慢性期脊髄損傷者に対する退院支援～排便管理に着目して～		リハビリテーション部	宮下		
	症例報告	当院回復期病棟にて気管切開チューブの抜去を試みたが困難であった高位頸髄損傷者一症例		リハビリテーション部	泉脇		
	症例報告	転居が必要であった胸髄完全損傷患者一症例の住環境調査について		リハビリテーション部	中尾		
	症例報告	トイレ動作を29のサブタスクに分類し座位排便を目指した頸髄不全損傷者一症例		リハビリテーション部	濱中		

開催日	区 分	項 目	依頼者	科 名	研究 責任者	予定 症例数	期 間
2024.4.30	症例報告	Perturbation based balance trainingによりステップ反応が改善した急性期脳卒中患者の一症例		リハビリテーション部	山本		
	症例報告	脊髄再生医療が適応外となった外傷性頸髄損傷患者一症例に対する回復期での心理的援助の限界		リハビリテーション部	雨田		
2024.5.27	臨床研究(中央IRB)	鶏卵アレルギーにおける食事指導で治療食品により負担度が異なるかどうかの検討	大阪はびきの医療センター	小児科	杉本	全体で130	2024年2月～2026年3月まで
	症例報告	頸髄症性脊髄症によるしびれに対し、しびれ同調経皮的電気刺激施行しバランス機能向上を認めた一症例		リハビリテーション部	泉脇		
	後ろ向き観察研究	(仮) 当院脳卒中患者のデータベースを用いた平均値やカットオフ値の検討		リハビリテーション部	福本		承認後～2025年3月まで
	後ろ向き観察研究	当院の糖尿病教育入院における糖尿病理学療法評価及びアンケートについて (仮)		リハビリテーション部	菊池		承認後～2024年11月まで
	後ろ向き観察研究	(仮) 当院脳卒中患者における栄養状態と運動機能との関係		リハビリテーション部	坂井		承認後～2025年3月まで
	臨床研究	脳卒中患者における幾何拘束下(肩関節屈曲角条件)での上肢ワイピング動作訓練の分析		リハビリテーション部	伴	9	承認後～2025年3月まで
	2024.6.24	後ろ向き観察研究	当院の入院心不全患者の傾向の把握		リハビリテーション部	富山	
後ろ向き観察研究		アレルギー性鼻炎合併喘息症例における舌下免疫療法の治療経過について		小児科	杉本		承認後～2024年9月まで
後ろ向き観察研究		排尿管理開始初期の脊髄損傷患者における有熱性尿路感染症		泌尿器科	松本		承認後～2024年12月まで
後ろ向き観察研究		膝前十字靭帯再建術後の術後1か月以内における膝伸筋筋力が術後6か月の筋力回復を予測するか		リハビリテーション部	山下		承認後～2025年1月まで
後ろ向き観察研究		当院の入院人工関節患者の傾向と把握－人工関節疾患報告書を用いて－		リハビリテーション部	山下		承認後～2025年3月まで
2024.7.29	臨床研究	足部CT画像における接地面と骨組織の位置関係に関する検討		整形外科	梶座	10～50	承認後～2029年3月まで
	臨床研究	MRI画像解析ソフト－Spinal Cord Toolbox－を用いた予後予測の検証		リハビリテーション部	江田	15	承認後～2027年3月まで
2024.10.28	後ろ向き観察研究	大腸ポリープの切除方法による治療成績の検討		消化器内科	渡部		承認後～2026年3月31日
	後ろ向き観察研究	S状結腸軸捻転症の治療成績の検討		消化器内科	渡部		承認後～2026年3月31日
2024.11.25	後ろ向き観察研究	特定保健指導対象者の特定保健指導に対する認識 特定保健指導利用者と未利用者の比較		看護部	畠		承認後～2025年3月5日
	症例報告	固有感覚トレーニングにより back kneeが軽減した脳卒中患者の一症例		リハビリテーション部	岡崎		
	症例報告	感染・脱臼を繰り返し人工股関節再々置換術を施行した一症例		リハビリテーション部	横井		
	症例報告	歩行自立度の向上を目指した頸髄症性脊髄症の一症例～BESTestに基づいた介入～		リハビリテーション部	伊藤		
	後ろ向き観察研究	緩和ケア病棟における逝去時に家族が立ち会えなかった要因		看護部	池田		承認後～2025年3月
	後ろ向き観察研究	当院におけるアトピー性皮膚炎スキンケア指導入院の取り組み		小児科	杉本		承認後～2025年12月
	後ろ向き観察研究	当院で加療中の回避制限性食物摂取症例の臨床的検討		小児科	中河		承認後～2025年3月16日
2024.12.23	後ろ向き観察研究	心不全・誤嚥性肺炎で入院した患者の在院日数が延長している要因－退院支援の実態調査－		看護部	佐藤		承認後～2025年3月5日
	後ろ向き観察研究	当院回復期脳卒中患者の歩行自立予測－臨床応用を目指した検討－		リハビリテーション部	松本		承認後～2027年3月31日
	中央IRB	人工膝関節置換術における患者教育・早期リハビリテーションの有効性の検討	大阪大学	整形外科	梶座	全体で250	承認後～2026年12月
	後ろ向き観察研究	ENBDチューブ折れ(キンク)の要因		看護部	田辺		承認後～2026年3月31日
	後ろ向き観察研究	下肢全長における足関節アライメント評価についての検討		整形外科	梶座		承認後～2026年12月31日
	製造販売後調査	Veffecta	株式会社エム・イー・システム	整形外科	安井	150	承認後～2027年12月31日
	後ろ向き観察研究	SCU入室患者の誤嚥性肺炎を発症した患者の要因分析		看護部	細井		承認後～2026年12月

利益相反審査委員会

令和6年 利益相反審査委員会 審査状況

●臨床研究審査委員会委員

審査日		所属	職名	氏名	審査結果
2024/4/30	委員長	外科	副院長	福地 成晃	承認
2024/4/30	委員	薬剤部	薬剤部長	佐原 敏之	承認
2024/4/30	委員	リハビリテーション科	部長	伊藤 泰司	承認
2024/4/30	委員	泌尿器科	部長	松本 吉弘	承認
2024/4/30	委員	整形外科	部長	阿部 裕仁	承認
2024/4/30	委員	看護部	看護部長	北田美奈子	承認
2024/4/30	委員	事務部	事務部長	魚澤 正克	承認
2024/4/30	委員	事務部	総務企画課長	植山 邦彦	承認
2024/4/30	委員	事務部	医事課長補佐	鈴木 久子	承認
2024/4/30	委員	堺市民	薬剤師	埴 由美子	承認
2024/6/24	委員	大阪A&M法律事務所	弁護士	小島 崇宏	承認

●審査項目

審査日	議題	申請者	審査結果
2024/1/31	食物アレルギー児における鶏卵の食事指導では治療食品の提供方法により負担度が異なるかどうかの検討	小児科 杉本有紀子	承認
2024/1/31	新型コロナウイルス感染症高齢入院患者の早期経口摂取を目指した看護実践の効果	看護部 長谷川有美子	承認
2024/2/26	(仮) 脳卒中後上肢期運動機能改善に関連する評価因子の検討	リハビリテーション部 門川泰輔	承認
2024/2/26	回復期リハビリテーション病棟患者を対象としたmodified CI療法後1年間の経過について	リハビリテーション部 高岡夏実	承認
2024/2/26	当院における二分脊椎患者のフォローアップについての検討	泌尿器科 松本 吉弘	承認
2024/3/25	非弁膜症性心房細動とアテローム血栓症を合併する脳梗塞例の二次予防における最適な抗血栓療法に関する多施設共同ランダム化比較試験(ATIS-NVAF)	脳卒中内科 杉浦史郎 脳卒中内科 高橋 務	承認
2024/3/25	アンジオテンシ受容体ネプリライシン阻害薬(ARNI)と利尿薬、非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)、プロトンポンプ阻害薬(PPI)併用時の腎機能低下に及ぼす影響に関する研究	薬剤部 小山 貴士	承認
2024/4/30	触覚アロディニアを定量評価するための脳波計測と解析	リハビリテーション部 江田朱里	承認
2024/4/30	前立腺肥大症に対する経尿道的手術の術後経過に関する後方視的検討	泌尿器科 橘 進彰	承認
2024/4/30	消化器悪性腫瘍患者における栄養指標に関する臨床研究	外科 朴 正勝	承認
2024/4/30	神経因性大腸機能障害患者に対する逆行性洗腸療法に関する臨床研究	外科 朴 正勝	承認
2024/5/27	(仮) 当院脳卒中患者のデータベースを用いた平均値やカットオフ値の検討	リハビリテーション部 中嶋菜々華	承認
2024/5/27	当院の糖尿病教育入院における糖尿病理学療法評価及びアンケートについて(仮)	リハビリテーション部 江田朱里	承認
2024/5/27	(仮) 当院脳卒中患者における栄養状態と運動機能との関係	リハビリテーション部 坂井玄弥	承認
2024/5/27	脳卒中患者における幾何拘束下(肩関節屈曲角条件)での上肢ワイピング動作訓練の分析	リハビリテーション部 伴 征晃	承認
2024/6/24	鶏卵アレルギーにおける食事指導で治療食品により負担度が異なるかどうかの検討	小児科 杉本有紀子	承認
2024/6/24	当院の入院心不全患者の傾向の把握	リハビリテーション部 富山柚果	承認
2024/6/24	アレルギー性鼻炎合併喘息症例における舌下免疫療法の治療経過について	小児科 杉本有紀子	承認
2024/6/24	排尿管理開始初期の脊髓損傷患者における有熱性尿路感染症	泌尿器 松本吉弘	承認

審査日	議題	申請者	審査結果
2024/6/24	膝前十字靭帯再建術後の術後1か月以内における膝伸展筋力が術後6か月の筋力回復を予測するか	リハビリテーション部 山下隼生	承認
2024/6/24	当院の入院人工関節患者の傾向と把握－人工関節疾患報告書を用いて－	リハビリテーション部 山下隼生	承認
2024/7/29	足部CT画像における接地面と骨組織の位置関係に関する検討	整形外科 梶座康夫	承認
2024/7/29	MRI画像解析ソフト-Spinal Cord Toolbox-を用いた予後予測の検証	リハビリテーション部 江田朱里	承認
2024/7/29	非治癒因子を1つのみ有するStageIV胃癌に対するニボルマブ併用化学療法+Conversion 手術の第II相試験	外科 永井健一	承認
2024/9/30	うっ血心不全(心性浮腫)患者における五苓散追加投与の浮腫に対する有効性を検証する研究(GOREISAN-HF Trial)	循環器内科 大西 衛 循環器内科 中井健太郎	承認
2024/9/30	当院におけるRRS再構築の取り組みと今後の課題	看護部 深津 百合	承認
2024/10/28	非治癒因子を1つのみ有するStageIV胃癌に対するニボルマブ併用化学療法+Conversion 手術の第II相試験	外科 永井 健一 外科 木戸上真也	承認
2024/10/28	大腸ポリープの切除方法による治療成績の検討	消化器内科 渡部嘉文	承認
2024/10/28	S状結腸軸捻転症の治療成績の検討	消化器内科 渡部嘉文	承認
2024/11/25	インヒビター非保有友友病患者を対象とした、エミシズマブ投与下における破綻出血時/手術時止血管理における血液凝固第VIII因子製剤投与時の凝固能測定に関する研究	小児科 中河 いよう	承認
2024/11/25	特定保健指導対象者の特定保健指導に対する認識 特定保健指導利用者と未利用者の比較	看護部 畠 利枝	承認
2024/11/25	緩和ケア病棟における逝去時に家族が立ち会えなかった要因	看護部 池田広美	承認
2024/11/25	当院におけるアトピー性皮膚炎スキンケア指導入院の取り組み	小児科 杉本有紀子	承認
2024/12/23	当院で加療中の回避制限性食物摂取症例の臨床的検討	看護部 徳久俊子	承認
2024/12/23	心不全・誤嚥性肺炎で入院した患者の在院日数が延長している要因 －退院支援の実態調査－	看護部 矢野夕貴	承認
2024/12/23	当院回復期脳卒中患者の歩行自立予測 －臨床応用を目指した検討－	小児科 中河いよう	承認
2024/12/23	人工膝関節置換術における患者教育・早期リハビリテーションの有効性の検討	整形外科 梶座康夫	承認
2024/12/23	ENBDチューブ折れ(キンク)の要因	看護部 三木 萌	承認
2024/12/23	下肢全長における足関節アライメント評価についての検討	看護部 河口紘也	承認
2024/12/23	SCU入室患者の誤嚥性肺炎を発症した患者の要因分析	小児科 田村玲子	承認

医の倫理委員会

令和6年 医の倫理委員会 審査状況

審査日	整理番号	議題	申請者	審査結果
2024.4.9 (迅速)	2024-01	巻き爪・陥入爪の自費治療(弾性ワイヤーを用いる方法)	形成外科 光能乃祐	承認
2024.7.12 (緊急)	2024-02	ゲンタマイシン硫酸塩注射液の持続灌流療法	整形外科 梶座康夫	承認
2024.10.15 (緊急)	2024-03	二分脊椎における神経因性膀胱による膀胱内圧低下、腎機能障害予防	泌尿器科 松本吉弘	承認
2024.11.11	2024-04	術中に瞳孔を縮瞳させる(オピソート)	眼科 高橋 元	承認
2024.11.22 (緊急)	2024-05	単身患者の病理解剖	呼吸器内科 内田隆一	不承認
2024.12.9 (迅速)	2024-06	IgA血管炎に対するレクチゾールの適応外使用	小児科 田村玲子	承認
2024.12.23 (迅速)	2024-07	泌尿器 肺外小細胞癌に対する化学療法	泌尿器科 松本吉弘	承認

星ヶ丘クリニカルカンファレンス

令和6年 星ヶ丘クリニカルカンファレンス演題

令和6年 星ヶ丘クリニカルカンファレンス演題

No.	回数	開催日	演題	所属等	講師及び演者	参加者数
1	510	2024年1月15日	①薬剤耐性菌を増やさないために出来ること ②抗菌薬の適正使用とは ～AMR(薬剤耐性菌)に立ち向かうために～	院内感染対策委員会		727
		2024年1月24日				
		2024年1月25日				
2	511	2024年1月29日	医療安全文化を浸透させるための行動 ～RSSの導入・運用～	医療安全対策委員会		720
		2024年1月30日				
		2024年1月31日				
3	512	2024年3月5日	片頭痛治療薬～急性期治療薬から予防まで～	薬剤部	第一三共株式会社 鶴直樹氏	9
4	513	2024年3月7日	特定行為研修修了者の現状と展望	看護部	・林由規彦(特定行為研修管理室・救急外来看護師長) ・花本千晶(病棟看護師) ・田辺智也(検査治療部門看護師) ・中野完(検査治療部門看護師)	28
5	514	2024年4月24日	能登半島災害派遣活動報告	看護部師長会防災グループ		50
6	515	2024年6月28日	2023年度 第1回 災害医療研修	星ヶ丘DMAT委員会	DMAT委員会委員長 副院長 高橋 務	22
7	516	2024年7月3日	なるほど納得!とろみ付けのポイント 栄養製品はとろみが付きにくいと悩んでいませんか?	薬剤部	アボットジャパン合同会社 梅野恵理子氏	25
8	517	2024年10月23日	チームSTEEPS研修	医療安全管理室	関西医科大学附属病院 医療安全管理センター 副センター長 宮崎浩彰 先生	73
		2024年11月27日				
9	518	2024年11月29日	抗菌薬の基本と薬剤耐性 (AMR) 対策について	医療安全対策委員会	Meiji Seika ファルマ (株) 大西 良樹氏	33
10	519	2024年12月3日	適正な輸液管理について	薬剤部	大塚製薬工場株式会社 泉野 亜依子氏	24
11	520	2024年12月4日	医療放射線安全管理研修会	放射線科 診療放射線部	放射線科部長 田中健寛 主任放射線技師 青木和好	84
		2024年12月9日				
12	521	2024年12月9日 ～13日	感染対策研修 手洗いキャンペーン	院内感染対策委員会		696
13	522	2024年12月16日	カスタマーハラスメントについて	医療安全管理室	仁邦法律事務所 弁護士・所長 桑原博道 先生	697

學術研究業績

脳神経内科

講義

神経内科学 I 第1回～第8回

巽千賀夫

佛教大学 保健医療技術学部 京都 2024.4.10-6.5

疾病治療論 第1回～第15回

巽千賀夫

摂南大学 看護学部 大阪 2024.9.13-12.20

糖尿病内科

国内学会・口演

COVID-19罹患後に発症したと思われる急性発症

1型糖尿病の一例

五郎川伸一, 森川侑佳, 福田純子, 秦志麻, 東由里, 上野綾香, 石黒日向, 佐藤亜純, 村上萌, 富山柚果

第61回日本糖尿病学会近畿地方会 大阪
2024.10.26

小児科

国内学会・口演

当院で経験したPFAPA症候群7例の臨床的検討

田村玲子, 相馬良子, 杉本有紀子, 松尾康史, 中河いよう

第142回日本小児科学会奈良地方会 奈良
2024.2.3

単純ヘルペスウイルス初感染時にヘルペス食道炎を
発症した基礎疾患のない10代男子例

松尾康史, 田村玲子, 相馬良子, 杉本有紀子, 中河いよう

第37回近畿小児科学会 大阪 2024.3.10

喘息コントロール不良としてフォロー中に教育との
連携や発達検査をふまえての介入が有効であった学童例

杉本有紀子, 今井早希菜, 久保美抄

第40回日本小児臨床アレルギー学会 大阪
2024.7.13

研究会

診断に苦慮した特発性器質化肺炎の1例

田上健太, 相馬良子, 中河いよう

第83回枚方・交野小児懇話会 大阪 2024.2.24

高 γ GLB血症性紫斑からIgG4関連疾患を考えた
男児例

中橋雄大, 田村玲子, 中河いよう

第83回枚方・交野小児懇話会 大阪 2024.2.24

喘息合併ダニアレルギー性鼻炎に対する舌下免疫
療法の治療経過について

杉本有紀子

第84回枚方・交野小児懇話会 大阪 2024.9.28

外科

国内学会・口演

集学的治療により長期生存中の肺転移を伴った胃
癌の1例

永井健一, 朴正勝, 杉本聡, 福地成晃

第96回日本胃癌学会総会 京都 2024.2.28-3.1

大腸癌患者に対する周術期VTEマネジメント

朴正勝, 杉本聡, 永井健一, 保田知夫, 福地成晃

第46回日本血栓止血学会学術集会 金沢 2024.
6.13-15

当院における消化器悪性腫瘍のVTEマネジメント—
周術期を中心に—

朴正勝, 杉本聡, 永井健一, 保田知夫, 福地成晃

第29回近畿日本血栓止血学会学術集会 大阪
2024.11.9

直腸癌膀胱浸潤に対して膀胱合併切除を行いつつ
最終的にダブルストーマを回避した一例

杉本聡, 朴正勝, 永井健一, 福地成晃

第46回日本癌局所療法研究会 滋賀 2024.6.21

度重なる直腸癌骨盤内リンパ節再発に対して2度
の重粒子線照射を行った一例

杉本聡, 朴正勝, 永井健一, 福地成晃

国内学会・示説

消化器癌患者に対する周術期VTEマネージメント

朴 正勝, 杉本 聡, 永井健一, 保田知夫, 福地成晃

第79回日本消化器外科学会総会 下関 2024.7.17-19

国内学会・ワークショップ

当院における神経原性大腸機能障害患者に対する経肛門的洗腸療法の導入経験

朴 正勝, 杉本 聡, 米田直樹, 永井健一, 福地成晃

第79回日本大腸肛門病学会学術集会 横浜 2024.11.29-30

症例報告

直腸癌膀胱浸潤に対して膀胱全摘を伴う合併切除を行いつつ最終的にダブルストーマを回避した1例

杉本 聡, 米田直樹, 永井健一, 福地成晃
癌と化学療法 51 (13) 1758-1760 2024.12

度重なる直腸癌骨盤内リンパ節再発に対して二度の重粒子線照射を行った1例

杉本 聡, 米田直樹, 永井健一, 福地成晃
癌と化学療法 51 (13) 1761-1763 2024.12

整形外科

国内学会発表

長母指伸筋腱断裂zone T1に対して直接縫合した2例

粕谷泰祐

第55回日本リハビリテーション医学会近畿地方会 奈良 2024.9.28

新鮮長母指伸筋腱断裂に対する腱直接縫合後の後療法と術後経過

粕谷泰祐

第8回日本リハビリテーション医学会学術集会

腫瘍型人工膝関節置換術における術後の骨性変化について

宮本僚太, 藤戸稔高, 柗座康夫, 後藤 泰, 阿部裕仁, 奥田真也, 細野 昇

第54回 日本人工関節学会 京都 2024.2.24-25

人工膝関節置換術後の腱付着部痛とKOOSスコアの関連についての検討

柗座康夫, 藤戸稔高, 後藤 泰, 阿部裕仁, 奥田真也, 細野 昇

第54回 日本人工関節学会 京都 2024.2.24-25

人工膝関節術後穿刺関節液グラム染色の術後感染診断における有用性についての検討

柗座康夫, 宮本隆司, 辻 成佳, 高樋康一郎, 西川昌孝, 野村幸嗣, 岩本圭史, 藤戸稔高, 玉城雅史, 富田哲也

第68回 日本リウマチ学会総会 神戸 2024.4.18-20

大腿骨コンポーネントのSagittal Alignmentが大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭置換術の術中大腿骨骨折に与える影響の検討

阿部裕仁, 後藤 泰, 藤戸稔高, 柗座康夫

第54回 日本人工関節学会 京都 2024.2.24-25

人工股関節全置換術後対側大腿骨の経時変化の縦断的研究

阿部裕仁, 後藤 泰

第51回 日本股関節学会 岡山 2024.10.25-26

A1腱鞘部での滑膜炎により長母指屈筋腱断裂を生じた関節リウマチ患者の治療経験

安井行彦, 粕谷泰祐

第4回 京阪手外科セミナー 大阪 2024.1.13

前腕コンパートメント症候群における区画圧の測定部位による差について

安井行彦

第67回 日本手外科学会学術集会 奈良 2024.4.25-26

尺骨非定型骨折

安井行彦, 粕谷泰祐
第2回 Orthopaedic Trauma Management Edu
Connect Web 2024.5

膝蓋骨骨折術後のインプラント突出長と痛みにつ
いての検討

安井行彦, 粕谷泰祐, 花草颯志, 山本大貴, 前
川隆博

第50回 日本骨折治療学会 仙台 2024.6.28-29

前腕骨幹部骨折をプレート固定後にimplant
impingementによる異所性骨化を生じた1例

花草颯志, 安井行彦, 粕谷泰祐, 山本大貴, 前
川隆博

第50回 日本骨折治療学会 仙台 2024.6.28-29

膝前・後十字靭帯に同時発生したムコイド変性の
一例

宮崎 亮, 辻井 聡, 鈴木秀和, 米谷泰一, 濱田
雅之

第36回 関西関節鏡・膝関節研究会 京都
2024.3.16

活動性の高い症例に対する解剖学的長方形骨孔前
十字靭帯再建術後のスポーツ復帰：膝蓋腱と骨付
き大腿四頭筋腱との比較

宮崎 亮, 阪本将希, 鈴木秀和, 田中綾香, 辻井
聡, 下村和範, 濱田雅之, 米谷泰一

第2回 日本膝関節学会 沖縄 2024.12.6-7

前十字靭帯再建術における吸収性Interference
screwの安全性比較

宮崎 亮, 阪本将希, 鈴木秀和, 田中綾香, 辻井
聡, 下村和範, 濱田雅之, 米谷泰一

第2回 日本スポーツ整形外科学会 東京
2024.9.14-15

大腿四頭筋腱・膝蓋腱における骨-腱移行部の生
体内動態：Graft Bending Angle(GBA)との比較

鈴木秀和, 米谷泰一, 松川優樹, 阪本将希, 田中
雄大, 宮崎 亮

第2回 日本スポーツ整形外科学会 東京
2024.9.14-15

術前待期間6か月以内の症例に対する前十字靭

帯再建後における 移植腱早期不全の検討：骨付
き膝蓋腱(BTB)vs骨付き大腿四頭筋腱(QTB)
鈴木秀和, 阪本将希, 宮崎 亮, 辻井 聡, 下村
和範

第2回 日本膝関節学会 沖縄 2024.12.6-7

腫瘍型人工膝関節置換術後に生ずるインプラント
骨境界部の骨性変化について

宮本僚太, 藤戸稔高, 後藤 泰, 阿部裕仁, 棚座
康夫, 奥田眞也, 細野 昇

第142回 中部日本整形外科学会災害外科学会・学術
集会 米子 2024.4.12-13

C3-6椎弓形成術+C7部分椎弓切除後のC7椎弓骨折
星山政輝, 細野 昇, 祝迫恵爾, 立石耕介, 奥田
眞也

第53回 日本脊椎脊髄病学会 横浜 2024.4.18-
20

超高齢者の外傷性頭蓋頸椎不安定性を有する上位
頸椎損傷に対して後方固定術を施行し良好な経過
を辿った一例

山本大貴, 立石耕介, 細野 昇

第59回 日本脊髄障害医学会 名護 2024.11.7-8
2頭蓋頸椎不安定性を有する超高齢者上位頸椎損
傷の治療経験

山本大貴, 立石耕介, 阪本将希, 星山政輝, 奥田
眞也, 細野 昇

第62回 大阪骨折研究会 大阪 2024.11

後方アプローチにおけるステム設置精度向上のため
の工夫-Anatomical型とTapered wedge型ステ
ムでの設置精度-

後藤 泰, 阿部裕仁

第54回 日本人工関節学会 京都 2024.2.23-24

Dreamセメントレスステムのアライメントと固
定部位評価

後藤 泰, 阿部裕仁

第51回 日本股関節学会学術集会 岡山
2024.10.25-26

国内講演・その他

知っておくと役立つ小児整形外科のコツ

吹上謙一

東京都小児科医会学術講演会 127 オンデマンド配信 2024.11.13-12.8

子どもに潜む整形外科疾患の見つけ方

吹上謙一

JCHO星ヶ丘医療センター地域Openセミナー
枚方市 2024.10

高齢者の大腿骨近位部骨折と脆弱性骨盤骨折

阿部裕仁

骨折予防を考える会in枚方 1 大阪 2024.11

前腕骨折の治療と、橈骨遠位端骨折入門編

安井行彦

骨折治療を考える会 28 大阪 2024.7

2024年における腰椎変性疾患の治療指針

奥田眞也

JCHO星ヶ丘医療センター地域連携の会 大阪
2024.2.10

当院におけるModulus stem使用経験

後藤 泰, 阿部裕仁

Modulus Users Forum 金沢 2024.6

DREAMセメントレスステムのアライメント評価
及び皮質骨との接触部位評価

後藤 泰, 阿部裕仁

ADLER HIP SEMINAR 2024 札幌 2024.6

国際学会発表・講演・その他

Gram stain of the joint aspiration for the
Diagnosis of Infection after Total Knee
Arthroplasty

Kunugiza Y

Annual World Congress of Orthopaedics-2024 8
Budapest 2024.6

SAFETY COMPARISON OF THREE KINDS
BIOABSORBABLE INTERFERENCE SCREWS
AFTER ANATOMICAL RECTANGULAR
ANTERIOR CRUCIATE LIGAMENT
RECONSTRUCTION

R. Miyazaki, Y. Tanaka, H. Suzuki, A. Tanaka 2,
A. Tsujii 2, K. Shimomura 3, M. Hamada 4, Y.

Yasukazu, A. Tsujii, K. Shimomura, M. Hamada,
Y. Yasukazu

European Society of Sports Traumatology, Knee
Surgery and Arthroscopy (ESSKA) 21 Milano
2024.5

IN VIVO DEFORMATION OF QUADRICEPS
TENDON AND PATELLAR TENDON AT
BONE ATTACHMENT SITES DURING KNEE
MOTION: COMPARISON WITH GRAFT
BENDING ANGLE AFTER ANTERIOR
CRUCIATE LIGAMENT RECONSTRUCTION

H. Suzuki, Y. Tanaka, R. Miyazaki, Y. Yasukazu

European Society of Sports Traumatology, Knee
Surgery and Arthroscopy (ESSKA) 21 Milano
2024.5

国内論文

小児前腕骨折術後のulnar varianceの評価

安井行彦, 粕谷泰祐

骨折 46 (2) 277-282 2024

PIP 関節脱臼骨折とpilon骨折に対する ロッキング
プレート固定術

安井行彦, 粕谷泰祐, 片岡利行

日本手外科学会雑誌 40 (6) 682-687 2024

腱付着部の生体内動態：大腿四頭筋腱VS膝蓋腱

鈴木秀和, 田中雄大, 宮崎 亮, 岩橋武彦, 米谷
泰一

日本膝関節学会誌 1 (1) 4-5 2024

ACL再建術における吸収性interference screwの
安全性比較

宮崎 亮, 田中雄大, 鈴木秀和, 田中綾香, 辻井
聡, 下村和範, 衣笠和孝, 濱田雅之, 米谷泰一

日本膝関節学会誌 1 (1) 68-69 2024

腫瘍型人工関節置換術における術後骨性変化につ
いて

宮本僚太, 藤戸稔高, 奥田眞也, 細野 昇, 梶座
康夫

中部日本整形外科災害外科学会雑誌 67 (5)
741-742 2024

手術 頸椎椎弓形成術

星山政輝

整形外科看護 29 (5) 59-64 2024

代表的な疾患 環軸椎不安定症

立石耕介

整形外科看護 29 (5) 39-42 2024

代表的な疾患 非骨傷性頸髓損傷

立石耕介

整形外科看護 29 (5) 43-47 2024

国際論文

Tenderness over the Pes anserinus and Gerdy's tubercle before and after total knee arthroplasty. Kunugiza Y, Tsuji S, Fujito T, Tamaki M, Nishikawa M, Nomura K, Ishibashi T, Tomita T. J Orthop 62 133-138 2024

Long-term outcomes of spine surgery in dialysis patients, focusing on activities of daily living, life expectancy, and the risk factors for postoperative mortality.

Furuya M, Nagamoto Y, Okuda S, Takenaka S, Matsumoto T, Takahashi Y, Iwasaki M J Orthop Sci 29 (2) 508-513 2024

Mid-term results of single-level posterior lumbar interbody fusion in patients with pelvic incidence minus lumbar lordosis mismatch.

Nagamoto Y, Okuda S, Matsumoto T, Takahashi Y, Furuya M, Iwasaki M World Neurosurg 183 e796-e800 2024

Development of patient-reported outcome for adult spinal deformity: validation study.

Fujimori T, Nagamoto Y, Takenaka S, Kaito T, Kanie Y, Ukon Y, Furuya M, Matsumoto T, Okuda S, Iwasaki M, Okada S Sci Rep 14 (1) 1286 2024

形成外科

国内学会・口演

連続縫合の抜糸を非常に容易にする手法

光野乃祐, 林 咲良, 橋本 葵, 廣田友香, 上田 晃一

第67回日本形成外科学会総会・学術集会 兵庫 2024.4.10-12

不明

3Dデータを駆使した手術シミュレーション

光野乃祐, 上田晃一

PEPARS(No.215) 三川信之 10-16 全日本病院出版会 東京 2024

泌尿器科

国内学会・口演

尿道内に発生した尖圭コンジローマの1例

宮崎和喜, 豊島優多, 橋 進彰, 松本吉弘

第255回日本泌尿器科学会関西地方会 奈良 2024.2.3

直腸癌膀胱浸潤に対して膀胱合併切除を行いつつ最終的にダブルストーマを回避した一例

杉本 聡, 朴 正勝, 永井健一, 福地成晃, 宮崎和喜, 橋 進彰, 豊島優多, 松本吉弘

第46回日本癌局所療法研究会 長浜 2024.6.21

国内学会・ポスター

当院における二分脊椎患者のフォローアップについての検討

橋 進彰 森澤洋介, 宮崎和喜, 豊島優多, 松本吉弘, 百瀬 均

第33回日本小児泌尿器科学会 水戸 2024.7.10-12

原著論文

Enfortumab vedotin following platinum-based chemotherapy and immune checkpoint inhibitors for advanced urothelial carcinoma: response, survival and safety analysis from a multicentre real-world Japanese cohort.

Miyake M, Nishimura, N, Oda Y, Miyamoto T,

Ohmori C, Takamatsu N, Itami Y, Tachibana A, Matsumoto Y, Kiba K, Tomioka A, Yamamoto H, Okajima E, Masaomi K, Sakamoto K, Tomizawa M, Shimizu T, Ohnishi K, Hori S, Morizawa Y, Gotoh D, Nakai Y, Torimoto K, Tanaka N, Fujimoto K
Jpn J Clin Oncol 54 (3) 329-338 2024.3

尿道内に発生した尖圭コンジローマの1例
宮崎和喜, 豊島優多, 橋 進彰, 松本吉弘
泌尿器外科 37 (10) 1168-1170 2024.10

筋層非浸潤性膀胱癌に対する低用量BCG膀胱内
注入療法の治療成績と有害事象
橋 進彰, 守安雅弘, 宮崎和喜, 豊島優多, 松本
吉弘, 山田 篤, 高田 聡
泌尿器科紀要 70 (12) 445-450 2024.12

直腸癌膀胱浸潤に対して膀胱合併切除を行いつつ
最終的にダブルストーマを回避した一例
杉本 聡, 朴 正勝, 永井健一, 福地成晃, 宮崎
和喜, 橋 進彰, 豊島優多, 松本吉弘
癌と化学療法 51 (13) 1758-1760 2024.12

解説

ディスプレイザブルポリ塩化ビニル製カテーテル
松本吉弘 百瀬 均, 山田 篤, 山田 薫
泌尿器外科 37 (7) 810-813 2024.7

病理診断科

原著論文

A method of “Noninjecting Resection using
Bipolar Soft coagulation mode; NIRBS” for
superficial non-ampullary duodenal epithelial
tumor: a pilot study
Tokuhara M, Yasushi S, Yoshifumi W, Hidetoshi
N, Hiroko N, Shingo F, Takuya O, Naohiro N,
Takashi I, Ikuko T, Takeshi Y, Masaaki S,
Makoto N.
BMC Gastroenterology 24 (1) 343-349
2024.10

薬剤部

ポスター発表

地域医療機能推進機構 (JCHO) のスケールメリッ
トを活かした多施設合同薬物療法カンファレンス
の開催とその有用性
小山貴士, 植田徹, 伊藤優, 渡部雄二, 大井隆広,
浦嶋和也, 木村仁, 北澤文章, 辻川正彦
第45回日本病院薬剤師会近畿学術大会 和歌山
2024.1.27-28

論文発表

Utilization and Issues Related to Discharge
Medication Summaries from Hospital
Pharmacies to Community Pharmacies.
Fukuda Y, Suzuki M, Ito R, Inaba J, Kanemoto T,
Sahara T, Tsujikawa M, Onda M,
Yakugaku Zasshi. 144 (7) 741-748

診療放射線部

学会・口演

一般撮影領域におけるプレショットを用いた撮影
精度向上の検討
渡邊浩平, 松島正直, 青木和好, 奥田博志, 伊藤
鉄平, 鎌田大誠, 辻村恭平, 石原正仁
第9回地域医療総合医学会 仙台 2024.11.29-30

左心耳血栓評価における腹臥位心臓CTの有用性
の検討
黒澤 亮, 松島正直, 境 一也, 西村晴香, 入國
晃毅, 大石梨緒, 石原正仁
第9回地域医療総合医学会 仙台 2024.11.29-30

リハビリテーション部

国内学会・口演

再発性脳梗塞後の円背姿勢の患者に対し、誤嚥予
防と離床促進のためにシーティングに介入した一
例
細川純子
第44回近畿作業療法学会 大阪 2024.6.29-30

リハビリテーション部の組織運営
永富孝幸, 大西和彦, 権藤 要
第 9 回 J C H O 地域医療総合医学会 仙台
2024.11.29-30

腹臥位療法と視覚的フィードバックの組み合わせにより短期間でPusher減少が軽減した急性期脳卒中患者の一症例
山本 舞, 小笠原峻, 浦上慎司, 村上 萌
第36回大阪府理学療法学会 大阪 2024.7.28

腹臥位療法と視覚的フィードバックの組み合わせにより短期間でPusher減少が軽減した急性期脳卒中患者の一症例
山本 舞, 小笠原峻, 浦上慎司, 村上 萌
第 4 回東支部新人症例発表会 大阪 2024.1.14

TKA術後脛骨骨折患者に対して運動恐怖心を考慮した理学療法を行った一症例
清水遙日, 高尾茉侑, 谷口龍馬
第36回大阪府理学療法学会 大阪 2024.7.28

歩行獲得後に下腿の疼痛が生じ荷重恐怖心が遷延したTKA患者の一症例
清水遙日, 高尾茉侑, 多久和良亮
第 4 回東支部新人症例発表会 大阪 2024.1.14

心疾患の既往がある脳梗塞後歩行障害の一症例～運動負荷量に着目して～
岡島 凱, 松本拓也, 木下 栞
第36回大阪府理学療法学会 大阪 2024.7.28

TKA術後脛骨骨折患者に対して運動恐怖心を考慮し、歩行自立度の向上を目指し理学療法を行った一症例
清水遙日, 高尾茉侑, 谷口凌馬
第36回大阪府理学療法学会 大阪 2024.7.28

セラピストと患者の認識の違いから目標の再設定が必要となった左視床出血患者の一症例—集いの場への復帰を目指すための歩行補助具の選択—
小山侑希, 多久和良亮
第36回大阪府理学療法学会 大阪 2024.7.28

腹臥位療法と視覚的フィードバックの組み合わせ

により短期間でPusher減少が軽減した急性期脳卒中患者の一症例
山本 舞, 小笠原峻, 浦上慎司, 村上 萌
第36回大阪府理学療法学会 大阪 2024.7.28

頸髄症性脊髄症によるしびれに対し、しびれ同調経波的電気刺激を施行しバランス機能向上を認めたい一症例
泉脇美羽, 木下 栞, 福本匠吾, 谷口凌馬
第12回運動器理学療法学会 神奈川
2024.9.14-9.15

上肢機能障害に対する自主トレーニングを評価する課題指向型運動訓練提示装置の開発
伴 征晃, 古川啓介
第42回日本ロボット学会 大阪 2024.9.3-6

国内学会・ポスター

脳卒中患者における麻痺側上肢に対する身体性変容と体性感覚障害の関連性～その他の臨床症状も含めた考察～
瀬川 栞, 大隅倫弘
第22回日本神経理学療法学会学術大会 福岡
2024.9.28-29

重度歩行障害を呈した脳卒中患者に対する発症早期からのFESを併用したBWSTTによる下肢筋出力の継時的変化
江田朱里, 福本匠吾, 浦上慎司, 松本拓也
第22回日本神経理学療法学会学術大会 福岡
2024.9.28-29

脳卒中患者におけるMini-BESTestの継時的変化と身体機能障害との関連
江田朱里, 福本匠吾, 浦上慎司
第22回日本神経理学療法学会学術大会 福岡
2024.9.28-29

当院入院脳卒中患者のMini-BESTestの特性と縦断的経過
江田朱里, 泉脇美羽, 山下隼生, 福本匠吾, 浦上慎司
第 9 回 J C H O 地域医療総合医学会 仙台
2024.11.29-30

Perturbation based balance trainingによりステップ反応が改善した急性期脳卒中患者の一症例

山本 舞, 福本匠吾, 浦上慎司

第22回日本神経理学療法学会学術大会 福岡
2024.9.28-29

歩行自立度の向上を目指した外傷性頸髄不全損傷者一症例

清水遙日, 高尾茉侑, 宮下 創

第22回日本神経理学療法学会学術大会 福岡
2024.9.28-29

当院の糖尿病教育入院における理学療法士による運動機能評価及びアンケートについて

菊池 恵, 山本 准, 五郎川伸一, 森川侑佳

第9回JCHO地域医療総合医学会 仙台
2024.11.29-30

回復期リハビリテーション病棟患者を対象としたmodified CI療法後1年間の経過と効果について

高岡夏実, 門川泰輔, 伴 征晃

第58回日本作業療法学会 札幌 2024.9.10

入院前ADLの大幅な変更を余儀なくされた慢性期脊髄損傷者一症例に対する退院支援～排便管理に着目して～

宮下 創, 古川啓介, 近藤雅也

第22回日本神経理学療法学会学術大会 福岡
2024.9.28-29

Effect of community-based exercise class on adolescents with intellectual disabilities who did not exercise regularly

佐藤央基, 長尾 徹, 山本暁生

The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024 札幌 2024.11.6-9

脳卒中後上肢運動機能改善に関連する急性期評価因子の検討

門川泰輔, 高岡夏実, 浦上慎司

第58回日本作業療法学会 札幌 2024.11.9-10

回復期リハビリテーション病棟患者を対象としたmodified CI療法1年後の経過と効果について

高岡夏実, 門川泰輔, 伴 征晃

第58回日本作業療法学会 札幌 2024.11.9-10

歩行自立度の向上を目指した外傷性頸髄不全損傷一症例

清水遙日, 宮下 創, 高尾茉侑

第22回日本神経理学療法学会学術大会 福岡
2024.9.28-29

下肢機能の改善を予測し初期から歩行再建を目指した外傷性胸髄損傷者の一症例

小山侑希, 宮下 創, 多久和良亮

第22回日本神経理学療法学会学術大会 福岡
2024.9.28-29

Perturbation based balance trainingによりステップ反応が改善↓急性期脳卒中患者の一症例

山本 舞, 福本匠吾, 浦上慎司

第22回日本神経理学療法学会学術大会 福岡
2024.9.28-29

慢性期脊髄損傷者一症例

宮下 創, 古川, 近藤, 中谷

第22回日本神経理学療法学会学術大会 福岡
2024.9.28-29

脳卒中患者におけるMini-BESTestの継時的変化と身体機能障害との関連

江田朱里, 浦上慎司, 福本匠吾, 山下隼生, 泉脇美羽

第22回日本神経理学療法学会学術大会 福岡
2024.9.28-29

重度歩行障害を呈した脳卒中患者に対する発症早期からのFESを併用したBWSTTによる下肢筋出力の継時的変化

江田朱里, 松本拓也, 浦上慎司

第22回日本神経理学療法学会学術大会 福岡
2024.9.28-29

脊髄損傷再生医療が適応外となった外傷性頸損傷者一症例に対する回復期での心理的援助の限界

雨田 真, 坊慎太郎, 宮下 創

第22回日本神経理学療法学会学術大会 福岡
2024.9.28-29

当院回復期病棟にて気管切開チューブの抜去を試みたが困難であった高位頸髄損傷患者一症例
泉脇美羽, 坊慎太郎, 宮下 創
第22回日本神経理学療法学会学術大会 福岡
2024.9.28-29

Effect of community-based exercise class on adolescents with intellectual disabilities who did not exercise regularly.
佐藤央基
The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024 札幌 2024.11.6-9

膝前十字靭帯再建術後の術後1ヶ月以内における膝伸展筋力と術後6ヶ月の筋力回復との関連性について
山下隼生, 小山侑希, 伊藤圭介, 谷口凌馬, 多久和良亮, 宮崎 亮, 米谷泰一
第11回日本スポーツ理学療法学会学術大会 横浜
2025.1.25-26

当院脳卒中患者のリハビリテーションアウトカムの経過報告～データベースに基づく縦断的解析～
福本匠吾, 浦上慎司, 松本拓也, 瀬川 栞, 江田朱里, 岡島 凱, 岡崎陽南
第9回JCHO地域医療総合医学会 仙台
2024.11.29-30

急性期に自発眼振の方向が反転した延髄外側梗塞後一症例
福本匠吾, 浦上慎司, 植田耕造
第3回日本前庭理学療法研究会学術集会 福岡
2024.6.2

足関節戦略に着目した立位バランス練習により、静的立位バランス改善に至った急性期小脳出血患者の一症例
福本匠吾, 浦上慎司, 植田耕造
第22回日本神経理学療法学会学術大会 福岡
2024.9.28-29

座長

口述：一般演題②
権藤 要
第36回大阪府理学療法学会学術大会 大阪 2024.7.28

口述：新人症例発表③
川村知史
第36回大阪府理学療法学会学術大会 大阪 2024.7.28

ポスター28：脳損傷 歩行7
権藤 要
第22回日本神経理学療法学会学術大会 福岡
2024.9.28-29

内部障害でのリハビリテーションで作業療法士が期待されていること
佐藤央基
第58回日本作業療法学会 札幌 2024.11.9-10

シンポジウム

リハビリ生産性向上～こうやれば変わる～
当院リハビリ部門における生産性向上と間接業務および臨床・教育・研究の組織運営的な管理について
権藤 要
第9回JCHO地域医療総合医学会 仙台
2024.11.29-30

脊髄損傷理学療法の標準化に向けた課題—回復期の立場から—
宮下 創
脊髄損傷理学療法研究会 茨城 2024.11.23

頸髄損傷不全四肢麻痺者に対する臨床評価の標準化を目指す
草野 凌, 佐藤弘樹, 浅井直樹, 宮下 創 (オーガナイザー)
第22回日本神経理学療法学会学術大会 福岡
2024.9.28-29

講師

姿勢制御を考える～講義・実技～
権藤 要
和歌山県理学療法士会 和歌山 2024.3.3

ボバースコンセプト、講義・実技
大槻利夫, 権藤 要, 他
インフォメーションコース北海道 札幌
2024.7.12-14

JCHO近畿四国地区におけるリハビリ部門 人事異動の現状と、これから

権藤 要

JCHO近畿四国地区リハビリ主任会 オンライン
2024.3.8

実践から学ぶ姿勢制御障害の評価とアプローチ
第3講座：反応的バランストレーニングの実際
福本匠吾, 植田耕造

リハテックリンクス株式会社 オンライン
2024.2.22

脳卒中後の立位・歩行時のバランス障害の評価と
アプローチ

松本拓也

山口県理学療法士会 オンライン 2024.10.26

講演

内部障害でのリハビリテーションで作業療法士が
期待されていること

石川 朗, 早川貴行, 佐藤央基 (座長)

第58回日本作業療法学会 札幌 2024.9.10

講義

脊髄損傷の理学療法

宮下 創

阪奈中央リハビリテーション専門学校 2024.10.11-
11.15

脊髄損傷の理学療法

宮下 創

大阪医療福祉専門学校 2024.9.12-10.3

脊髄損傷の理学療法

宮下 創

森ノ宮医療大学 2024.7.12、7.19、10.15

論文 (症例報告)

可変的な中高強度の歩行練習により一定の歩行機
能の改善を得た亜急性期脳卒中後症例

松本拓也, 植田耕造, 西本和平

神経理学療法学 3 (1) 20-29 2024.3

看護部

国内学会・口演

A病院における外来予約日より早く受診する患者
の要因分析—分析から考える在宅療養支援への課
題—

鎌谷美由紀, 吉永芙貴, 山崎美奈, 北村育久子
第12回大阪府看護学会 大阪 2024.12.7

外来患者における「在宅療養につなげるフロー」
活用の実践報告

北村育久子

第9回JCHO地域医療総合医学会 仙台
2024.11.29-30

多職種で考えた身寄りがない認知機能障害を伴う
がん患者への意思決定支援

森本道子, 中野加代子

第9回JCHO地域医療総合医学会 仙台
2024.11.29-30

多職種連携による喘息指導でアドヒアランスが向
上した学童前期の1例

久保美抄, 今井早希菜, 杉本有紀子

第40回日本小児臨床アレルギー学会 大阪
2024.7.13-14

国内学会・示説

新型コロナウイルス感染症高齢患者の経口摂取維
持のための看護実践の効果

長谷川有美子, 川田真理, 北田美奈子

日本老年看護学会第29回学術集会 高知
2024.6.29-30

当院におけるRRS再構築の取り組みと今後の課題
深津百合, 八田綾子, 山中裕介, 林由規彦

第52回日本集中治療医学会学術集会 福岡
2025.3.14-16

著書

手術直後のケアでは、なにに注意したらいいです
か? (教えて先輩! 整形外科看護術前術後ケア
Q&A)

大塚陽平

整形外科看護 29 (8) 90-93 メディカ出版 大

福祉相談室

国内学会・口演

地域包括ケア推進センターがACP(愛称：人生会議)普及に向けて展開する地域活動の実際
春田広子, 村上博美, 北村育久子
第9回JCHO地域医療総合医学会 仙台
2024.11.29-30

実習指導がソーシャルワーク実践に与える効果
小木奈々恵
第9回JCHO地域医療総合医学会 仙台
2024.11.29-30

退院支援における関係性支援に関する一考察
岩本亜加根
第9回JCHO地域医療総合医学会 仙台
2024.11.29-30

国内学会・口演座長

ソーシャルワーカー部門 重層的支援体制構築
亀谷明美
第9回JCHO地域医療総合医学会 仙台
2024.11.29-30

国内学会・ポスター

退院支援を多機関で支える—若年性脳卒中患者の事例をもとに—
山崎咲奈
第9回JCHO地域医療総合医学会 仙台
2024.11.29-30

若年性脊髄損傷患者の退院支援—二次障害を後発した患者の事例を通して—
泉 秀人
第9回JCHO地域医療総合医学会 仙台
2024.11.29-30

国内学会・シンポジウム

時代とともに変わる課題へのアプローチ：人材マネジメントにおける管理職の役割
松本祥敬
第9回JCHO地域医療総合医学会 仙台
2024.11.29-30

国内学会・ポスター

院内グループウェアの利用促進への取り組み
矢井道弘, 松本達也, 福永幸子, 松本祥敬
第9回JCHO地域医療総合医学会 仙台
2024.11.29-30

独立行政法人地域医療機能推進機構
星ヶ丘医療センター一年報 令和6年

発行日 令和8年1月31日
発行者 独立行政法人地域医療機能推進機構星ヶ丘医療センター
院長 細野 昇
〒573-8511 大阪府枚方市星丘4丁目8番1号
電 話 (072)840-2641
ファックス (072)840-2266
URL:<https://hoshigaoka.jcho.go.jp/>



独立行政法人 地域医療機能推進機構
星ヶ丘医療センター